

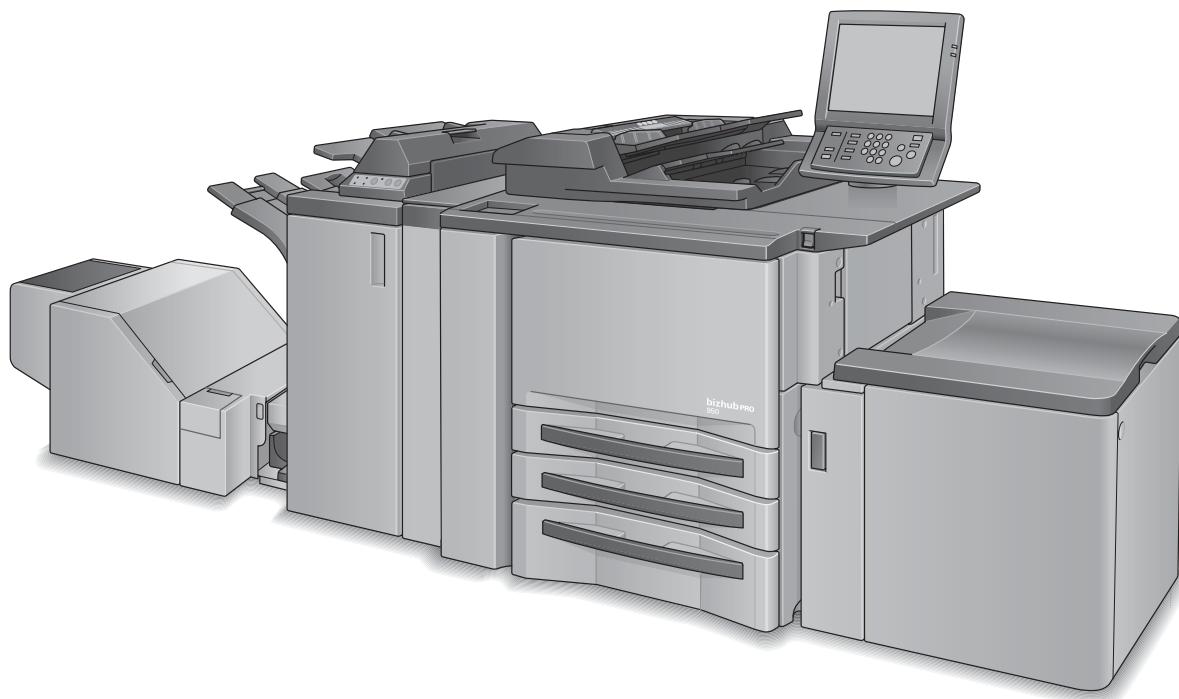


KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

bizhub PRO 950

ユーザーズガイド コピー編



- 機械概要

- 第1章 設置・取扱いの注意
- 第2章 ご使用いただく前に
- 第3章 用紙・原稿について
- 第4章 補給・くず処理
- 第5章 トラブルの処置
- 第6章 日頃の管理
- 第7章 仕様

- コピー操作

- 第8章 コピーしてみよう
 - 第9章 基本設定
 - 第10章 応用設定
 - 第11章 出力設定
 - 第12章 ジョブ管理
 - 第13章 コピー操作補助機能
- 付録：文字入力のしかた

はじめに

このたびは、bizhub PRO 950(デジタル式電子写真複写機)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

このユーザーズガイドは、bizhub PRO 950の性能を十分に発揮させるため、また、安全な取り扱いをしていただくため、機械の操作方法および使用上の注意事項について記載しています。ぜひご一読ください。最適な状態できれいなコピーをおとりいただくために、このユーザーズガイドを常時ご覧いただける場所に保管してください。

登録商標について

- KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTAロゴ、The essentials of imagingは、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。
- PageScope、bizhub、bizhub PROは、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標です。

Copyright © 2009 コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社

免責

- 本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 製造会社および販売会社は、本書を運用した結果の影響につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このユーザーズガイドに記載されている情報は、予告なく変更される場合があります。

もくじ

機械概要

国際エネルギー・スタートプログラム	i
機械・消耗品のリサイクル／リユース	ii
エコマーク	ii
こんな機能があります	iii
マニュアル体系について	xiii
本書レイアウト	xiv
コピー禁止事項	xv

第1章 設置・取扱いの注意

安全にご使用いただくために	1-2
絵表示の意味	1-2
図記号の例	1-2
適合宣言文	1-8
レーザーの安全性	1-8
オゾン放出	1-8
電波障害について	1-8
JIS C 61000-3-2 適合品	1-8
注意表記・注意ラベル	1-9
設置スペース	1-11
使用上のご注意	1-13
設置電源	1-13
使用環境	1-13
トナー・ボトルの取扱いについて	1-13
コピーの保存について	1-13
フィニッシャー使用時のご注意	1-14

第2章 ご使用いただく前に

各部の名称とはたらき	2-2
本体外部	2-2
本体内部	2-4
オプション構成	2-5
操作パネルと画面	2-6
操作パネル	2-6
コピー画面	2-8
機械の状態を表示する画面（機械状態画面）	2-10
大容量給紙ユニット LU-407 / LU-408	2-12
フィニッシャー FS-528 / FS-611 (+パンチキット PK-503)	2-13
ポストインサーター PI-506	2-16
Z折りユニック ZU-607	2-17
トリマーユニット TU-502	2-18
電源を入れる／切る	2-20
電源を入れる	2-20
電源を切る	2-22

1
設置・取扱いの注意

2
ご使用いただく前に

3
用紙・原稿について

4
くず処理・補給

5
トラブルの処置

6
日頃の管理

7
仕様

8
コピーしてみよう

9
基本設定

10
応用設定

11
出力設定

12
ジョブリスト

13
コピー操作補助機能

14
付録
文字入力しかけたの

自動的にコピー条件をリセットする（オートリセット）	2-23
パワーセーブランプが点灯する	2-24
機械を使用するための操作	2-24
自動的に節電状態になる（オートローパワー）	2-25
自動的に節電状態になる（オートシャットオフ）	2-26
手動で節電状態にする	2-27
使用時間を制限する（ウィークリータイマー）	2-28
ユーザー認証 / 部門認証を求められたとき	2-30

第 3 章 用紙・原稿について

用紙について	3-2
使用できる用紙の質量	3-2
セット / 排出できる用紙の枚数	3-3
セット / 搬送 / 排出できる用紙サイズ	3-6
手差しトレイにセットできる特殊紙	3-12
自動トレイ切換機能	3-13
用紙の保管	3-13
原稿について	3-14
原稿ガラスにセットする原稿について	3-14
ADF にセットする原稿について	3-15

第 4 章 補給・くず処理

用紙を補給する	4-2
本体トレイ（トレイ 1 ~ 3）に用紙を補給する	4-3
手差しトレイに用紙を補給する	4-5
大容量給紙ユニット（トレイ 4）に用紙を補給する	4-6
インデックス紙をトレイにセットする	4-13
本体トレイに（トレイ 1 ~ 3）にインデックス紙をセットする	4-13
大容量給紙ユニットにインデックス紙をセットする	4-15
手差しトレイにインデックス紙をセットする	4-17
トナーを補給する	4-18
ステープル針を補給する	4-22
フィニッシャー FS-528 にステープル針を補給する	4-22
フィニッシャー FS-611 にステープル針を補給する	4-25
パンチキットのパンチくずを処理する	4-29
Z 折りユニットのパンチくずを処理する	4-31
断裁くずを処理する	4-33

第5章 トラブルの処置

「サービスに連絡して下さい C-####」と表示されたら : サービスコール	5-2
「紙づまりです」と表示されたら	5-4
ジャム処理をするときの留意点	5-5
ジャム位置表示とイラスト説明	5-6
ジャム位置表示	5-7
ジャム番号〔1〕点滅 : トレイ1での紙づまり処理	5-10
ジャム番号〔2〕点滅 : トレイ2での紙づまり処理	5-11
ジャム番号〔3〕点滅 : トレイ3での紙づまり処理	5-12
ジャム番号〔4〕点滅 : トレイ4での紙づまり処理	5-14
ジャム番号〔5〕点滅 : 手差しトレイでの紙づまり処理	5-14
ジャム番号〔6〕点滅 : 本体右縦搬送部での紙づまり処理	5-15
ジャム番号〔7〕点滅 : 大容量給紙ユニット水平搬送部での紙づまり処理	5-16
ジャム番号〔8〕点滅 : 本体給紙入口部での紙づまり処理	5-17
ジャム番号〔9〕点滅 : 本体ドラム部での紙づまり処理	5-19
ジャム番号〔10〕点滅 : 本体定着・反転部での紙づまり処理	5-21
ジャム番号〔11〕点滅 : 本体定着部での紙づまり処理	5-23
ジャム番号〔12〕点滅 : 本体反転部での紙づまり処理	5-25
ジャム番号〔13〕点滅 : フィニッシャーFS-528での紙づまり処理	5-27
ジャム番号〔13〕点滅 : フィニッシャーFS-611での紙づまり処理	5-30
ジャム番号〔14〕点滅 : ADF給紙・排紙部での紙づまり処理	5-33
ジャム番号〔15〕点滅 : ADF反転部での紙づまり処理	5-34
ジャム番号〔17〕点滅 : フィニッシャーFS-528サブトレイでの紙づまり処理	5-35
ジャム番号〔17〕点滅 : フィニッシャーFS-611サブトレイでの紙づまり処理	5-36
ジャム番号〔17〕点滅 : ポストインスターでの紙づまり処理	5-37
ジャム番号〔18〕点滅 : フィニッシャー中とじ部での紙づまり処理	5-39
ジャム番号〔19〕点滅 : トリマーユニットでの紙づまり処理	5-41
ジャム番号〔20〕点滅 : Z折りユニットでの紙づまり処理	5-43
〔機械状態〕タブがオレンジ色に点滅したら	5-48
紙づまり	5-48
用紙なし停止	5-49
用紙不一致停止	5-51
「メモリーオーバーフローです」と表示されたら	5-52
処置1 - 現コピーでのメモリーオーバーフロー	5-52
処置2 - コピー予約中のメモリーオーバーフロー	5-53
「電源を入れ直して下さい」と表示されたら	5-54
「コントローラーを認識できません」と表示されたら	5-55
簡単なトラブルの処置	5-56

第6章 日頃の管理

画像取り込み部分を清掃する	6-2
ADF 原稿読み込みガラスの清掃	6-2
原稿ガラスの清掃	6-2
ADF ガイドカバーの清掃	6-2
コピー枚数カウントを確認する	6-3
「定期点検です」と表示されたら	6-5
保守サービス	6-6
コピーチャージシステム	6-6
補修用性能部品の保有期間	6-6
主な同梱品	6-6

第7章 仕様

仕様	7-2
本体	7-2
ADF	7-3
オプション仕様	7-4
フィニッシャー FS-528	7-4
フィニッシャー FS-611	7-5
パンチキット PK-503	7-6
ポストインサークル PI-506	7-6
大容量給紙ユニット LU-407	7-6
大容量給紙ユニット LU-408	7-7
Z折りユニット ZU-607	7-7
トリマーユニット TU-502	7-8

コピー操作

第8章 コピーしてみよう

基本的なコピーの流れ	8-2
原稿をセットする	8-6
ADF に原稿をセットする	8-6
原稿ガラスに原稿をセットする	8-9
コピー部数を設定する	8-10
コピー部数を設定する	8-10
設定したコピー部数を変更する	8-11
ウォームアップ中にコピーする	8-12
現在読込中 / 出力中のジョブを停止する	8-15

第 9 章 基本設定

原稿設定	9-2
原稿セット方向を設定する：原稿セット方向	9-2
両面原稿のとじ方向を設定する：両面とじ方向	9-4
サイズの異なる原稿をコピーする：混載原稿	9-6
Z折れ原稿をコピーする：Z折れ原稿	9-8
ADFに原稿を1枚セットしてコピーする：1枚送り	9-9
不定形サイズの原稿をコピーする：不定形サイズ	9-12
インデックス原稿をコピーする：インデックス紙サイズ	9-14
連続読み込みモード	9-16
画質設定	9-19
コピー濃度と下地を調整する：濃度・下地調整	9-19
原稿画質に合わせてコピーする：原稿画質	9-22
倍率設定	9-24
等倍でコピーする	9-24
倍率を変更してコピーする	9-25
自動的に倍率を選択させる：自動倍率	9-27
片面／両面設定	9-28
ADFを使って両面コピーをとる	9-28
原稿ガラスを使って両面コピーをとる	9-31
両面原稿から片面コピーをとる	9-34
用紙設定	9-36
自動的に用紙サイズを選択させる：自動用紙	9-37
自動画像回転をオフ／オンする	9-39
トレイに設定されていない用紙設定でコピーする：用紙設定	9-41
コピー予約	9-53
併用できないコピー条件	9-55

第 10 章 応用設定

応用機能を設定するには	10-2
コピー画面〔応用設定〕下の表示	10-3
しおり機能	10-3
表紙・挿入紙をつける：インターフェース	10-4
章の先頭ページを必ずオモテにコピーする：章分け	10-12
複数枚の原稿を1ページにコピーする：集約	10-15
製本仕立てにコピーする：小冊子	10-19
OHPフィルムにコピーする：OHP合紙	10-22
別の原稿を指定したページに差し込む：差込みページ	10-26
見開き原稿を左右1ページずつ分けてコピーする：ブック連写	10-29
複数のジョブを一括出力する：プログラムジョブ	10-33
原稿以外の部分を消去してコピーする：原稿外消去	10-37
白黒を反転させてコピーする：ネガポジ反転	10-39

1枚の用紙に1つの画像を繰り返しコピーする：リピート	10-41
リピート回数を自動的に設定させる	10-41
リピート回数を指定する：定形リピート	10-45
本の周囲・綴じ部分の黒い影を消す：枠／折り目消し	10-48
画像を用紙の中央に配置してコピーする：センタリング	10-52
用紙いっぱいの大きさにコピーする：全面画像	10-54
コピー画像の位置を調整する：とじしろ>シフト	10-56
画像欠けを起こさずにとじしろをつける：とじしろ>縮小シフト	10-61
原稿にない情報を印字してコピーする：スタンプ／オーバーレイ	10-64
定型のスタンプを印字する：定型スタンプ	10-66
管理用ナンバリングを印字する：ナンバリング	10-68
ページ数を印字する：ページ	10-70
日付や時刻を印字する：日付／時刻	10-72
定型のウォーターマークを印字する：ウォーターマーク	10-74
ウォーターマークで管理用ナンバリングを印字する：ナンバリング	10-76
スタンプモードでの詳細設定	10-78
コピーに文字列、日時、通し番号を印刷する：任意スタンプ	10-83
画像を重ねてコピーする：オーバーレイ	10-87
重ねる画像を登録し、重ねてコピーする：登録オーバーレイ	10-89
オーバーレイ画像登録	10-89
登録オーバーレイ出力	10-91
併用できないコピー条件	10-94

第11章 出力設定

両面コピーのとじ方向を設定する	11-2
フィニッシャーで用紙を仕分ける：ソート・グループ・ステープル	11-4
メイントレイへのソート／グループ／仕分けソート／仕分けグループ出力	11-6
メイントレイへのステープル出力	11-7
サブトレイへのソート／グループ出力	11-9
2つ折り小冊子をつくる：中折り／中とじ／断裁	11-11
用紙に3つ折りをつける：3つ折り	11-13
用紙にZ折りをつける：Z折り	11-15
用紙にパンチ穴をあける：パンチ	11-17
カバー紙をつけて出力する：ポストインサー	11-20
手動でフィニッシャーを使う	11-22
2台の機械で同時に同じ出力をする：タンデム出力	11-25
タンデム接続／出力の中止	11-28
タンデム接続／出力中のトラブルの処置	11-29
併用できないコピー条件	11-30

第 12 章 ジョブリスト

ジョブリスト画面の概要	12-2
ジョブリスト画面の操作	12-3
予約ジョブを確認 / 操作する	12-3
出力履歴を確認する	12-4
送信履歴を確認する	12-5
未出力ジョブを確認する	12-6
保留ジョブを確認 / 操作する	12-7
展開中ジョブを操作する	12-9

第 13 章 コピー操作補助機能

1 部出力して設定条件を確認する : 確認コピー	13-2
コピーする前に設定内容を確認する : 設定内容	13-4
割り込んでコピーする : 割込み	13-7
設定を登録し、呼び出す : プログラム	13-9
設定を登録する	13-9
設定を呼び出す	13-11
ワンタッチでコピー条件を呼び出す : ファンクションキー	13-13
最後に出力したコピー条件でコピーする	13-15
操作方法解説の画面を表示させる : ヘルプ	13-16
ヘルプ画面を表示させる	13-17
キーやボタンの応答時間を調整する : キー応答	13-18
ブラウザで本機を操作・監視する	13-19
ブラウザで本機を操作する : リモートパネル	13-20
ブラウザで本機の状態を監視する : リモートモニター	13-21
ブラウザで本機の状態を監視する : マルチモニター	13-22

付録：文字入力のしかた

文字入力のしかた	索引 -1
文字入力画面 (英記号)	索引 -2
文字入力画面 (かな漢字)	索引 -3
文字入力画面 (カタカナ)	索引 -4

索引

1 設置・取扱いの注意

2 ご使用いただく前に

3 用紙・原稿について

4 くず処理・補給

5 トラブルの処置

6 日頃の管理

7 仕様

機械概要

国際エネルギースタープログラム



国際エネルギースタープログラムは、地球環境を守るために主に化石燃料をエネルギーとする電力を節約し、効率的なエネルギーの使用を目的とした制度です。本機は、以下の様な方法を推奨し、国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

オートローパワー機能

オートローパワー機能は、機器の消費電力を節約するための機能です。標準では、待機時間が15分を超えると、自動的にパワーセーブ機能が働き消費電力を節約します。機能する時間は、1分、3分、5分、10分、15分、30分、60分、90分、120分、240分の中から設定できます。

オートシャットオフ機能

オートシャットオフ機能は、オートローパワー機能よりもさらに消費電力を節約するための機能です。通常は、オートローパワー機能が働いて、一定時間経過すると、オートシャットオフ機能が自動的に働きます。標準では待機時間が90分を超えると、自動的にオートシャットオフ機能が働き、消費電力を節約します。機能する時間は、1分、3分、5分、10分、15分、30分、60分、90分、120分、240分の中から設定できます。

自動両面コピー機能

1枚の用紙のオモテ面／ウラ面にコピーする自動両面コピー機能により、用紙の省資源化が計られます。

集約機能

複数枚の原稿を1枚の用紙に集約してコピーします。用紙の使用枚数を節約できます。

オートローパワー機能、オートシャットオフ機能、自動両面コピー機能、集約機能をお使いになることをお勧めします。

機械・消耗品のリサイクル／リユース

使用済みのトナー／ボトル、ドラム（感光体）について

お客様が交換したものにつきましては、サービス技術者が回収しますので、入っていた箱に入れて保管してください。サービス技術者が交換したものにつきましては、そのつど持ち帰ります。回収したトナー／ボトル、ドラムは、再資源化しています。

使用済みの機械の処理について

買い替え時は、新しい機械を購入する販売店にご相談ください。不要時は、その機械を購入した販売店にご相談ください。回収した機械は再資源化しています。

小型二次電池（リチウムイオン電池）について

本体およびオプションに小型二次電池（リチウムイオン電池）が使用されている場合は、製品として回収後に小型二次電池も含め再資源化いたします。



本機では2次電池（充電式バッテリー）は一切使用しておりません。

弊社の環境基準に従い回収された機械、ボトルなどは、リサイクル、リユースされています。今後も資源の保護に取り組み、人と環境に調和した活動を行ってまいります。

エコマーク



3R・省エネ設計

エコマーク認定番号 第05117011号

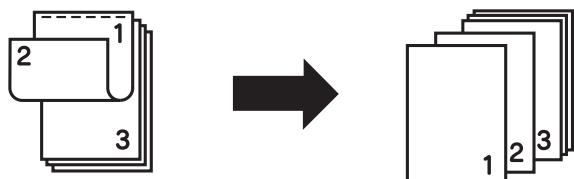
bizhub PRO 950は「エコマーク事務局認定・環境保全型商品」です。

本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通じて環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。

こんな機能があります

上とじの両面原稿を左右とじのコピーにする

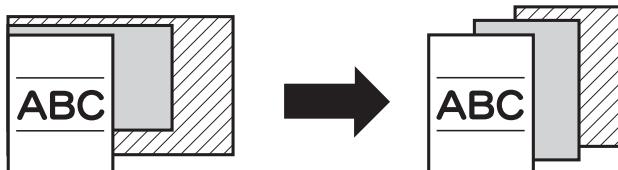
オモテとウラの天地が逆の両面原稿を、天地と同じにしてコピーします。



「両面とじ方向」です。詳細は、p. 9-4をごらんください。

違うサイズの原稿を一緒にコピーする

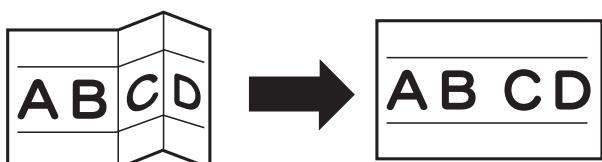
サイズの異なる原稿を、一度に読み取ってコピーします。



「混載原稿」です。詳細は、p. 9-6をごらんください。

Z折れ原稿をコピーする

原稿セット時にサイズ検知できない折れ原稿サイズをスキャン時に確実に検知します。



「Z折れ原稿」です。詳細は、p. 9-8をごらんください。

ADFで原稿を1枚のみ確実に送る

連続で送るとトラブルの恐れのある原稿を1枚のみADFで確実に送ります



「1枚送り」です。詳細は、p. 9-9をごらんください。

定形サイズ以外の原稿をコピーする

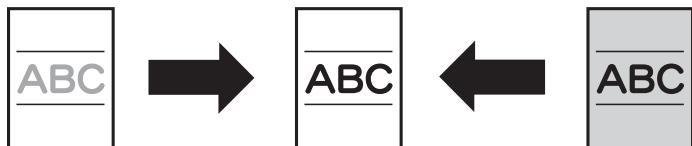
検知異常と判断される規格外サイズの原稿をコピーできるようにします。



「不定形」「インデックス紙」です。詳細は、p. 9-12、p. 9-14をごらんください。

適正な濃度でコピーする

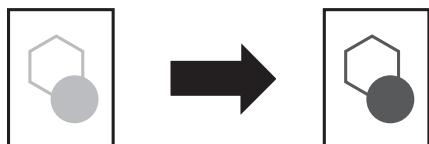
きめの細かなコピー濃度や下地の濃度を調整します。



「濃度・下地調整」です。詳細は、p. 9-19をごらんください。

原稿の画質に合わせてコピーする

原稿画質（文字／写真、薄文字、写真、文字）にあった画像でコピーします。



「原稿画質」です。詳細は、p. 9-22をごらんください。

倍率を変更してコピーする

倍率を変更してコピーします。タテヨコの倍率を変えてタテ長／ヨコ長のコピーが作れます。



「倍率設定」です。詳細は、p. 9-24をごらんください。

自動的に用紙サイズを選択する

倍率を指定すると、原稿サイズに合わせて適正なサイズの用紙を自動的に選択します。



「自動用紙」です。詳細は、p. 9-37をごらんください。

自動的に倍率を選択する

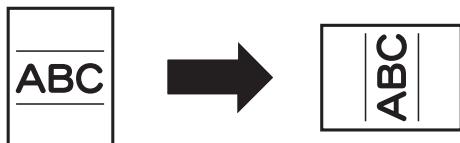
用紙サイズを指定すると、原稿サイズに合わせて適正な倍率を自動的に選択します。



「自動倍率」です。
詳細は、p. 9-27をごらんください。

用紙の向きに合わせて画像を回転する

機械が自動的に選択した用紙サイズのタテヨコ方向が逆にトレイにセットされている場合、画像を90度回転させてコピーします。



「自動画像回転」です。詳細は、p. 9-39をごらんください。

トレイ設定外の用紙にコピーする

トレイに設定されている以外の用紙にコピーします。



「用紙設定」です。詳細は、p. 9-41をごらんください。

出力中に次のコピーの準備をする

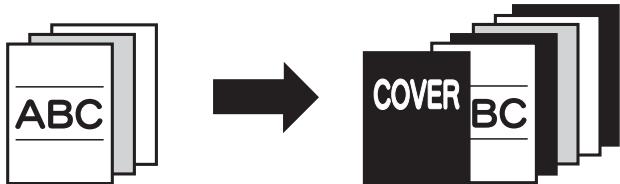
出力している間に次のコピーの出力ができるように準備します。



「コピー予約」です。詳細は、p. 9-53をごらんください。

表紙・挿入紙をつける

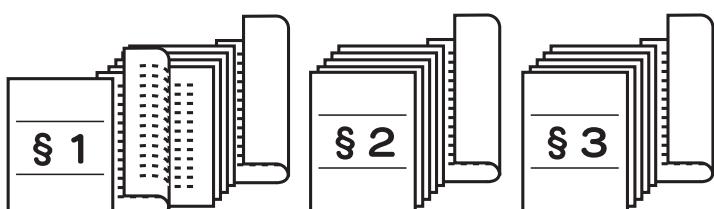
コピーに表紙や挿入紙をつけることができます。



「インターフォード」です。詳細は、p. 10-4をごらんください。

章の先頭ページを必ずオモテ面にコピーする

両面コピーをとるとき、章の先頭ページを必ずオモテ面にコピーします。

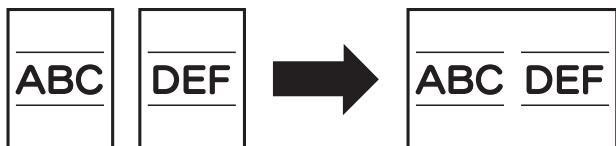


「章分け」です。詳細は、p. 10-12をごらんください。

こんな機能があります(つづき)

複数の原稿を1枚にまとめてコピーする

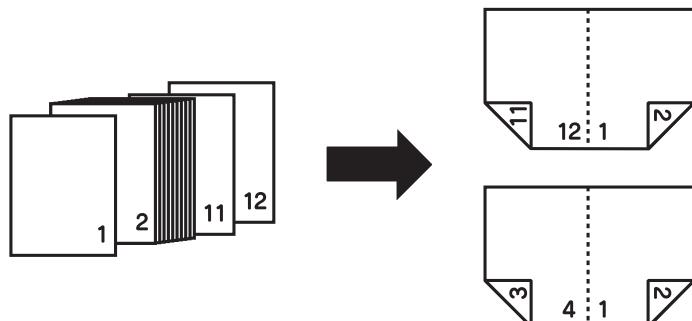
複数枚の原稿画像を1枚の用紙にまとめてコピーします。



「集約」です。詳細は、p. 10-15をごらんください。

週刊誌とじのページ立てにコピーする

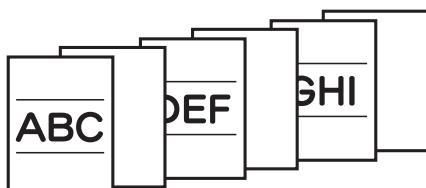
コピーのできあがりが週刊誌とじのページ立てになるよう
にページを入れ替えてコピーします。



「小冊子」です。詳細は、p. 10-19をごらんください。

OHPフィルムの間に合紙を入れる

コピーしたOHPフィルムの間に白紙またはOHPフィルム
と同じ画像のコピーを入れて出力します。



「OHP合紙」です。詳細は、p. 10-22をごらんください。

別原稿のコピーを指定したページに差し込む

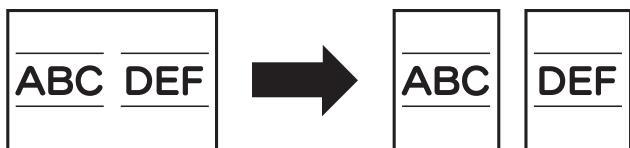
ADFで読み取った原稿ページの間に、原稿ガラスで読み
取った原稿ページを差し込んでまとめて出力します。



「差込みページ」です。詳細は、p. 10-26をごらんください。

見開き原稿を別々にコピーする

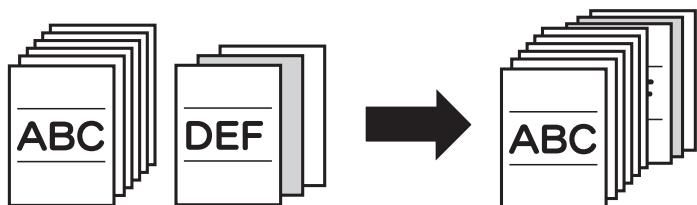
本など、見開き原稿の左右ページを別々にコピーします。



「ブック連写」です。詳細は、p. 10-93をごらんください。

複数のジョブを一括出力する

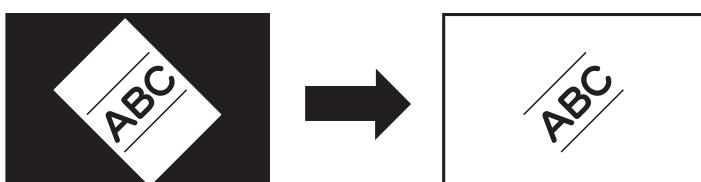
分割して読込んだジョブを1つのジョブとして出力します。



「プログラムジョブ」です。詳細は、p. 10-33をごらんください。

原稿以外の部分を消す

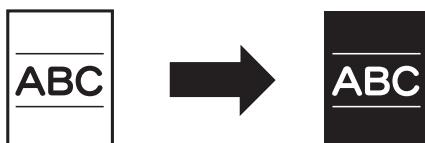
原稿ガラスにセットした原稿の大きさを検知し、それ以外の部分を消してコピーします。



「原稿外消去」です。詳細は、p. 10-37をごらんください。

画像のネガポジを反転させる

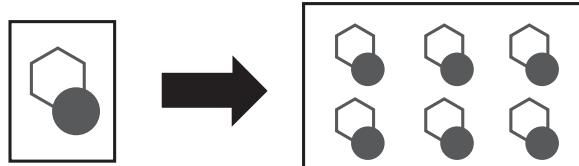
画像のネガポジを反転させてコピーします。



「ネガポジ反転」です。詳細は、p. 10-93をごらんください。

画像を繰り返してコピーする

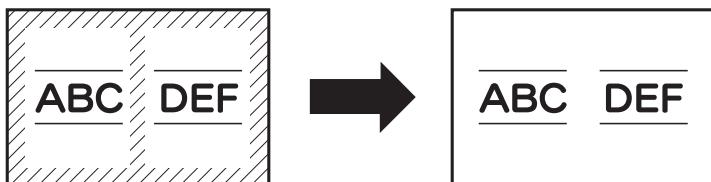
原稿の画像を1枚の用紙に繰り返してコピーします。



「リピート」です。詳細は、p. 10-93をごらんください。

黒い影を消す

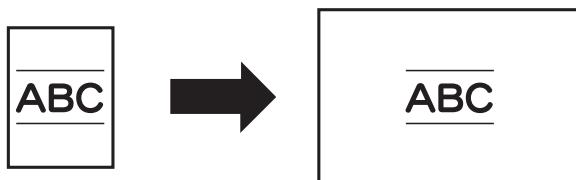
本などをコピーしたときにできる周囲やとじ部の黒い影を消してコピーします。



「枠／折り目消し」です。詳細は、p. 10-48をごらんください。

画像を用紙の中央に配置する

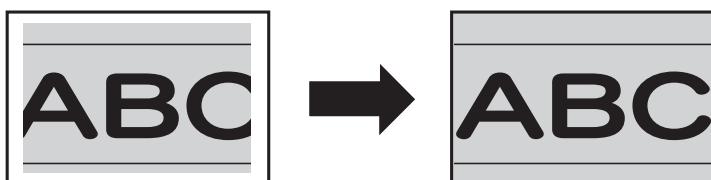
原稿の画像を自動的に中央に配置してコピーします。



「センタリング」です。詳細は、p. 10-52をごらんください。

用紙いっぱいの大きさにコピーする

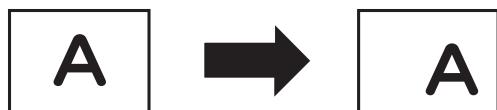
用紙ぎりぎりまで画像をコピーします。



「全面画像」です。詳細は、p. 10-54をごらんください。

コピー画像位置を調整する

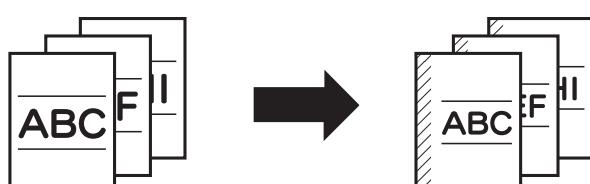
コピー画像の用紙上の位置を動かします。



「とじしろ」です。詳細は、p. 10-56をごらんください。

縮小してとじしろ(余白)をつくる

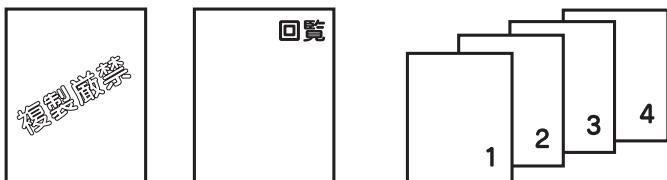
画像を縮小しながら動かして、コピーにとじしろをつくります。



「とじしろ」です。詳細は、p. 10-93をごらんください。

コピーにスタンプやウォーターマークを印字する

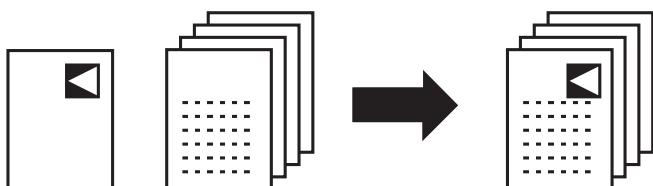
コピーに特定の文字やページ番号、日付などを印字します。



「スタンプ」です。詳細は、p. 10-93をごらんください。

画像を重ねてコピーする

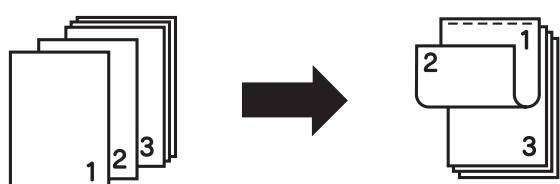
1枚の画像を、その後にスキャンしたり、保存されている画像に重ねてコピーします。



「オーバーレイ」です。詳細は、p. 10-87をごらんください。

通常の原稿から上とじの両面コピーをつくる

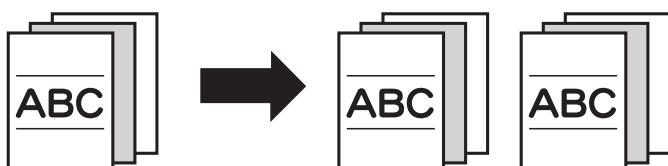
オモテとウラの天地が同じ原稿からオモテとウラの天地が逆の両面コピーをつくります。



「両面とじ方向」です。詳細は、p. 9-4をごらんください。

仕分け / ステープルして出力する

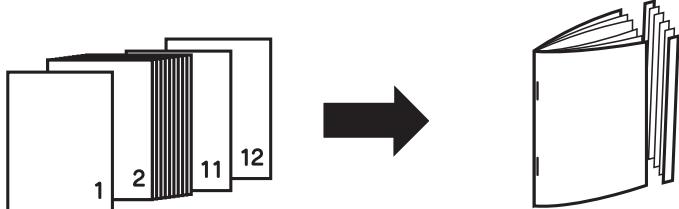
用紙を仕分けたり、ステープルして出力します。



オプションのフィニッシャーFS-528/FS-611の機能です。詳細は、p. 11-4をごらんください。

小冊子をつくる／断裁する

2つ折り（中折り）にしたり、中央にステープル（中とじ）して小冊子をつくります。また、小冊子を小口断裁します。



小冊子をつくるのはフィニッシャーFS-611、小口断裁するの
はトリマーユニットTU-502の機能です。詳細は、p. 10-19をご
らんください。

3つ折りする

プリントした用紙を3つ折りします。



フィニッシャーFS-611の機能で
す。詳細は、p. 11-13をごらん
ください。

Z折りする

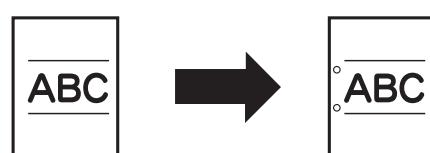
プリントした用紙をZ折りします。



Z折りユニットZU-607の機能で
す。詳細は、p. 11-15をごらん
ください。

パンチ穴を開ける

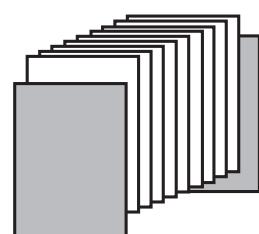
プリントした用紙にファイリング用のパンチ穴を開けます。



フィニッシャーFS-528/FS-611
に装着されるパンチキットPK-
503または、Z折りユニットZU-
607の機能です。詳細は、p. 11-
17をごらんください。

カバー紙をつける

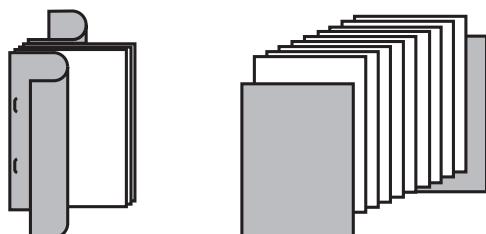
用紙に別の厚紙の表紙や中扉がつけられます。



フィニッシャーFS-528/FS-611
に装着されるポストインサー
ターPI-506の機能です。詳細は、
p. 11-20をごらんください。

手動でステープル／パンチ穴／折りをつける

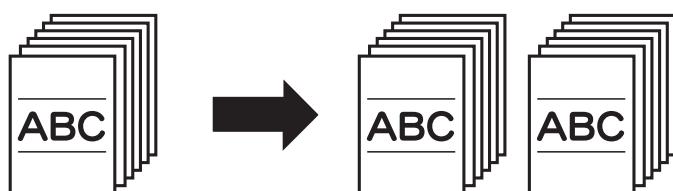
コピーせずに手動で用紙にステープル／パンチ穴／折り(とじ)をして出力します。



フィニッシャーFS-528/FS-611に装着されるポストインスターPI-506の機能です。詳細は、p. 11-22をごらんください。

2台で同時に同じ出力をする

1台に設定したコピー条件の出力を2台に分けて同時に出力します。



「タンデム出力」です。詳細は、p. 11-25をごらんください。タンデム出力には、サービスマンによる設定が必要です。サービス実施店にお申し出ください。

過去、現在、予約のジョブリストをする

出力・送信履歴、未出力や保留ジョブの確認、現在展開中のジョブ、予約ジョブの管理をします。



「ジョブ確認」です。詳細は、p. 12-3をごらんください。

1部出力してコピー条件を確認する

多部数出力する前に1部出力して、設定したコピー条件が間違っていないか確認します。



「確認コピー」です。詳細は、p. 13-2をごらんください。

出力する前に画面でコピー条件を確認する

出力する前に設定したコピー条件を画面に表示させ、間違っていないか確認します。



「設定内容」です。詳細は、p. 13-4をごらんください。

割り込んでコピーする

機械動作中に一時的に違うコピー条件でコピーすることができます。



「割込みコピー」です。詳細は、p. 13-7をごらんください。

コピー条件を登録 / 呼び出す

よく使うコピー条件を登録し、必要なときに呼び出してコピーすることができます。



「プログラム」です。詳細は、p. 13-9をごらんください。

直前のコピー条件を呼び出す

直前のコピーのコピー条件を呼び出してコピーすることができます。



「プログラム」です。詳細は、p. 13-15をごらんください。

機能や操作方法解説の画面を表示させる

機械の機能や操作方法を画面表示させます。



「ヘルプ」です。詳細は、p. 13-16をごらんください。

キーの応答時間を調整する

タッチパネルのボタンを押して応答する時間を調整します。



「キー応答」です。詳細は、p. 13-18をごらんください。

マニュアル体系について

本機には、次のユーザーズガイドが用意されています。

ユーザーズガイド（コピー編）<本書> 印刷物 ユーザーズガイド CD

機械の概要やコピー操作について記載しています。

設置・取扱いの注意事項、電源の入れ方/切り方、用紙補給のしかた、紙づまりのなどのトラブル対処のしかたや、機械のコピー操作に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ユーザーズガイド（POD管理者編）印刷物 ユーザーズガイド CD

日頃の使い方に合わせて機械をカスタマイズ設定したり、機械を管理する方法を記載しています。

用紙の登録やトレイの調整、ネットワーク設定を含む機械の設定や管理に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ユーザーズガイド（ネットワークスキャナー編）印刷物 ユーザーズガイド CD

ネットワークスキャナー機能の操作について記載しています。

保存、読み出し機能、スキャナー（Scan to HDD、Scan to E-mail、Scan to FTP、Scan to SMB）の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ユーザーズガイド（セキュリティー編）印刷物 ユーザーズガイド CD

セキュリティー機能について記載しています。

セキュリティー強化機能の使い方、セキュリティー強化機能使用時の機械の操作に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

商標/ライセンス ユーザーズガイド CD

商標およびライセンスについて記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

ユーザーズガイド（プリンター編）ユーザーズガイド CD

プリンター機能の操作について記載しています。

PCL ドライバー、Adobe PS ドライバー、PageScope Web Connection のユーザー モードに関する使用方法について知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ユーザーズガイド（PostScript3 Plug-in ドライバー編）ユーザーズガイド CD

プリンター機能の操作について記載しています。

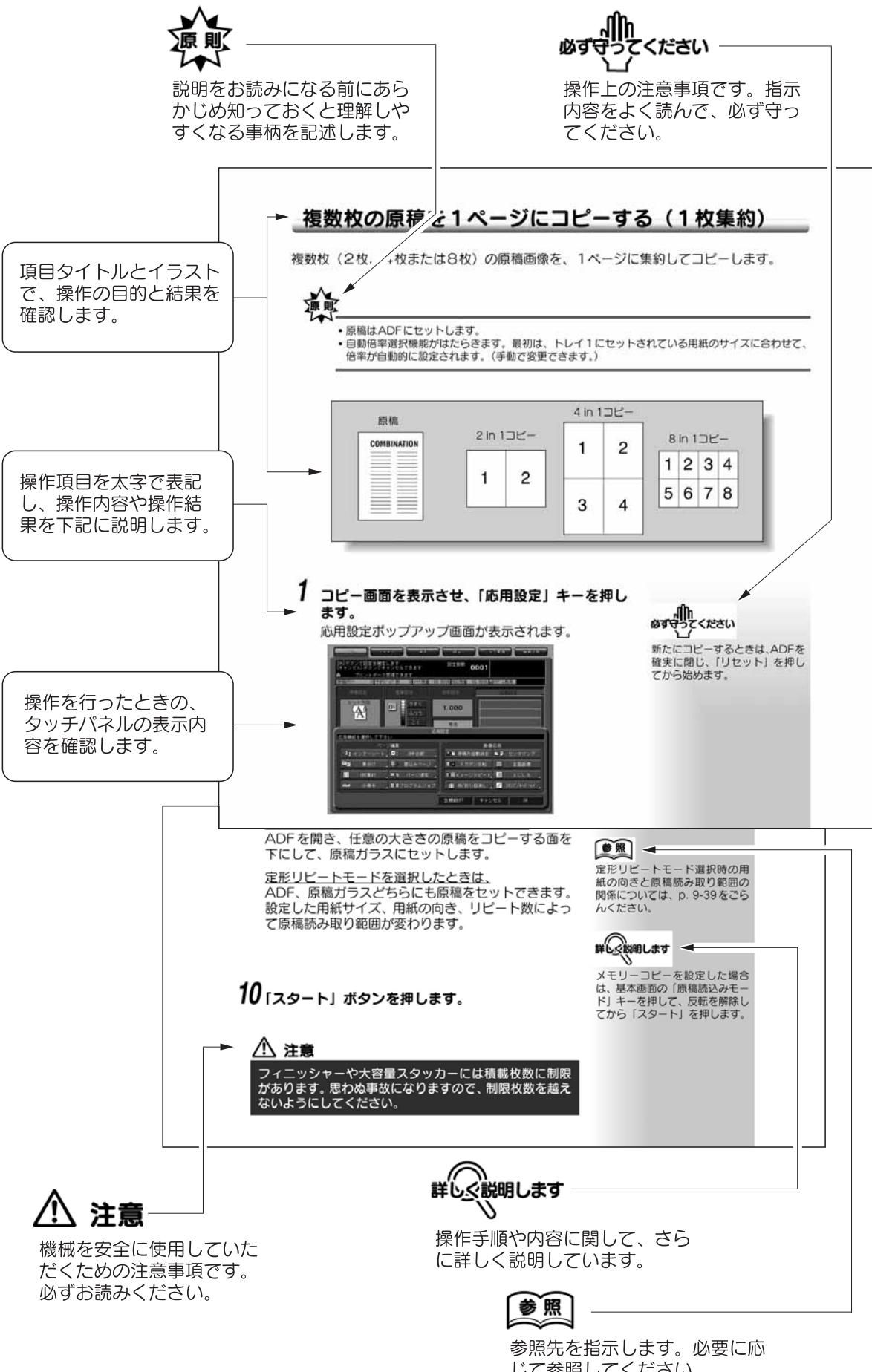
Plug-in ドライバーのユーザー モードに関する使用方法について知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

クリックガイド（プリンター編）印刷物

ユーザーズガイド（プリンター編）のインストール部分を抜粋しています。

安全に正しくお使いになるため、操作の前に必ずユーザーズガイド コピー編
「第1章 設置・取扱いの注意」をお読みください。

本書レイアウト



コピー禁止事項

本機でなにをコピーしてもよいわけではありません。

特に法律によって、そのコピーをとるだけでも罰せられるものがありますので、次の点にご注意ください。

法律によりコピーを禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債、地方債証券、外国紙幣、証券類
- 未使用郵便切手、郵政はがき類
- 政府発行の印紙、税法で規定されている証券類

<関係法律>

通貨及証券模造取締法

外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ關スル法律

郵便切手類模造等取締法

印紙等模造取締法

紙幣類似証券取締法

著作権の対象となっているもの

書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は、個人的にまたは、家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

注意を必要とするもの

政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行証、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうが良いと考えられます。

民間発行の有価証券（株券、小切手、手形等）定期券、回数券などは事業所が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

本機が搭載している部門管理機能でパスワードを設定すると、パスワードを入力しないと本機が使用できなくなるため、不正使用を防止できます。

また、部門管理機能でコピー / プリント / スキャンの許可、または禁止の設定により、部門によって機能に制限を加えることもできます。

設置・取扱いの注意

第1章

設置・取扱いの注意について説明します。

安全にご使用いただくために	1-2
絵表示の意味	1-2
図記号の例	1-2
適合宣言文	1-8
レーザーの安全性	1-8
オゾン放出	1-8
電波障害について	1-8
JIS C 61000-3-2 適合品	1-8
注意表記・注意ラベル	1-9
設置スペース	1-11
使用上のご注意	1-13
設置電源	1-13
使用環境	1-13
トナーボトルの取扱いについて	1-13
コピーの保存について	1-13
フィニッシャー使用時のご注意	1-14

安全にご使用いただくために

製品を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置および日常の取扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。製品の電源を入れる前に必ずお読みください。

- このユーザーズガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。
 - ユーザーズガイド本文内に書かれている注意事項も必ずお守りください。
- ご購入いただいた製品によってはこの項の内容と、一部合致しないものもありますが、ご了承ください。

絵表示の意味

このユーザーズガイドおよび製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の例



この記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。記号の中に具体的な注意内容が描かれています。

例) 「高温注意」を示す図記号



この記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。

例) 「分解禁止」を表わす図記号



この記号は必ず行わなければならない行為を告げるものです。記号の中に具体的な指示内容が描かれています。

例) 「電源プラグを抜く」を表わす図記号

分解・改造について

⚠ 警告

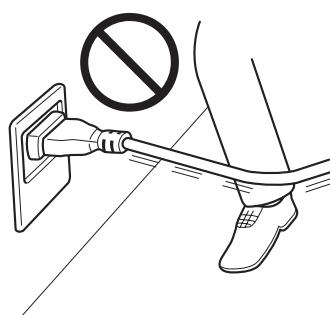
- 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。
- 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。



電源コードについて

⚠ 警告

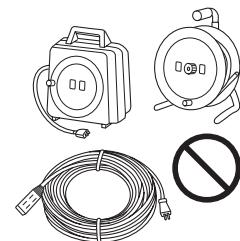
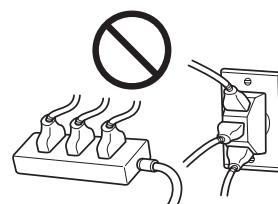
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っ張ったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。



電源について

⚠ 警告

- 製品に表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- プラグの形状とコンセントが合わない場合に変換アダプタを使用しないでください。コンセントの形状は電圧や流せる電流で決まっているため、これを守らないと火災の危険があります。また、アース接続の不良により、感電の危険もあります。プラグの形状に合うコンセントの設置を電気工事士にご依頼ください。
- コンセントが2口以上あって、この製品と他の電気製品を同時に使う場合は、事前に担当サービス技術者にご相談ください。コンセントの容量を超えて使用すると、火災の危険があります。
- 原則的に延長コードは使用しないで下さい。また、タコ足配線はしないでください。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、担当サービス技術者にご相談ください。



⚠ 注意

- コンセントはできるだけ製品のそばにあるものを利用し、そのコンセントに容易に近づけるようにしてください。火災、感電のおそれがあります。非常時に電源プラグを抜けなくなります。



電源プラグについて

⚠ 警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。



⚠ 注意

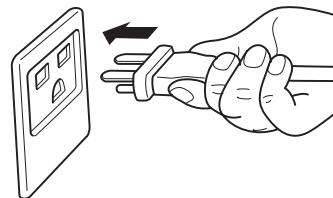
- プラグを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。



アース接続について

⚠ 警告

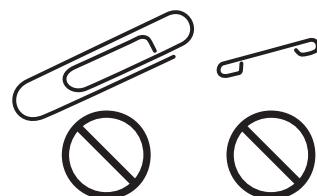
- 必ずアース接続されたコンセントに接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。



設置について

⚠ 警告

- 本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
- 万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。



⚠ 注意

- 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。(床置き型製品の場合)
- 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。
- 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。
- 本製品の周囲で引火性のスプレー液や液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。



換気について

⚠ 注意

- ・換気の悪い部屋で、長時間にわたる使用や大量にコピー／プリントをする場合には、排気臭が気になることがありますので、十分に換気を行ってください。



異常が見られたら

⚠ 警告

- ・本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。
- ・本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。



⚠ 注意

- ・本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。



消耗品について

⚠ 警告

- ・トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。



⚠ 注意

- ・トナーボトルや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になります。
- ・トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。



製品を移動させるとときは

⚠ 注意

- 本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。



長期間使用しないときは

⚠ 注意

- 連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

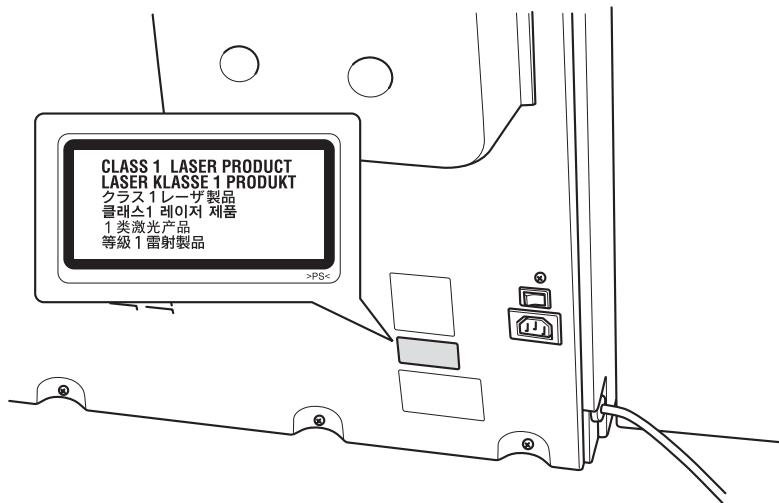


適合宣言文

レーザーの安全性

この製品はクラス3Bの半導体レーザーを使用しています。このレーザーダイオードの最大出力は15 mWで、波長は775 ~ 800 nmです。

この製品はクラス1レーザー製品として認定されています。レーザー光放射は保護カバーの中に完全に遮へいされていますので、このユーザーズガイドに記載の指示事項を守って使用するかぎり、ユーザー使用のどの段階においても、レーザー光が機外に漏れ出すことはありません。



オゾン放出

本機の使用中は、オゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピー / プリントを行ったりする場合には臭気が気になることがあります。快適な環境を保つために部屋の換気をおすすめします。

電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

この装置は、シールドタイプのインターフェースケーブルおよびネットワークケーブルを使用して下さい。ノンシールドケーブルを使用するとラジオやテレビジョン受信機の受信障害を引き起こすことがあります。

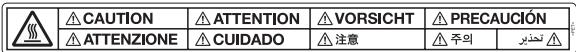
JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2に適合しています。

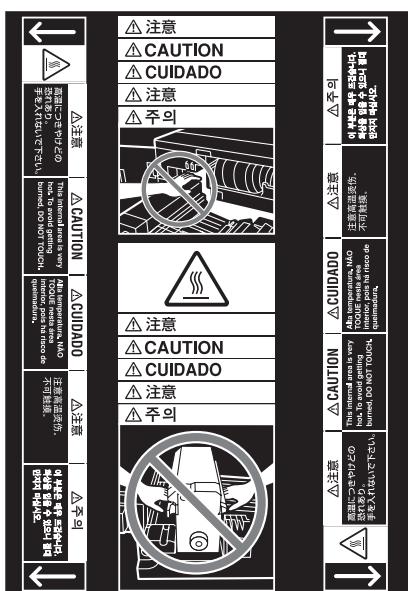
注意表記・注意ラベル

本機には以下に示す位置に安全に関する注意ラベルがあります。
紙づまり処理時などに事故のないようご注意ください。

(反転排紙ユニット入口)



(定着ユニット上面および左右側面)

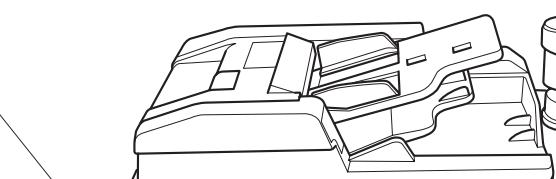
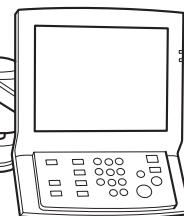


(ADF背面)



注意

ADFヒンジ部(2カ所)
に指を入れないでください！
挟まれてケガをすることがあります。
→ADFを開くときは
ご注意ください。



定着部に手を触れないでください！
火傷をする恐れがあります。
→定着搬送ユニットを引き出した
ときは、特にご注意ください。



本体と定着搬送ユニットの間の隙間に
手や腕を入れないでください！
思わぬ事故になることがあります。
→無理はせず、サービス実施店に
連絡してください。



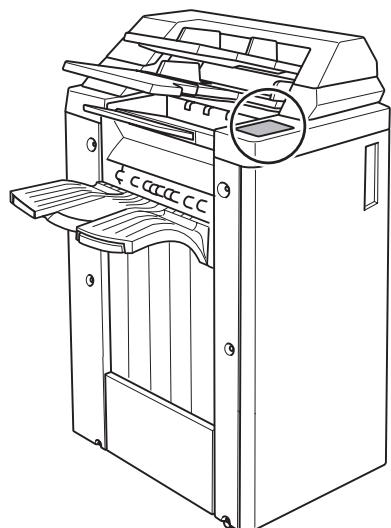
絶対にカバーを外さないで
ください！
内部にレーザー光源があり、
失明の恐れがあります。
→カバーを外す作業はサー
ビス実施店にお任せくだ
さい。



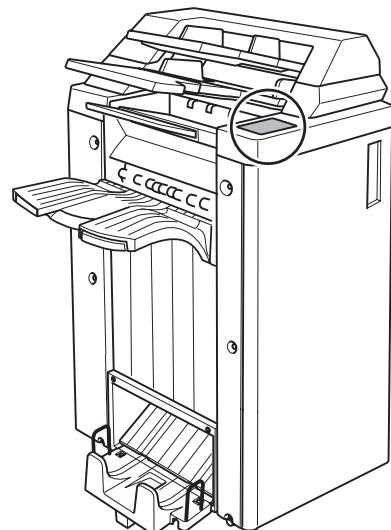
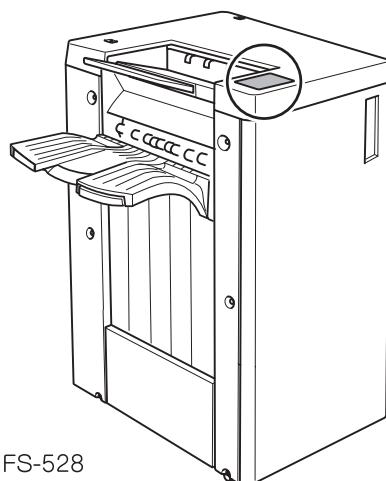
本体と定着搬送ユニットの隙間に
手や腕を入れないでください！
電気棒品の接続端子などに触れる
と故障の原因になったり、思わぬ
事故になることがあります。
→無理な作業はせず、サービス実
施店に連絡してください。

!
注意

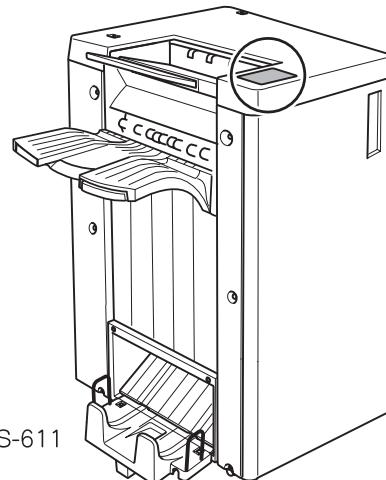
メイントレイ上の用紙を取り出すとき、
用紙の上に手を置いてまことにしないでく
ださい！
上昇するトレイと本体との間に指を挟む
など思わぬ事故になることがあります。
→用紙の手前側と奥側を持って取り出し
てください。



FS-528



FS-611

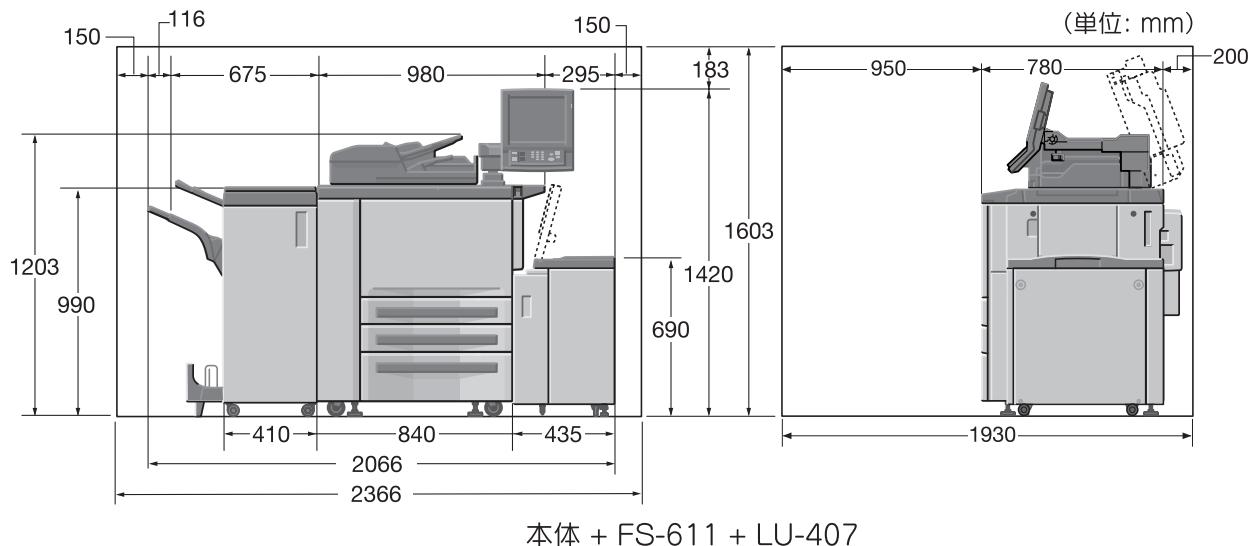
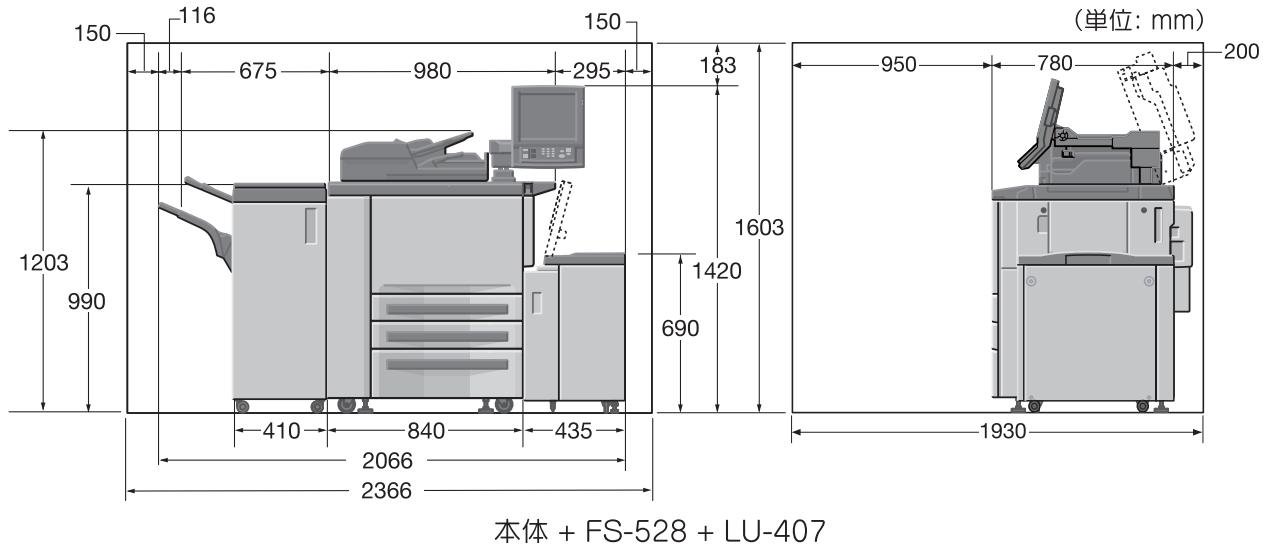


これらの注意表記・注意ラベルを見ずに触れると、感電や火傷など思わぬ事故になることがあります。
注意ラベルは、はがさないようにしてください。また、注意ラベルがはがれたり、汚れで見えない場合は、サービス実施店にお申し出ください。

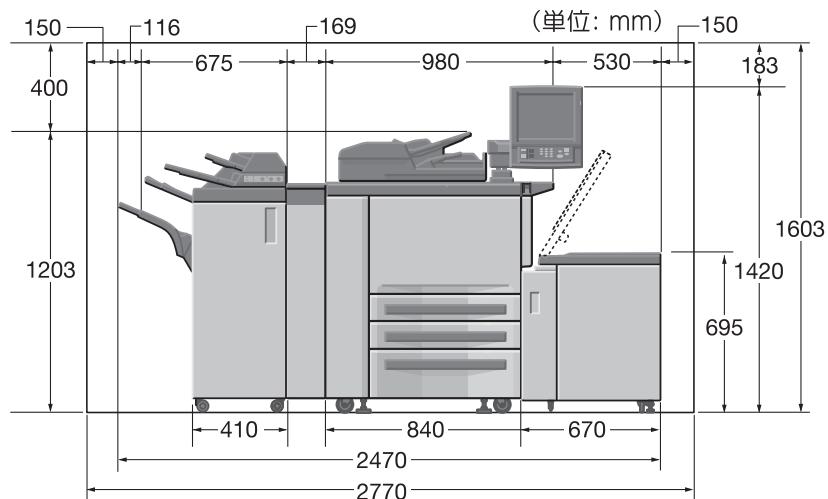
設置スペース

プリント操作、消耗品の補給、交換、定期点検が容易に行えるよう、十分な設置スペースをお取りください。

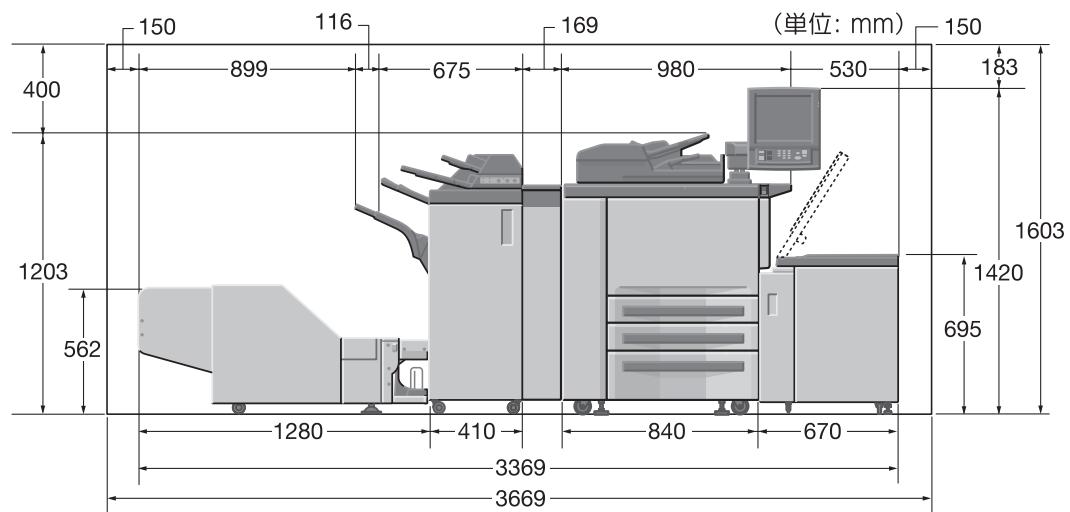
機械の質量は、オプションの組み合わせにより、最大約510kgになります。設置場所は、機械の質量に耐えられる丈夫で水平な場所をお選びください。



設置スペース(つづき)



本体 + FS-528 + PI-506 + ZU-607 + LU-408 (正面図)



本体 + FS-611 + PI-506 + ZU-607 + LU-408 + MK-721 + TU-502 (正面図)

使用上のご注意

本機を最良の状態でご使用いただくために、次の点にご注意ください。

設置電源

設置電源には以下の条件の電源を使用してください。

使用する電源は、電圧および周波数の変動が少ないものを使用してください。

電圧：AC 200 V

周波数：50 Hz/60 Hz

使用環境

いつも良い条件でご使用いただける環境の範囲は、以下の条件です。

使用温度 10 ~ 30

湿度 10% ~ 80%

トナー ボトルの取扱いについて

トナー ボトルを取り扱う場合、以下の項目をよく読み、取扱いには十分に注意してください。

- トナー ボトルは、無理に開けたりしないでください。
トナーが漏れ出した場合には、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。
- トナーが服や手についた場合には、石鹼を使って水でよく洗い流してください。
- トナーを吸入した場合には、新鮮な空気の場所に移動し、大量の水でよくうがいをしてください。
咳などの症状がでるようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーが目に入った場合には、ただちに流水で15分以上洗い流してください。
刺激が残るようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合には、口の中をよくすすぎ、コップ1、2杯の水をお飲みください。
必要に応じて医師の診察を受けてください。
- トナー ボトルは、幼児や子供の手の届かないところに保管してください。

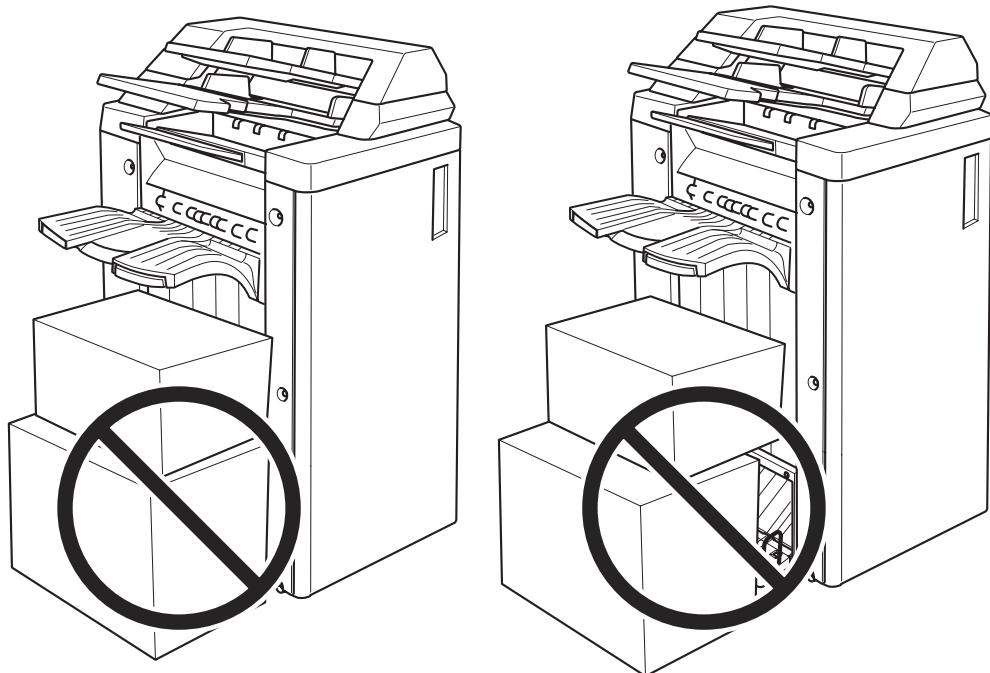
コピーの保存について

長期間保存される場合は、光や高温による退色、コピー面同士の吸着を防ぐため光の当たらない冷暗所に保管してください。また、一時的に保存する場合も光や高温を避けて保管してください。

コピーされたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けことがあります。

フィニッシャー使用時のご注意

フィニッシャーメイントレイの下に物を置かないでください。機械故障の原因になることがあります。



ご使用いただく前に

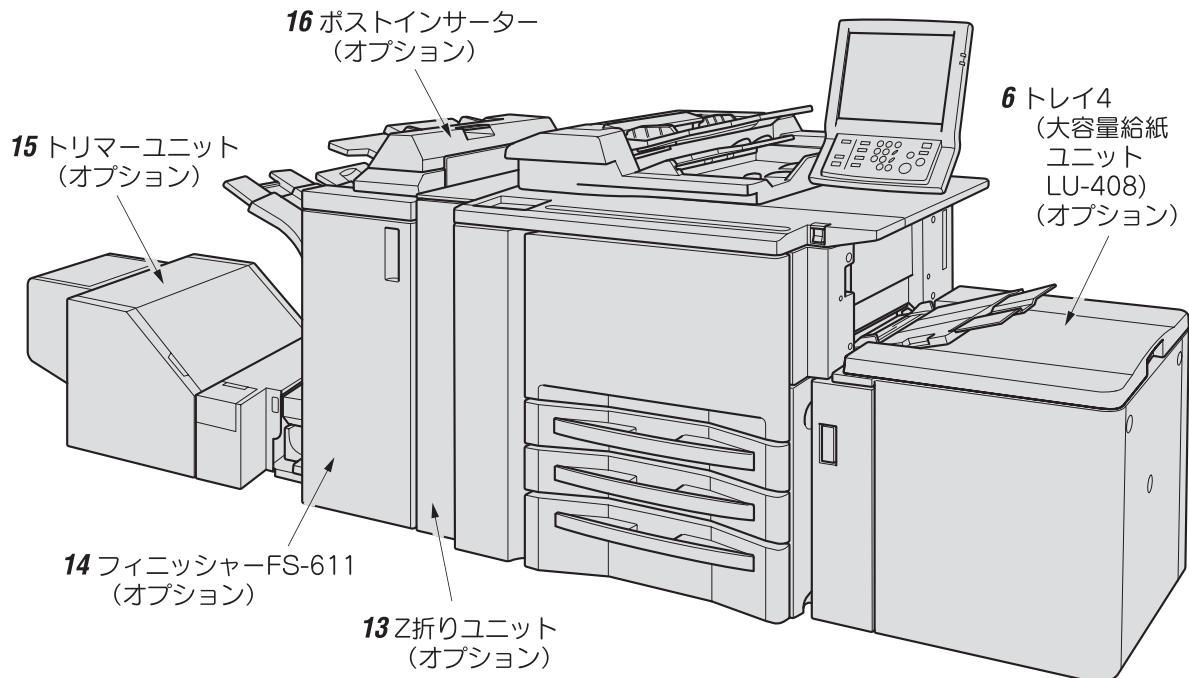
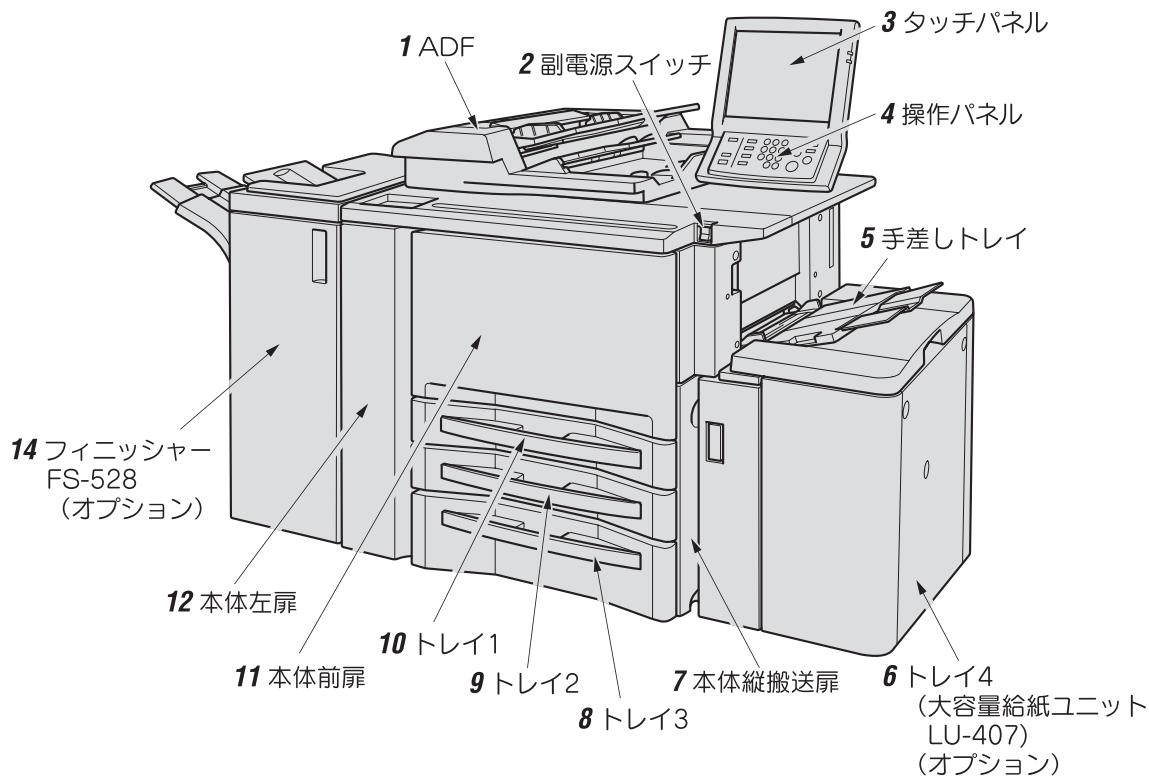
第2章

ご使用いただく前に知っておきたいことがらについて説明します。

各部の名称とはたらき	2-2
本体外部	2-2
本体内部	2-4
オプション構成	2-5
操作パネルと画面	2-6
操作パネル	2-6
コピー画面	2-8
機械の状態を表示する画面（機械状態画面）	2-10
大容量給紙ユニットLU-407 / LU-408	2-12
フィニッシャー FS-528 / FS-611 (+パンチキットPK-503)	2-13
ポストインサー PI-506	2-16
Z折りユニットZU-607	2-17
トリマーユニットTU-502	2-18
電源を入れる／切る	2-20
電源を入れる	2-20
電源を切る	2-22
自動的にコピー条件をリセットする（オートリセット）	2-23
パワーセーブランプが点灯する	2-24
機械を使用するための操作	2-24
自動的に節電状態になる（オートローパワー）	2-25
自動的に節電状態になる（オートシャットオフ）	2-26
手動で節電状態にする	2-27
使用時間を制限する（ウィークリータイマー）	2-28
ユーザー認証／部門認証を求められたとき	2-30

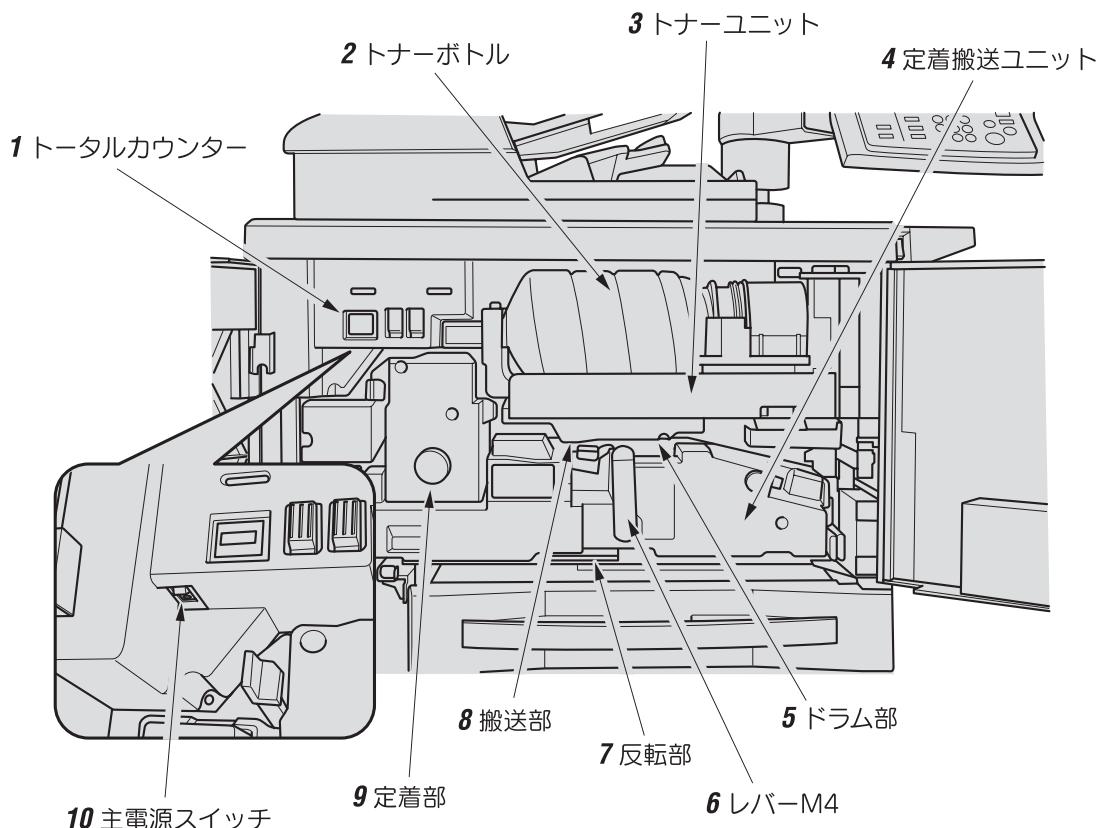
各部の名称とはたらき

本体外部



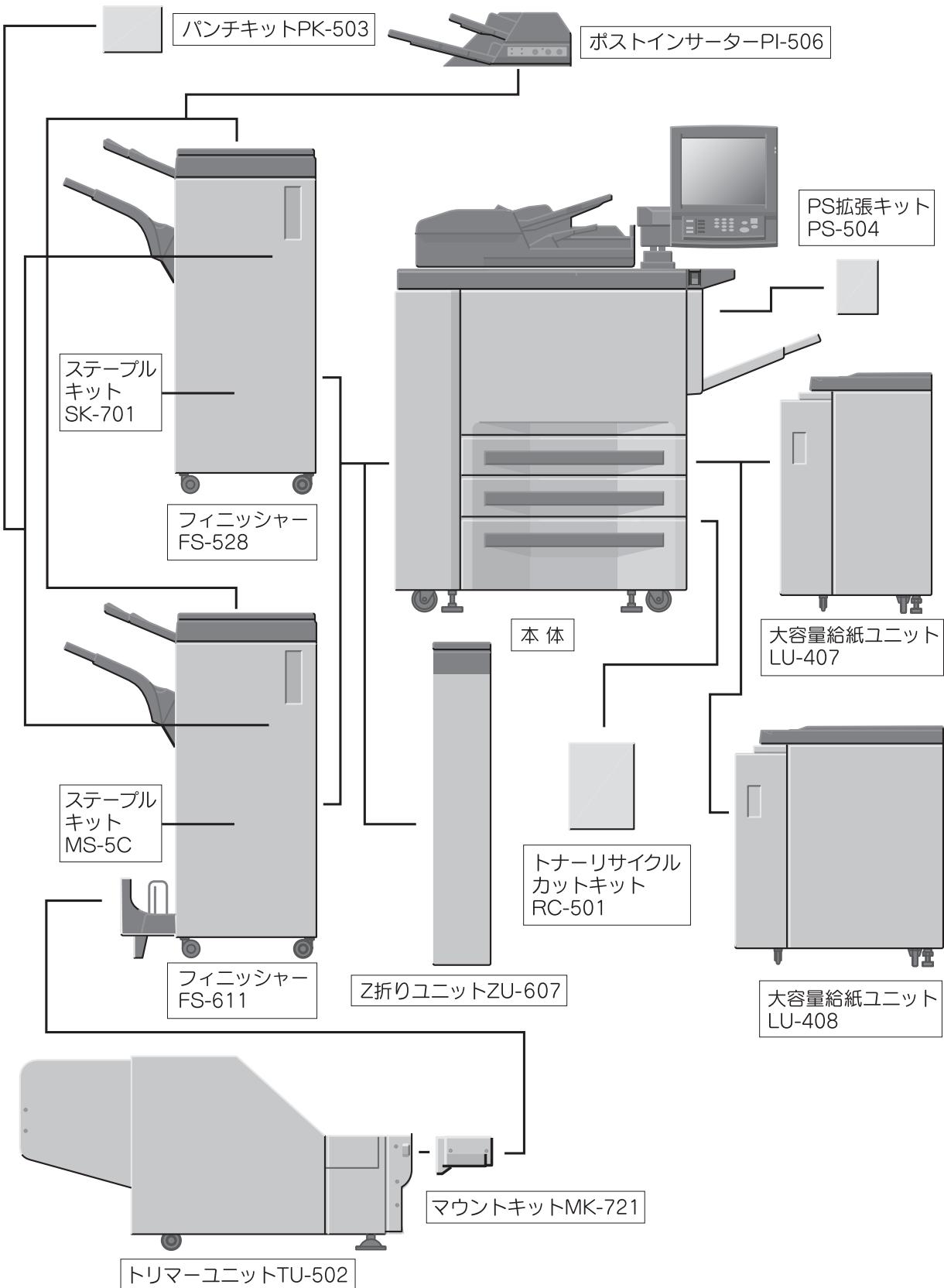
番号	名 称	説 明
1	ADF (自動原稿送り装置)	複数の原稿を自動的に1枚ずつ送り、原稿の画像を原稿読みガラス上でスキャンします。
2	副電源スイッチ	コピー、スキャンの機能をオン／オフします。オフになると、プリントのデータ受信、出力機能以外はオフになります。節電状態になります。
3	タッチパネル	コピー条件の表示および設定をします。詳細は、p. 2-8をごらんください。
4	操作パネル	本機の各種設定、動作スタートなどの操作をします。詳細は、p. 2-6をごらんください。
5	手差しトレイ	トレイ1～4にセットされていないサイズや種類の用紙にプリントするとき、開いてセットします。150枚($80\text{g}/\text{m}^2$)までセットできます。
6	トレイ4(大容量給紙ユニット LU-407/LU-408)(オプション)	5,000枚($64\text{g}/\text{m}^2$ 紙)(LU-407) / 4,500枚($64\text{g}/\text{m}^2$ 紙)(LU-408)の用紙を収納します。詳細は、p. 2-12をごらんください。
7	縦搬送扉	紙づまりのとき、開けて処理します。
8	トレイ3	80g/m ² の用紙を1,000枚収納します。収納できる用紙サイズ、坪量、枚数の詳細は、p. 3-2をごらんください。
9	トレイ2	80g/m ² の用紙を500枚収納します。収納できる用紙サイズ、坪量、枚数の詳細は、p. 3-2をごらんください。
10	トレイ1	80g/m ² の用紙を500枚収納します。収納できる用紙サイズ、坪量、枚数の詳細は、p. 3-2をごらんください。
11	本体前扉	紙づまりやトナー補給のときを開けて処理します。
12	本体左扉	主電源をオン／オフするときに開きます。また、紙づまりのとき、本体前扉といっしょに開けて処理します。
13	Z折りユニット(オプション)	用紙にファイリング用の穴をあけたり、用紙をZ折りにします。
14	フィニッシャー FS-528/FS-611 (オプション)	コピーした用紙を分類整理します。自動ステープル機能があります。オプションのパンチキットを装着すると、用紙にファイリング用に穴をあけることができます。詳細は、p. 11-17をごらんください。 FS-611は、中折り／中とじ機能があります。詳細は、p. 11-11をごらんください。
15	トリマーユニット(オプション)	小冊子の前小口を化粧断裁します。
16	ポストインサー(オプション)	フィニッシャー FS-528/FS-611と併用して、カバーシートを用紙に挿入したり、手動でフィニッシャーを使うことができます。詳細は、p. 11-20をごらんください。

本体内部



番号	名 称	説 明
1	トータルカウンター	出力された総画像枚数を表示します。
2	トナー ボトル	トナーが収納されています。
3	トナーユニット	トナー ボトルを交換するとき、手前に90度引き出します。
4	定着搬送ユニット	紙づまりのとき、引き出して処理します。定着搬送ユニットの各レバーやツマミに関しては、p. 5-7をごらんください。
5	ドラム部	コピー / プリント画像が形成される部分です。
6	レバー M4	紙づまりのとき、右に倒して定着搬送ユニットを引き出します。
7	反転部	コピー / プリントした用紙を反転させる部分です。
8	搬送部	コピー / プリントした用紙を定着部に搬送する部分です。
9	定着部	形成された画像を用紙に定着させる部分です。
10	主電源スイッチ	オフ / オンの切り替えはサービス実施店が行います。通常オフにしないでください。

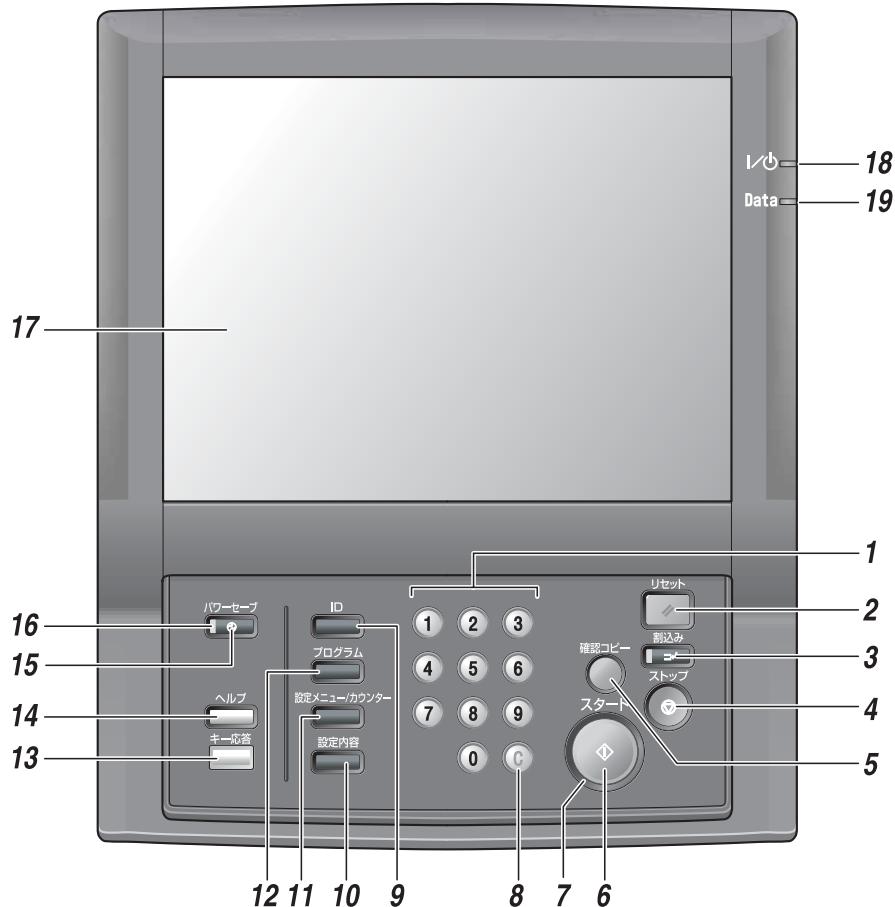
オプション構成



- | |
|------------|
| 各部の名称とはたらき |
| 操作パネルと画面 |
| コピー画面 |
| 電源を入れる／切る |
| オートリセット |
| パワーセーブランプ |
| ユーザ認証／部門認証 |

操作パネルと画面

操作パネル



番号	名 称	説 明
1	テンキー	コピー部数の設定、パスワードの入力などのときに押します。
2	【リセット】ボタン	コピー条件を初期状態にもどすときに押します。
3	【割込み】ボタン	コピー、プリント、スキャン作業中、他のコピー条件でコピーしたいときに押します。
4	【ストップ】ボタン	コピー動作を中断するとき、スキャンした画像データを消去するときに押します。
5	【確認コピー】ボタン	設定したコピー条件確認のため、1部出力するときに押します。
6	【スタート】ボタン	各機能を開始するときに押します。
7	【スタート】ランプ	動作開始が可能なとき、青色になります。動作開始ができないときはオレンジ色になります。
8	枚数クリアボタン	設定したコピー部数を変更するときに押します。
9	【ID】ボタン	ユーザー認証/部門管理設定で機械を使用している場合、ふたたびユーザー認証/部門認証しないと機械を使用できないようにするときに押します。
10	【設定内容】ボタン	現在設定されているコピー条件を確認する設定内容画面を表示させるときに押します。

番号	名 称	説 明
11	【設定メニュー / カウンター】ボタン	設定メニュー画面やカウンターを表示させるときに押します。
12	【プログラム】ボタン	任意のコピー条件の書込み/読み出し、直前のコピー条件を呼び出すときに押します。
13	【キー応答】ボタン	タッチパネルや操作パネルのボタンを押したときの応答時間を調整するときに押します。
14	【ヘルプ】ボタン	現在タッチパネルに表示されている画面の操作方法を説明するヘルプ画面を表示させるときに押します。
15	【パワーセーブ】ボタン	【パワーセーブ】ランプが点灯しているとき、機械を使用できるようにするときに押します。また手動でパワーセーブモードにするとき押します。
16	【パワーセーブ】ランプ	シャットオフ / ローパワーなどのパワーセーブモードが働いているとき、ウィークリータイマーが働いて機械がオフになっているときに点灯します。
17	タッチパネル	各種画面が表示され、機能の設定をします。
18	電源ランプ	主電源スイッチを入れると赤色に点灯し、副電源スイッチを入れると緑色に変わります。
19	データランプ	プリントデータ受信中に点滅します。

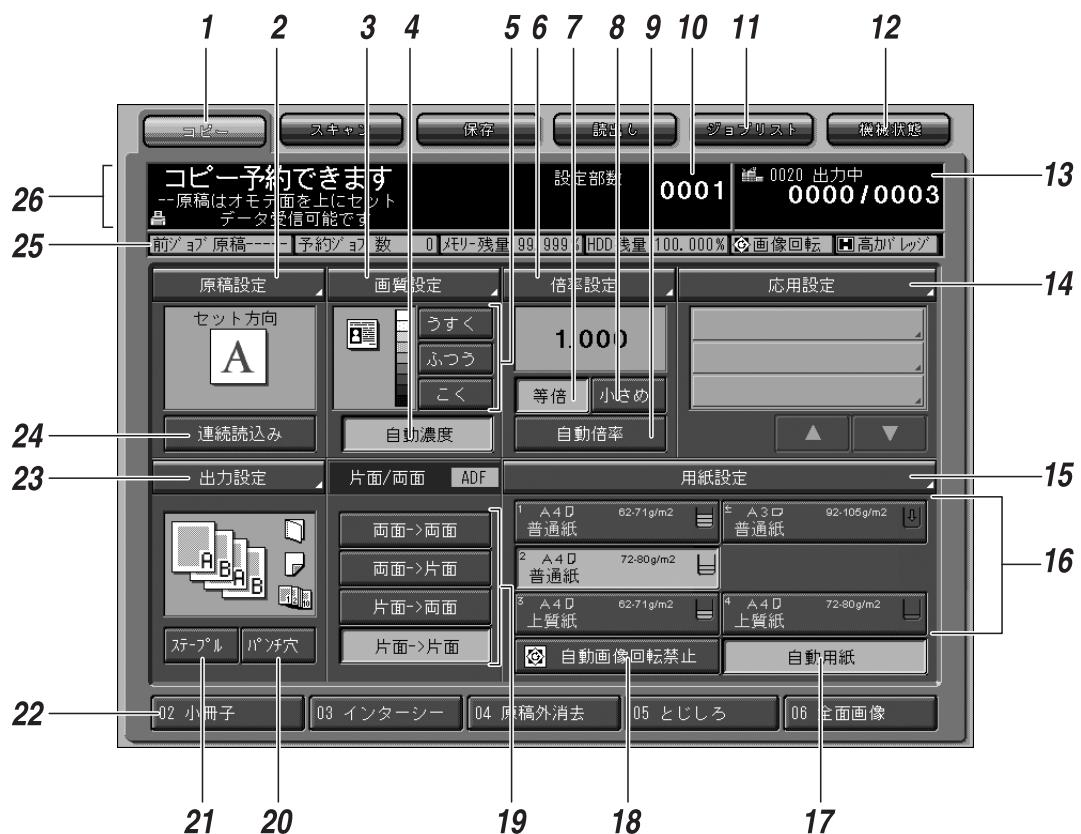


先のとがったものでタッチパネルを押したり、タッチパネルに強い力を加えると、傷が付いたり破損の原因になります。そのようなことはしないでください。

コピー画面

コピー画面は、コピーをするときに表示させます。コピー条件の設定、実行、また動作中のコピー予約をします。

(「スキャン」、「保存」、「読み出し」タブの説明は、p. 2-10をごらんください。)



番号	名 称	説 明
1	「コピー」タブ	コピー画面を表示させるときに押します。
2	〔原稿設定〕	原稿設定画面でスキャンする原稿の条件を設定するときに押します。
3	〔画質設定〕	画質設定画面で原稿画質の設定や下地調整を行うときや、登録した濃度設定を呼び出すときに押します。
4	〔自動濃度〕	自動濃度を設定するときに押します。
5	〔濃度調整ボタン〕	コピーを濃くしたいときは〔こく〕、淡くしたいときは〔うすく〕、通常の濃度にしたいときは〔ふつう〕を押します。
6	〔倍率設定〕	固定倍率、任意倍率、ズーム、タテ／ヨコ独立倍率の設定をするときに押します。
7	〔等倍〕	等倍に設定するときに押します。
8	〔小さめ〕	原稿サイズより少し小さめに縮小(93.0%)し、センタリングしてコピーするときに押します。
9	〔自動倍率〕	自動倍率に設定するときに押します。
10	〔設定部数〕	操作パネルのテンキーで設定したコピー部数を表示します。
11	〔ジョブリスト〕タブ	ジョブリスト画面を表示させるときに押します。

ご使用いただく前に
各部の名称と はたらき
操作パネル と画面
コピー画面
電源を入れる ／切る
オート リセット
パワーセーブ ランプ
ユーザ認証 ／部門認証

番号	名 称	説 明
12	〔機械状態〕タブ	機械状態画面を表示させるときに押します。機械にトラブルがあったとき、オレンジ色に点滅します。
13	出力部数表示部	出力中に出力部数が表示されます。
14	〔応用設定〕	応用機能を設定するときに押します。
15	〔用紙設定〕	トレイに設定されている用紙設定を変更するときに押します。変更した用紙設定は、用紙条件として登録できます
16	〔トレイ〕	各トレイに設定されている用紙設定および残量が表示されます。
17	〔自動用紙〕	自動用紙機能を使用するときに押します。
18	〔自動画像回転禁止〕	自動画像回転機能をオフ／オンするときに押します。
19	〔片面／両面〕	原稿および用紙の片面、両面の設定をします。 原稿ガラスに原稿をセットしたとき〔ADF〕表示は消灯します。
20	〔パンチ穴〕	パンチするときに押します。
21	〔ステープル〕	ステープルするときに押します。
22	〔ファンクション〕	あらかじめ登録されている設定メモリーを5つまで割り当てられています。その設定メモリーをワンタッチで呼び出しコピーするときに押します。
23	〔出力設定〕	出力の設定をするときに押します。
24	〔連続読み込み〕	画像をメモリーに一時保存するときに押します。
25	機械管理アイコン	前ジョブ原稿の枚数、予約ジョブ数、メモリー残量、HDD容量残量が表示されます。その右側に表示優先順に〔セキュリティー〕、〔トナー補給〕、〔定期点検〕、〔モデル異常〕、〔資材〕、〔定着ウェブ交換〕、〔高カバレッジ〕、〔画像回転〕、〔タンデム〕、〔HDD保存〕のアイコン+文字が表示されます。2つまではアイコンと文字が表示されます。3~5個の場合は、1つをアイコン+文字表示し残りはアイコンのみの表示になり、6個以上になると全てアイコン表示になります。
26	メッセージ表示部	機械の状態やそのときにしなければならない操作を表示します。

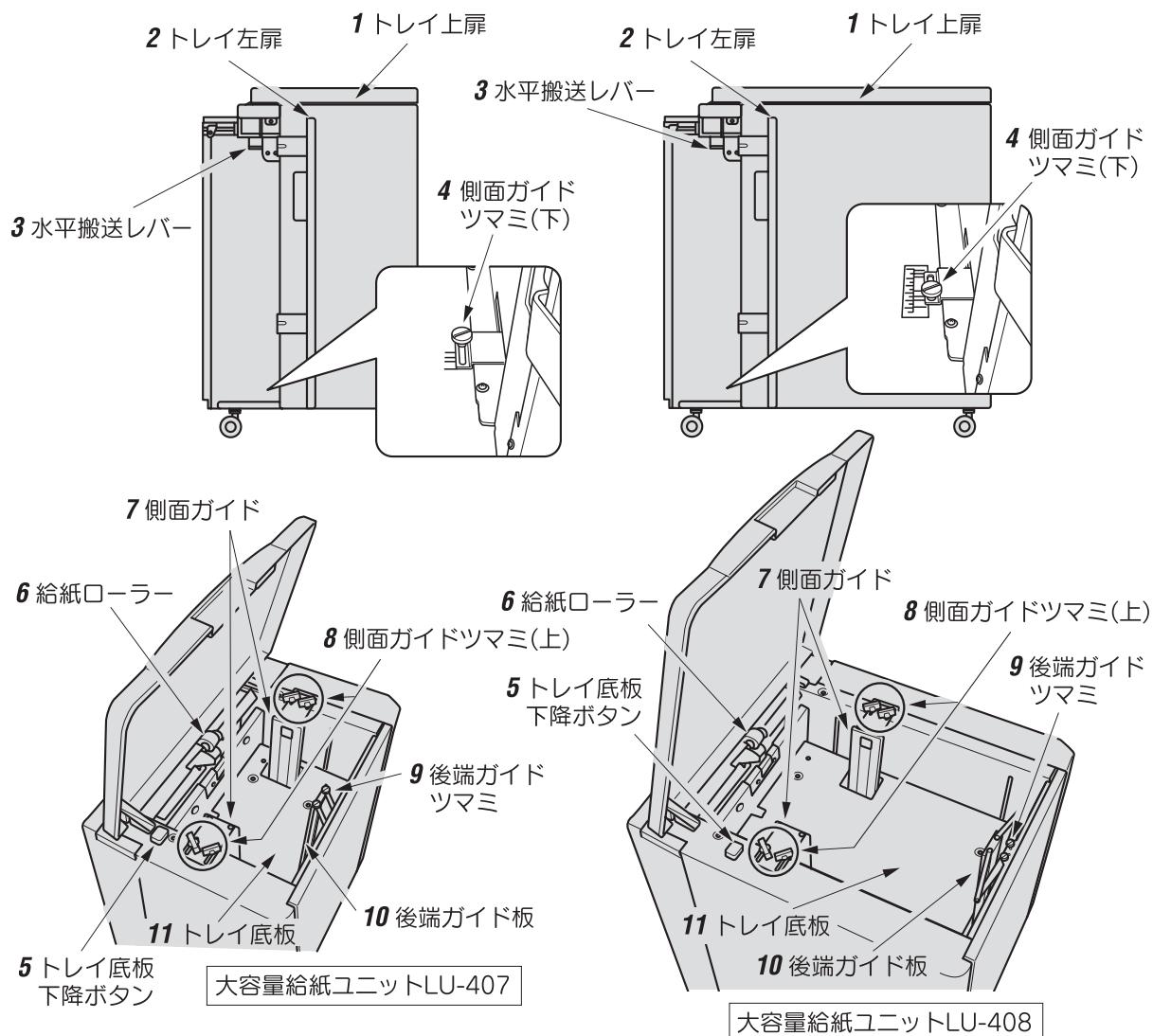
機械の状態を表示する画面（機械状態画面）
電源をオンにすると表示されます。



番号	名 称	説 明
1	[Copy] タブ	コピー画面を表示させるときに押します。
2	[Scan] タブ	スキャン操作の画面を表示させるときに押します。詳しくは、ユーザーズガイドネットワークスキャナー編をごらんください。
3	[Save] タブ	スキャンデータの保存先を指定するときに押します。詳しくは、ユーザーズガイドネットワークスキャナー編をごらんください。
4	[Readout] タブ	スキャンデータを読出すときに押します。詳しくは、ユーザーズガイドネットワークスキャナー編をごらんください。
5	[Job List] タブ	ジョブリスト画面を表示させるときに押します。
6	[機械状態] タブ	機械状態画面を表示させるときに押します。 機械にトラブルがあったときに赤く点滅します。
7	出力部数表示部	出力中に設定部数と出力部数が表示されます。
8	トレイ用紙設定リスト	各トレイに設定されている用紙設定が表示されます。またポストインサーにセットした用紙サイズを表示したり、使用しているトレイを違う色で表示します。
9	ジョブリスト	機械に設定されているジョブリストが、リアルタイムに表示されます。
10	[現ジョブの原稿カウンター数]	現在コピーしている原稿のカウント枚数を表示します。

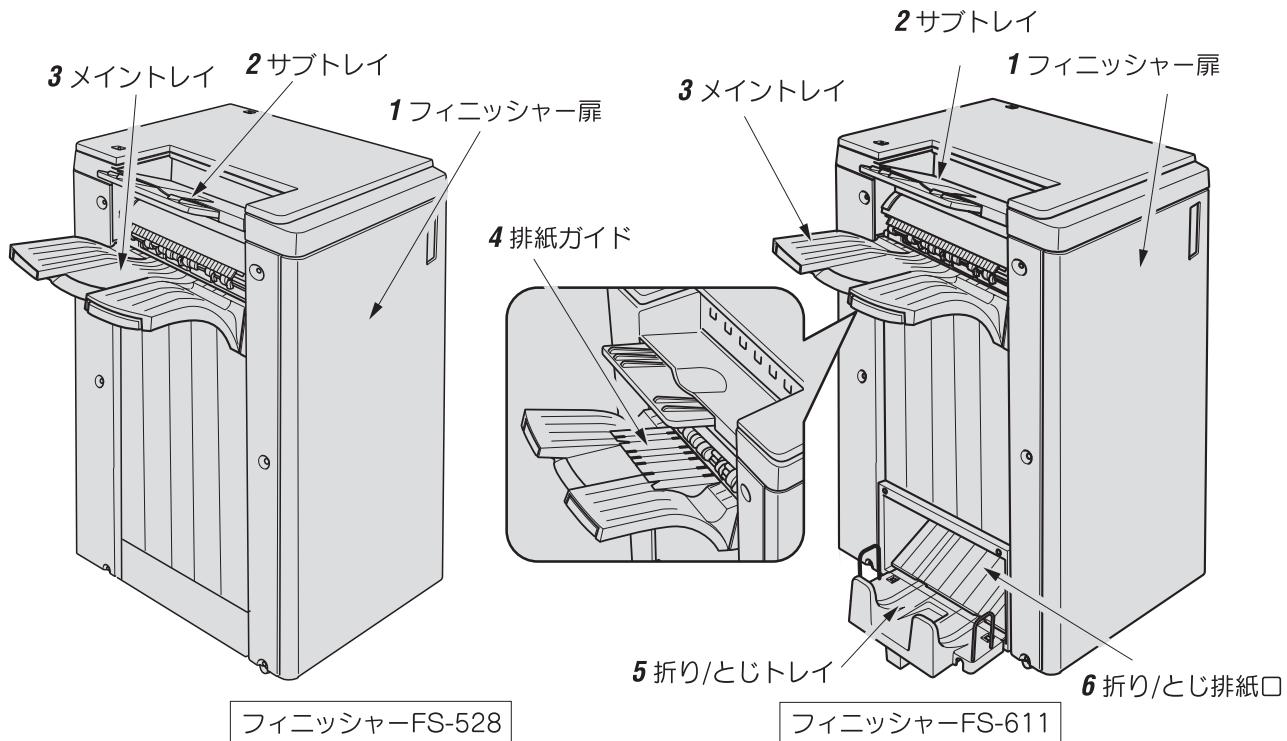
番号	名 称	説 明
11	〔コントローラー設定〕	コントローラーの設定をするときに押します。
12	〔調整〕	機械やオプションの調整をするときに押します。
13	〔不定形サイズ登録〕	不定形サイズを登録するときに押します。
14	〔用紙設定〕	トレイに設定されている用紙設定を変更するとき、用紙条件を登録するとき、登録した用紙条件を削除するとき、押します。また、ポストインサーテー上段／下段トレイの検知サイズを選択するときに押します。
15	オプション状態表示部	装着されているオプションの針補給、くず処理を赤く点灯して知らせます。
16	機械状態表示部	機械扉が開いていることを表示します。
17	スキャンメッセージ	ADF / 原稿ガラスの原稿スキャンの状態を表示します。
18	機械管理アイコン	前ジョブ原稿の枚数、予約ジョブ数、メモリー残量、HDD容量残量が表示されます。その右側に表示優先順に〔セキュリティー〕、〔トナー補給〕、〔定期点検〕、〔モデル異常〕、〔資材〕、〔定着ウェブ交換〕、〔高カバレッジ〕、〔画像回転〕、〔タンデム〕、〔HDD保存〕のアイコン+文字が表示されます。2つまではアイコンと文字が表示されます。3~5個の場合は、1つをアイコン+文字表示し残りはアイコンのみの表示になり、6個以上になると全てアイコン表示になります。
19	メッセージ表示部	トナー補給、定期点検や資材、出力に関する状態メッセージが表示されます。

大容量給紙ユニット LU-407 / LU-408

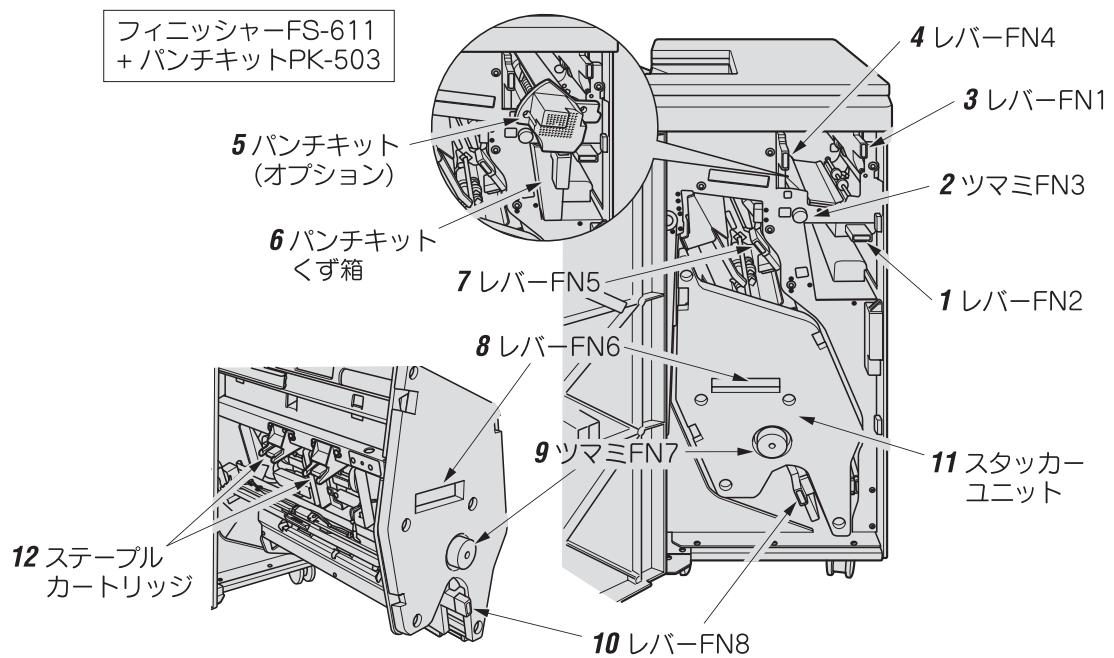
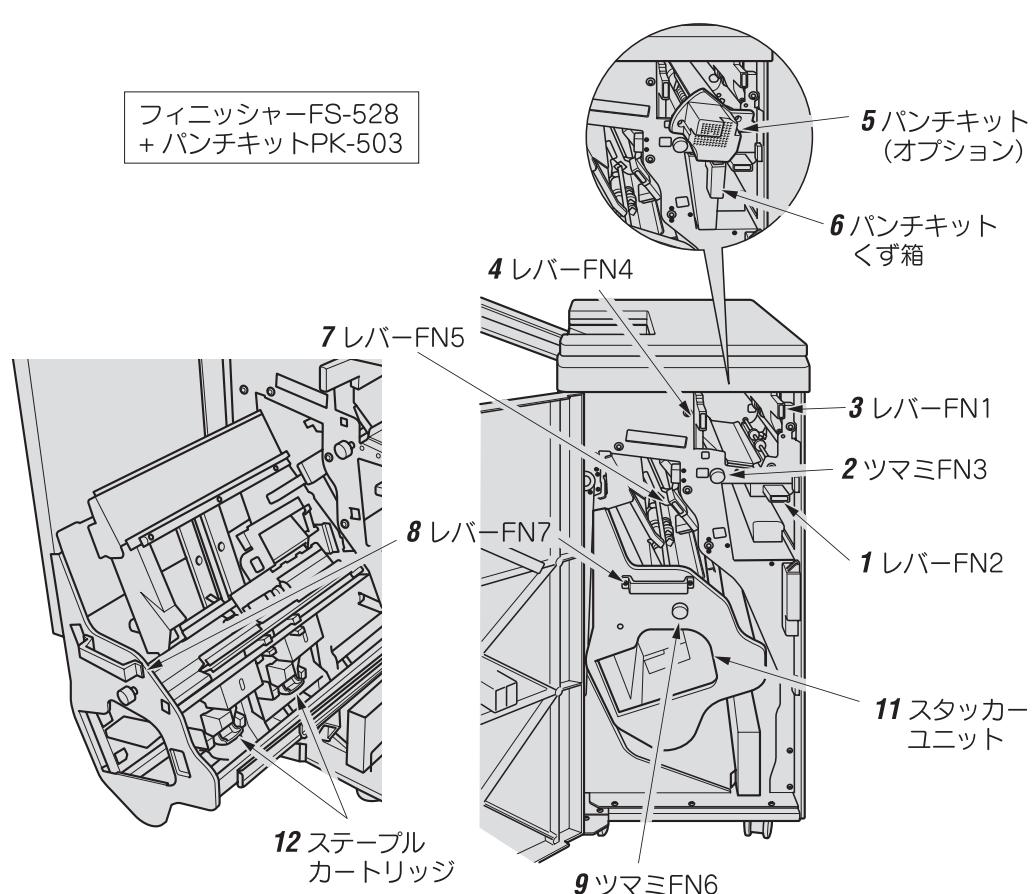


番号	名 称	説 明
1	トレイ上扉	用紙の補給または紙づまりのとき開けて処理します。
2	トレイ左扉	紙づまりのとき開いて処理します。
3	水平搬送レバー	紙づまりのとき下に開いて処理します。
4	側面ガイドツマミ(下)	収納する用紙サイズを変更するときに回します。
5	トレイ底板下降ボタン	用紙補給のときに押してトレイ底板を下降させます。
6	給紙ローラー	本体に用紙を送ります。
7	側面ガイド	セットする用紙の側面部を固定します。
8	側面ガイドツマミ(上)	収納する用紙サイズを変更するときに回します。
9	後端ガイドツマミ	後端ガイド板を動かしたり、固定するときに回します。
10	後端ガイド	セットする用紙の後端を固定します。
11	トレイ底板	用紙が使われるごとに上に上がります。トレイ底板下降ボタンを押すと下降します。

フィニッシャー FS-528 / FS-611 (+パンチキットPK-503)

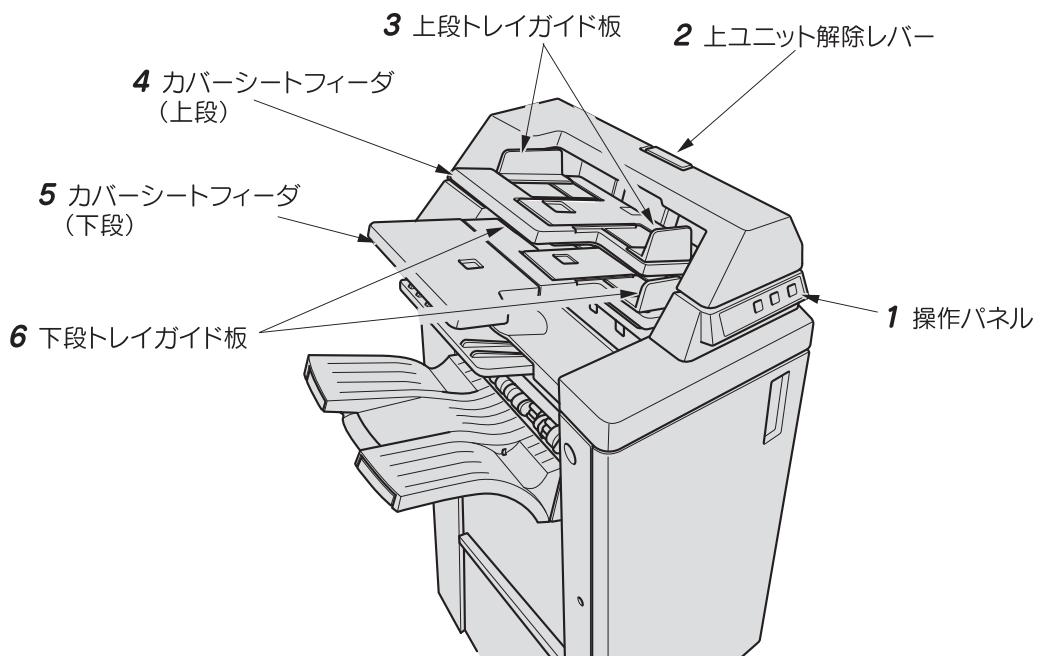


番号	名 称	説 明
1	フィニッシャー扉	ステープル針を補給するとき、紙づまり処置のとき、またパンチキットPK-503を装着しているときはパンチくずを処理するときに開きます。
2	サブトレイ	設定された出力順(ソート/グループ/フェイスアップ/フェイスダウン)に出力されます。
3	メイントレイ	設定された出力順(ソート/グループ/フェイスアップ/フェイスダウン)に出力されます。オフセットによる仕分けができます。また、Z折りユニットZU-607装着機の場合、Z折りされた用紙が出力されます。
4	排紙ガイド	用紙がメイントレイ上で大きくカールして出力されるときに、メイントレイにセットします。通常はフィニッシャー背面のガイドホルダーに入れておきます。
5	折り／とじ排紙トレイ	中折り／中とじ／3つ折りされた用紙がここに収納されます。
6	折り／とじ排紙口	中折り／中とじ／3つ折りモードを設定したとき、ここから排紙されます。



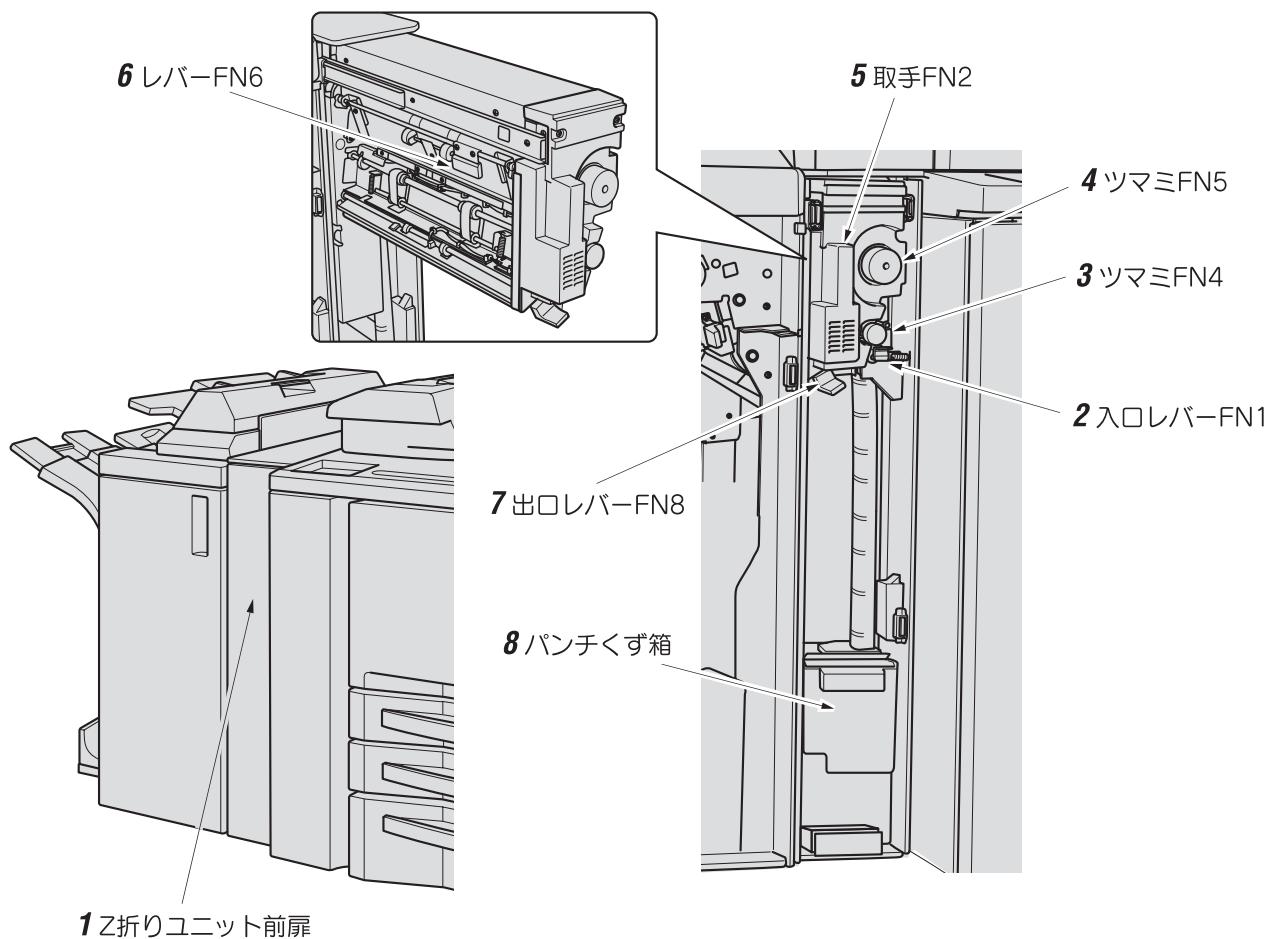
番号	名 称	説 明
1	レバー FN2	紙づまりのとき、下に開いて処理します。
2	ツマミ FN3	紙づまりのとき、回して処理します。
3	レバー FN1	紙づまりのとき、左に開いて処理します。
4	レバー FN4	紙づまりのとき、右に開いて処理します。
5	パンチキット (オプション)	用紙にパンチ穴をあけます。
6	パンチキットくず箱 (オプション)	パンチくずが貯められています。 パンチくずを捨てるとき、引き出して処理します。
7	レバー FN5	紙づまりのとき、左下に開いて処理します。
8	レバー FN7 (FS-528) / レバー FN6 (FS-611)	スタッカーユニット部での紙づまりまたは針補給のとき、持ってユニットを引き出します。
9	ツマミ FN6 (FS-528) / ツマミ FN7 (FS-611)	紙づまりのとき、回して処理します。
10	レバー FN8	紙づまりのとき、スタッカーユニットを引き出した後、左に開いて処理します。
11	スタッカーユニット	ステープラが装備されています。FS-611は、加えて中折り / 中とじ / 3つ折りをする装置が装備されています。
12	ステープルカートリッジ	針補給のとき、取り外してステープルカートリッジを交換します。

ポストインサーター PI-506



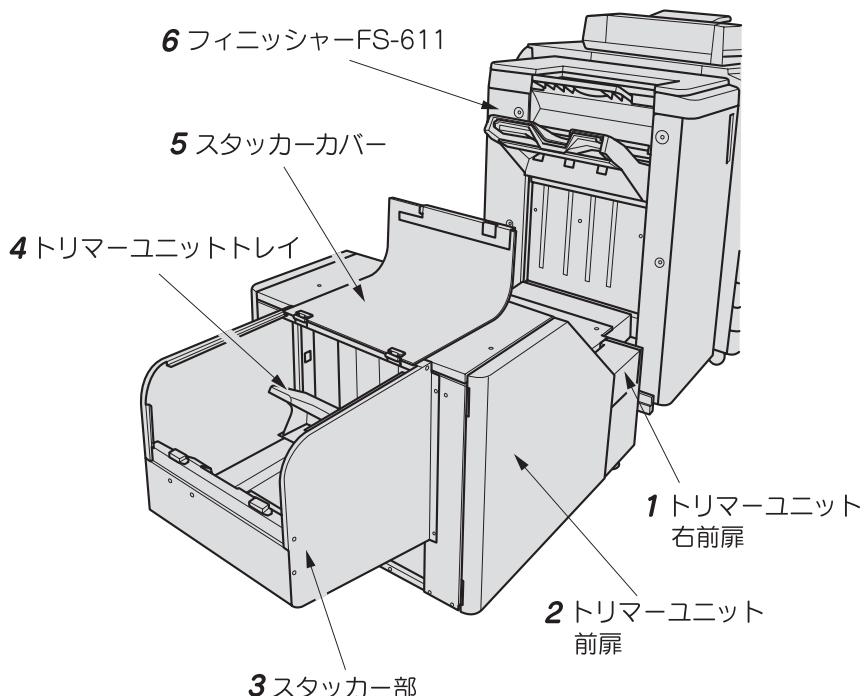
番号	名 称	説 明
1	操作パネル	手動でフィニッシャーを使うときに操作します。
2	上ユニット解除レバー	紙づまりのとき、このレバーを上に上げてポストインサーターの上ユニットを左にスライドさせて処理します。
3	上段トレイガイド板	カバーシートをセットしたとき、沿わせます。
4	カバーシートフィーダー (上段)	カバーシートをセットします。
5	カバーシートフィーダー (下段)	カバーシートをセットします。手動で処理する用紙をセットします。
6	下段トレイガイド板	カバーシートをセットしたとき、沿わせます。

Z折りユニットZU-607



番号	名 称	説 明
1	Z折りユニット前扉	紙づまりやパンチくずを処理するときを開きます。
2	入口レバー FN1	紙づまりのとき、開いて処理します。
3	ツマミFN4	紙づまりのとき、回して処理します。
4	ツマミFN5	紙づまりのとき、回して処理します。
5	取手FN2	紙づまりのとき、ここを持ってユニットを引き出します。
6	レバー FN6	紙づまりのとき、開いて処理します。
7	出口レバー FN8	紙づまりのとき、開いて処理します。
8	パンチくず箱	パンチくずが貯まります。パンチくずを捨てるとき、引き出して処理します。

トリマーユニットTU-502

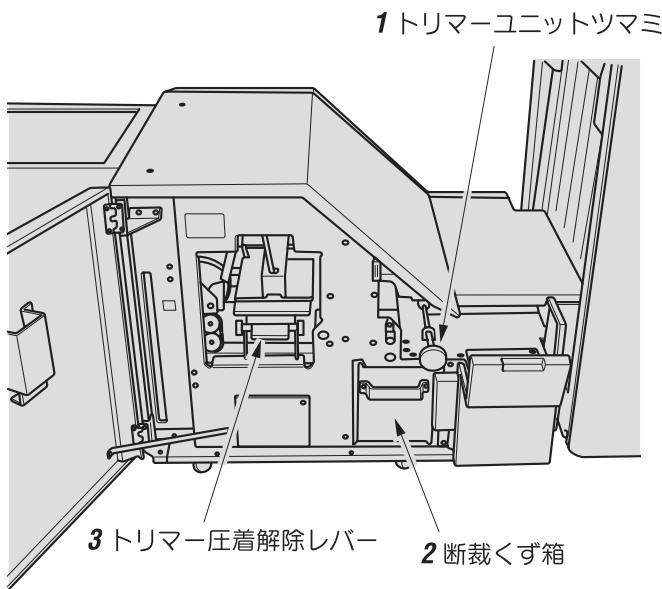


番号	名 称	説 明
1	トリマーユニット右前扉	紙づまりのとき、開けて処理します。
2	トリマーユニット前扉	紙づまりや切りくずを捨てるとき、開けて処理します。
3	スタッカーパート	フィニッシャーやトリマーユニットで処理された用紙を積載します。
4	トリマーユニットトレイ	フィニッシャーやトリマーユニットで処理された用紙が出力されるごとに左にスライドします。
5	スタッカーカバー	積載された用紙を取り出すときに開きます。
6	フィニッシャー FS-611	トリマーユニットを取り付けられるフィニッシャーです。

 詳しく説明します

トリマーユニットトレイは出力時に左側にスライドします。トレイ左側に用紙や資材などを置かないでください。思わぬトラブルになります。

トリマーユニットのスタッカーパートの内側および外側に無理な荷重をかけないでください。故障の原因になります。



番号	名 称	説 明
1	トリマーユニットツマミ	紙づまりのとき、回してつまつた紙を取り除きます。
2	断裁くず箱	断裁でできた断裁くずが貯まります。断裁くずを捨てるとき引き出して処理します。
3	トリマー圧着解除レバー	紙づまりのとき、開いてつまつた紙を取り除きます。

電源を入れる / 切る

本機には主電源スイッチと副電源スイッチの2つの電源スイッチがあります。

電源を入れる

1

主電源スイッチをオンにします。

主電源スイッチは本体内部にあります。

本体前扉を開き、本体左扉を開きます。

操作パネルの電源ランプが赤色に点灯します。



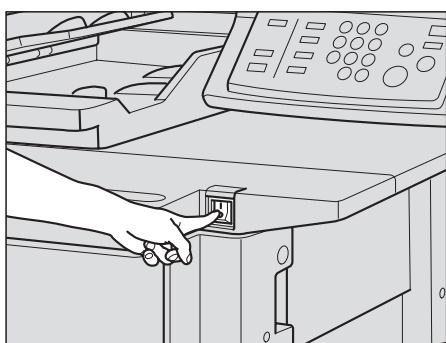
主電源スイッチは通常オンの状態にしたままにし、オン／オフの操作はしないでください。



2

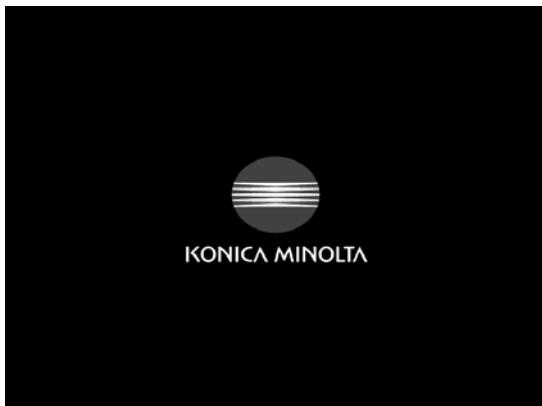
副電源スイッチをオンにします。

操作パネルの電源ランプが緑色に点灯します。



ウェイクアップ画面とウォームアップ画面が表示されます。

電源を入れる / 切る(つづき)



ウォームアップ表示されている機械状態画面にタッチすると、ジョブリストが表示された機械状態画面に変わります。



ウォームアップ中の原稿スキャンの詳細は、p. 8-12をごらんください。

ウェイクアップ画面につづき、ウォームアップ表示されている機械状態画面（4種類）が表示されます。
ウォームアップに約5分30秒かかります。
ウォームアップ中に原稿スキャンし、コピー可能になったとき、出力することができます。

3

コピー可能になると、「プリントできます」と表示されます。

- 設定メニュー画面で電源投入後に表示される画面が変更されていることがあります。
- 機械を動作させるためにユーザー認証／部門管理の名前やパスワードの入力が必要な場合があります。
- キーカウンターやコピーカードの挿入を指示されることがあります。指示に従ってください。

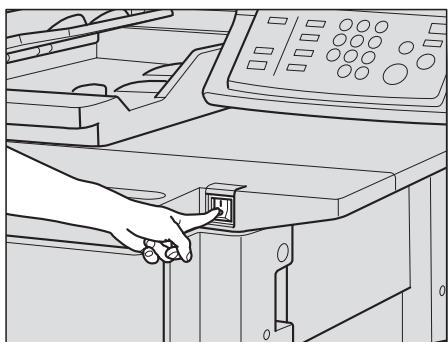


- 電源投入後の表示画面の選択の詳細は、POD管理者編のp.5-19をごらんください。
- ユーザー認証／部門管理に関しては、p. 2-30をごらんください。

電源を切る

1 副電源スイッチをオフにします。

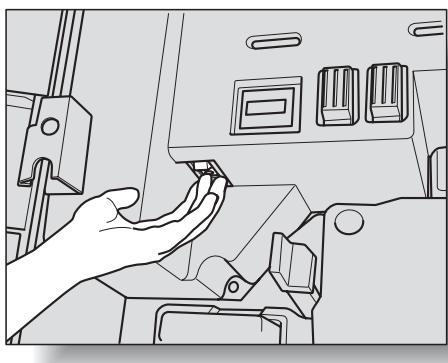
タッチパネルの表示が消え、操作パネルの電源ランプが緑から赤にかわり、それ以外のランプはすべて消灯します。



ウィークリータイマーを設定している場合、副電源スイッチをオフにしないでください。副電源スイッチをオフにすると、ウィークリータイマーは機能しなくなります。

2 主電源スイッチをオフにします。

主電源スイッチは本体内部にあります。
本体前扉を開き、本体左扉を開きます。



「電源OFF処理中です 主電源を切らないで下さい」の表示が消えてから主電源スイッチをオフにしてください。



- 主電源スイッチは通常オフにしないでください。
- 主電源スイッチをオフ / オンするときは、主電源スイッチをオフにして必ず10秒以上経過してからオンにしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

自動的にコピー条件をリセットする（オートリセット）

操作パネルの【リセット】を押さなくても、本機を操作しなくなつてから一定時間が経過すると、任意に設定したコピー条件が取り消され、リセットされます。これをオートリセットといいます。

出荷時設定では、1分を経過するとオートリセットが機能します。オートリセットが機能する時間は、設定メニュー画面で選択できます。

リセット時のコピー条件としてフルオートと初期設定のいずれかを選択できます。この選択は設定メニュー画面で行います。出荷時設定では、フルオートが選択されています。

フルオートのコピー条件

フルオートの設定は変更できませんが、出力設定の初期設定だけ任意に変更することができます。

- 原稿設定：標準
- 倍率設定：等倍
- 応用設定：なし
- 画質調整：標準
- 出力設定：設定メニュー画面で変更可能
- 片面/両面：片面▶片面
- 用紙設定：自動用紙



- オートリセットが機能する時間の選択に関しては、POD管理者編のp. 5-20をごらんください。
- フルオートと初期設定の選択に関してはPOD管理者編のp. 5-39をごらんください。



出力設定のフルオートのコピー条件の変更に関しては、POD管理者編のp.5-41をごらんください。

パワーセーブランプが点灯する

パワーセーブランプが点灯しているときは、パワーセーブが機能しているか、ウィークリータイマーが機能しています。いずれもそのままでは機械を使用することができません。



機械を使用するための操作

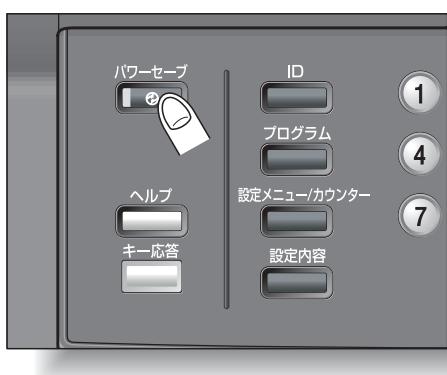
1 操作パネルのいずれかのボタンを押します。

操作パネルのいずれかのボタンを押しても反応がない場合は、【パワーセーブ】を押します。



パワーセーブには、オートローパワーとオートシャットオフの2つのモードがあります。詳細はp. 2-25 ~ p. 2-26をごらんください。

手動でパワーセーブを機能させることができます。詳細は、p. 2-27をごらんください。



パワーセーブが機能していた場合は、コピー可能状態にもどります。

ウィークリータイマー機能が働いていると、機械状態画面が表示され、メッセージ表示部に「一時的にウィークリータイマーを解除します パスワードを入力してください」と表示されます。時間外に機械を使用することができます。詳細は、p. 2-28をごらんください。

自動的に節電状態になる（オートローパワー）

オートローパワーは機械の消費電力を節約するための機能です。

コピー可能な状態でコピーせずに一定時間（工場出荷時設定は15分）経過すると、【パワーセーブ】ランプが点灯し、タッチパネルが消え、操作パネルの【スタート】ランプがオレンジ色に変わり、そのほかのランプは消えます。電源ランプは緑に点灯しつづけます。



設定メニュー画面でオートローパワーの機能をオフにしたり、設定時間を変更できます（1分、3分、5分、10分、15分、30分、60分、90分、120分、240分）。詳細はPOD管理者編のp. 5-49をごらんください。



オートローパワーとオートシャットオフの設定時間が同じ場合、シャットオフが機能します。
ジャム位置画面や両面コピー中の画面が表示されているときは、タッチパネルは消えません。

ローパワーモードの解除のしかた

タッチパネルのボタンや操作パネルのボタンのいずれかを押すと、コピー可能な状態にもどります。

自動的に節電状態になる(オートシャットオフ)

オートシャットオフは、オートローパワーよりもさらに消費電力を節約するための機能です。

コピー可能な状態でコピーせずに一定時間(工場出荷時設定は90分)経過すると、【パワーセーブ】ランプが点灯し、タッチパネルが消え、操作パネルの全てのランプが消えます。

電源ランプは緑に点灯しつづけます。



設定メニュー画面でオートシャットオフの機能をオフにしたり、設定時間を変更できます(オフ、1分、3分、5分、10分、15分、30分、60分、90分、120分、240分)。詳細はPOD管理者編のp. 5-49をごらんください。

シャットオフモードの解除のしかた

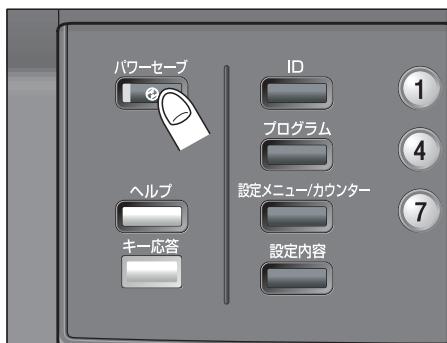
操作パネルの【パワーセーブ】を押すと、コピー可能な状態にもどります。



手動で節電状態にする

パワーセーブ(ローパワー、シャットオフ)の機能を手動で設定します。

- 操作パネルの【パワーセーブ】を1秒間以上押し続けます。



下記のメッセージが表示されます。

シャットオフの場合

10秒後にシャットオフモードへ移行します
操作キーで解除できます

ローパワーの場合

10秒後にローパワーモードへ移行します
操作キーで解除できます

- パワーセーブが機能します。
【パワーセーブ】ランプが点灯し、タッチパネルが消えます。

操作パネルの【パワーセーブ】を押す時間が1秒未満の場合、下記のメッセージが表示され、パワーセーブは働きません。

シャットオフモードを実行するにはパワーセーブボタンを1秒間以上押し続けてから離して下さい

ローパワーモードを実行するにはパワーセーブボタンを1秒間以上押して下さい



初期設定では手動で設定できるのはシャットオフです。設定メニュー画面でローパワーを手動で設定することができます。詳細はPOD管理者編のp. 5-49をごらんください。

使用時間を制限する(ウィークリータイマー)

本機は、管理者がたてたスケジュールに従い機械のオン/オフを設定し、使用を制限することができます。これをウィークリータイマーといいます。

ウィークリータイマーが設定されている機械でウィークリータイマーによってオフの状態の場合は、【パワーセーブ】ランプが点灯し、機械を使用することはできません。



詳しく述べます
ウィークリータイマーは管理者設定で行います。詳細はPOD管理者編のp. 6-2をごらんください。

機械を使用できるようにする

下記の操作で機械を使用できるようになります。(時間外使用)

1 操作パネルの【パワーセーブ】を押します。

機械状態画面が表示され、一時的にウィークリータイマーを解除します。

一時的にウィークリータイマーを解除します
パスワードを入力して下さい



詳しく述べます
この状態で5分経過すると、自動的に電源が切れます。

と表示されます。

使用時間を指定して下さい
0時間 05分

と表示された場合は、3項に進みます。

2 時間外使用パスワードを入力し、操作パネルの【スタート】を押します。

操作パネルのテンキーを使って、4ヶタの時間外パスワードを入力します。

一時的にウィークリータイマーを解除します
パスワードを入力して下さい*****



詳しく述べます
時間外使用パスワードは管理者設定で設定します。パスワードは管理者にお聞きください。

【スタート】を押します。



詳しく述べます
パスワード入力を間違えたときは、引き続き正しい4ヶタのパスワードを入力します。

3 時間の設定をして、操作パネルの【スタート】を押します。

操作パネルのテンキーを押して、時間を入力します。
0~9時間の設定ができます。

使用時間を指定して下さい
3時間 05分

【スタート】を押します。

- 4 分の設定をして、操作パネルの【スタート】を押します。

操作パネルのテンキーを押して、分を入力します。
0～59分の設定ができます。

使用時間を入力して下さい
3時間 30分



詳しく説明します

1ヶタ入力する場合は、最初に「0」を入力します。ただし、5分未満の設定はできません。入力しても5分に設定されます。また、60分以上の設定はできません。

【スタート】を押します。

画面に「コピーできます」と表示され、設定した時間内は通常通り機械を使用することができます。

- 5 設定時間内に作業が終了したら、操作パネルの【パワーセーブ】を1秒以上押し続けます。

再びウィークリータイマーの電源オフ状態になります。

各部の名称と
はたらき

操作パネル
と画面

コピー画面

電源を入れる
／切る

オート
リセット

パワーセーブ
ランプ

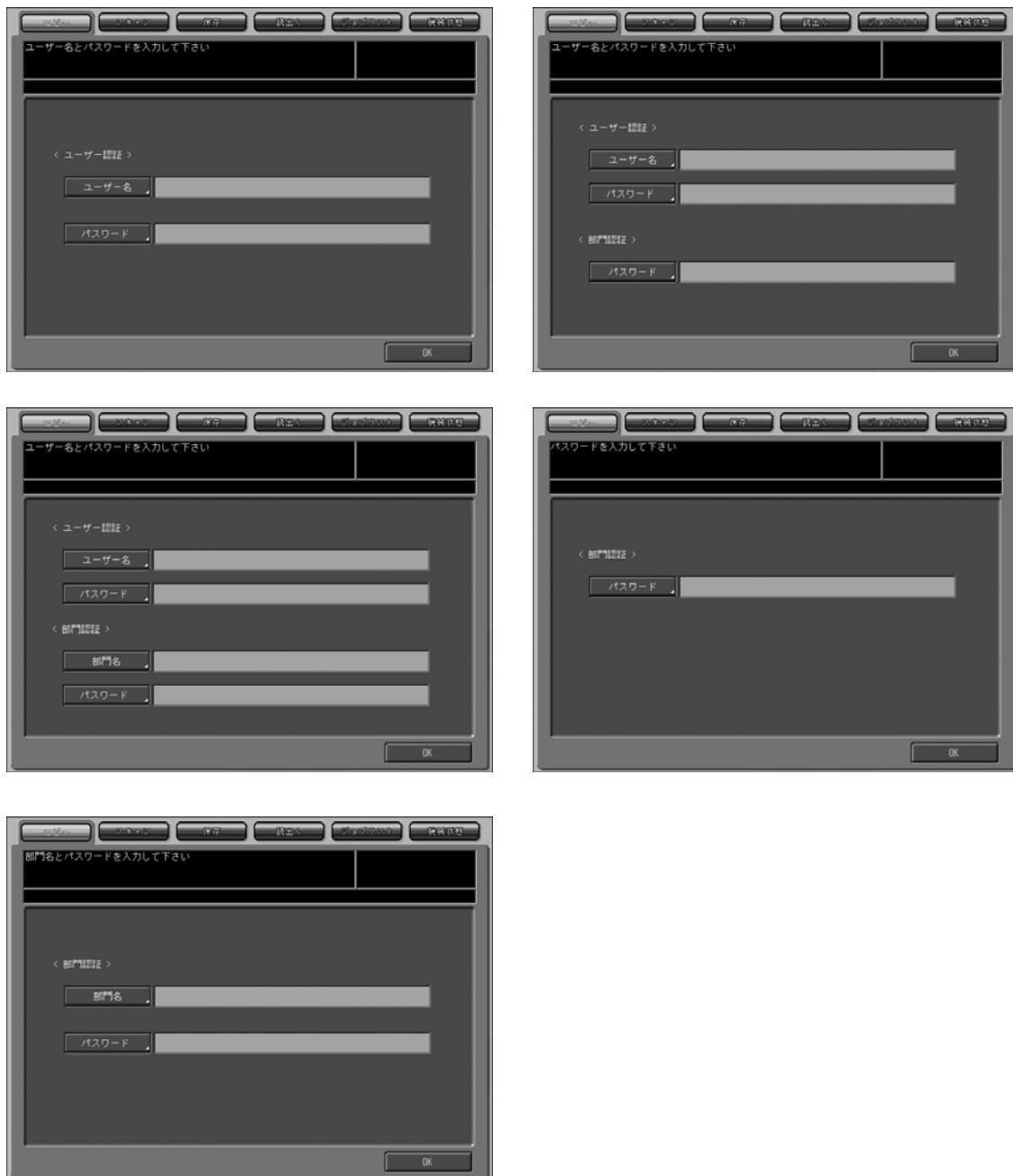
ユーザ認証
／部門認証

ユーザー認証/部門認証を求められたとき

本機は、管理者が設定したユーザー名とユーザーパスワード/部門名/部門パスワードを入力しなければ機械を使用できないように設定できます。

また、部門ごとに出力枚数のリミット値を設定し、リミット値以上の使用を制限することができます。

機械に電源が入ると下記のような認証を求める画面が表示されます。
認証の設定によって、表示は異なります。



次の手順に従って機械を使用してください。

1 要求されたユーザー名とパスワード / 部門名 / 部門パスワードを入力します。

入力する項目のボタンを押して入力画面を表示させます。
必要に応じて64文字以内のユーザー名、64文字以内のパスワード、8文字以内の部門名、8文字の部門パスワードを入力します。



入力画面の入力方法は「付録：文字入力のしかた」で説明します。

2 [OK] を押します。

画面のメッセージ表示部が「コピーできます」に変わります。



「リミットをオーバーしました」と表示されて作業できないことがあります。管理者にお問い合わせください。

3 作業開始

通常のコピー / プリント / スキャン作業ができます。

4 作業終了時に操作パネルの【ID】を押します。

画面に認証を求める画面が表示され、作業できなくなります。

各部の名称と
はたらき

操作パネル
と画面

コピー画面

電源を入れる
／切る

オート
リセット

パワーセーブ
ランプ

ユーザ認証
／部門認証

用紙・原稿について

第3章

本機で使用する用紙およびコピーをとる原稿の仕様について説明します。

用紙について	3-2
使用できる用紙の質量	3-2
セット / 排出できる用紙の枚数	3-3
セット / 搬送 / 排出できる用紙サイズ	3-6
手差しトレイにセットできる特殊紙	3-12
自動トレイ切換機能	3-13
用紙の保管	3-13
原稿について	3-14
原稿ガラスにセットする原稿について	3-14
ADFにセットする原稿について	3-15

用紙について

用紙をセットする装置には下記のものがあります。

- トレイ1～3(本体トレイ)
- トレイ4(大容量給紙ユニットLU-407/LU-408)
- 手差しトレイ

用紙を搬送／処理／排出する装置には下記のものがあります。

- ADU(自動両面コピーユニット)
- フィニッシャーFS-528
- フィニッシャーFS-611
- ポストインサーターPI-506
- パンチキットPK-503
- Z折りユニットZU-607
- トリマーユニットTU-502

使用できる用紙の質量

用紙をセットする装置	坪量
トレイ1～3 (本体トレイ)	40g/m ² ～216g/m ²
手差しトレイ	40g/m ² ～244g/m ²
トレイ4 (大容量給紙ユニット LU-407/LU-408)	40g/m ² ～300g/m ²
ポストインサーターPI-506 上下段トレイ (フィニッシャーFS-528/ FS-611にオプション装備)	50g/m ² ～200g/m ²



給紙トレイに設定した坪量の用紙以外の用紙をセットしないでください。画像品質が落ちたり、トラブルの原因になります。



- 各給紙トレイにセットする用紙坪量の設定や登録は、コピー画面の用紙設定または、機械状態画面の用紙設定で行います。コピー画面の用紙設定はp. 9-41、機械状態画面の用紙設定は、POD管理者編のp. 2-2をごらんください。
- トレイ1～4および手差しトレイの用紙種類を「ラフ紙」に設定すると、いずれも坪量の設定範囲は50g/m²～216g/m²になります。

用紙を搬送／処理／ 排出する装置	坪量
ADU	60g/m ² ～216g/m ²
フィニッシャー FS-528	サブトレイ 40g/m ² ～300g/m ²
	メイントレイ 50g/m ² ～300g/m ² 平とじステープル:50g/m ² ～244g/m ²
フィニッシャー FS-611	サブトレイ 40g/m ² ～300g/m ²
	メイントレイ 50g/m ² ～300g/m ² 平とじステープル:50g/m ² ～105g/m ² 表紙として200g/m ² 紙を2枚まで つけて平とじステープル可。 折り／とじ トレイ 中とじ:62g/m ² ～105g/m ² 表紙として200g/m ² 紙を1枚つけて 中とじ可。 重ね中折り:62g/m ² ～105g/m ² 重ね3つ折り:62g/m ² ～80g/m ² (1～3枚) :81g/m ² ～105g/m ² (1枚)
パンチキットPK-503 (フィニッシャーFS-528/ FS-611にオプション装備)	62g/m ² ～130 g/m ²

用紙を搬送 / 处理 / 排出する装置	坪量
Z折りユニットZU-607	Z折り:60g/m ² ~ 90g/m ² パンチ:62g/m ² ~ 91g/m ²
トリマーユニットTU-502	64g/m ² ~ 105g/m ² 表紙として200g/m ² 紙を1枚つけて断裁可。



170g/m²紙は、紙の種類によってうまくパンチされないことがあります。

セット / 排出できる用紙の枚数

用紙をセットする装置	セットできる枚数
トレイ1、2(本体トレイ)	500枚(80g/m ²)
トレイ3(本体トレイ)	1,000枚(80g/m ²)
手差しトレイ	150枚(64g/m ²) 郵政はがきは約20枚(高さ5mm以内) OHPフィルムは1枚ずつセット
トレイ4(大容量給紙ユニットLU-407)	5,000枚(64g/m ²) 4,500枚(80g/m ²)
トレイ4(大容量給紙ユニットLU-408)	4,500枚(64g/m ²) 4,000枚(80g/m ²)
ポストインサーテーPI-506 上下段トレイ (フィニッシャーFS-528/ FS-611にオプション装備)	約200枚(80 g/m ²) (高さ30mm以内)

用紙を搬送 / 处理 / 排出する装置	搬送 / 处理 / 排出できる枚数
ADU	制限なし
フィニッシャー FS-528	サブトレイ 200枚
	メイント レイ(通常 排紙) 750枚 (80g/m ²) A5 □/□、B6 □、5.5 "×8.5 " 3,000枚 (80g/m ²) A4 □/□、B5 □/□、8.5 "×11 "□/□、 9 "×11 "□ 1,500枚 (80g/m ²) SRA4 □、A3 □、B4 □、11 "×17 " □、8.5 "×14 "□、Foolscap、ワイ ド紙
メイント レイ(ス テープル)	ステープル枚数 最大100枚 (80g/m ²) ステープル枚数によって設定部数を調 整します。



排出できる枚数は紙の種類によ
り多少異なることがあります。



ステープル枚数と設定部数の詳
細は、p. 3-5をごらんください。

用紙について(つづき)

用紙を搬送 / 处理 / 排出する装置		搬送 / 处理 / 排出できる枚数
フィニッシャー FS-611	サブトレイ	200枚 (80g/m ²)
	メイント レイ(通常 排紙)	<p>500枚 (80g/m²) A5 □/□、B6 □、郵政はがき□、5.5 " × 8.5 " □</p> <p>2,500枚 (80g/m²) A4 □/□、B5 □/□、8.5 " × 11 " □/□、 7.25 " × 10.5 " □/□</p> <p>1,500枚 (80g/m²) SRA4 □、A3 □、B4 □、12.5 " × 18 " □、11 " × 17 " □、8.5 " × 14 " □、 Foolscap、ワイド紙</p>
	メイント レイ(ス テープル)	<p>ステープル枚数 50枚 (50g/m² ~ 80g/m²) 30枚 (81g/m² ~ 105g/m²) ステープル枚数によって設定部数を調 整します。</p>
	折り / と じトレイ	<p>中とじ枚数 20枚(62g/m² ~ 105g/m²) 19枚(62g/m² ~ 105g/m²) + 1枚(200g/m²) 積載枚数 中折り3枚重ね折りで約33部 (99枚、396ページ) (A4 □、8.5" × 11" □は約25部) 中とじ5枚とじで約20部 (100枚、400ページ) (A4 □、8.5" × 11" □は約15部) 中とじ20枚とじで約5部 (100枚、400ページ) 3つ折り枚数: 最大3枚 (62g/m² ~ 80g/m²) 1枚 (81g/m² ~ 105g/m²) 積載枚数: 約50枚(3つ折り1枚の場合)</p>
Z折りユニットZU-607		パンチ:制限なし(1枚ずつ穴開け) Z折り:1枚 ステープル1部当たり5枚までZ折り可能
パンチキットPK-503(フィ ニッシャーFS-528/FS- 611にオプション装備)		制限なし(1枚ずつ穴開け)



ステープル1部当たりのZ折りの
挿入枚数と折りなし枚数および
積載枚数の詳細は、p. 3-5をごら
んください。


詳細1：ステープル枚数と設定部数

用紙サイズ、ステープルの打ち方、ステープル枚数によって部数を設定し、メイントレイの積載枚数を調整してください。下表を参考にしてください。

設定可能部数と用紙サイズ / ステープル枚数の関係 (FS-528)

用紙サイズ スチール枚数	B4 □、A4 □/□、B5 □、 A5 □、8.5" × 14"□、 8.5" × 11"□/□、 5.5" × 8.5" □	A3 □、 11" × 17"□
2 ~ 9枚	100部	50部
10 ~ 20枚	50部	50部
21 ~ 30枚	30部	30部
31 ~ 40枚	25部	25部
41 ~ 50枚	20部	20部
51 ~ 60枚	15部	
61 ~ 100枚	10部	

設定可能部数と用紙サイズ / ステープル枚数の関係 (FS-611)

用紙サイズ スチール枚数	B4 □、A4 □/□、B5 □、 A5 □、8.5" × 14"□、 8.5" × 11"□/□、 5.5" × 8.5" □	A3 □、 11" × 17"□
2 ~ 9枚	100部	50部
10 ~ 20枚	50部	50部
21 ~ 30枚	30部	30部
31 ~ 40枚	25部	25部
41 ~ 50枚	20部	20部

詳細2：Z折りステープルの設定部数

下表を参考にして、Z折りの挿入枚数とステープル枚数によって部数を設定し、メイントレイの積載枚数を調整してください。

ステープル1部当たりのZ折りと折りなし枚数と積載部数の関係

Z折りの挿入枚数	ステープル1部当たりの枚数	メイントレイの積載部数
	折りなし枚数	
1枚	1 ~ 40枚	20部
2枚	0 ~ 30枚	10部
3枚	0 ~ 20枚	4部
4枚	0 ~ 10枚	3部
5枚	0枚	2部
6枚以上		ステープル不可

セット / 搬送 / 排出できる用紙サイズ

用紙をセットする装置	セットできるサイズ
トレイ1~3(本体トレイ)	<p><u>定形サイズ</u></p> <p>A3□、B4□^{*1}、A4□/□、B5□/□^{*1}、 A5□、郵政はがき^{*2}、11"×17"□、 8.5"×14"□、8.5"×11"□</p> <p>以下の定形サイズを切替えて検知させることができます。</p> <p>A5□のかわりに5.5"×8.5"□ A4□のかわりに8.5"×11"□ 8.5"×14"□のかわりに8"×13"□、 8.125"×13.25"□、8.25"×13"□、 8.5"×13"□またはSRA4□ 8.5"×11"□のかわりに9"×11"□</p> <p><u>不定形サイズ</u></p> <p>最小タテ182mm×ヨコ140mm~ 最大タテ314mm×ヨコ445mm</p> <p><u>ワイド紙</u></p> <p>A3W□、B4W□、A4W□/□、B5W□/ □、A5W□、11"×17"W□、8.5"× 11"W□/□、5.5"×8.5"W□</p> <p><u>定形インデックス紙</u></p> <p>A3T□、B4T□、A4T□/□、B5T□/□、 A5T□、11"×17"T□、8.5"×11"T□/ □、5.5"×8.5"T□</p> <p><u>不定形インデックス紙</u></p> <p>最小タテ182mm×ヨコ140mm~ 最大タテ314mm×ヨコ445mm</p>



用紙設定で【定形サイズ】と設定したトレイ1~3は自動的に定形サイズを検知します。



*1 : B4/B5はJIS規格サイズです。ISO規格サイズに変更したいときはサービス実施店にお申し出ください。

*2 : トレイ1~3に郵便はがきをセットする場合は、ハガキアダプター(オプション)が必要です。サービス実施店にお問い合わせください。



ワイド紙はサイズが一定ではありません。ご使用になるワイド紙のサイズを必ず入力してください。

用紙をセットする装置	セットできるサイズ
手差しトレイ	<u>定形サイズ</u> A3□、B4□*5、A4□/□、B5□/□*5、 A5□/□、B6□、郵政はがき、11"× 17"□、8.5"×14"□、8.5"×11"□/□ 以下の定形サイズを切替えて検知さ れることができます。 A5□/□のかわりに5.5"×8.5"□/□ A4□のかわりに8.5"×11"□ 8.5"×14"□のかわりに8"×13"□、 8.125"×13.25"□、8.25"×13"□、 8.5"×13"□またはSRA4□ 8.5"×11"□のかわりに9"×11"□ A5□のかわりにB6□または5.5"× 8.5"□ <u>不定形サイズ</u> 最小タテ100mm×ヨコ140mm～ 最大タテ314mm×ヨコ460mm <u>ワイド紙</u> A3W□、B4W□、A4W□/□、 B5W□/□、A5W□/□、11"× 17"W□、8.5"×11"W□/□、5.5"× 8.5"W□/□ <u>定形インデックス紙</u> A3T□、B4T□、A4T□/□、B5T□/□、 A5T□/□、11"×17"□、8.5"× 11"□/□、5.5"×8.5"□/□ <u>不定形インデックス紙</u> 最小タテ100mm×ヨコ140mm～ 最大タテ314mm×ヨコ460mm
トレイ4(大容量給紙 ユニットLU-407)	<u>定形サイズ</u> A4□、B5□*3、8.5"×11"□、9"× 11"□、8K <u>不定形サイズ</u> 最小タテ250mm×ヨコ176mm～ 最大タテ314mm×ヨコ229mm <u>ワイド紙</u> A4W□、B5W□*3、8.5"×11"W□ <u>定形インデックス紙</u> A4T□、B5T□、8.5"×11"□ <u>不定形インデックス紙</u> 最小タテ250mm×ヨコ176mm～ 最大タテ314mm×ヨコ229mm



用紙設定で〔定形サイズ〕と設定
した手差しトレイは自動的に定
形サイズを検知します。



*5 : B4/B5 は JIS 規格サイズで
す。ISO 規格サイズに変更し
たいときはサービス実施店
にお申し出ください。



ワイド紙はサイズが一定では
ありません。ご使用になるワイド紙
のサイズを必ず入力してくだ
さい。



トレイ4にA4 □以外の用紙を
セットする場合は、p. 4-6をごら
んください。



*3 : B5 □はJIS規格サイズです。
ISO 規格サイズに変更でき
ます。

用紙をセットする装置	セットできるサイズ
トレイ4(大容量給紙ユニットLU-408)	<p><u>定形サイズ</u> SRA4□、A3□、B4□*4、A4□/□、 11"×17"□、8.5"×14"□、8.5"× 11"□/□、9"×11"□、8.5"×13"□、 8.25"×13"□、8.125"×13.25"□、 8"×13"□</p> <p><u>不定形サイズ</u> 最小タテ195mm×ヨコ203mm～ 最大タテ314mm×ヨコ460mm</p> <p><u>ワイド紙</u> A3W□、B4W□、A4W□/□、11"× 17"W□、8.5"×11"W□/□</p> <p><u>定形インデックス紙</u> A3T□、B4T□、A4T□/□、11"× 17"T□、8.5"×11"T□/□</p> <p><u>不定形インデックス紙</u> 最小タテ195mm×ヨコ203mm～ 最大タテ314mm×ヨコ460mm</p>
ポストイン サーテー PI-506 (フィニッシャー FS-528/ FS-611にオプ ション装備)	<p><u>定形サイズ</u> A4□/□、B5□/□、A5□、8.5"× 11"□/□、9"×11"□、5.5"×8.5"□</p> <p><u>不定形サイズ</u> 最小タテ182mm×ヨコ139mm～ 最大タテ216mm×ヨコ297mm</p> <p><u>ワイド紙</u> A4W□/□、B5W□/□、A5W□、8.5"× 11"W□/□、5.5"×8.5"W□</p> <p><u>定形インデックス紙</u> A4T□/□、B5T□/□、A5T□、8.5"× 11"T□/□、5.5"×8.5"T□</p> <p><u>不定形インデックス紙</u> 最小タテ182mm×ヨコ148mm～ 最大タテ216mm×ヨコ297mm</p>
	<p><u>定形サイズ</u> SRA4□、A3□、B4□、A4□/□、 B5□/□、A5□、12"×8"□、11"× 17"□、8.5"×14"□、8.5"×11"□/ □、9"×11"□、5.5"×8.5"□</p> <p><u>不定形サイズ</u> 最小タテ182mm×ヨコ139mm～ 最大タテ314mm×ヨコ458mm</p> <p><u>ワイド紙</u> A3W□、B4W□、A4W□/□、 B5W□/□、A5W□、11"×17"W□、 8.5"×11"W□/□、5.5"×8.5"W□</p> <p><u>定形インデックス紙</u> A3T□、B4T□、A4T□/□、B5T□/ □、A5T□、11"×17"T□、8.5"× 11"T□/□、5.5"×8.5"T□</p> <p><u>不定形インデックス紙</u> 最小タテ182mm×ヨコ148mm～ 最大タテ314mm×ヨコ458mm</p>



トレイ4にA3□以外の用紙を
セットする場合は、p.4-6をごらんください。



*4 : B4□はJIS規格サイズです。
ISO規格サイズに変更できます。

用紙を搬送 / 处理 / 排出する装置	搬送 / 处理 / 排出できるサイズ
ADU	最小タテ100mm × ヨコ140mm～ 最大タテ314mm × ヨコ460mm インデックス紙、郵政はがきは搬送できません。
フィニッシャー FS-528	<p><u>定形サイズ</u> SRA4 □、A3 □、B4 □、A4 □/□、 B5 □/□、A5 □/□、B6 □、A6 □、は がき □、11" × 17" □、8.5" × 14" □、8.5" × 11" □/□、5.5" × 8.5" □/ □、9" × 11"</p> <p><u>不定形サイズ</u> 最小タテ100mm × ヨコ148mm～ 最大タテ314mm × ヨコ458mm <u>ワイド紙</u> A3W□、B4W□、A4W□/□、 B5W□/□、A5W□、11" × 17"W□、 8.5" × 11"W□/□、5.5" × 8.5"W□ <u>定形インデックス紙</u> A3T□、B4T□、A4T□/□、B5T□/ □、A5T□、11" × 17"T□、8.5" × 11"T□/□、5.5" × 8.5"T□ <u>不定形インデックス紙</u> 最小タテ182mm × ヨコ140mm～ 最大タテ314mm × ヨコ445mm</p>
メイント レイ(通常 排紙)	<p><u>定形サイズ</u> SRA4 □、A3 □、B4 □、A4 □/□、 B5 □/□、A5 □/□*1、B6 □*1、11" × 17" □、8.5" × 14" □、8.5" × 11" □/□、5.5" × 8.5" □</p> <p><u>不定形サイズ*2</u> 最小タテ182mm × ヨコ148mm～ 最大タテ314mm × ヨコ460mm <u>ワイド紙</u> A3W□、B4W□、A4W□/□、 B5W□/□、A5W□、11" × 17"W□、 8.5" × 11"W□/□、5.5" × 8.5"W□ <u>定形インデックス紙</u> A3T□、B4T□、A4T□/□、B5T□/ □、A5T□、11" × 17"T□、8.5" × 11"T□/□、5.5" × 8.5"T□ <u>不定形インデックス紙</u> 最小タテ182mm × ヨコ140mm～ 最大タテ314mm × ヨコ458mm</p>



*1 : A5 □、B6 □はストレート
排紙のみ出力可能です。

*2 : ストレート排紙時は、最小タ
テ128mm × ヨコ148mm～
最大タテ 314 mm × ヨコ
458mまで出力可能です。

用紙について(つづき)

用紙を搬送 / 処理 / 排出する装置	搬送 / 処理 / 排出できるサイズ
フィニッシャー FS-528 (つづき)	<p>メイント レイ(ス テープル)</p> <p><u>定形サイズ</u> SRA4□、A3□、B4□、A4□/□、 B5□/□、A5□、11"×17"□、8.5" ×14"□、8.5"×11"□/□、5.5"× 8.5"、9"×11"、8.5"×13"、8.25" ×13"、8.125"×13.25"、8"×13"</p> <p><u>不定形サイズ</u> 最小タテ182mm×ヨコ148mm～ 最大タテ210mm×ヨコ297mm</p> <p><u>ワイド紙</u> A3W□、B4W□、A4W□/□、 B5W□/□、A5W□、11"×17"W□、 8.5"×11"W□/□、5.5"×8.5"W□</p> <p><u>定形インデックス紙</u> A3T□、B4T□、A4T□/□、B5T□/□、 A5T□、11"×17"T□、8.5"× 11"T□/□、5.5"×8.5"T□</p> <p><u>不定形インデックス紙</u> 最小タテ182mm×ヨコ148mm～ 最大タテ210mm×ヨコ297mm</p>
フィニッシャー FS-611	<p>サブ トレイ</p> <p><u>定形サイズ</u> SRA4□、A3□、B4□、A4□/□、 B5□/□、A5□/□、B6□、A6□、は がき□、11"×17"□、8.5"×14" □、8.5"×11"□/□、5.5"×8.5"□/ □、9"×11"、8.5"×13"、8.25"×13"、 8.125"×13.25"、8"×13"</p> <p><u>不定形サイズ</u> 最小タテ100mm×ヨコ148mm～ 最大タテ331mm×ヨコ448mm</p> <p><u>ワイド紙</u> A3W□、B4W□、A4W□/□、 B5W□/□、A5W□、11"×17"W□、 8.5"×11"W□/□、5.5"×8.5"W□</p> <p><u>定形インデックス紙</u> A3T□、B4T□、A4T□/□、B5T□/□、 A5T□、11"×17"T□、8.5"× 11"T□/□、5.5"×8.5"T□</p> <p><u>不定形インデックス紙</u> 最小タテ100mm×ヨコ148mm～ 最大タテ331mm×ヨコ448mm</p>

用紙を搬送 / 処理 / 排出する装置	搬送 / 処理 / 排出できるサイズ
フィニッシャー FS-611 (つづき)	<u>メイントレイ(通常排紙)</u> <p><u>定形サイズ</u> SRA4□、A3□、B4□、A4□/□、 B5□/□、A5□/□*1、B6□/□*1、11"×17"□、8.5"×14"□、8.5"×11"□/□、5.5"×8.5"□/□*1</p> <p><u>不定形サイズ</u>*2 最小タテ182mm×ヨコ148mm～ 最大タテ314mm×ヨコ458mm</p> <p><u>ワイド紙</u> A3W□、B4W□、A4W□/□、 B5W□/□、A5W□、11"×17"W□、 8.5"×11"W□/□、5.5"×8.5"W□</p> <p><u>定形インデックス紙</u> A3T□、B4T□、A4T□/□、B5T□/□、 A5T□、11"×17"T□、8.5"× 11"T□/□、5.5"×8.5"T□</p> <p><u>不定形インデックス紙</u> 最小タテ182mm×ヨコ148mm～ 最大タテ314mm×ヨコ458mm</p>
メイントレイ(ステープル)	<p><u>定形サイズ</u> SRA4□、A3□、B4□、A4□/□、 B5□/□、A5□、11"×17"□、8.5"× 14"□、8.5"×11"□/□、5.5"× 8.5"□/□</p> <p><u>不定形サイズ</u> 最小タテ182mm×ヨコ148mm～ 最大タテ314mm×ヨコ458mm</p> <p><u>ワイド紙</u> A3W□、B4W□、A4W□/□、 B5W□/□、A5W□、11"×17"W□、 8.5"×11"W□/□、5.5"×8.5"W□</p> <p><u>定形インデックス紙</u> A3T□、B4T□、A4T□/□、B5T□/□、 A5T□、11"×17"T□、8.5"× 11"T□/□、5.5"×8.5"T□</p> <p><u>不定形インデックス紙</u> 最小タテ182mm×ヨコ148mm～ 最大タテ314mm×ヨコ458mm</p>
折り/とじトレイ	<p><u>定形サイズ</u> SRA4□、A3□、B4□、A4□、 11"×17"□、8.5"×14"□、8.5"× 11"□ 3つ折り:A4□、8.5"×11"□のみ</p> <p><u>不定形サイズ</u> 最小タテ210mm×ヨコ280mm～ 最大タテ314mm×ヨコ458mm</p> <p><u>ワイド紙</u> A3W□、B4W□、A4W□、11"× 17"W□、8.5"×11"W□</p>
Z折りユニット ZU-607	<p><u>定形サイズ</u> A3□、B4□*1、11"×17"□、8.5"× 14"□*2</p>



*1 : A5□、B6□、5.5"×8.5"□はストレート排紙のみ出力可能です。

*2 : ストレート排紙時は、最小タテ128mm×ヨコ148mm～最大タテ314mm×ヨコ458mmまで出力可能です。



*1 : A3□とA4□では、Z折りを含んだステープル製本は可能ですが、B4□とB5□ではできません。

*2 : 8.5"×14"□のみ2つ折りになります。
これ以外のサイズの用紙はZ折り(2つ折り)せずに出力します。

用紙を搬送 / 処理 / 排出する装置	搬送 / 処理 / 排出できるサイズ
トリマーユニット TU-502	<u>定形サイズ</u> A3□、B4□、A4□、SRA4□、11"×17"□、8.5"×14"□、8.5"×11"□ <u>ワイド紙</u> A3W□、B4W□、A4W□、11"×17"W□、8.5"×11"W□、SRA4□/□



詳しく説明します
トリマーユニットで断裁しない場合は、フィニッシャー FS-611 の折り / とじトレイと同じ仕様になります。

手差しトレイにセットできる特殊紙

手差しトレイは下記の用紙をセットできます。
OHP フィルム、第2原図、郵政はがき



OHP フィルムへのコピーの詳細は、p. 10-22をごらんください。

⚠ 注意

火災の原因になることがありますので、ステープル針のついた用紙や導電性の用紙（銀紙、カーボン含有紙など）は使用しないでください。



機械故障の原因になりますので、下記のような表面が加工された用紙は使用しないでください。

- 感熱紙
- 導電性の用紙（銀紙、カーボン含有紙など）
- カラー OHP フィルム
- インクジェット用紙

自動トレイ切換機能

連続プリント中、選択した給紙トレイの用紙がなくなった場合、以下の動作条件を満たしたトレイが他にあれば、自動的に給紙トレイを切り換えてプリントを続けます。オプションの大容量給紙ユニットLU-407を装着している場合、最大7,350枚の連続プリントが可能になります。

POD管理者編、「02 機能設定 > 01 紙トレイ設定」で下記の設定をします。

- 「01 紙トレイ自動選択」で自動用紙機能が働いたとき自動選択の対象になるトレイを設定します。このとき、切換順位を設定できます。
- 「02 ATS許可」で〔ON〕を選択します。
- 「03 自動用紙種類」で異なる用紙設定をしているトレイが自動選択の対象になるように設定します。

給紙トレイに下記の用紙をセットします。

- 同じサイズの用紙を同じ向きにセット
- 同じ種類の用紙をセット

用紙の保管

用紙を保管するときは、以下のことご注意ください。

- 用紙は、湿気の少ない冷暗所に保管してください。
- 用紙が湿気をおびると、紙づまりの原因になります。
給紙トレイにセットしきれなかった用紙は、包装紙に包み、包装紙から取り出した用紙は、ポリ袋に入れ、湿気の少ない冷暗所に保管してください。
- 用紙は、立てておく間に水平にして保管してください。用紙を立てておくと、用紙にカールが付いて紙づまりの原因になります。
- 幼児や子供の手の届くところには置かないようにしてください。

原稿について

コピーするときは、原稿を ADF または原稿ガラスにセットします。
ADF を使用できない原稿は、原稿ガラスにセットしてコピーしてください。

原稿ガラスにセットする原稿について

ADF にセットできない原稿をコピーするときや、ADF を使用できないコピー条件でコピーするとき、原稿ガラスに原稿をセットしてコピーします。

ADF にセットできない原稿

下記のような原稿を ADF にセットしないでください。原稿つまりを起こして原稿を傷めることができます。また、ADF の故障の原因になります。

- しわ、折れ、カール、破れなどのひどい原稿
- OHP フィルム、第2原図などの透明度の高い原稿
- カーボン紙などの表面がコーティング処理されている原稿
- 200g/m²以上の厚紙原稿
- 50g/m²未満の薄紙原稿
- クリップ、ステープルなどでとじられた原稿
- 本など製本されている原稿
- のりなどで貼り合わせている原稿
- 切り取りや切り抜きのある原稿
- ラベル紙
- オフセットマスター
- とじ穴の開いた原稿
- 本機でプリントした直後の原稿



重い原稿はのせないでください。
また、厚手の原稿をのせた場合、
強く原稿を押さえないでください。
原稿ガラスが割れてケガをする
恐れがあります。

原稿ガラスにセットする原稿の仕様

- セット可能原稿サイズ
最大 209 mm × 420 mm
- 検知できる原稿サイズ：
A3 □、B4 □、A4 □/□、B5□/□、A5 □、郵政はがき□、11" × 17" □、8.5" × 11" □/□、5.5" × 8.5" □
A5 □、B6 □、5.5" × 8.5" □、A4 □、8.5" × 11" □
のいずれか1つを検知するように選択します。
- セットできる質量：6.8kg 以下
- セットできる厚み：30mm 以下



- A5 □、B6 □、5.5" × 8.5" □、
A4 □、8.5" × 11" □から1つ
を選択するのは、設定メニュー
画面で行います。詳細は、POD
管理者編の p. 5-59をごらんく
ださい。
- フルサイズ、AB系、インチ系、
A系ののみのいずれか1つを選
択できます。詳細は、POD 管
理者編の p. 5-59をごらんく
ださい。

ADFにセットする原稿について

ADFを使用する場合、4つのモードがあります。

- 通常モード
- 混載原稿モード
- Z折れ原稿モード
- 1枚送りモード

各モードによって給紙できる原稿の厚み、検知できるサイズに制限があります。

通常モード

- 原稿坪量：50g/m² ~ 130g/m²
- 原稿サイズ：
最大 297mm × 431.8mm ~ 最小 128mm × 139.7mm
- 検知できる原稿サイズ：
A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、B6 □、
11 " × 17 " □、8.5 " × 14 " □、8.5 " × 11 " □/□、
5.5 " × 8.5 " □/□、8.5 " × 13 "、8.25 " × 13 "、
8.125 " × 13.25 "、8 " × 13 "
- 原稿カール：10mm以下
- 原稿セット容量：100枚 (80 g/m²紙)
- 同一原稿使用回数：5回以内 (片面原稿モード)
3回以内 (両面原稿モード)

混載原稿モード

混載原稿モードでは、サイズの異なる定形サイズの原稿をセットしてコピーすることができます。

- 原稿坪量：50g/m² ~ 130g/m²
- 検知・コピーできる原稿サイズ：
混載できる原稿サイズの種類は、ADF のガイド板の開き幅でかわります。
A3 □、A4 □の開き幅の場合：A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □、A5 □
B4 □、B5 □の開き幅の場合：B4 □、A4 □、B5 □/□、A5 □
A4 □、A5 □の開き幅の場合：A4 □、B5 □、A5 □
- 原稿カール：10mm以下
- 原稿セット容量：100枚 (80 g/m²紙)
- 同一原稿使用回数：5回以内 (片面原稿モード)
3回以内 (両面原稿モード)



フルサイズ、AB系、インチ系、A系列のみのいずれか1つを選択できます。詳細は、POD管理者編のp. 5-59をごらんください。



ADFガイド板の開き幅とは？



Z折れ原稿モード

Z折れ原稿モードは、ADFの外部サイズ検知センサーを使わず、スキャンした画像サイズで原稿サイズを検知します。

- 原稿坪量：50g/m² ~ 130g/m²
- 検知できる原稿サイズ：
A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、B6 □、
11" × 17" □、8.5" × 14" □、8.5" × 11" □/□、
5.5" × 8.5" □/□、Foolscap
- 原稿カール：10mm以下
- 原稿セット容量：100枚（80 g/m²紙）
- 同一原稿使用回数：5回以内（片面原稿モード）
3回以内（両面原稿モード）



Foolscapは、8.5" × 13"、8.25" × 13"、8.125" × 13.25"、8" × 13"の4種類の用紙サイズの総称です。

1枚送りモード

通常モードでは給送できない厚紙原稿や給送するとトラブルを起こす可能性のある貼り合わせの原稿をADFを使ってコピーします。

- 原稿坪量：50g/m² ~ 200g/m²
- 検知できる原稿サイズ：
A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、B6 □、
11" × 17" □、8.5" × 14" □、8.5" × 11" □/□、
5.5" × 8.5" □/□、Foolscap
- 原稿カール：10mm以下
- 原稿セット容量：1枚ずつセット
- 同一原稿使用回数：5回以内（片面原稿モード）
3回以内（両面原稿モード）



Foolscapは、8.5" × 13"、8.25" × 13"、8.125" × 13.25"、8" × 13"の4種類の用紙サイズの総称です。

補給 ・くず処理

第4章

用紙 / トナー / ステープル針の補給方法、パンチくずや断裁くずの処理方法について説明します。

用紙を補給する	4-2
本体トレイ(トレイ1~3)に用紙を補給する	4-3
手差しトレイに用紙を補給する	4-5
大容量給紙ユニット(トレイ4)に用紙を補給する	4-6
インデックス紙をトレイにセットする	4-13
本体トレイに(トレイ1~3)にインデックス紙をセットする	4-13
大容量給紙ユニットにインデックス紙をセットする	4-15
手差しトレイにインデックス紙をセットする	4-17
トナーを補給する	4-18
ステープル針を補給する	4-22
フィニッシャーFS-528にステープル針を補給する	4-22
フィニッシャーFS-611にステープル針を補給する	4-25
パンチキットのパンチくずを処理する	4-29
Z折りユニットのパンチくずを処理する	4-31
断裁くずを処理する	4-33

用紙を補給する

機械状態画面には、各トレイの残量が表示されています。

コピー画面には「用紙設定」項目に各トレイの残量が表示されています。

残量は下記のアイコンで表示されています。

トレイ1～4



手差しトレイ



用紙がなくなると「」が点滅します。



各トレイの用紙設定は、コピー画面または機械状態画面の〔用紙設定〕を押して行います。

設定した用紙以外の用紙をセットして出力しないでください。コピーできなかったり、トラブルの原因になります。

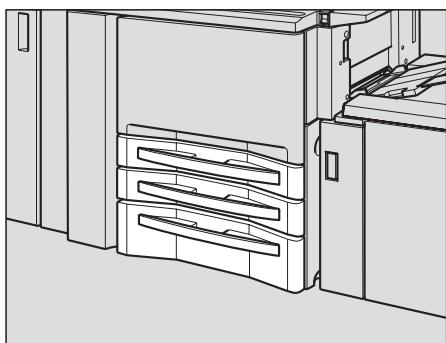


次の手順に従って、用紙を補給してください。

本体トレイ(トレイ1~3)に用紙を補給する

違う仕様の用紙をセットするときは、そのトレイの用紙設定を変更します。詳細は、p. 9-41をごらんください。

1 用紙を補給するトレイを引き出します。



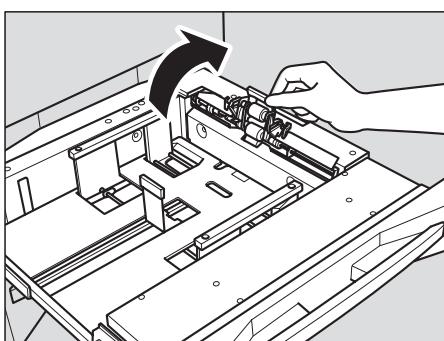
主電源や副電源がオンになっていないとトレイを引き出すことができません。オンにしてください。



トレイは止まるまで手前に完全に引き出してください。完全に引き出さないと、給紙ローラーを開くことができなかったり、トラブルの原因になります。

機械転倒防止のため、複数のトレイを一度に引き出すことはできません。

2 給紙ローラーを開きます。



3 用紙をセットし、側面ガイド板と後端ガイド板を用紙に突き当てます。

包装紙から用紙を取り出し、数回さばきます。

トレイの給紙ローラー側に用紙を揃えるようにセットします。

手前の側面ガイド板のロック解除レバーを押しながら用紙に突き当てます。

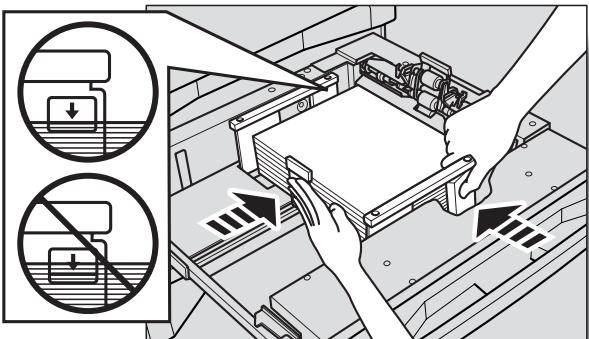
後端ガイド板を用紙に突き当てます。



トレイ側面ガイド板の紙上限ラベルのラインを超えないように用紙をセットしてください。



用紙の給送性が悪い場合は、用紙をさばくことで改善されることがあります。



必ず守ってください

側面ガイド板と後端ガイド板は確実に用紙に突き当ててください。ガイド板と用紙に隙間があると、機械が正確なサイズを検知できなかったり、給送装置の故障の原因になります。

必ず守ってください

トレイを必要以上に勢いよく押し込まないでください。トレイや紙の重さなどで、機械に思わぬ衝撃が加わり、故障の原因になることがあります。

4 給紙ローラーを閉じます。

5 トレイを奥まで確実に押し込みます。

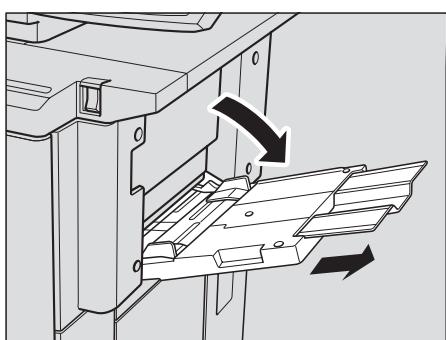
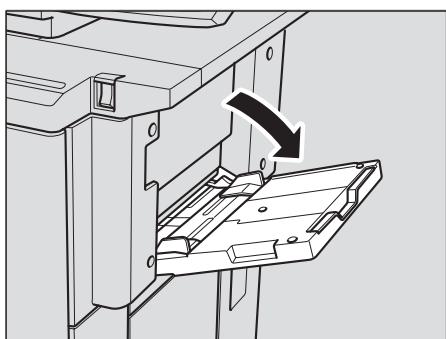
手差しトレイに用紙を補給する

手差しトレイには、本体トレイや大容量給紙ユニットでは給紙できない用紙をセットすることができます。

手差しトレイに用紙を補給したとき、手差しトレイの用紙設定を行います。詳細は、p. 3-12をごらんください。

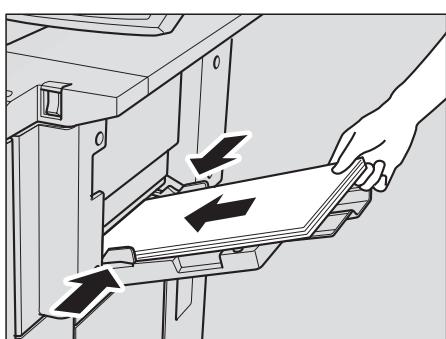
1 手差しトレイを開きます。

手差しトレイを右に開きます。大きいサイズの用紙をセットするときは、拡張トレイを引き出します。



2 用紙をセットし、ガイド板を用紙に突き当てます。

機械状態画面やコピー画面の残量表示は「」から「」にかわります。



3 コピー終了後は、手差しトレイを閉じます。



火災の原因になることがありますので、ステープル針のついた用紙や導電性の用紙（銀紙、カーボン含有紙など）はプリント用紙として使用しないでください。また、機械故障の原因になりますので、下記のような表面が加工された用紙は使用しないでください。

- ・感熱紙
- ・導電性の用紙
(銀紙、カーボン含有紙など)
- ・インクジェット用紙



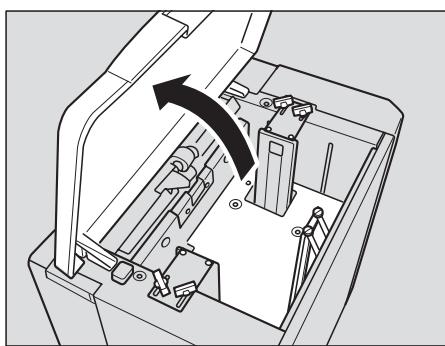
- 用紙は150枚を超えてセットしないでください。また、ガイド板に表示されている高さ制限を超えてセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- OHPフィルムは1枚ずつセットしてください。

大容量給紙ユニット(トレイ4)に用紙を補給する

違う仕様の用紙をセットするときは、トレイ4の用紙設定を変更します。詳細は、p. 9-41をごらんください。



- 1** トレイ上扉を開きます。
トレイ底板が上昇します。



トレイ4には、坪量 $40\text{g}/\text{m}^2$ ~ $300\text{g}/\text{m}^2$ の用紙をセットできます。



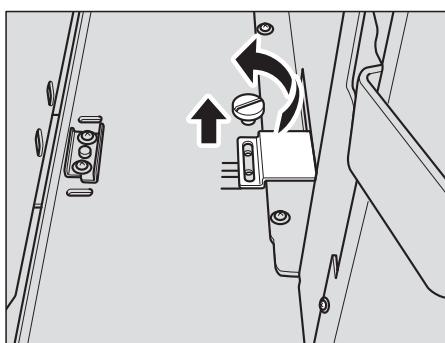
本体の電源が入っていないとトレイ底板が上がりません。また、トレイ底板下降ボタンを押してもトレイ底板が下がりません。大容量給紙ユニットに用紙を補給するときは、副電源スイッチをオンにしてください。

同じサイズの用紙をセットするときは、手順**6**に進みます。
違うサイズの用紙をセットするときは、手順**2**に進みます。

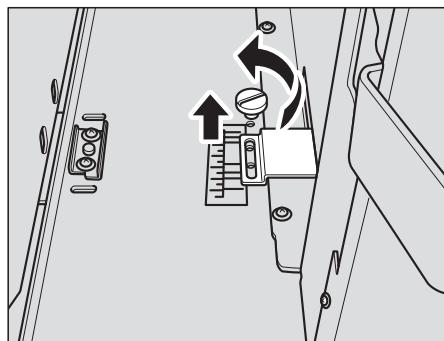
- 2** 側面ガイドツマミ(下)を取り外します。

- (1) トレイ左扉を開きます。
(2) 側面ガイドツマミ(下)を反時計方向に回してゆるめ、取り外します。

LU-407



LU-408



用紙補給

インデックス紙トレイセット

トナー補給

ステープル針補給

パンチくず処理

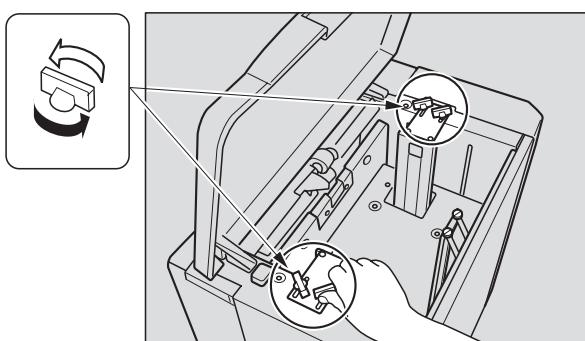
Z折りパンチくず処理

断裁くず処理

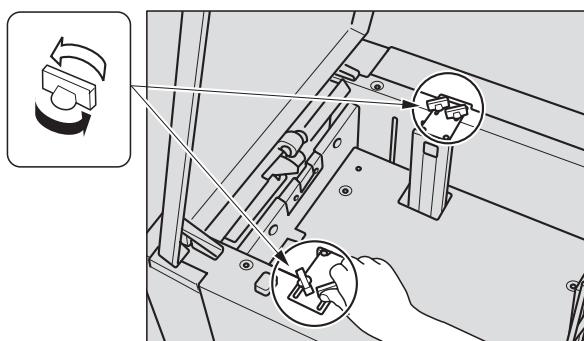
3 側面ガイドの位置を調整します。

- (1) 側面ガイドツマミ(上)(4ヵ所)を反時計方向に回してゆるめます。

LU-407

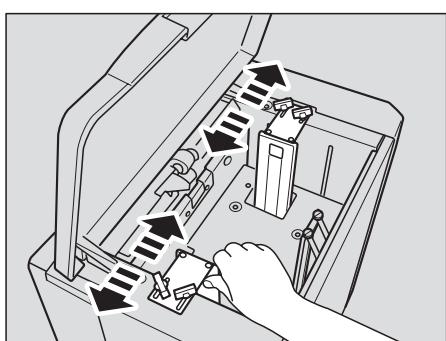


LU-408

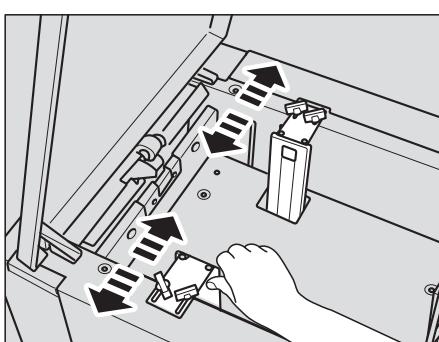


- (2) 2つの側面ガイドをガイド板に刻印されているサイズ指標に合わせて動かします。

LU-407



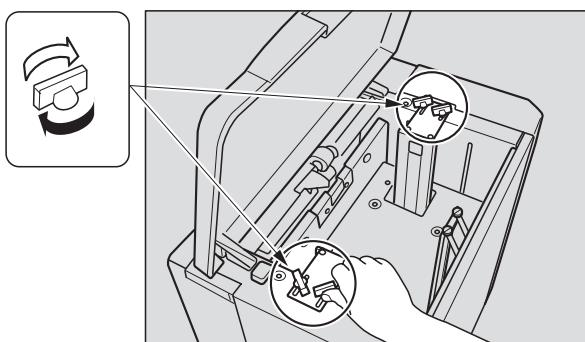
LU-408



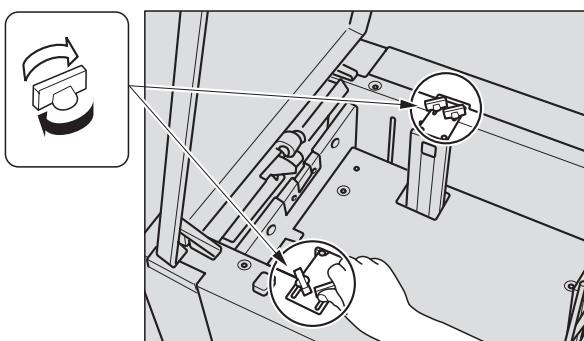
4 側面ガイドを固定します。

(1) 側面ガイドツマミ(上)を時計方向に回して固定します。

LU-407



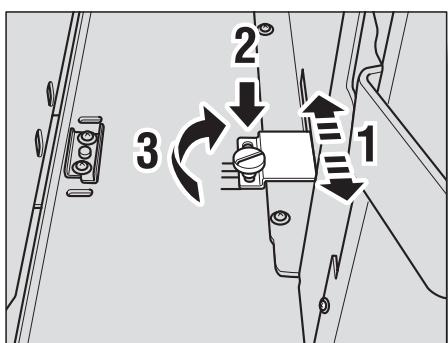
LU-408



(2) 側面ガイド底部固定板の手前側エッジ部をサイズ指標に合わせます。

(3) 固定ネジ穴に側面ガイドツマミ(下)を取り付け、時計方向に回して固定します。

LU-407



詳しく説明します

動かした側面ガイドの位置によっては、今まで使用していたネジ穴が使用できないことがあります。使用できるネジ穴を使用して固定してください。

用紙補給

インデックス紙トレイセット

トナー補給

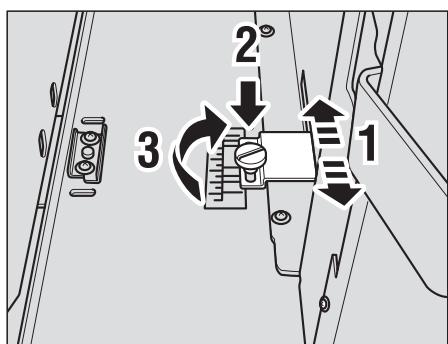
ステーブル針補給

パンチくず処理

Z折りパンチくず処理

断裁くず処理

LU-408

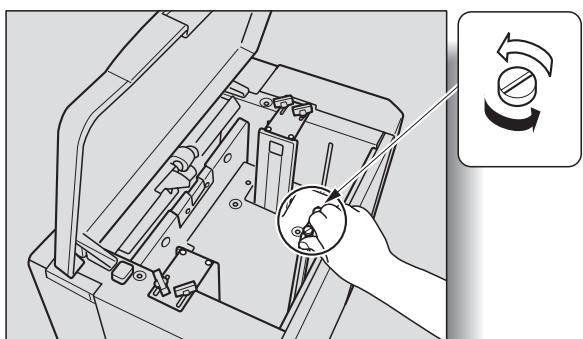


(4) トレイ左扉を閉じます。

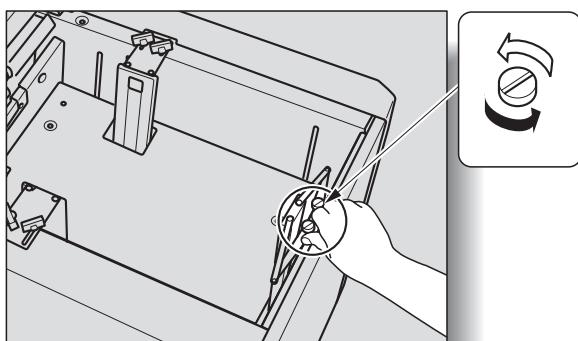
5 後端ガイドの位置を調整し、固定します。

(1) 後端ガイドツマミ（2ヵ所）を反時計方向に回してゆるめます。

LU-407

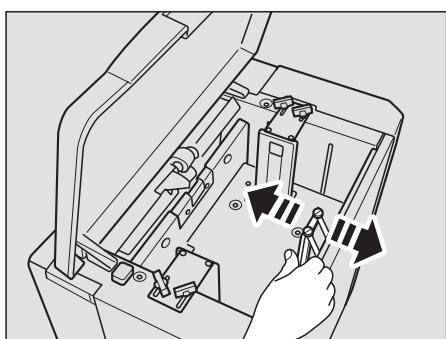


LU-408

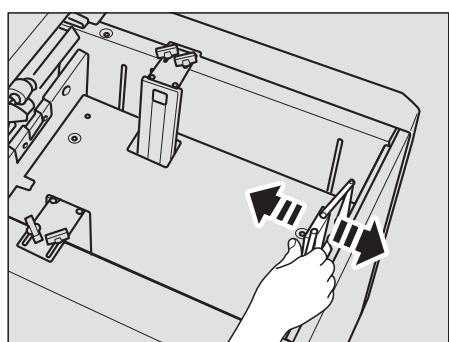


(2) 後端ガイドをトレイ底板のサイズ指標に合わせて動かします。

LU-407

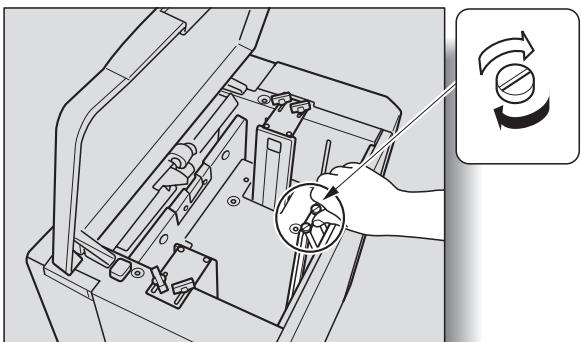


LU-408

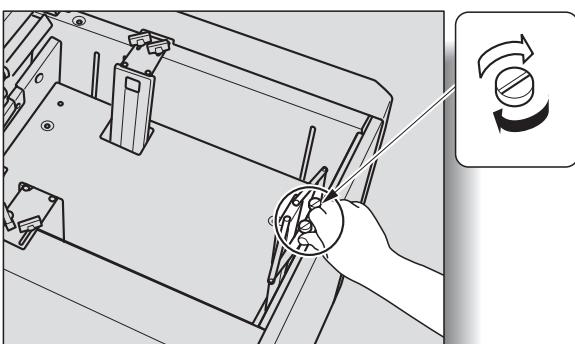


(3) 後端ガイドツマミ(2ヵ所)を時計方向に回して固定します。

LU-407

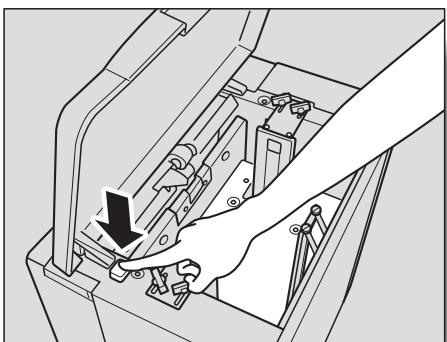


LU-408

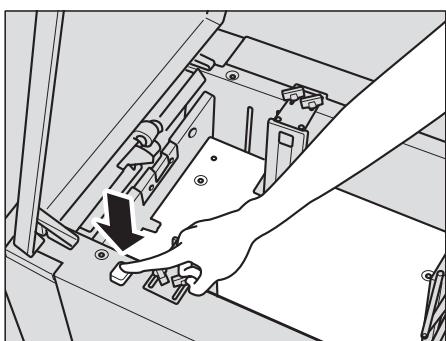


6 トレイ底板下降ボタンを押します。

LU-407

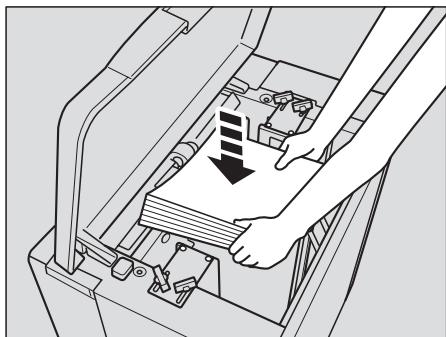


LU-408

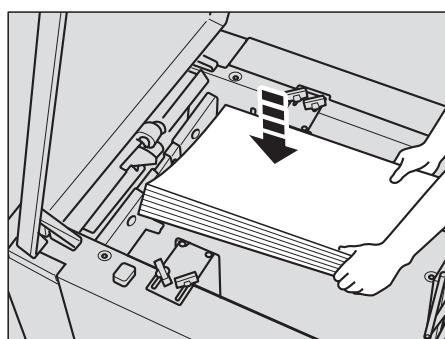


7 用紙をセットします。

LU-407

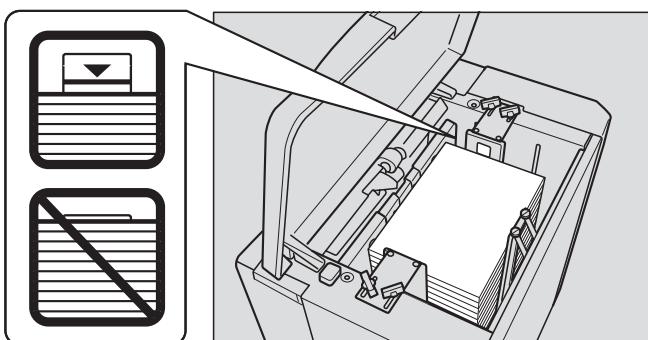


LU-408

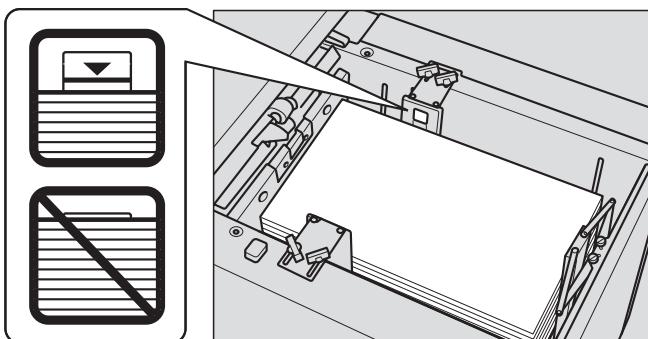


8 手順6、7の作業をトレイ底板が下降しなくなるまで繰り返します。

LU-407



LU-408



必ず守ってください

- トレイの側面ガイドに表示されている高さ制限を超えて用紙をセットしないでください。
- 後端ガイドがセットして用紙サイズに合っていることを確認してください。後端ガイドと用紙の間に隙間があったり、狭くなりすぎたりしていると、紙づまりや故障の原因になります。

9 トレイ上扉を閉じます。

インデックス紙をトレイにセットする

インデックス紙は下記のトレイにセットしてコピーすることができます。

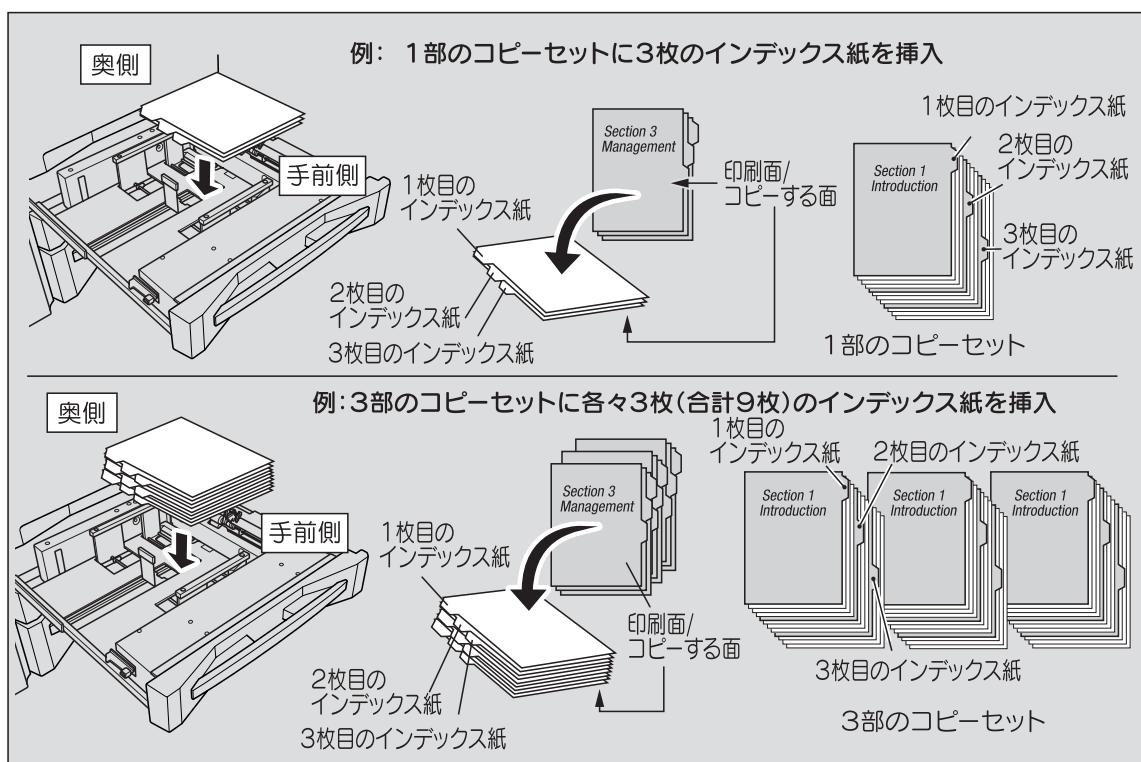
- 本体トレイ（トレイ1～3）
- 本体手差しトレイ
- 大容量給紙ユニットLU-407/LU-408

各トレイにインデックス紙をセットするときは、セットするトレイの用紙設定のサイズをインデックス紙に変更します。 詳細は、p. 9-41をごらんください。



コピーできるインデックス部分の幅は12.5mm以下です。

本体トレイに（トレイ1～3）にインデックス紙をセットする



1 トレイを本体から引き出します。
用紙サイズを「インデックス紙」と設定したトレイを引
き出します。

2 給紙ローラーを開きます。

3 インデックス紙をセットします。



側面ガイド板の高さ制限を超
えないように用紙をセットしてく
ださい。

4 側面ガイド板をインデックス紙に突き当てる
トレイの給紙ローラー側に用紙を揃えるようにして
セットします。
手前側の側面ガイド板のロック解除レバーを押しながら
用紙に突き当て、後端ガイド板をインデックス紙のサ
イズに合わせた任意の位置にセットします。



側面ガイド板と後端ガイド板は
確実に用紙に突き当てるください。
ガイド板と用紙に隙間がある
と、紙づまりや給送装置の故障の
原因になります。

5 給紙ローラーを閉じ、トレイを本体に奥まで確実
にもどします。

用紙補給

インデックス紙トレイセット

トナー補給

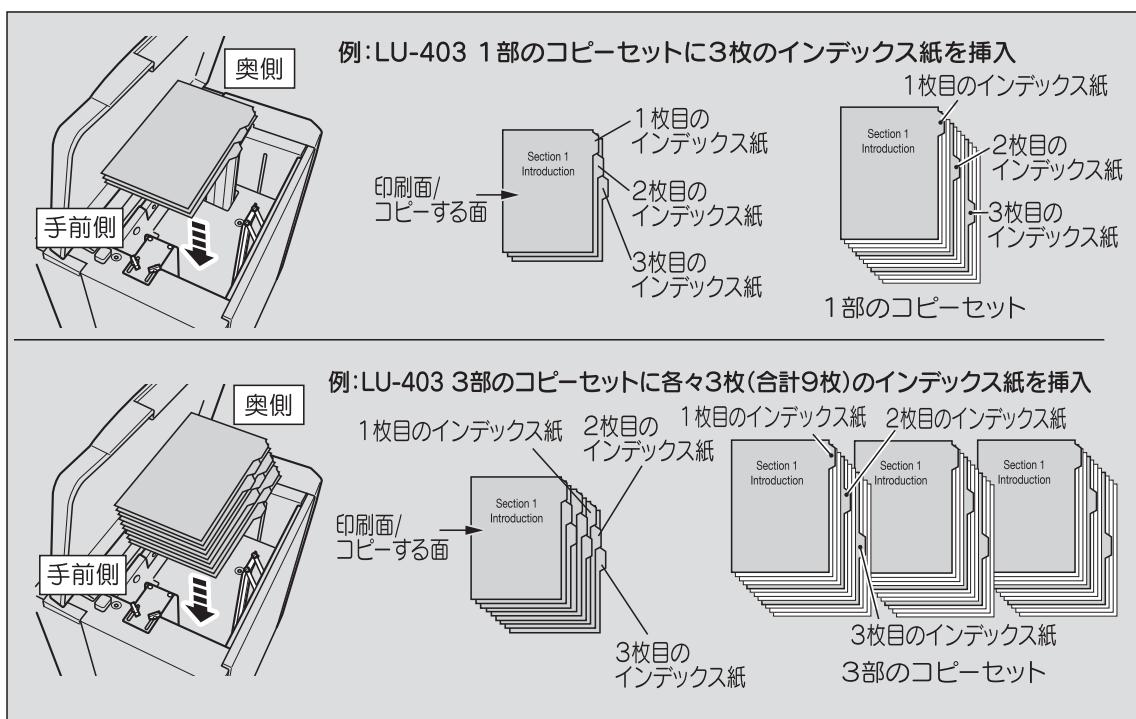
ステープル針補給

パンチくず処理

Z折りパンチくず処理

断裁くず処理

大容量給紙ユニットにインデックス紙をセットする



1 トレイ4の用紙サイズを「インデックス紙」に設定します。



用紙設定の詳細は、p. 9-41をごらんください。

2 トレイ上扉を開きます。



1セットのインデックス紙をセットし、そのインデックス紙を使いきらなかったとき、不要なインデックス紙を自動的に排紙することができます。次ページを参照してください。

3 トレイ底板下降ボタンを押して、トレイ底板を下降させます。



側面ガイド板と後端ガイド板の位置調整の詳細は、p. 4-6をごらんください。

4 インデックス紙をセットします。
トレイの給紙ローラー側に用紙を揃えるようにしてセットします。
側面ガイド板と後端ガイド板を用紙に沿わせます。

5 ガイド板をインデックス紙に突き当てます。

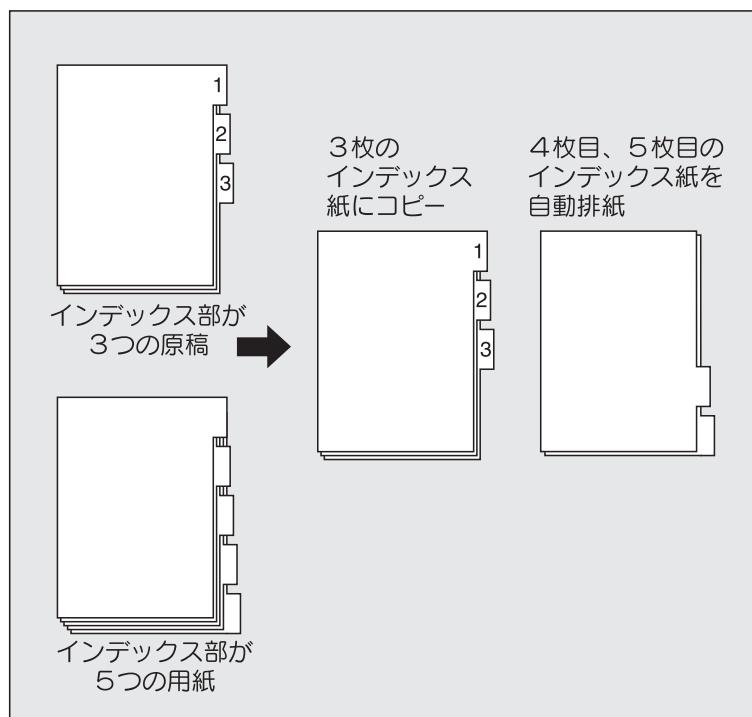
トレイの給紙ローラー側に用紙を揃えるようにしてセットします。
側面ガイド板と後端ガイド板を用紙に沿わせます。

6 トレイ上扉を閉じます。



1セットのインデックス紙を給紙トレイにセットし、不要なインデックス紙を自動的に排紙することができます。

たとえば、1セットが5つのインデックス紙をセットしたときに、3つのインデックス紙のみ必要な場合は下図のように排紙されます。



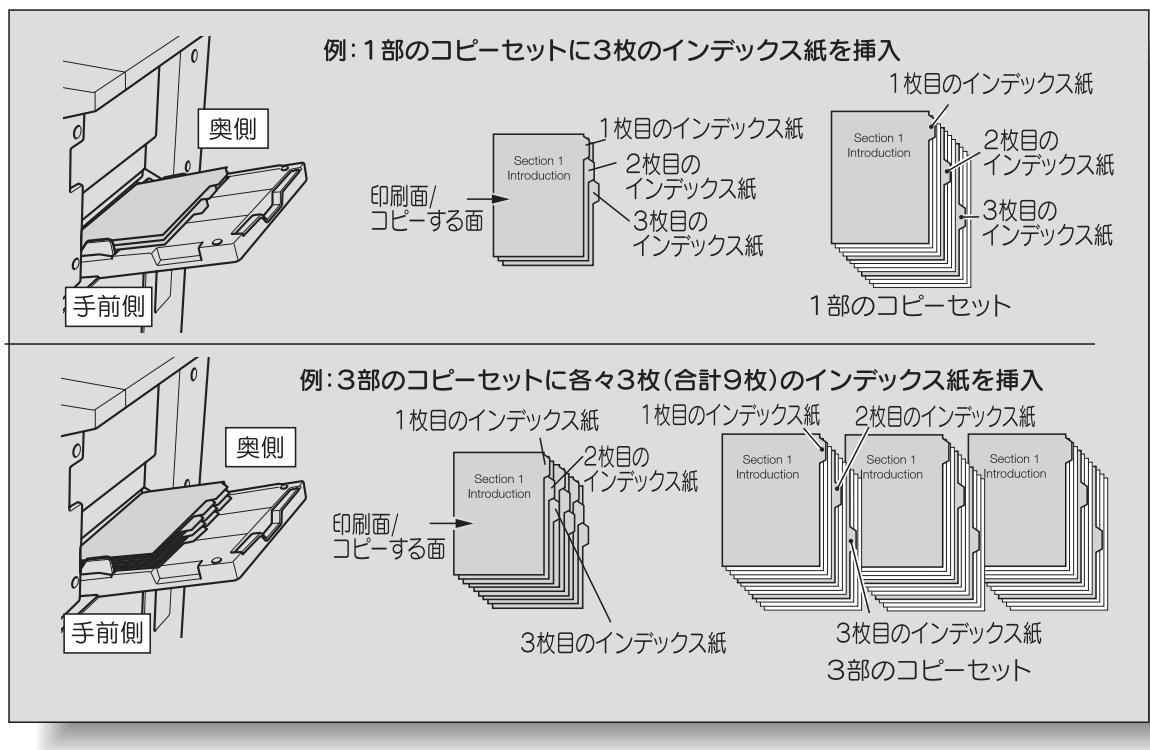
インデックス紙モードに関しては、p. 9-14をごらんください。

不要インデックス紙排紙機能を使用するかしないかは、設定メニュー画面で行います。詳細はPOD管理者編のp.5-28をごらんください。

不要インデックス紙排紙機能を使用するに設定している機械が、紙づまりなどでジョブを中断したとき、給紙トレイにセットされているインデックス紙が、1つ目のインデックス紙からコピーされるようにインデックス紙がセットされているか確認をうながすメッセージが表示されます。

装着されているフィニッシャーによって、不要インデックス紙排紙機能が使用できないことがあります。

手差しトレイにインデックス紙をセットする



補給・ぐず処理
第1章

インデックス紙 トレイセット

ナ-ー補給

ステープル

パンチング

第 9 处理

回路
処理

1 手差しトレイを開きます。



用紙設定の詳細は、p. 9-41 をご覧ください。

2 手差しトレイの用紙サイズを「インデックス紙」に設定します。



コピーできるインデックス部分
の幅は12.5mm以下です。

3 インデックス紙をセットします。
上図を参考にセットします。

トナーを補給する

本機には、トナーボトルにトナーがなくなっても直ちにコピーができなくなるないようにトナー補給部にトナーが残っています。

トナーが残り少ないと、「コピーできます トナーを入れてください」と表示されます。トナー補給部のトナーもなくなると、「トナーがなくなりました トナーを入れてください」というメッセージが表示されます。



トナーボトルを交換する前に

- トナーボトルカバーの前面にトナータイプNo.が記載されているラベルが貼られています。そのナンバーと同じナンバーのトナーボトルをご使用ください。異なるトナーボトルを使用すると故障の原因になります。
- 使用済みのトナーボトルは、新しいトナーボトルについていたカバーをし、梱包箱に入れてサービス実施店にお渡しください。



下記の手順に従ってトナーボトルを交換して、トナーを補給してください。

⚠ 警告

トナーおよびトナーボトルを絶対に火中に投げないでください！

トナーやトナーボトルは、使用済みのトナーボトルも含めて、火中に投げると、トナーが飛び散り、やけどをする恐れがあり、とても危険です。

→ 使用済みのトナーボトルは、サービス実施店が回収します。

⚠ 注意

トナーボトルの保管や取扱いに注意！

トナーを大量に吸ったり、目に入ったりすると、健康を害します。

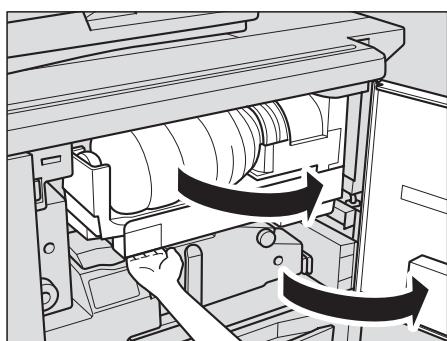
→ トナーボトルは、子供の手の届かないところに保管してください。

→ トナーで本体内部、衣服や手を汚さないように注意して取り扱ってください。

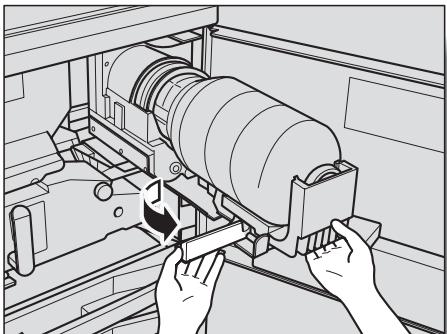
→ トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤で洗い流してください。

→ 目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流し、医師の診断を受けるようにしてください。

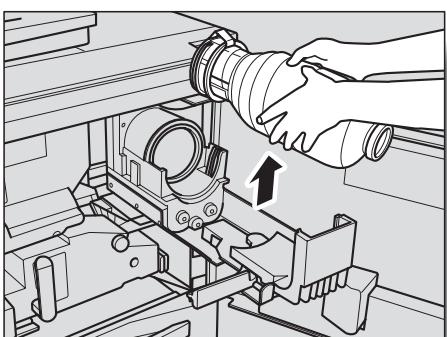
- 1 本体前扉を開き、トナーユニットを手前に90度引き出します。



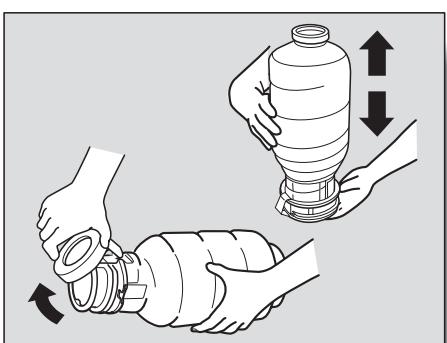
- 2 トナーユニットの左側のレバーを手前側に止まるまで引きます。



- 3 空になったトナー ボトルを上に持ち上げて取り外します。



- 4 新しいトナー ボトルを上下に2 ~ 3回振ります。カバーを取り外します。



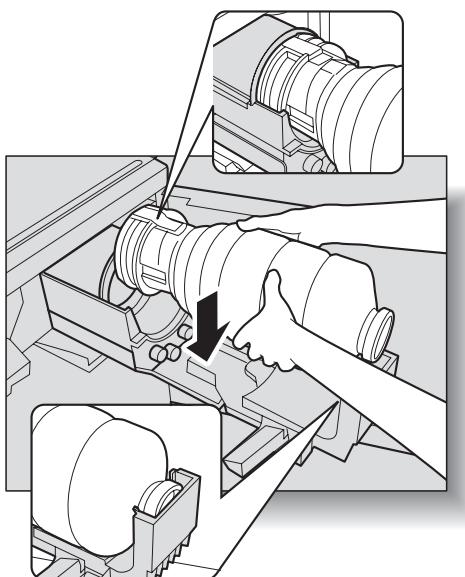
用紙補給

インデックス紙
トレイセット

トナー補給

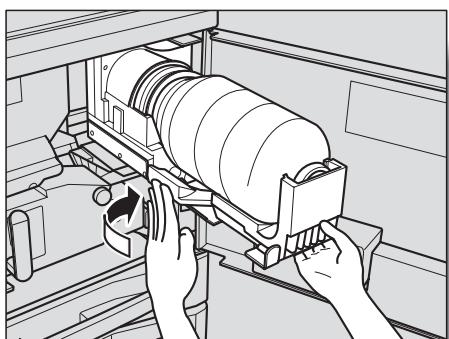
ステープル
針補給パンチくず
処理Z折りパンチ
くず処理断裁くず
処理

- 5** 新しいトナーボトルをトナーユニットに取り付け、トナーボトルの切り欠き部が上になるように調整します。

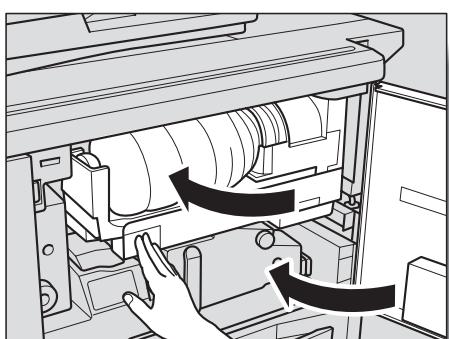


トナーボトルの切り欠き部が左図のように必ず上になるように回して調整します。そうしないと機械故障の原因になります。

- 6** トナーユニット左側のレバーを奥側に止まるまで押し込みます。



- 7** トナーユニットを元の位置にもどし、本体前扉を閉じます。



ステープル針を補給する

下記のオプションにはステープル装置が装着されています。

- フィニッシャー FS-528
- フィニッシャー FS-611

各手順に従ってステープル針を補給してください。

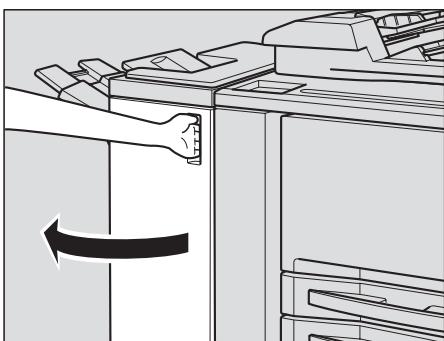
フィニッシャー FS-528 にステープル針を補給する

フィニッシャー FS-528 のステープル針がなくなると、機械状態画面のオプション状態表示部のステープル針表示が赤く点灯します。コピー画面には下記のメッセージが表示されます。



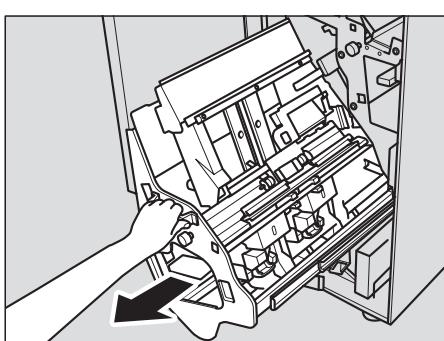
下記の手順に従ってステープルロールをセットして針を補給してください。

1 フィニッシャー扉を開きます。



2 スタッカーユニットを引き出します。

レバー FN6 を持って、スタッカーユニットを止まるまでゆっくり手前に引き出します。



用紙補給

インデックス紙トレイセット

トナー補給

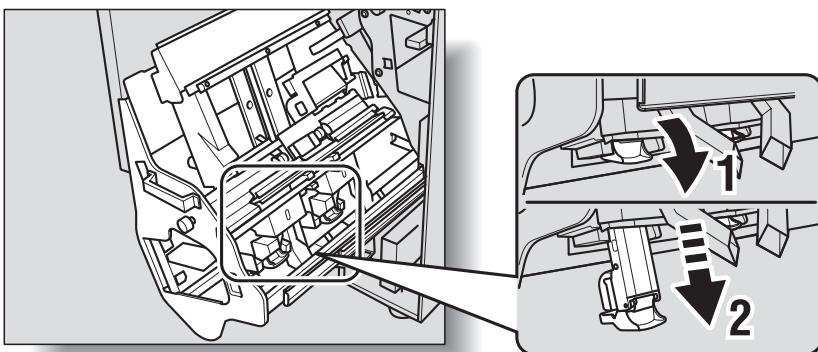
ステープル針補給

パンチくず処理

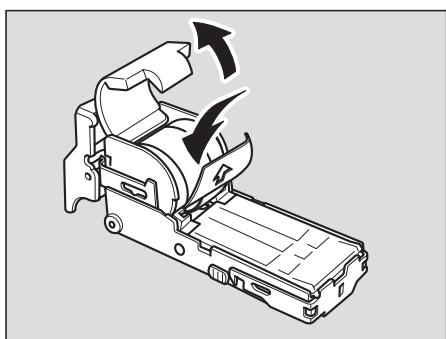
Z折りパンチくず処理

断裁くず処理

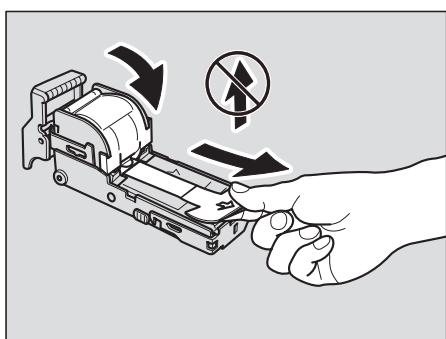
- 3** ステープルカートリッジを取り出します。
ステープルカートリッジの取手を下に引きながら下側に引き出します。



- 4** ステープルロールをカートリッジにセットします。
ステープルカートリッジカバーを開き、ステープルロールをセットします。



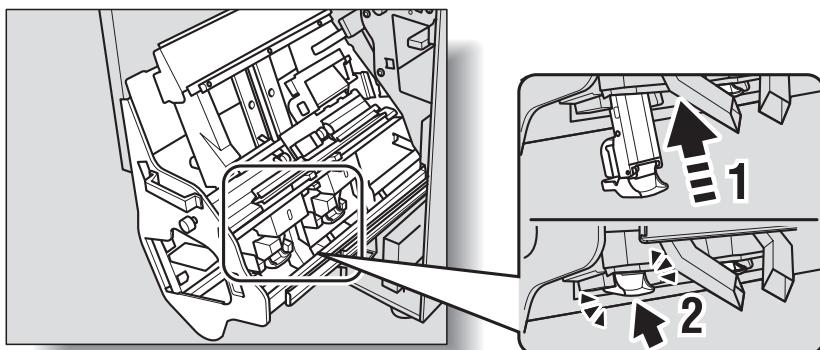
カバーを閉じてロックテープを水平に引き抜きます。



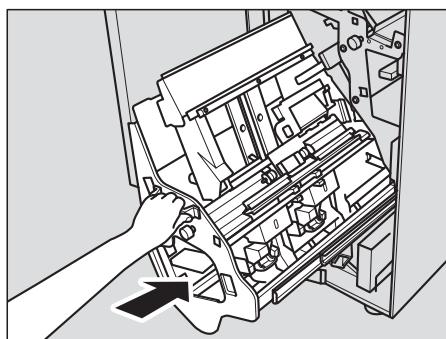
ロックテープを上に引き抜かないでください。途中で切れてカートリッジ内に残り、ステープルできなくなることがあります。

5 ステープルカートリッジを取り付けます。

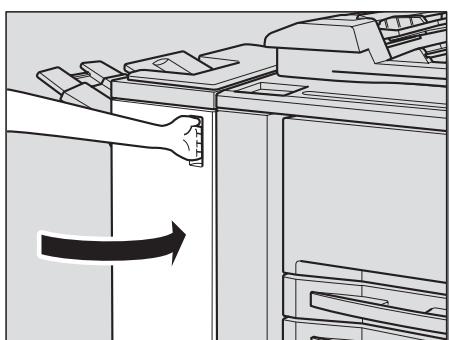
図のように元の位置にもどします。最後にしっかり上に押し込みます。



6 スタッカユニットを元の位置にもどします。



7 フィニッシャー扉を閉じます。



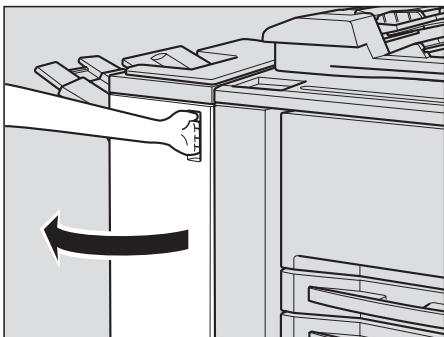
フィニッシャー FS-611 にステープル針を補給する

フィニッシャー FS-611 のステープル針がなくなると、機械状態画面のオプション状態表示部のステープル針表示が赤く点灯します。コピー画面には下記のメッセージが表示されます。



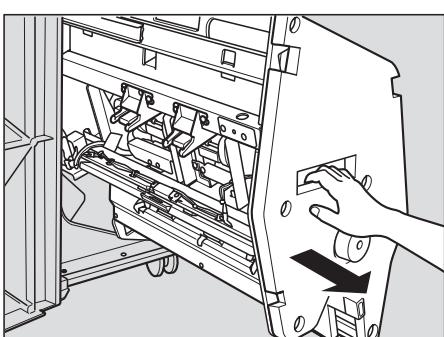
下記の手順に従ってステープルロールをセットして針を補給してください。

1 フィニッシャー扉を開きます。



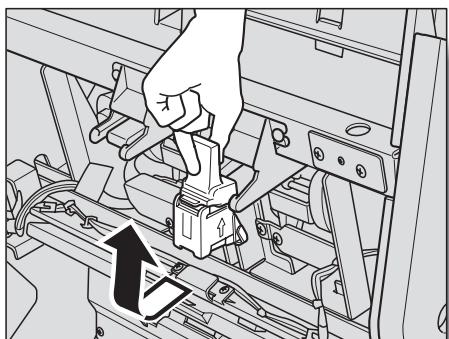
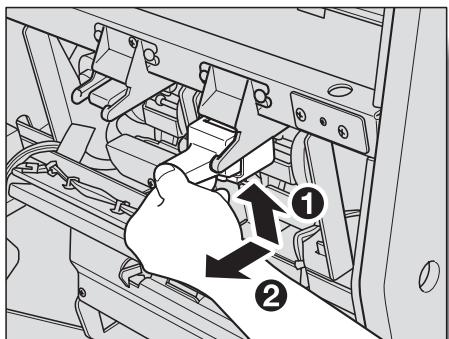
2 スタッカーユニットを引き出します。

レバー FN6 を持って、スタッカーユニットを止まるまでゆっくり手前に引き出します。

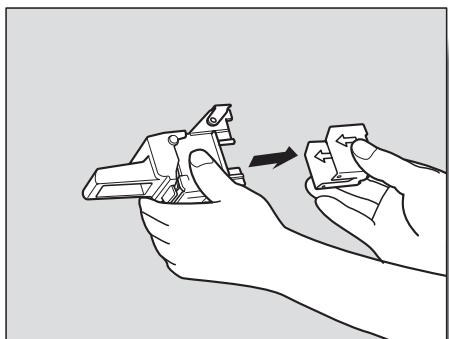


3 ステークルカートリッジを取り出します。

ステークルカートリッジのツマミを上に上げながら手前に引き出し、レールに沿わせながら取り出します。



4 ステークルカートリッジから空になったステークルケースを取り出します。



用紙補給

インデックス紙トレイセット

トナー補給

ステープル針補給

パンチくず処理

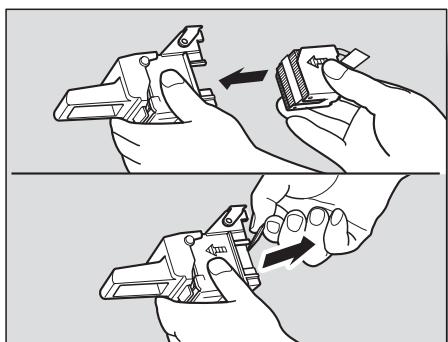
Z折りパンチくず処理

断裁くず処理

5 新しいカートリッジケースをステープルカートリッジに入れます。

カートリッジケースの矢印の面とステープルカートリッジの矢印の面を合わせ、カートリッジケースを置くまでしっかりと入れます。

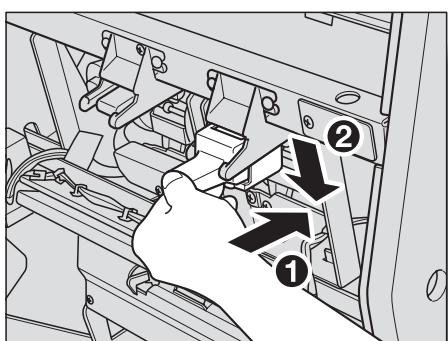
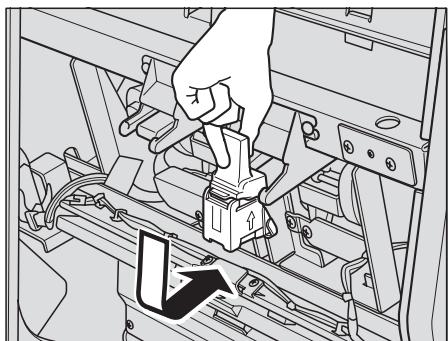
ロックテープを取り外します。



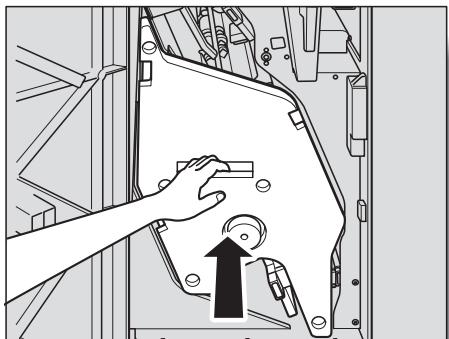
ステープルカートリッジに残っている針は取り除かないでください。取り除くと、交換後のステープルは空打ちされ、ステープルされません。

6 ステープルカートリッジを取り付けます。

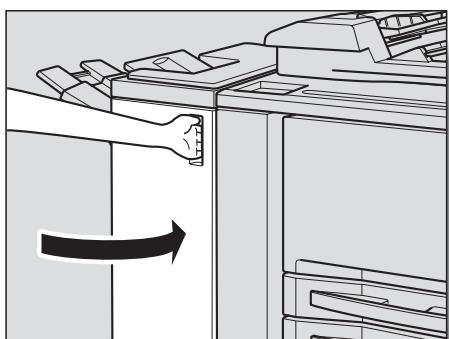
ステープルカートリッジをレールにセットし、図のように沿わせながら元の位置にもどします。最後にしっかりと下に押し込みます。



7 スタッカユニットを元の位置にもどします。



8 フィニッシャー扉を閉じます。



用紙補給

インデックス紙トレイセット

トナー補給

ステープル針補給

パンチくず処理

Z折りパンチくず処理

断裁くず処理

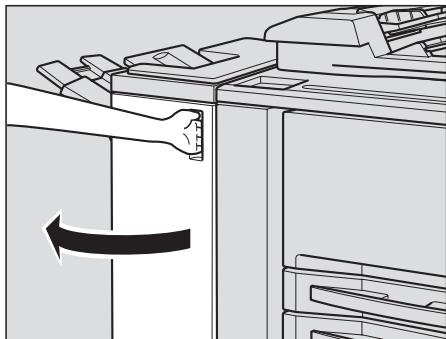
パンチキットのパンチくずを処理する

パンチキットPK-503は、フィニッシャーFS-528/FS-611内に取り付けられています。このパンチキットのパンチくず箱がパンチくずでいっぱいになると、機械状態画面のオプション状態表示部のパンチくず表示が赤く点灯します。コピー画面には下記のメッセージが表示されます。

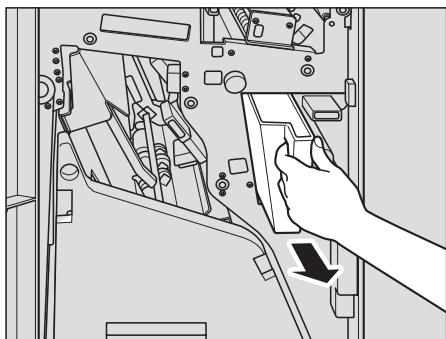


下記の手順に従ってパンチくずを捨ててください。

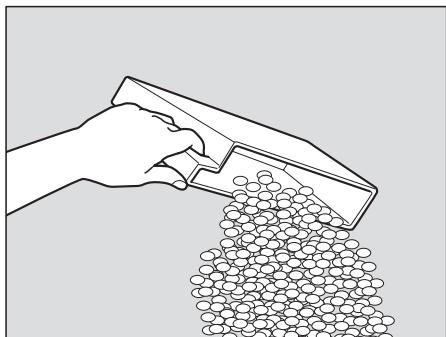
1 フィニッシャー扉を開きます。



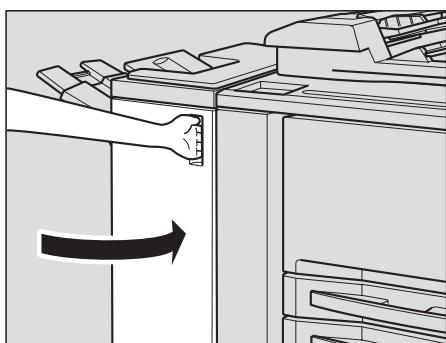
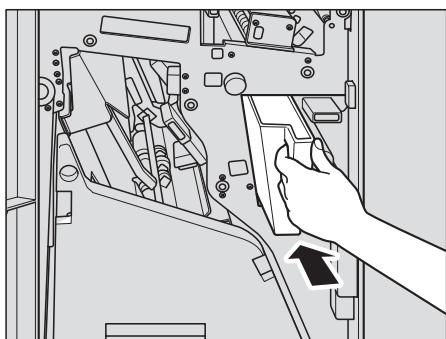
2 パンチキットくず箱を引き出します。



3 パンチくずを捨てます。



4 パンチキットくず箱を元の位置にもどし、フィニッシャー扉を閉じます。



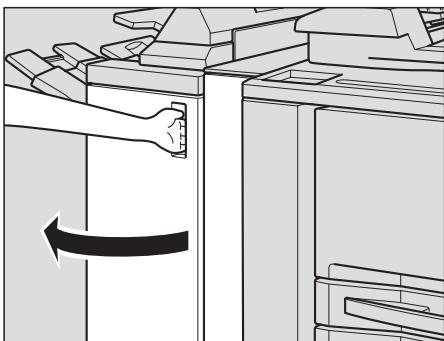
Z折りユニットのパンチくずを処理する

Z折りユニット ZU-607 はフィニッシャー FS-528/FS-611 の右側に取り付けられています。

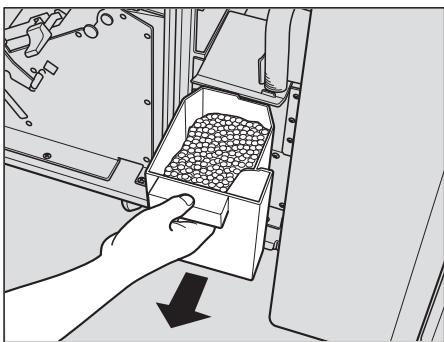
このZ折りユニットのパンチくず箱にパンチくずがいっぱいになると、機械状態画面のオプション状態表示部のパンチくず表示が赤く点灯します。コピー画面には下記のメッセージが表示されます。



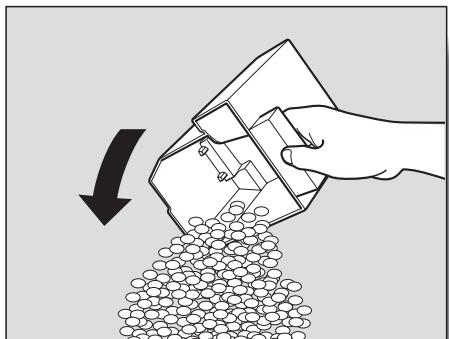
- 1 フィニッシャー扉の取手を持って、Z折りユニット前扉を開きます。



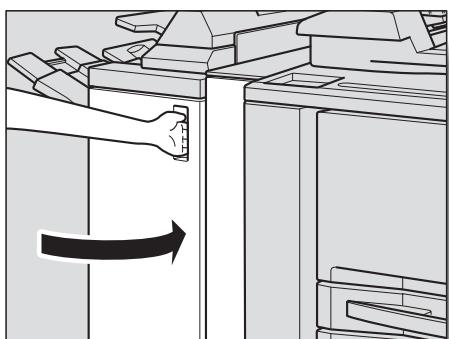
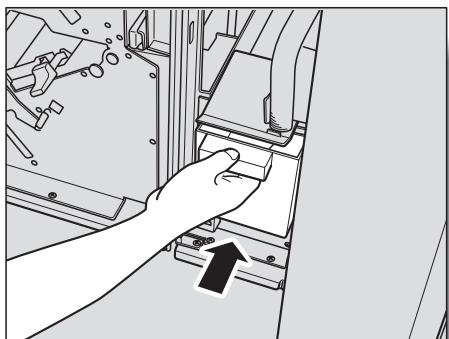
- 2 くず箱を引き出します。



3 パンチくずを捨てます。



4 くず箱を元の位置にもどし、Z折りユニット前扉を閉じます。



用紙補給

インデックス紙トレイセット

トナー補給

ステープル針補給

パンチくず処理

Z折りパンチくず処理

断裁くず処理

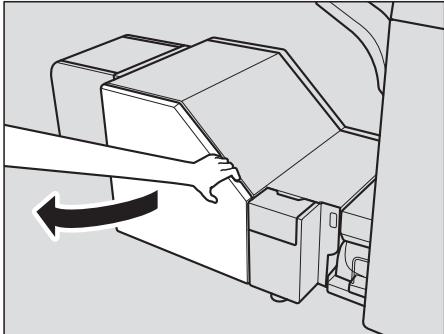
断裁くずを処理する

トリマーユニット TU-502 内の断裁くず箱に切りくずがいっぱいになると、機械状態画面のオプション状態表示部の断裁くず表示が赤く点灯します。コピー画面には下記のメッセージが表示されます。

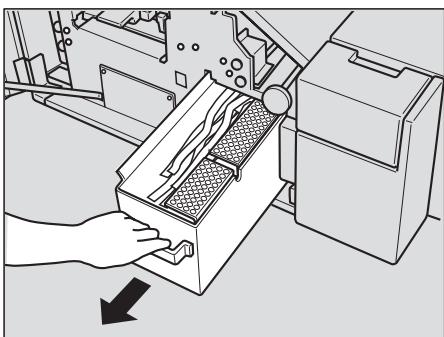


下記の手順に従って断裁くずを捨ててください。

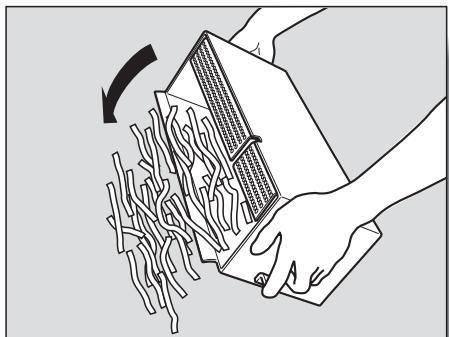
1 トリマーユニット扉を開きます。



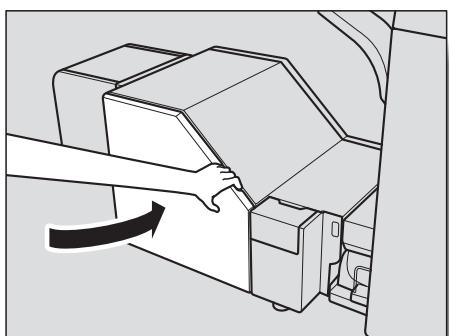
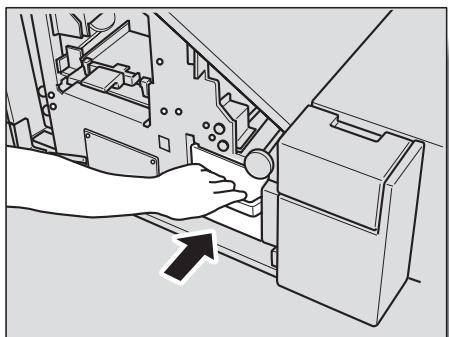
2 断裁くず箱を引き出します。



3 断裁くずを捨てます。



4 断裁くず箱を元の位置にもどし、トリマーユニット前扉を閉じます。



トラブルの処置

第5章

トラブルの処置

第5章

トラブルの処置方法について説明します。

「サービスに連絡して下さい C-####」と表示されたら：サービスコール... 5-2

「紙づまりです」と表示されたら 5-4

ジャム処理をするときの留意点	5-5
ジャム位置表示とイラスト説明	5-6
ジャム位置表示	5-7
ジャム番号〔1〕点滅：トレイ1での紙づまり処理.....	5-10
ジャム番号〔2〕点滅：トレイ2での紙づまり処理.....	5-11
ジャム番号〔3〕点滅：トレイ3での紙づまり処理.....	5-12
ジャム番号〔4〕点滅：トレイ4での紙づまり処理.....	5-14
ジャム番号〔5〕点滅：手差しトレイでの紙づまり処理.....	5-14
ジャム番号〔6〕点滅：本体右縦搬送部での紙づまり処理.....	5-15
ジャム番号〔7〕点滅：大容量給紙ユニット水平搬送部での紙づまり処理 ...	5-16
ジャム番号〔8〕点滅：本体給紙入口部での紙づまり処理.....	5-17
ジャム番号〔9〕点滅：本体ドラム部での紙づまり処理.....	5-19
ジャム番号〔10〕点滅：本体定着・反転部での紙づまり処理	5-21
ジャム番号〔11〕点滅：本体定着部での紙づまり処理	5-23
ジャム番号〔12〕点滅：本体反転部での紙づまり処理	5-25
ジャム番号〔13〕点滅：フィニッシャー FS-528での紙づまり処理	5-27
ジャム番号〔13〕点滅：フィニッシャー FS-611での紙づまり処理	5-30
ジャム番号〔14〕点滅：ADF給紙・排紙部での紙づまり処理	5-33
ジャム番号〔15〕点滅：ADF反転部での紙づまり処理.....	5-34
ジャム番号〔17〕点滅：フィニッシャー FS-528サブトレイでの紙づまり処理 ..	5-35
ジャム番号〔17〕点滅：フィニッシャー FS-611サブトレイでの紙づまり処理 ..	5-36
ジャム番号〔18〕点滅：フィニッシャー中とじ部での紙づまり処理	5-39
ジャム番号〔19〕点滅：トリマーユニットでの紙づまり処理	5-41
ジャム番号〔20〕点滅：Z折りユニットでの紙づまり処理	5-43

〔機械状態〕タブがオレンジ色に点滅したら 5-48

紙づまり	5-48
用紙なし停止	5-49
用紙不一致停止	5-51

「メモリーオーバーフローです」と表示されたら 5-52

処置1 - 現コピーでのメモリーオーバーフロー	5-52
処置2 - コピー予約中のメモリーオーバーフロー	5-53

「電源を入れ直してください」と表示されたら 5-54

「コントローラーを認識できません」と表示されたら 5-55

簡単なトラブルの処置 5-56

サービスに連絡して下さい

紙づまりです

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

「サービスに連絡して下さい C-####」と表示されたら：サービスコール

お客様では処置できないトラブルが起こったとき、「サービスに連絡してください C-####」というメッセージの画面（サービスコール画面）が表示されます。この画面の中央には、通常、お客様のサービス実施店の電話番号とFAX番号が表示されます。



思わぬ事故になる恐れがありますので、サービスコール画面が表示された場合は、直ちに下記の手順に従ってサービス実施店にご連絡ください。

1 メッセージ 2 行目のレポートコード番号「C-####」を書き留めます。

管理者は設定メニュー画面からサービス実施店へのサービスコールができます。
このとき、サービス実施店は故障の状況を把握していますので、レポートコードを電話で連絡する必要はありません。



管理者によるサービス実施店へのサービスコールの詳細は、POD 管理者編の p. 5-76 をご覧ください。

2 電源をオフにします。

副電源スイッチをオフにし、主電源スイッチをオフにします。



「電源OFF処理中です 主電源を切らないで下さい」の表示が消えてから主電源スイッチをオフにしてください。

3 本体の電源プラグをコンセントから引き抜きます。

4 サービス実施店に連絡し、書き留めたレポートコード番号をお知らせください。



詳細：トラブル発生時の限定使用について

本機は、サービスコール画面が表示されても下記のようなメッセージが表示されている場合は、トラブル発生箇所をオフにして機械を一時的に使用できる機能があります。(限定使用) 限定使用する場合は必ずサービス実施店にお問い合わせください。また、限定使用は、サービス実施店の修理を受けるまでの臨時の使用にとどめてください。

(1) 限定使用できる場合は、サービスコール画面のメッセージ欄にレポートコード番号が表示されません。

例：

トレイ 2 が故障しました
リセットボタンで限定使用できます

(2) 操作パネルの【リセット】を押します。下記のメッセージが表示されます。

電源を入れなおしてください
C-0202

(3) 副電源スイッチをオフ / オンします。トレイ 2 以外のトレイを使用してコピーできます。

⚠ 注意

限定使用で機械を使い続けないでください！
思わぬ事故になる恐れがあります。

→ 限定使用で機械が使用できるようになっても、必ず
サービス実施店の修理をなるべく早く受けてください。

「紙づまりです」と表示されたら

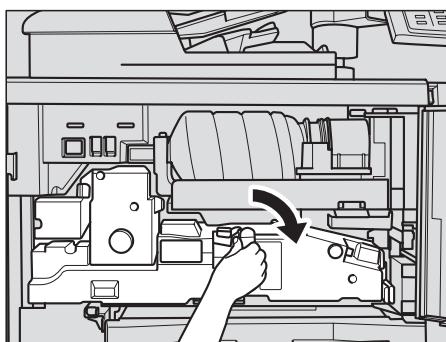
印刷中に紙づまりが発生すると、「紙づまりです ガイドに従ってペーパーを取り除いてください」というメッセージが表示され、紙づまり箇所が番号で、紙づまりの処理方法が文書で表示されます。

このとき、操作パネルの【スタート】のランプはオレンジ色に変わり、紙づまりが適切に処置されるまでは、動作しなくなります。

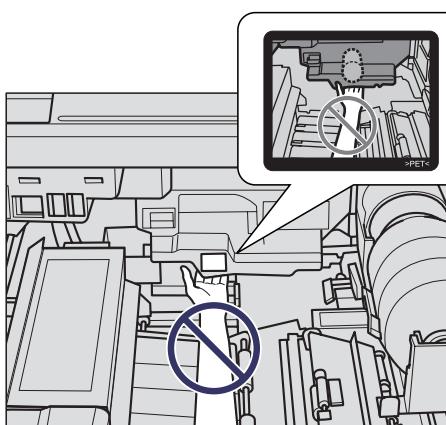


ジャム処理をするときの留意点

- 紙づまり処理時に、主電源スイッチや副電源スイッチをオフにしないでください。トレイを引き出すことができなくなります。また、定着搬送ユニットを引き出すことができなくなります。
- 定着搬送ユニットを引き出すレバー M4 は、本体給紙入口部、本体排紙部につまつた紙がある場合、右に倒して定着搬送ユニットを引き出せません。絶対無理にレバー M4 を倒さないでください。



- つまっている用紙を取り除くには、紙を破ったり、紙片を機械内に残さないようにしてください。
- ドラム面に手を触れたり、傷つけたりしないようにしてください。



サービスに連絡してください

紙づまりです

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

ジャム位置表示とイラスト説明

紙づまりが複数箇所で発生していると、複数のジャム番号や矢印が点滅、または点灯しています。点滅しているジャム番号や矢印は、最優先で処置すべき位置をあらわしています。ジャムメッセージ表示部には処置方法が表示されています。



詳しく説明します

ジャム位置画面のメッセージ表示部にジャムコードを表示させることができます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

ジャム位置表示画面の [イラスト説明] を押すと「ガイド表示、イラスト表示に従ってペーパーを取り除いてください」というメッセージが表示され、紙づまり処理方法が図解と文書で表示されます。



表示が複数ある場合は[次頁]が表示されます。

押して表示させます。

[JAM位置表示]を押すと、ジャム位置表示画面にもどります。

「紙づまりです」と表示されたら(つづき)

ジャム位置表示

本図はオプションのフィニッシャ FS-528 を装着しています。



本図はオプションのフィニッシャー FS-611、ポストインサークル PI-506 を装着しています。



本図はオプションのフィニッシャー FS-611、ポストインサークル PI-506、大容量給紙ユニット LU-407/LU-408 を装着しています。



サービスに連絡してください

紙づまりです

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

「紙づまりです」と表示されたら(つづき)

本図はオプションのZ折りユニットZU-607、フィニッシャーFS-611、ポストインサーターPI-506、大容量給紙ユニットLU-407/LU-408を装着しています。



本図はオプションのZ折りユニットZU-607、フィニッシャーFS-611、ポストインサーターPI-506、トリマーユニットTU-502、大容量給紙ユニットLU-407/LU-408を装着しています。



ジャム番号とジャム位置

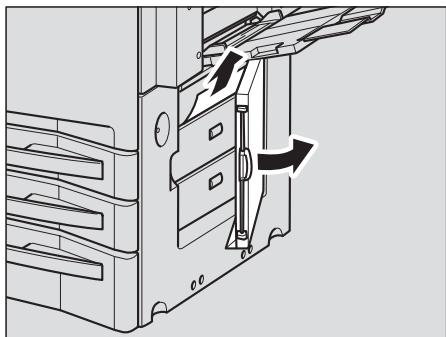
NO	ジャム位置
1	トレイ1での紙づまり
2	トレイ2での紙づまり
3	トレイ3での紙づまり
4	トレイ4での紙づまり
5	手差しトレイでの紙づまり
6	本体右縦搬送部での紙づまり
7	大容量給紙ユニット水平搬送部での紙づまり
8	本体給紙入口部での紙づまり
9	本体ドラム部での紙づまり
10	本体定着・反転部での紙づまり
11	本体定着部での紙づまり
12	本体反転部での紙づまり
13	フィニッシャーでの紙づまり
14	ADF給紙・排紙部での紙づまり
15	ADF反転部での紙づまり
17	フィニッシャーサブトレイ・ポストインサーで の紙づまり
18	フィニッシャー中とじ部での紙づまり
19	トリマーユニットでの紙づまり
20	Z折りユニットでの紙づまり

ジャム番号〔1〕点滅：トレイ1での紙づまり処理

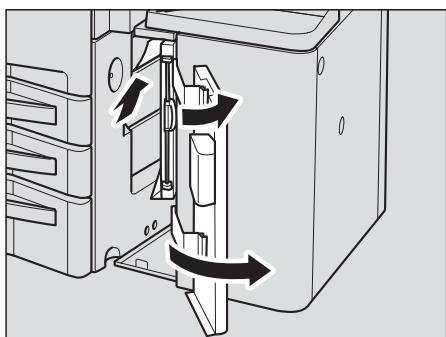
- 1 縦搬送扉解除レバーを引き、縦搬送扉を開き、つまった紙を取り除きます。



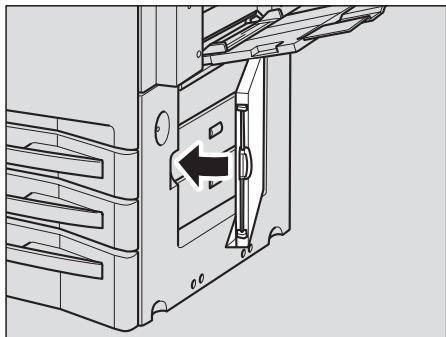
つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。



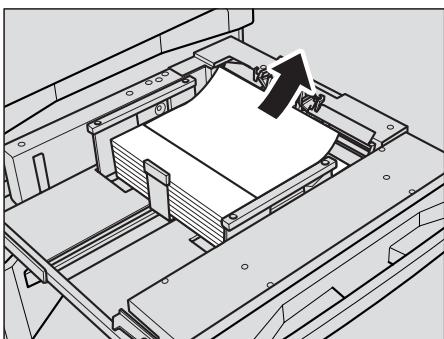
オプションの大容量給紙ユニットを装着している場合、ジャム番号〔6〕が点滅します。大容量給紙ユニット前扉を開き、本体縦搬送扉を開き、つまった紙を取り除きます。



- 2 縦搬送扉を閉じます。



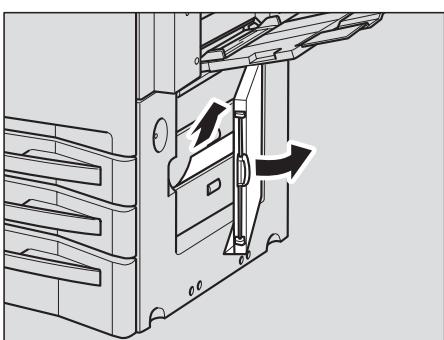
- 3** トレイ1を引き出し、用紙をセットしなおします。



- 4** トレイ1を元にもどします。

ジャム番号〔2〕点滅：トレイ2での紙づまり処理

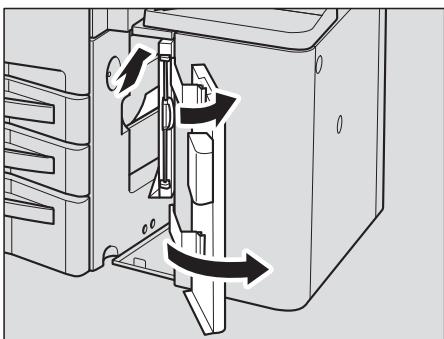
- 1** 縦搬送扉解除レバーを引き、縦搬送扉を開き、つまった紙を取り除きます。



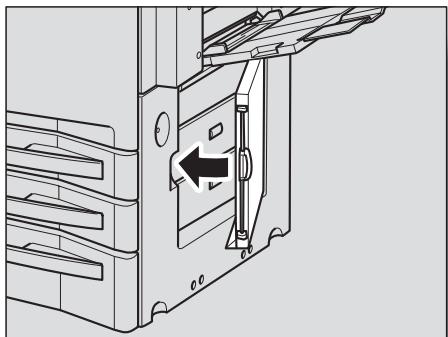
必ず守ってください

つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

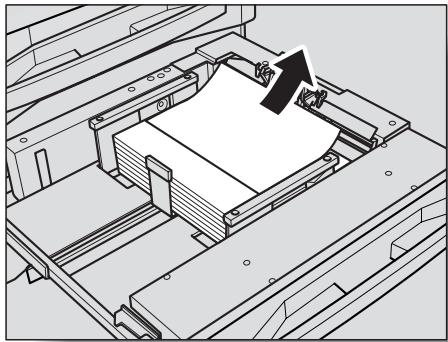
オプションの大容量給紙ユニットを装着している場合、ジャム番号〔6〕が点滅します。大容量給紙ユニット前扉を開き、本体縦搬送扉を開き、つまった紙を取り除きます。



2 縦搬送扉を閉じます。



3 トレイ2を引き出し、用紙をセットしなおします。

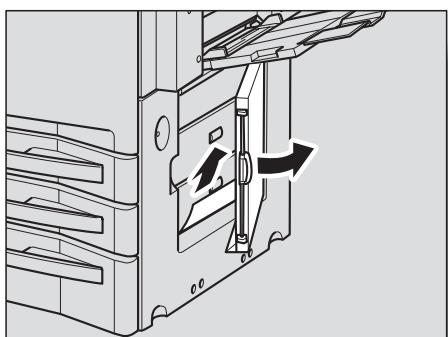


4 トレイ2を元にもどします。

ジャム番号〔3〕点滅：トレイ3での紙づまり処理

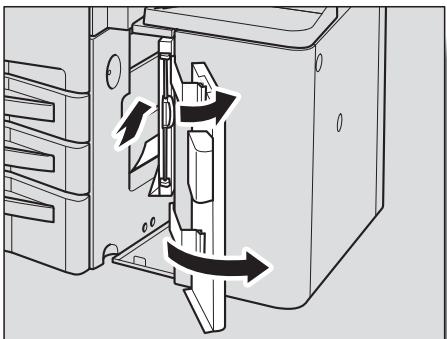
1 縦搬送扉解除レバーを引き、縦搬送扉を開き、つまった紙を取り除きます。

必ず守ってください

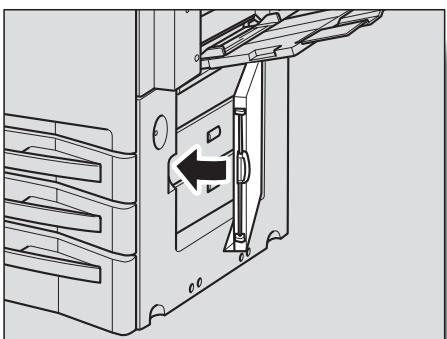


つまった紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

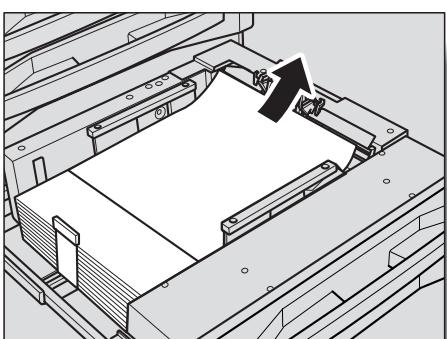
オプションの大容量給紙ユニットを装着している場合、
ジャム番号〔6〕が点滅します。大容量給紙ユニット前
扉を開き、本体縦搬送扉を開き、つまった紙を取り除き
ます。



2 縦搬送扉を閉じます。



3 トレイ3を引き出し、用紙をセットしなおします。



4 トレイ3を元にもどします。

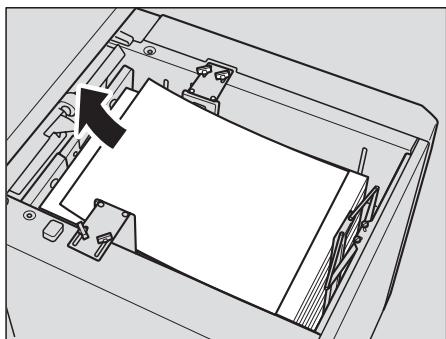
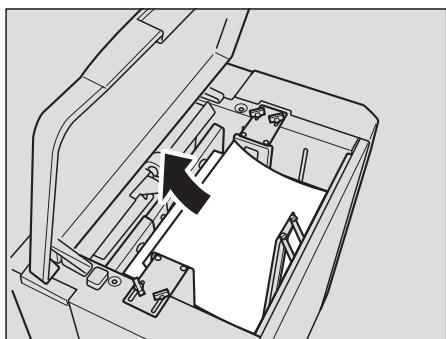
サービスに連絡してください

紙づまりです

「機械状態」タブ
のオレンジ点滅メモリーオーバー
フローです電源を入れ
直してくださいコントローラーを
確認できません簡単なトラブル
の処置

ジャム番号〔4〕点滅：トレイ4での紙づまり処理

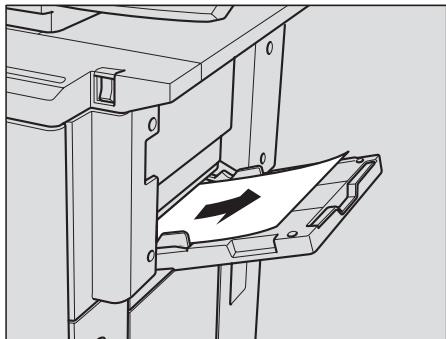
- 1 大容量給紙ユニットのトレイ上扉を開き、用紙をセットし直します。



- 2 トレイ上扉を閉じます。

ジャム番号〔5〕点滅：手差しトレイでの紙づまり処理

- 1 手差しトレイの用紙をセットしなおします。



サービスに連絡してください

紙づまりです

「機械状態」タブ
のオレンジ点滅

メモリーオーバー
フローです

電源を入れ
直してください

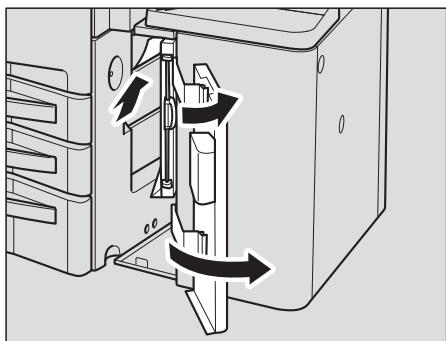
コントローラーを
確認できません

簡単なトラブル
の処置

ジャム番号〔6〕点滅：本体右縦搬送部での紙づまり処理

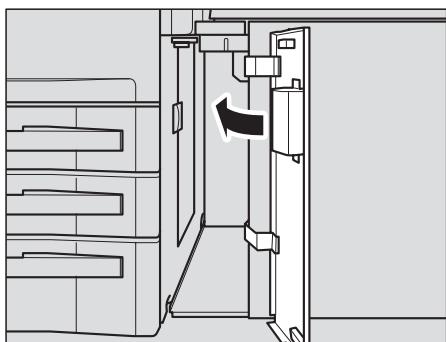
1 大容量給紙ユニットの前扉を開きます。

2 本体の縦搬送扉を開き、つまった紙を取り除きます。



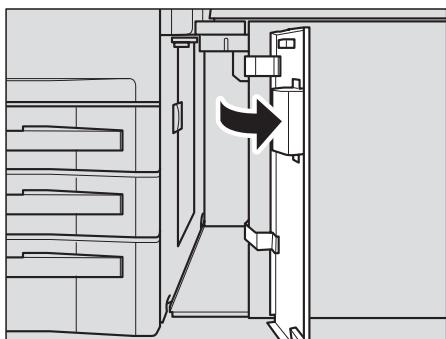
つまった紙を取り除くときは、紙
を破ったり、紙片を機械内部に残
さないようにしてください。

3 大容量給紙ユニットの前扉を閉じます。



ジャム番号〔7〕点滅：大容量給紙ユニット水平搬送部での紙づまり処理

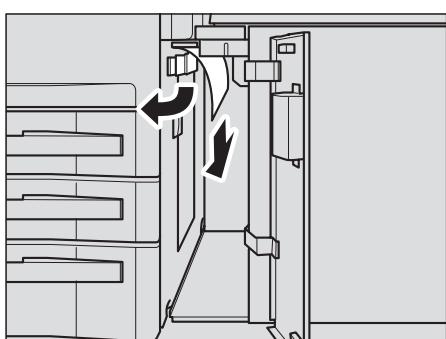
- 1 大容量給紙ユニットの前扉を開きます。



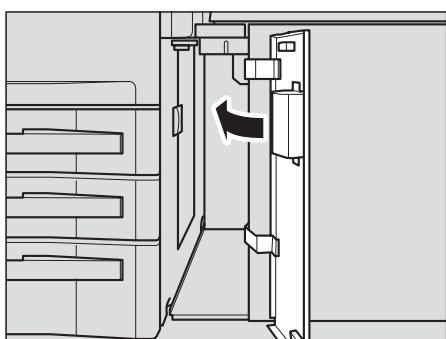
- 2 水平搬送ガイドレバーを開き、つまつた紙を取り除きます。

必ず守ってください

つまつた紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機械内部に残さないようにしてください。

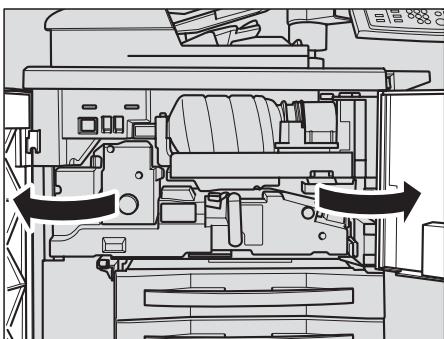


- 3 大容量給紙ユニットの前扉を閉じます。

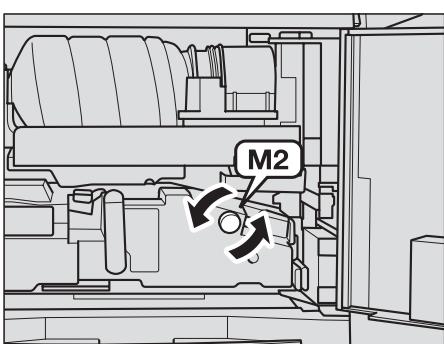


ジャム番号〔8〕点滅：本体給紙入口部での紙づまり処理

- 1** 本体の前扉および左前扉を開きます。



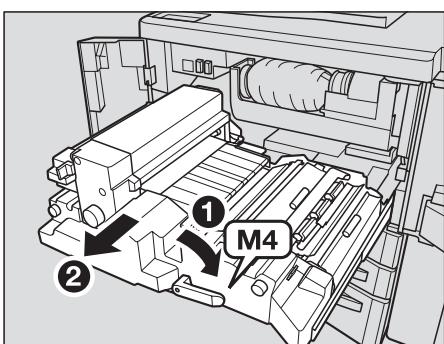
- 2** ツマミ M2 を反時計方向に回し、つまった紙を本体側に送り込みます。



必ず守ってください

定着搬送ユニット(ADU架台)を引き出す前に必ずこの作業を行ってつまった紙を本体側に送り込んでください。そうしないと、紙を破ったり、紙片を機械内部に残すことがあります。

- 3** レバー M4 を時計方向に倒してロックを解除し、定着搬送ユニット(ADU架台)を引き出します。



必ず守ってください

定着搬送ユニット(ADU架台)は、重量があります。勢いよく引き出すと、身体のバランスをくずす恐れがあります。また、機械に思わぬ衝撃を与え、故障の原因になることがありますので、ゆっくり引き出してください。

サービスに連絡してください

紙づまりです

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

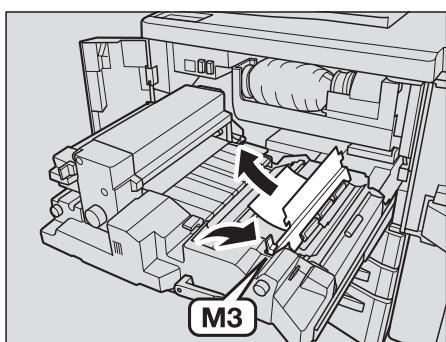
⚠ 注意

定着搬送ユニット(ADU架台)の定着部は高温になっています！

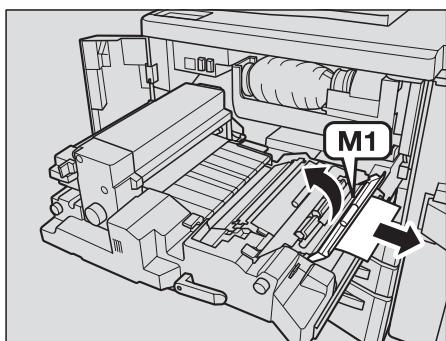
触ると火傷をする恐れがあります。

→定着搬送ユニット(ADU架台)を引き出したときは、この付近に触れないようしてください。

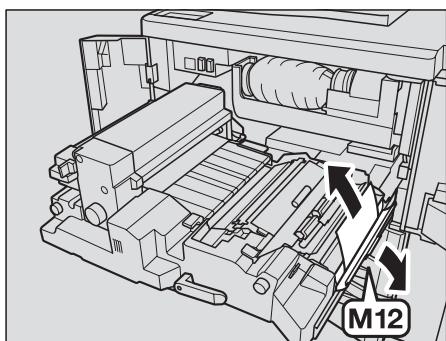
4 レバー M3を開いて、つまった紙を取り除きます。



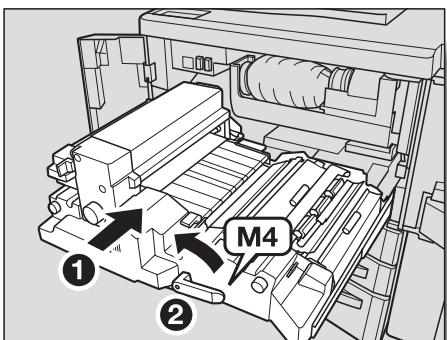
5 レバー M1を開いて、つまった紙を取り除きます。



6 レバーM12を開いて、つまった紙を取り除きます。



- 7** 定着搬送ユニット(ADU架台)を元の位置にもどし、レバーM4を反時計方向に回しロックします。

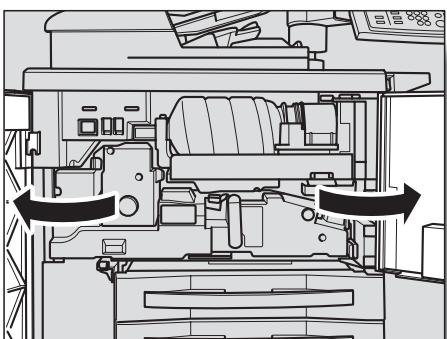


定着搬送ユニット(ADU架台)は、重量があります。元にもどすときはゆっくり行ってください。勢いよくもどすと、機械に思わぬ衝撃を与え、故障の原因になることがあります。

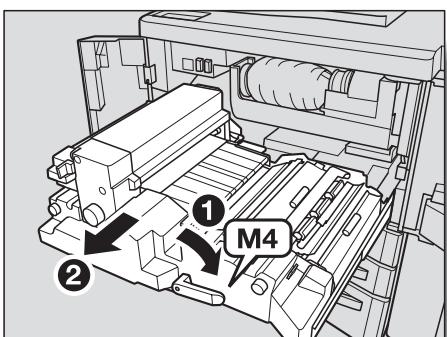
- 8** 本体前扉と左前扉を閉じます。

ジャム番号〔9〕点滅：本体ドラム部での紙づまり処理

- 1** 本体の前扉および左前扉を開きます。



- 2** レバーM4を時計方向に倒してロックを解除し、定着搬送ユニット(ADU架台)を引き出します。



定着搬送ユニット(ADU架台)は、重量があります。勢いよく引き出すと、身体のバランスをくずす恐れがあります。また、機械に思わぬ衝撃を与え、故障の原因になることがありますので、ゆっくり引き出してください。

サービスに連絡してください

紙づまりです

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

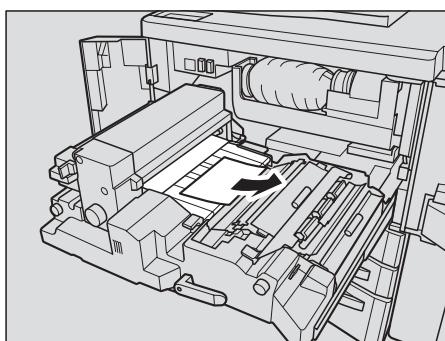
⚠ 注意

定着搬送ユニット(ADU架台)の定着部は高温になっています！

触ると火傷をする恐れがあります。

→定着搬送ユニット(ADU架台)を引き出したときは、この付近に触れないようしてください。

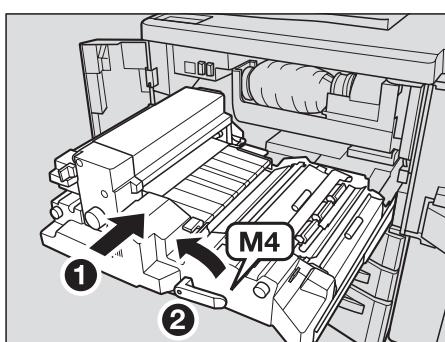
- 3** 定着搬送ユニット(ADU架台)搬送上の紙を取り除きます。



- 4** 定着搬送ユニット(ADU架台)を元の位置にもどし、レバーM4を反時計方向に回しロックします。



定着搬送ユニット(ADU架台)は、重量があります。元にもどすときはゆっくり行ってください。勢いよくもどすと、機械に思わぬ衝撃を与え、故障の原因になることがあります。



- 5** 本体前扉と左前扉を閉じます。

サービスに連絡してください

紙づまりです

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

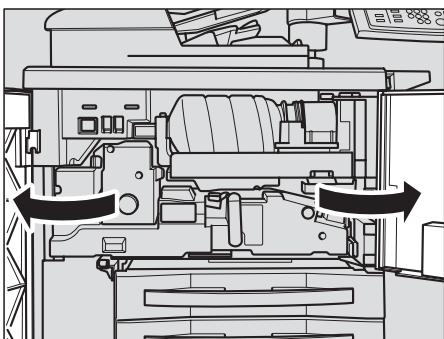
電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

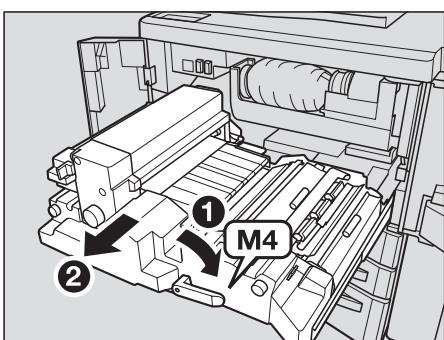
簡単なトラブルの処置

ジャム番号〔10〕点滅：本体定着・反転部での紙づまり処理

- 1 本体の前扉および左前扉を開きます。



- 2 レバーM4を時計方向に倒してロックを解除し、定着搬送ユニット(ADU架台)を引き出します。



必ず守ってください

定着搬送ユニット(ADU架台)は、重量があります。勢いよく引き出すと、身体のバランスをくずす恐れがあります。また、機械に思わぬ衝撃を与え、故障の原因になることがありますので、ゆっくり引き出してください。

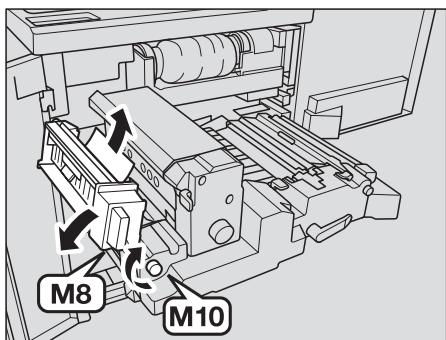
定着搬送ユニット(ADU架台)の定着部は高温になっています！

触ると火傷をする恐れがあります。

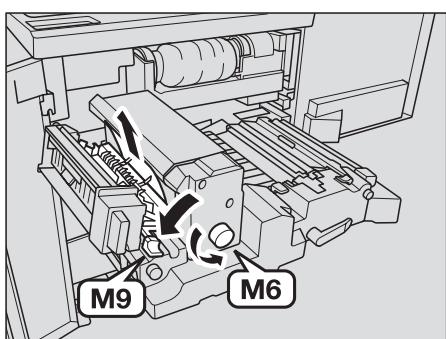
→定着搬送ユニット(ADU架台)を引き出したときは、この付近に触れないようにしてください。また、定着部につまった紙を取り除くときは、特にご注意ください。

「紙つまりです」と表示されたら(つづき)

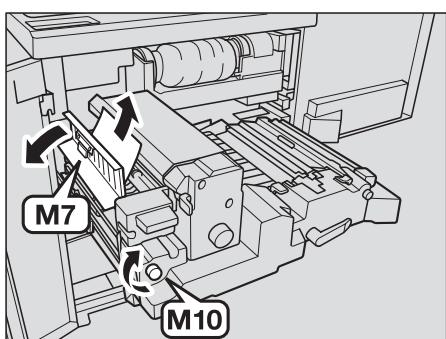
- 3 レバー M8を開いて、ツマミ M10を時計方向に回しながらつまつた紙を取り除きます。



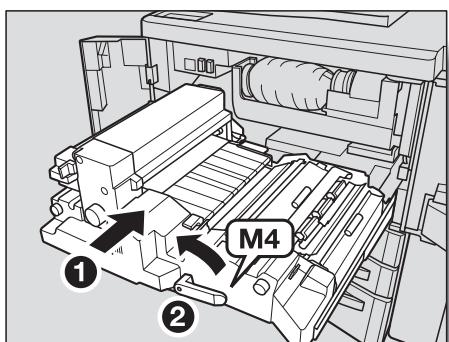
- 4 レバー M9を開いて、ツマミ M6を反時計方向に回しながらつまつた紙を取り除きます。



- 5 レバー M7を開き、つまつた紙を取り除きます。



- 6** 定着搬送ユニット(ADU架台)を元の位置にもどし、レバーM4を反時計方向に回しロックします。

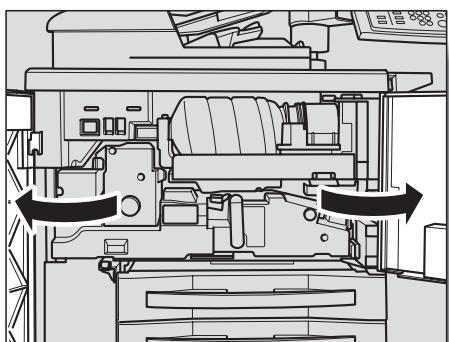


定着搬送ユニット(ADU架台)は、重量があります。元にもどすときはゆっくり行ってください。勢いよくもどすと、機械に思わぬ衝撃を与え、故障の原因になることがあります。

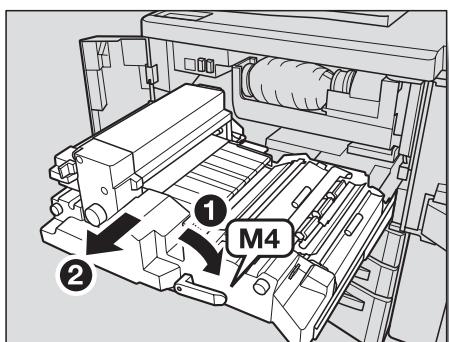
- 7** 本体前扉と左前扉を閉じます。

ジャム番号〔11〕点滅：本体定着部での紙づまり処理

- 1** 本体の前扉および左前扉を開きます。



- 2** レバーM4を時計方向に倒してロックを解除し、定着搬送ユニット(ADU架台)を引き出します。



定着搬送ユニット(ADU架台)は、重量があります。勢いよく引き出すと、身体のバランスをくずす恐れがあります。また、機械に思わぬ衝撃を与え、故障の原因になりますので、ゆっくり引き出してください。

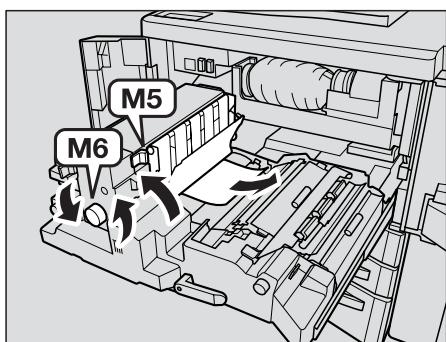
⚠ 注意

定着搬送ユニット(ADU架台)の定着部は高温になっています！

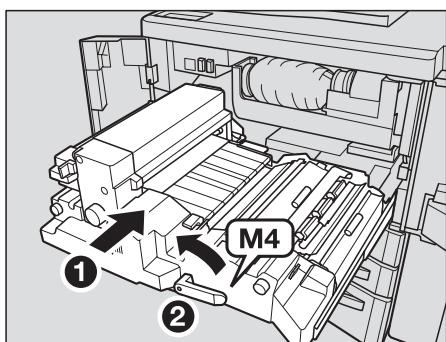
触ると火傷をする恐れがあります。

→定着搬送ユニット(ADU架台)を引き出したときは、この付近に触れないようにしてください。また、定着部につまつた紙を取り除くときは、特にご注意ください。

- 3 レバーM5を開き、ツマミM6を反時計方向に回しながらつまつた紙を取り除きます。



- 4 定着搬送ユニット(ADU架台)を元の位置にもどし、レバーM4を反時計方向に回しロックします。



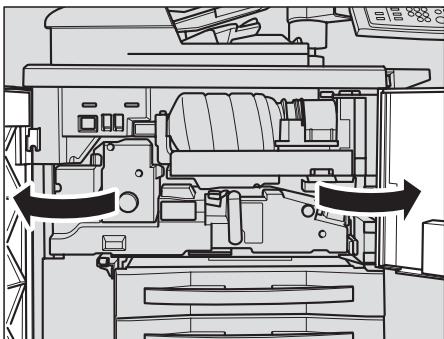
必ず守ってください

定着搬送ユニット(ADU架台)は、重量があります。元にもどすときはゆっくり行ってください。勢いよくもどすと、機械に思わぬ衝撃を与え、故障の原因になることがあります。

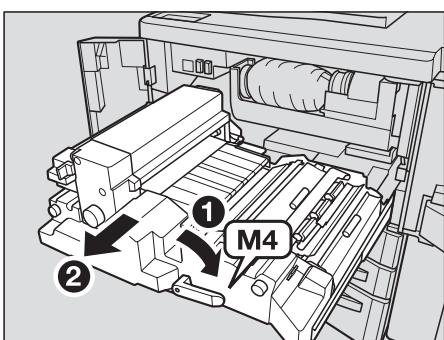
- 5 本体前扉と左前扉を閉じます。

ジャム番号〔12〕点滅：本体反転部での紙づまり処理

- 1 本体の前扉および左前扉を開きます。



- 2 レバーM4を時計方向に倒してロックを解除し、定着搬送ユニット(ADU架台)を引き出します。



必ず守ってください

定着搬送ユニット(ADU架台)は、重量があります。勢いよく引き出すと、身体のバランスをくずす恐れがあります。また、機械に思わぬ衝撃を与え、故障の原因になることがありますので、ゆっくり引き出してください。

⚠ 注意

定着搬送ユニット(ADU架台)の定着部は高温になっています！

触ると火傷をする恐れがあります。

→定着搬送ユニット(ADU架台)を引き出したときは、この付近に触れないようにしてください。

サービスに連絡してください

紙づまりです

「機械状態」タブのオレンジ点滅

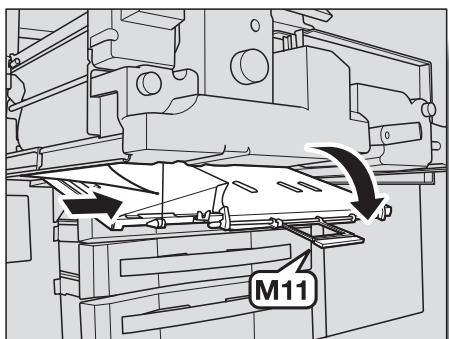
メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

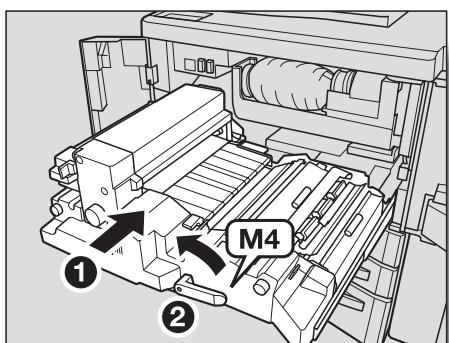
コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

3 レバー M11を開き、つまった紙を取り除きます。



4 定着搬送ユニット(ADU架台)を元の位置にもどし、レバー M4を反時計方向に回しロックします。



必ず守ってください

定着搬送ユニット(ADU架台)は、重量があります。元にもどすときはゆっくり行ってください。勢いよくもどすと、機械に思わぬ衝撃を与え、故障の原因になることがあります。

5 本体前扉と左前扉を閉じます。

サービスに連絡してください

紙づまりです

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

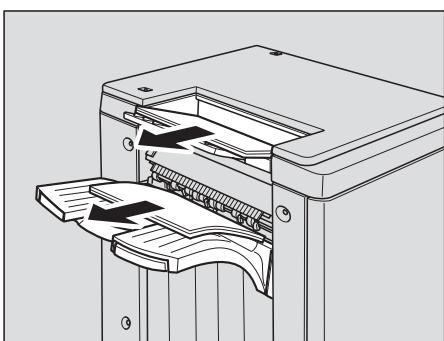
電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

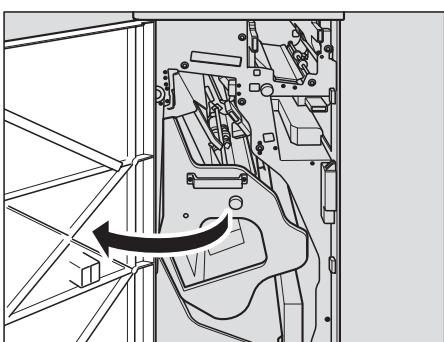
簡単なトラブルの処置

ジャム番号〔13〕点滅：フィニッシャー FS-528 での紙づまり処理

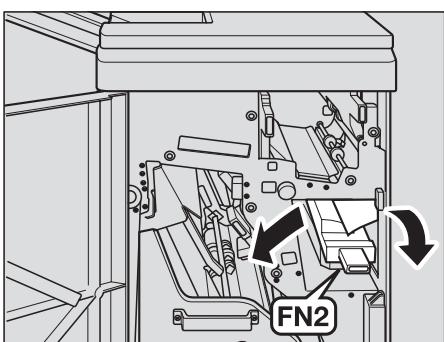
- 1 フィニッシャーメイントレイ、サブトレイに用紙がある場合は、取り除きます。



- 2 フィニッシャー前扉を開きます。

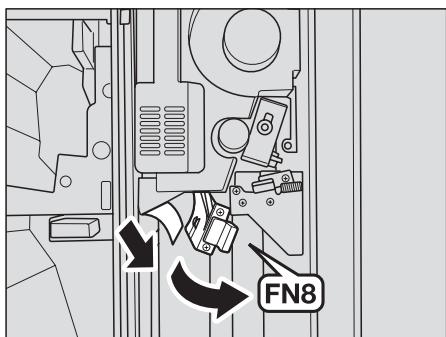


- 3 レバー FN2 を下に開き、つまった紙を取り除きます。

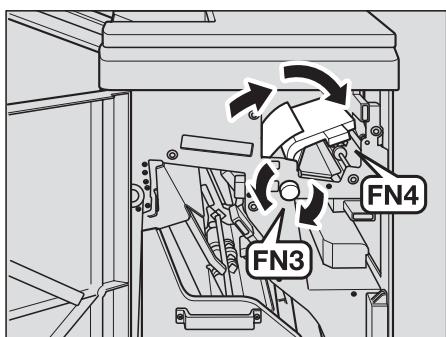


「紙づまりです」と表示されたら(つづき)

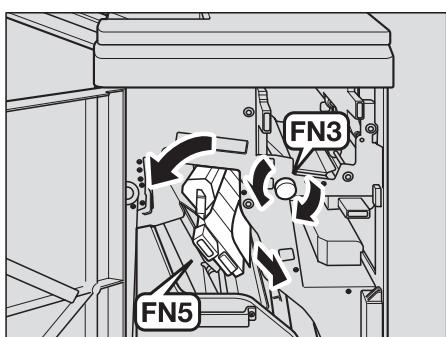
Z折りユニットZU-607を装着している場合、Z折りユニットのレバー FN6 を右に開き、つまった紙がないか確認します。もし、あれば取り除きます。



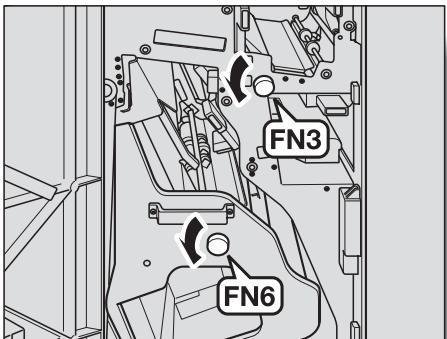
- 4 レバー FN4 を右に開き、ツマミ FN3 を両方向に回してつまった紙を取り除きます。



- 5 レバー FN5 を左に開き、ツマミ FN3 を両方向に回してつまった紙を取り除きます。



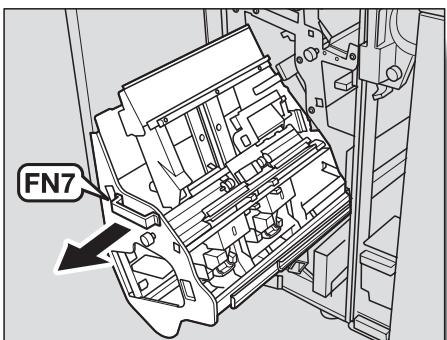
- 6** ツマミ FN3 とツマミ FN6 を反時計方向に回し、つまった紙をスタッカーエニットに送り出します。



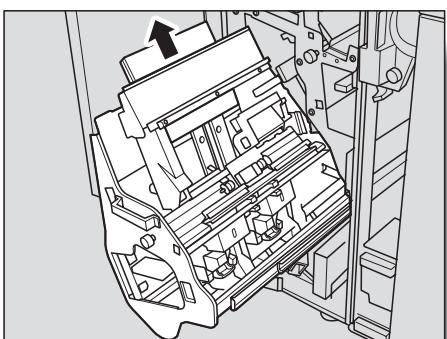
必ず守ってください

スタッカーエニットを引き出す前に必ずこの作業を行ってつまった紙をスタッカーエニット側に送り込んでください。そうしないと、紙を破ったり、紙片を機械内部に残すことがあります。

- 7** レバー FN7 を持ってスタッカーエニットを引き出します。



- 8** スタッカーエニット整合版にある紙を取り除きます。



サービスに連絡してください

紙づまりです

「機械状態」タブのオレンジ点滅

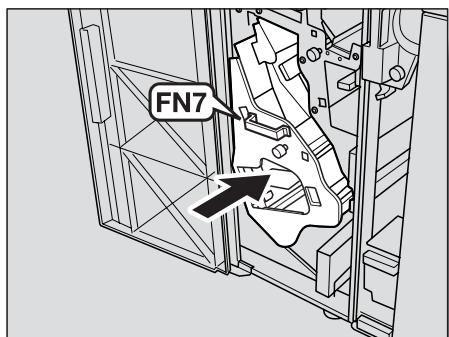
メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

- 9 レバー FN7を持ってスタッカーウニットを元の位置にもどします。



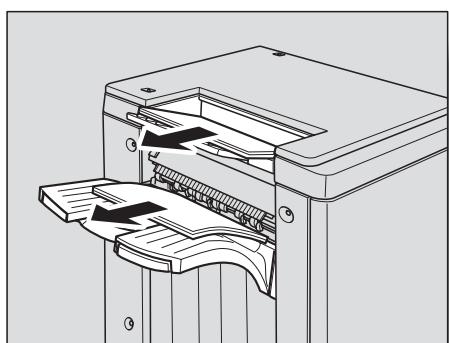
必ず守ってください

スタッカーウニットを元にもどすときはゆっくり行ってください。勢いよくもどすと、機械に思わぬ衝撃を与え、故障の原因になることがあります。

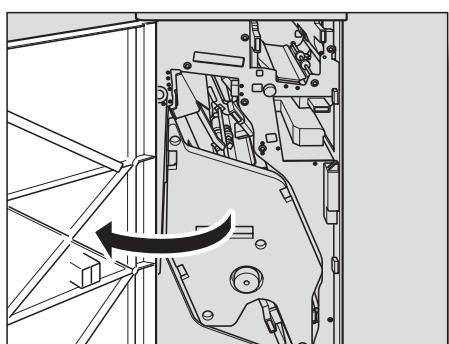
- 10 フィニッシャー前扉を閉じます。

ジャム番号〔13〕点滅：フィニッシャー FS-611での紙づまり処理

- 1 フィニッシャーメイントレイ、サブトレイに用紙がある場合は、取り除きます。



- 2 フィニッシャー前扉を開きます。



サービスに連絡してください

紙づまりです

「機械状態」タブのオレンジ点滅

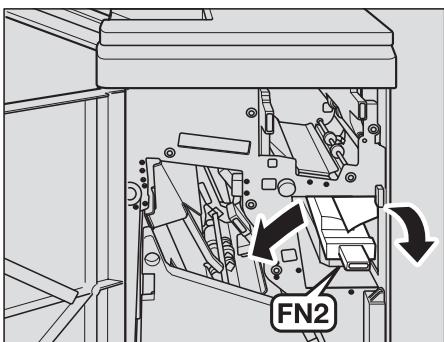
メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

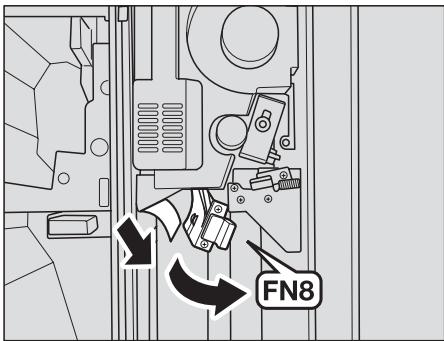
コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

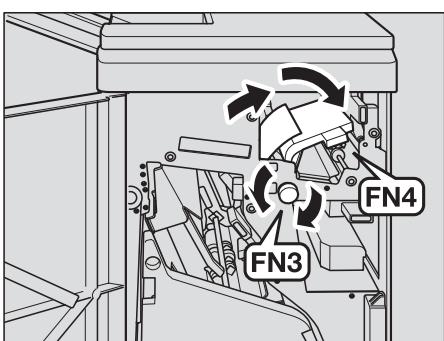
- 3** レバー FN2を下に開き、つまた紙を取り除きます。



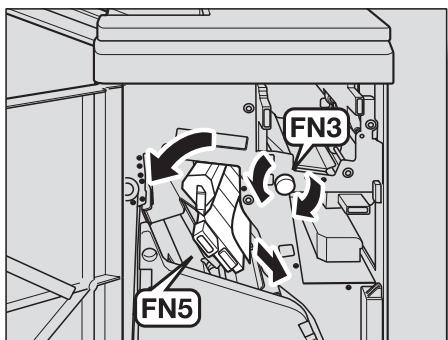
Z折りユニットZU-607を装着している場合、Z折りユニットのレバーFN8を右に開き、つまた紙がないか確認します。もし、あれば取り除きます。



- 4** レバーFN4を右に開き、ツマミFN3を両方向に回してつまた紙を取り除きます。

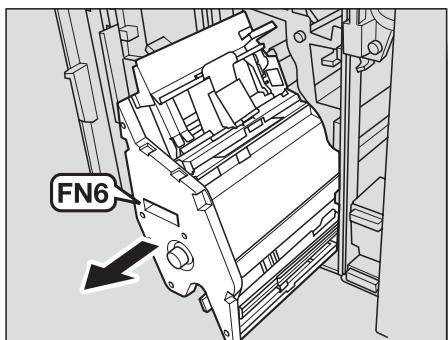


- 5 レバー FN5 を左に開き、ツマミ FN3 を両方向に回してつまつた紙を取り除きます。

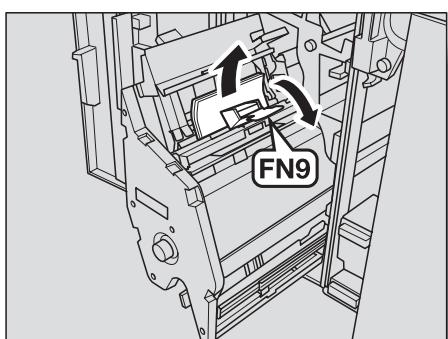


スタッカーアニットを引き出す前に必ずこの作業を行ってください。そうしないと、紙を破ったり、紙片を機械内部に残すことがあります。

- 6 レバー FN6を持ってスタッカーアニットを引き出します。

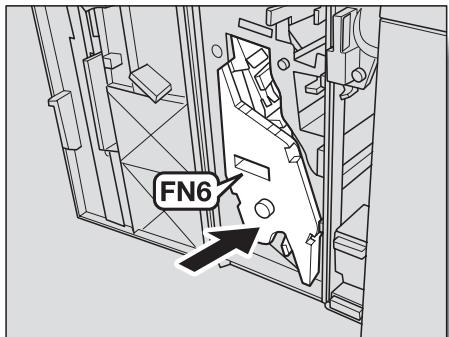


- 7 レバー FN9を右に開き、つまつた紙を取り除きます。





- 8** レバー FN6を持ってスタッカーユニットを元の位置にもどします。

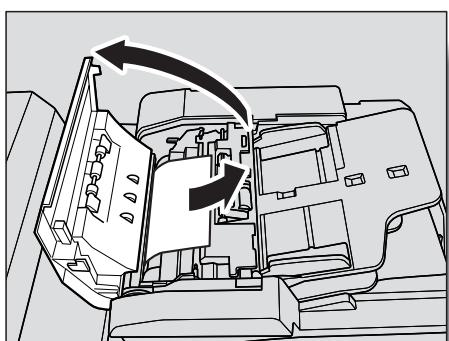


スタッカーユニットを元にもどすときはゆっくり行ってください。勢いよくもどすと、機械に思わぬ衝撃を与え、故障の原因になることがあります。

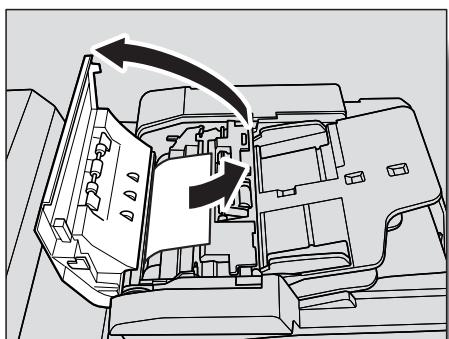
- 9** フィニッシャー前扉を閉じます。

ジャム番号〔14〕点滅：ADF給紙・排紙部での紙づまり処理

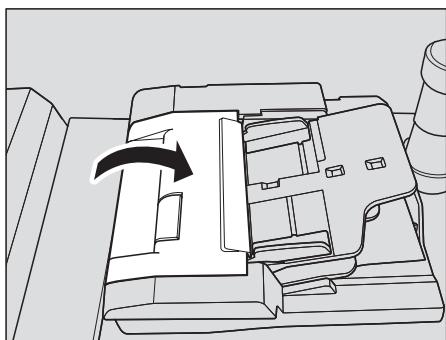
- 1** ADF開閉カバーを開き、つまった原稿を取り除きます。



- 2** 搬送ガイド開閉レバーを右に開き、解除ノブを両方向に回してつまった原稿を取り除きます。

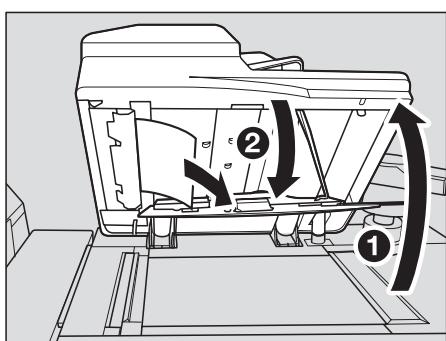


- 3 搬送ガイド開閉レバーを元の位置にもどし、ADF開閉カバーを閉じます。



ジャム番号〔15〕点滅：ADF反転部での紙づまり処理

- 1 ADFを開き、原稿押さえパッドを開いてつまった原稿を取り除きます。



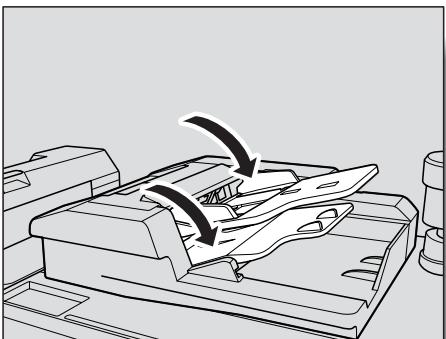
- 2 ADFを閉じ、給紙トレイを左に開いてつまった原稿を取り除きます。



- 3** 排紙トレイを右に開いて、つまった原稿を取り除きます。

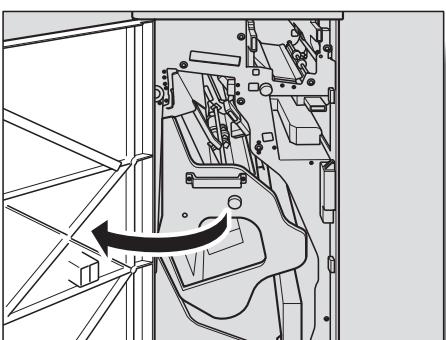


- 4** 排紙トレイ、給紙トレイを元の位置にもどします。



ジャム番号[17]点滅：フィニッシャーFS-528サブトレイでの紙づまり処理

- 1** フィニッシャー前扉を開きます。



サービスに連絡してください

紙づまりです

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

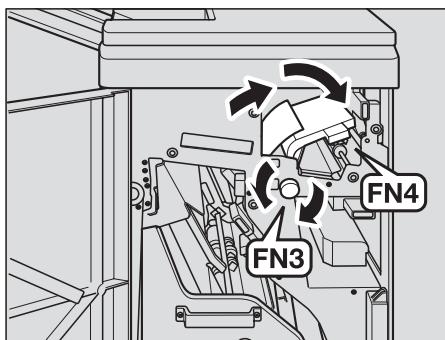
電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

「紙づまりです」と表示されたら(つづき)

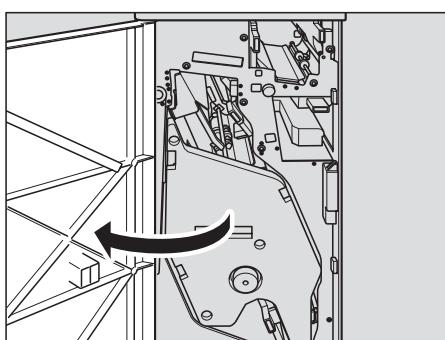
- 2 レバー FN4 を右に開き、ツマミ FN3 を両方向に回してつまつた紙を取り除きます。



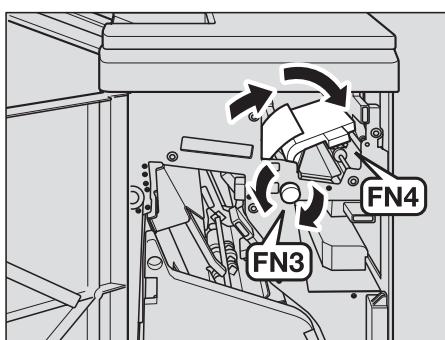
- 3 フィニッシャー前扉を閉じます。

ジャム番号[17]点滅: フィニッシャーFS-611サブトレイでの紙づまり処理

- 1 フィニッシャー前扉を開きます。



- 2 レバー FN4 を右に開き、ツマミ FN3 を両方向に回してつまつた紙を取り除きます。



- 3 フィニッシャー前扉を閉じます。

サービスに連絡してください

紙づまりです

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

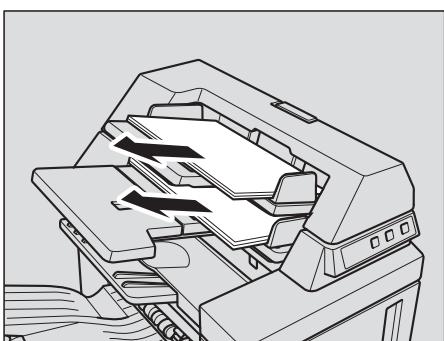
電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

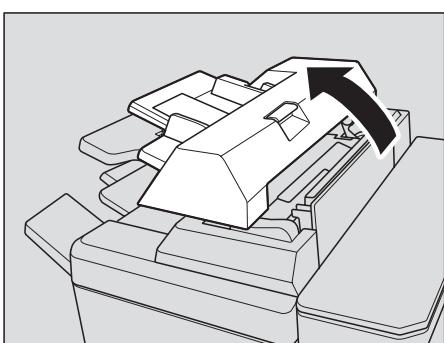
簡単なトラブルの処置

ジャム番号〔17〕点滅：ポストインサーテーでの紙づまり処理

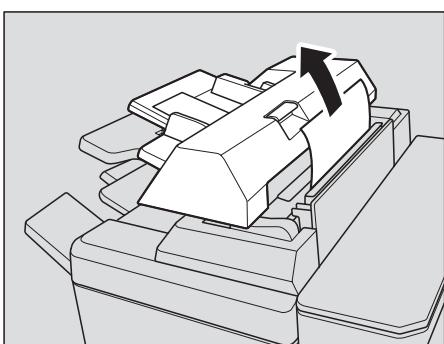
- 1 カバーシートフィーダー上段/下段にある紙を取り除きます。



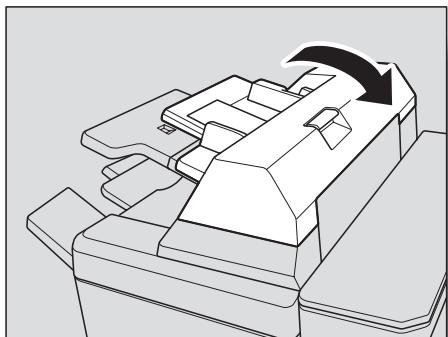
- 2 トップカバー開閉レバーを持って、トップカバーを左に開きます。



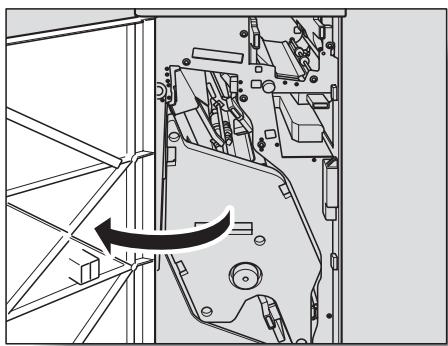
- 3 つまった紙を取り除きます。



4 トップカバーを元の位置にもどします。

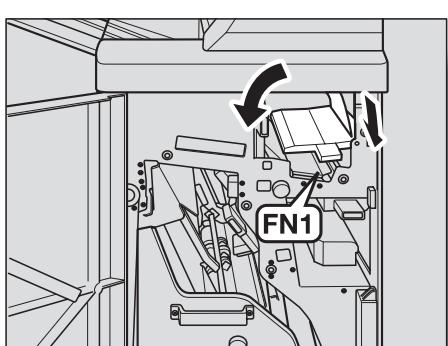


5 フィニッシャー前扉を開きます。

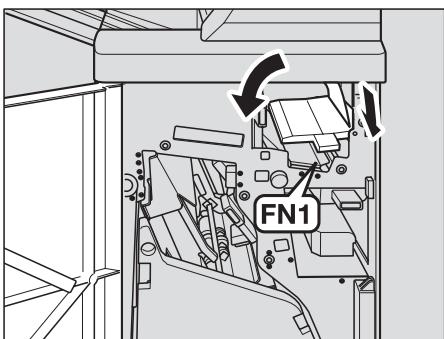


6 レバー FN1 を左に開き、つまった紙を取り除きます。

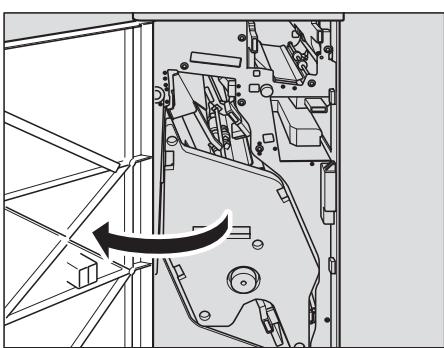
フィニッシャー FS-528 の場合



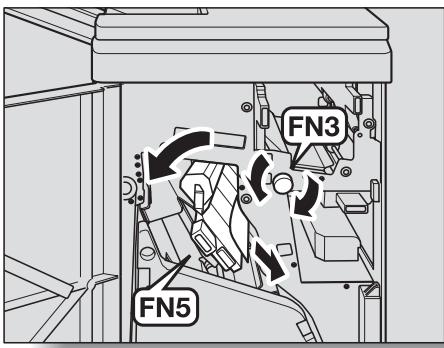
フィニッシャー FS-611の場合



- 7** フィニッシャー前扉を閉じます。



- 1** フィニッシャー前扉を開きます。

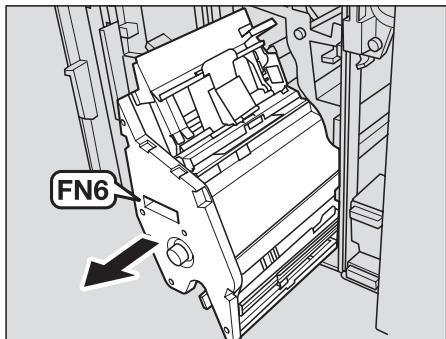


必ず守ってください

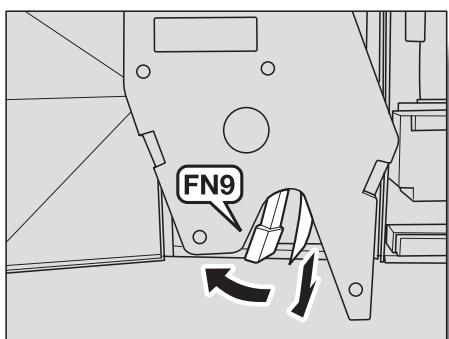
スタッカーアンダーユニットを引き出す前に必ずこの作業を行ってください。そうしないと、紙を破ったり、紙片を機械内部に残すことがあります。

「紙つまりです」と表示されたら(つづき)

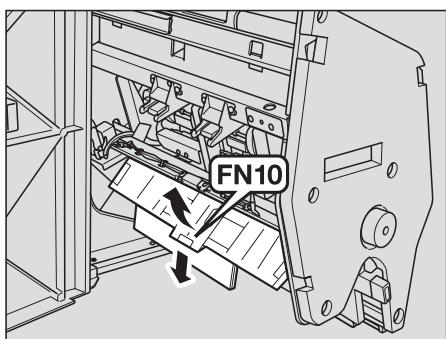
- 3 レバー FN6を持ってスタッカーユニットを引き出します。



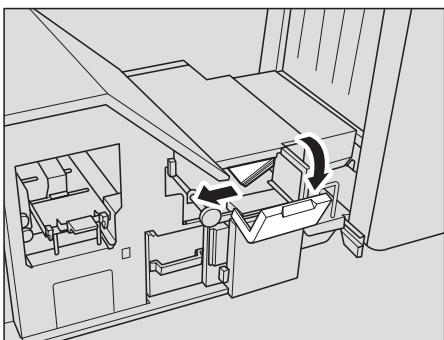
- 4 レバー FN9を右に開き、つまった紙を取り除きます。



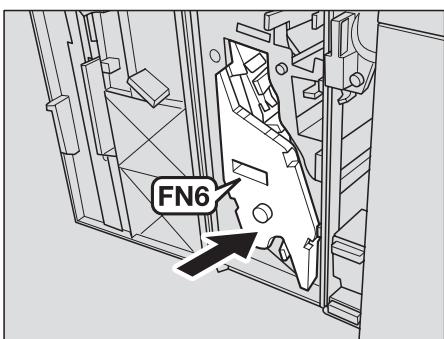
- 5 レバー FN10を左上に開き、つまった紙を取り除きます。



トリマーユニットが装着されている場合は、トリマーユニット前扉を開き、トリマーユニット右前扉を開いて、つまた紙を取り除きます。



- 6** レバー FN6を持ってスタッカーアニットを元の位置にもどします。

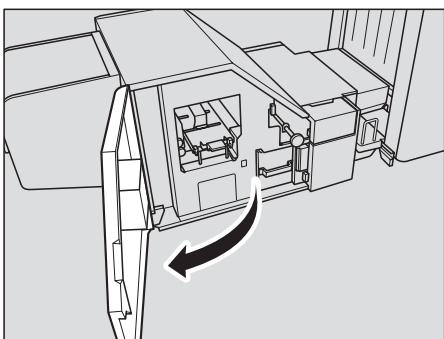


スタッカーアニットを元にもどすときはゆっくり行ってください。勢いよくもどすと、機械に思わぬ衝撃を与え、故障の原因になることがあります。

- 7** フィニッシャー前扉を閉じます。

ジャム番号〔19〕点滅：トリマーユニットでの紙づまり処理

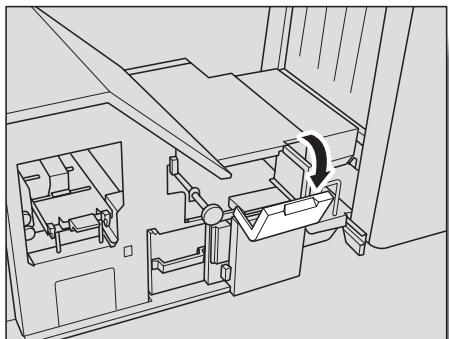
- 1** トリマーユニット前扉を開きます。



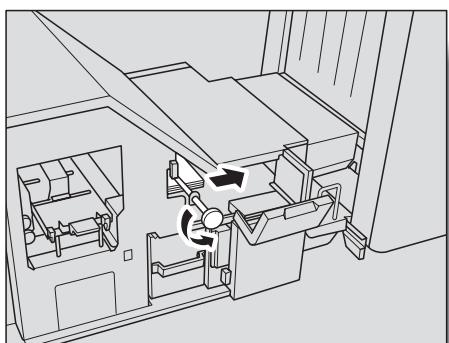
サービスに連絡してください
紙づまりです
「機械状態」タブのオレンジ点滅
メモリーオーバーフローです
電源を入れ直してください
コントローラーを確認できません
簡単なトラブルの処置

「紙づまりです」と表示されたら(つづき)

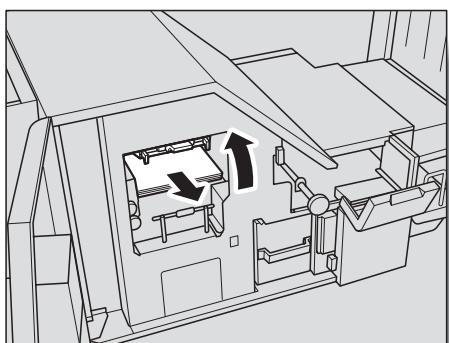
2 トリマーユニット右前扉を開きます。



3 トリマーユニットツマミを反時計方向に回して、つまった紙を取り除きます。



4 トリマー圧着解除レバーを上に開いて、つまった紙を取り除きます。



サービスに連絡してください

紙づまりです

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

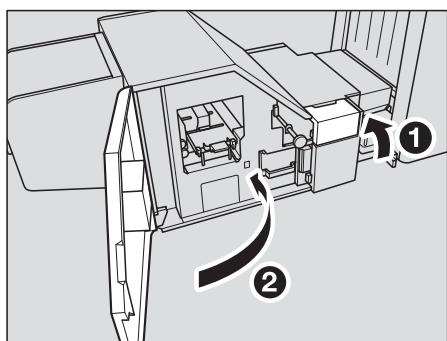
コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

- 5** トリマー圧着解除レバーを元の位置にもどします。



- 6** トリマーユニット右前扉、トリマーユニット前扉の順に閉じます。



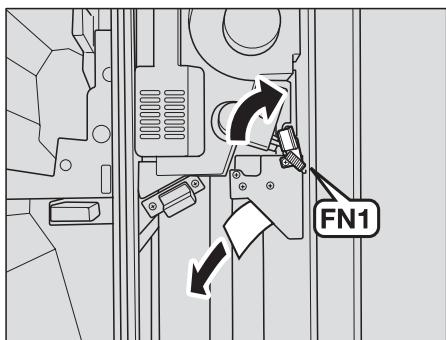
ジャム番号〔20〕点滅：Z折りユニットでの紙づまり処理

- 1** Z折りユニット前扉を開きます。

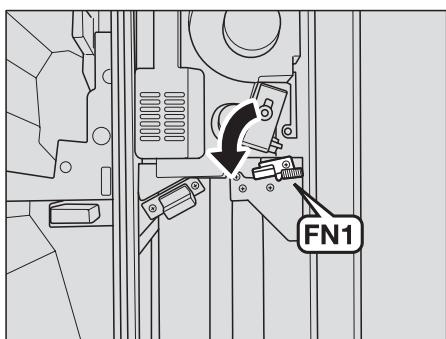


「紙づまりです」と表示されたら(つづき)

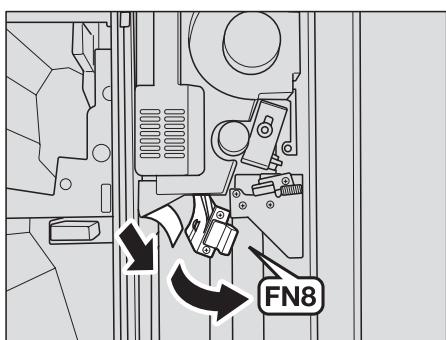
- 2 レバー FN1 を右上に開き、つまった紙を取り除きます。



- 3 レバー FN1 を元の位置にもどします。



- 4 レバー FN8 を右下に開き、つまった紙を取り除きます。



このとき、左側のフィニッシャーのレバー FN2 を下に開き、つまった紙を取り除きます。

サービスに連絡してください

紙づまりです

「機械状態」タブのオレンジ点滅

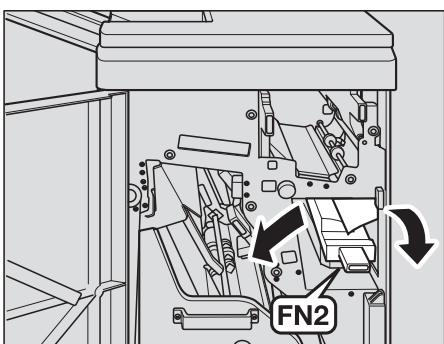
メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

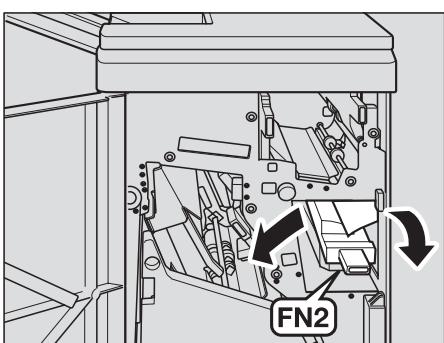
コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

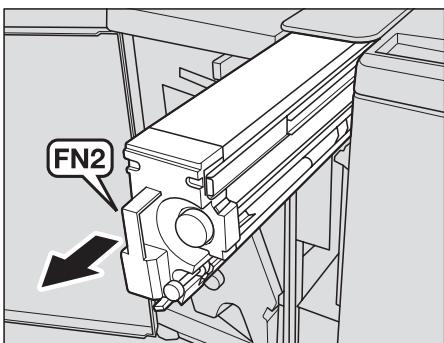
フィニッシャー FS-528の場合



フィニッシャー FS-611の場合

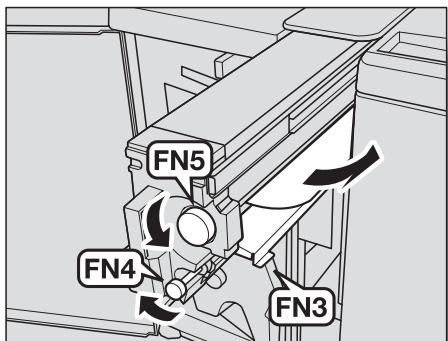


5 レバー FN2を持って、ユニットを引き出します。

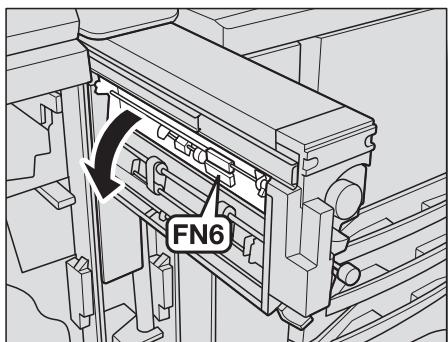


「紙づまりです」と表示されたら(つづき)

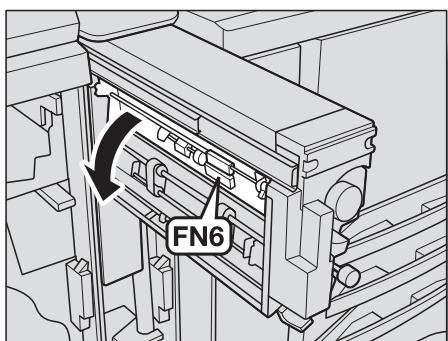
- 6 レバー FN3を下に開き、ツマミ FN4を反時計方向、ツマミ FN5を時計方向に回してつまった紙を取り除きます。



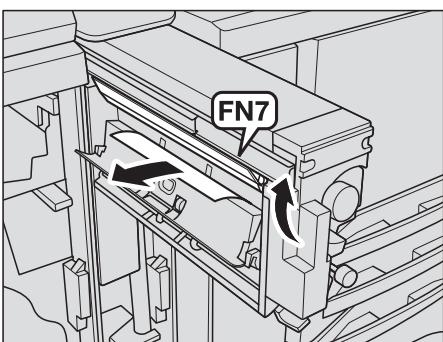
- 7 レバー FN6を下に開きます。



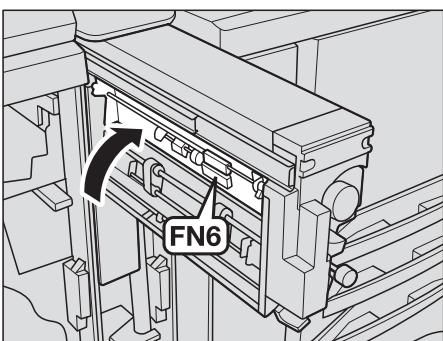
- 8 つまった紙を取り除きます。



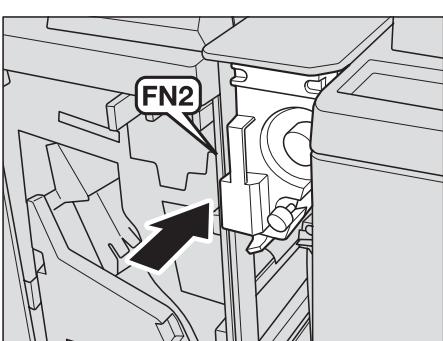
9 レバー FN7 を上に開き、つまった紙を取り除きます。



10 レバー FN6 を元の位置にもどします。



11 レバー FN2を持って、ユニットを元の位置にもどします。



12 Z折りユニット前扉を閉じます。

サービスに連絡してください

紙づまりです

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

[機械状態] タブがオレンジ色に点滅したら

機械にトラブルが発生すると、下記のメッセージが表示され [機械状態] タブがオレンジ色に点滅します。

- 紙づまり : 「紙づまりです」
- 用紙なし停止 : 「サイズの用紙をセットしてください」
- 用紙不一致停止 : 「用紙サイズ、用紙種類の設定を行って下さい」
「予約したサイズの用紙をセットして下さい」
「トレイに指定された用紙をセットして下さい」

機械状態画面に [詳細確認] が表示されます。



[詳細確認] を押して表示される画面の指示に従って処理してください。

紙づまり

コピー予約中に現在のコピー作業の原稿スキャン、または一括出力中にトラブルが発生すると、機械は停止し、[機械状態] タブがオレンジ色に点滅することがあります。

[詳細確認] を押して紙づまり位置画面が表示されたときは、p. 5-10 以降の手順に従って処理してください。

[機械状態]タブがオレンジ色に点滅したら(つづき)

用紙なし停止

[詳細確認]を押して下記のポップアップ画面が表示されたときは、使用していたトレイに用紙がなくなりました。



下記の手順に従って使用するトレイを変更するか、用紙がなくなったトレイに用紙を補給してください。

使用するトレイを変更する手順

1 変更するトレイのボタンを押して選択します。



2 [OK]を押します。
機械状態画面にもどります。
【スタート】を押します。

3 変更したトレイから用紙を給紙して、出力を再開します。

サービスに連絡してください

紙づまりです

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

トレイに用紙を補給する手順

- 1** 用紙がなくなったトレイに用紙を補給します。
用紙の補給方法は別に説明しています。詳細は、p. 4-2をごらんください。

- 2** [閉じる]を押します。
機械状態画面にもどります。

- 3** 【スタート】を押します。
補給した元のトレイから用紙を給紙して、出力を再開します。

サービスに連絡してください

紙づまりです

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

[機械状態]タブがオレンジ色に点滅したら(つづき)

用紙不一致停止

コピー予約時に設定した用紙設定に従ってトレイの用紙をセットし直すタイミングのとき、機械は一時停止し、下記のポップアップ画面が表示されます。

用紙条件の違う用紙や、用紙サイズの違う不定形サイズ紙／ワイド紙／定形インデックス紙をセットする：



設定トレイに設定した用紙を入れなおして、[設定変更]を押します。

【スタート】を押します。



詳しく説明します

指定した用紙と異なる用紙を入れた場合、左記のポップアップ画面が表示されます。正しい用紙を入れなおして【閉じる】を押してください。

「メモリーオーバーフローです」と表示されたら

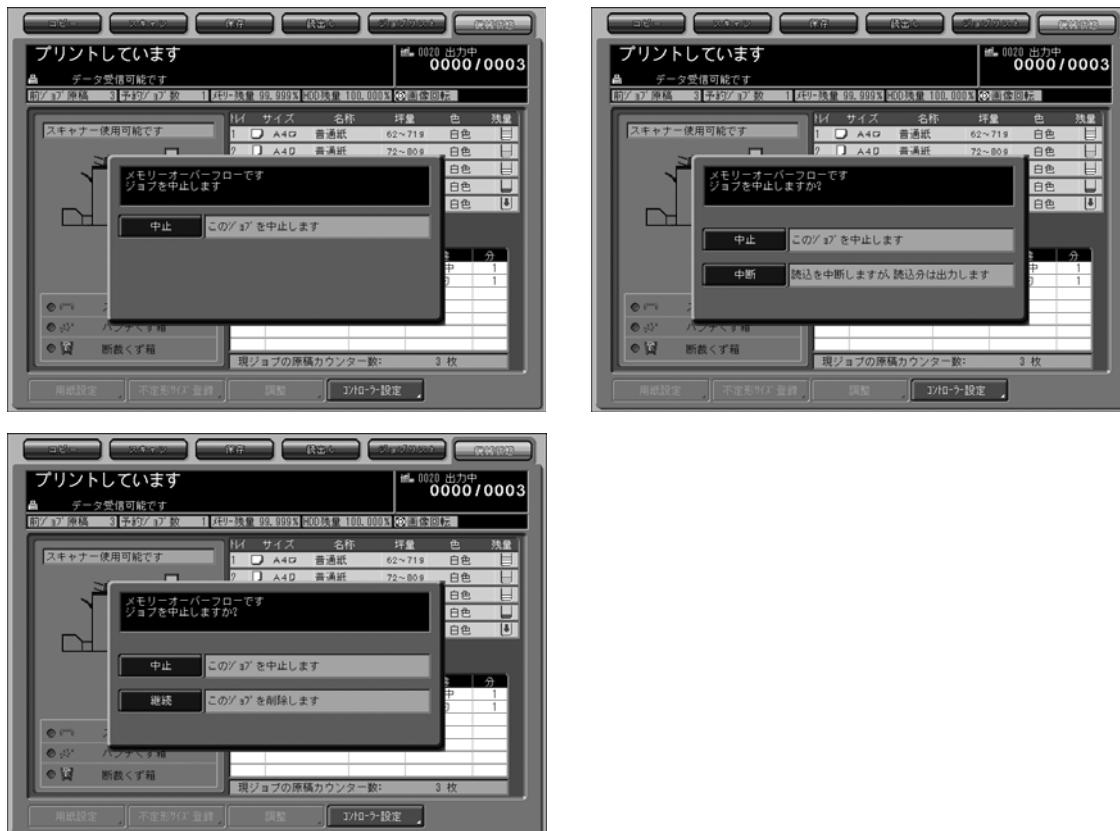
本機は、メモリーを使用してコピーを行っています。

メモリーには限りがありますので、コピー操作中にメモリーオーバーフローを起こし、下記のようなポップアップ画面が表示されることがあります。

それぞれの処置方法に従って、作業を続けてください。

処置 1 - 現コピーでのメモリーオーバーフロー

現コピーの原稿スキャン中にメモリーオーバーフローが発生すると、機械は直ちに停止し、下記のポップアップ画面が表示されます。



1 次のいずれかの処置を行います。

- それまでにスキャンした画像データを全て消去し、作業を終了するときは、[中止]を押します。
- 原稿スキャンを中止し、メモリーオーバーフローするまでに蓄えられたデータをプリントアウトするときは、[中断]を押します。この場合、出力内容を確認して、原稿をセットしなおします。



小冊子コピーの原稿をスキャンしているときにメモリーオーバーフローした場合は、[中断]は表示されません。



同じ枚数の原稿をセットすると、再びメモリーオーバーフローを起こす可能性があります。原稿枚数を調整してください。

2 操作パネルの【スタート】を押します。 残りのコピーを開始します。

「メモリーオーバーフローです」と表示されたら(つづき)

処置 2 - コピー予約中のメモリーオーバーフロー
現コピーを出力している状態で、予約コピーの原稿スキャン中にメモリーオーバーフローが発生すると、機械は直ちに停止し、下記のポップアップ画面が表示されます。



1 次のいずれかの処置を行います。

- それまでにスキャンした予約コピーの画像データを全て消去し、作業を終了するときは、[中止]を押します。
- 原稿スキャンを中止し、メモリーオーバーフローするまでに蓄えられたデータをプリントアウトするときは、[中断]を押します。
- 蓄えられたデータをプリントアウトし、メモリーに空きができた時点で原稿スキャンを続けるときは、[継続]を押します。

([中断]または[継続]を押したとき)
出力内容を確認して、原稿をセットしなおします。

2 操作パネルの【スタート】を押します。 残りのコピーを開始します。

詳しく述べます

小冊子コピーの原稿をスキャンしているときにメモリーオーバーフローした場合は、[中断]は表示されません。

サービスに連絡してください

紙づまりです

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

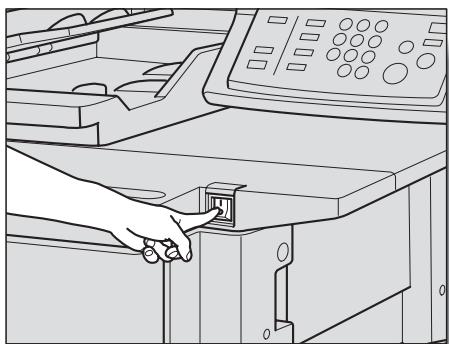
「電源を入れ直して下さい」と表示されたら

機械の電気信号に異常があった場合、「電源を入れ直して下さい」というメッセージが表示されます。

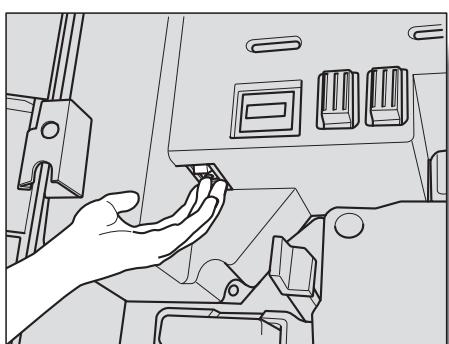


下記の手順に従ってください。

- 1 副電源スイッチをオフにします。



- 2 主電源スイッチをオフにします。



必ず守ってください

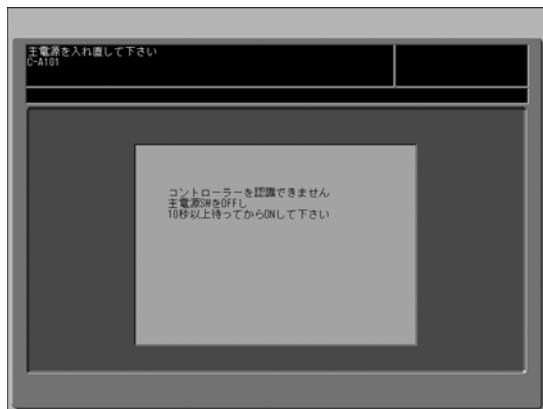
「電源OFF処理中です 主電源を切らないで下さい」の表示が消えてから主電源スイッチをオフにしてください。

- 3 10秒以上待ちます。

- 4 主電源スイッチをオンにして、副電源スイッチをオンにします。

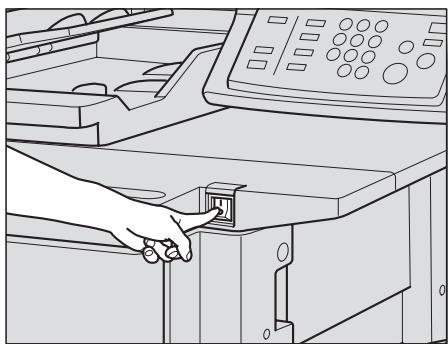
「コントローラーを認識できません」と表示されたら

コントローラーに異常があった場合、「コントローラーを認識できません」というメッセージが表示されます。

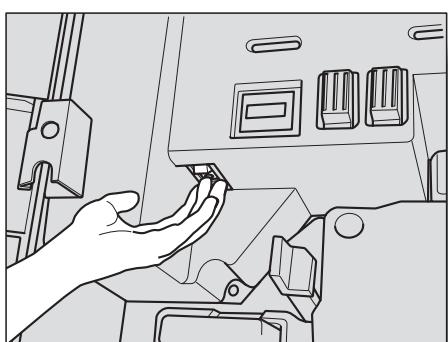


下記の手順に従ってください。

1 副電源スイッチをオフにします。



2 主電源スイッチをオフにします。



必ず守ってください

「電源OFF処理中です 主電源を切らないで下さい」の表示が消えてから主電源スイッチをオフにしてください。

3 10秒以上待ちます。

4 主電源スイッチをオンにして、副電源スイッチをオンにします。

簡単なトラブルの処置

	トラブルの内容	チェックポイント	処置
本体	電源スイッチを入れても機械が始動しない	コンセントへの接続は確実ですか? パワーセーブのランプが点灯していませんか? ユーザー認証／部門認証のための入力画面が表示されていませんか?	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを正しくコンセントに接続してください。 Wi-Fiクリータイマー機能が働いていてオンできません。時間外使用(p. 2-28 参照)するか、お客様の管理者にお問い合わせください。 ユーザー認証／部門認証に必要な入力をしてください。(p. 2-30 参照)
	コピーがスタートしない	本体前扉／左扉を確実に閉じていますか? 原稿に見合った適正な用紙がトレイに入っていますか? 設定したコピー部数が「0」になつていませんか? フィニッシャー前扉が開いていませんか? トリマーユニット前扉またはトリマーユニットスタッカーカバーが開いていませんか?	<ul style="list-style-type: none"> 本体前扉／左扉を確実に閉じてください。 トレイに適正な用紙をセットしてください。 適正なコピー部数を設定してください。 フィニッシャー前扉を確実に閉じてください。 トリマーユニット前扉やトリマーユニットスタッカーカバーを確実に閉じてください。
	コピー画像が汚れる	原稿ガラスが汚れていませんか? 原稿自体が汚れていませんか? 濃度調整は適正ですか?	<ul style="list-style-type: none"> 原稿ガラスに汚れがあればふいてください。 原稿に汚れがあれば消してください。 マニュアル濃度設定を使って濃度を調整してください。(p. 9-19 参照) 濃度シフトや濃度レベルをさらにこくまたはうすくしたいときは、POD 管理者編の p. 5-30 ~ p. 5-33 をごらんください。
	コピー画像がうすい	濃度調整は適正ですか?(手動) 機械状態画面に「トナーを補給してください」が表示されていますか?	<ul style="list-style-type: none"> マニュアル濃度設定を使って濃度を調整してください。(p. 9-19 参照) 濃度シフトや濃度レベルをさらにこくまたはうすくしたいときは、POD 管理者編の p. 5-30 ~ p. 5-33 をごらんください。 トナーを補給してください。
	コピー画像がクリアでない	用紙が湿気をおびていませんか?	<ul style="list-style-type: none"> 用紙を交換してください。サービス実施店に連絡してください。
	倍率変更ができない	縮小シフトになっていませんか?	<ul style="list-style-type: none"> 縮小シフトを解除してください。
	紙づまり処置してもコピーできない	他にも紙づまりはありませんか?	<ul style="list-style-type: none"> 紙づまり位置表示などを見て、他の場所につまっているコピー紙を取り除いてください。
	両面 片面、両面両面モードにならない	ADFが開いていませんか?	<ul style="list-style-type: none"> ADFを確実に閉じてください。

トラブルの処置

第
5
章

サービスに連絡してください

紙づまりです

「機械状態」タブのオレンジ点滅

メモリーオーバーフローです

電源を入れ直してください

コントローラーを確認できません

簡単なトラブルの処置

	トラブルの内容	チェックポイント	処置
本体	ユーザー認証 / 部門管理を設定した機械でパスワードを入力してもコピーできない	「リミットをオーバーしました」が表示されていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> お客様の管理者にお問い合わせください。
ADF	【リセット】を押してもADFが使用できない	ADFが浮いていませんか？ ADFが設定されていますか？	<ul style="list-style-type: none"> ADFを下へ確実に押してください。 仕様にあった原稿に変えてください。 原稿を正しくセットしてください。
	原稿が送られない	ADFが浮いていませんか？ 指定以外の原稿を使用していませんか？ 正しく原稿がセットしてありますか？	<ul style="list-style-type: none"> ADFを下へ確実に押してください。 仕様に合った原稿にかえてください。 原稿を正しくセットしてください。
フィニッシャー（パンチキット付）	フィニッシャーが作動しない	フィニッシャー内に紙づまりがありますか？ フィニッシャー前扉は完全に閉じていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 紙片があれば取り除いてください。 フィニッシャー扉 / マルチ折り機扉を確実に閉めてください。
	ステープルの位置が90°ずれる	自動画像回転機能が働いていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> 自動画像回転機能が働かないよう用紙をセットし直してください。(p. 9-39 参照)
	排紙される用紙が均一に積載されず、パンチ穴やステープルの位置ズレを起こす	用紙が大きくカールしていませんか？ 用紙をセットしているトレイの側面ガイド（手差しの場合はガイド板）と用紙の間に隙間がありますか？	<ul style="list-style-type: none"> トレイ内にセットされている用紙をオモテ / ウラ逆にセットしてください。 側面ガイド（またはガイド板）を用紙に突き当て、隙間がないようにしてください。
	パンチを設定してもパンチされない	機械状態画面のパンチくず表示が赤く点灯していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> パンチキットのパンチ屑を捨ててください。
	ステープルの位置がそろわない	用紙が大きくカールしていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> 用紙のカール方向を入れ替えてトレイにセットしてください。
Z折りユニット	パンチ穴の位置ズレを起こす	用紙が大きくカールしていませんか？ 用紙をセットしているトレイの側面ガイド（手差しの場合はガイド板）と用紙の間に隙間がありますか？	<ul style="list-style-type: none"> トレイ内にセットされている用紙をオモテ / ウラ逆にセットしてください。 側面ガイド（またはガイド板）を用紙に突き当て、隙間がないようにしてください。
	パンチを設定してもパンチされない	機械状態画面のパンチくず表示が赤く点灯していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> Z折りユニットのパンチ屑を捨ててください。
トリマーユニット	断裁を設定しても断裁出力されない	機械状態画面の断裁くず表示が赤く点灯していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> トリマーユニットの断裁くずを捨てるか、お客様の管理者にお尋ねください。

日頃の管理
第6章

画像取り込み部分の清掃

コピー枚数カウント

定期点検

保守サービス

日頃の管理
第6章

日頃の機械の管理について説明します。

画像取り込み部分を清掃する	6-2
ADF原稿読み込みガラスの清掃	6-2
原稿ガラスの清掃	6-2
ADFガイドカバーの清掃.....	6-2
コピー枚数カウントを確認する	6-3
「定期点検です」と表示されたら	6-5
保守サービス	6-6
コピーチャージシステム	6-6
補修用性能部品の保有期間.....	6-6
主な同梱品	6-6

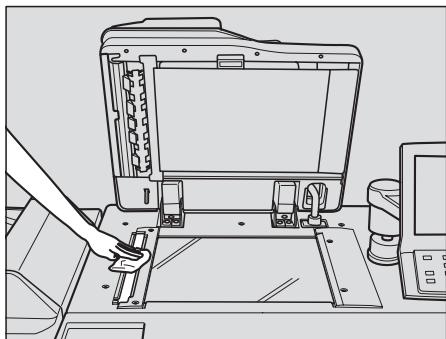
画像取り込み部分を清掃する

いつもきれいなコピーをおとりいただきため、定期的に次のようなお手入れを行ってください。

ADF原稿読み込みガラスの清掃

原稿ガラス左側の ADF 原稿読み込みガラスが汚れていると、ADF を使用して読み込んだ画像にタテのスジがついてしまうことがあります。

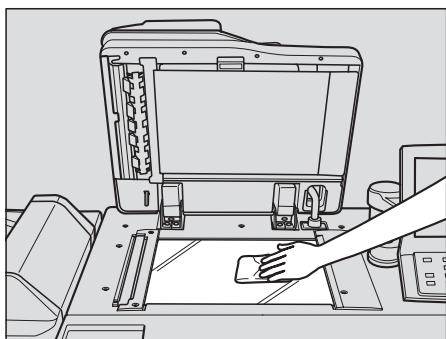
このガラス面をきれいな柔らかい布でふいてください。



ADF原稿読み込みガラスの清掃に、
ベンジンやシンナーなどの溶剤
は絶対に使用しないでください。

原稿ガラスの清掃

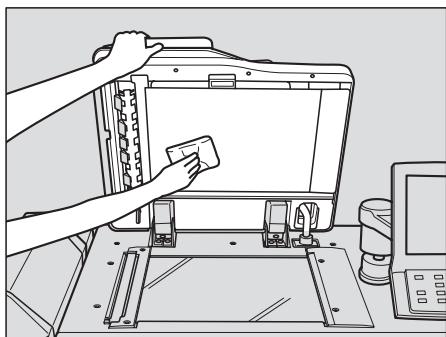
きれいな柔らかい布でふいてください。汚れが落ちにくい場合は、水を含ませた布でふいてください。



原稿ガラスの清掃に、ベンジンや
シンナーなどの溶剤は絶対に使
用しないでください。

ADFガイドカバーの清掃

ADF ガイドカバーが汚れていると、原稿ガラスに原稿をセットして原稿をスキャンするとき、読み込んだ画像に汚れが取り込まれたり、原稿サイズ検知がうまく機能しないことがあります。きれいな布でふいてください。



コピー枚数カウントを確認する

設定メニュー画面を表示させると、下記のカウントを確認できます。

- トータルカウンター
- 紙用紙枚数カウンター
- 排紙用紙枚数カウンター
- プリンタートータルカウント
- コピートータルカウンター
- スキャントータルカウンター
- メンテナンスカウンター、カウンター／サイクル、開始日、走行時間
- 現像剤カウンター、カウンター／サイクル、開始日、走行時間
- 感光体力カウンター、カウンター／サイクル、開始日、走行時間

これらのカウントリストをプリント出力できます。



設定メニュー画面に【CMS 部品カウントリスト】ボタンを表示させ、CMS 部品カウントリストの表示やリストの編集（パート名設定、P/N 設定、リミット設定）、カウントリセットを行うように設定できます。詳細はサービス実施店にお問い合わせください。

1 操作パネルの【設定メニュー / カウンター】を押します。



設定メニュー画面が表示されます。



画面の左側に各カウンターが表示されます。
これ以上の表示の必要がない場合は、【終了】を押します。カウンターリスト表示モードは解除され、元の画面にもどります。

コピー枚数カウントを確認する(つづき)

2 [詳細]を押します。

メンテナンスカウンター、現像剤カウンター、感光体力
カウンターやそのサイクル、カウント開始日が表示されま
す。



詳しく説明します

現像剤と感光体のカウントは、サイクルまたは走行時間の設定が
できます。
サービス実施店にお問い合わせください。

カウンターリストの出力の必要がない場合は、[終了]を押します。カウンターリスト表示モードは解除され、元の画面にもどります。

3 カウンターリストを出力します。

[コピー]タブを押して、コピー画面を表示させます。
任意の用紙サイズを選択して【スタート】を押します。
出力後、カウンターリスト表示モードは解除され、元の
画面にもどります。

「定期点検です」と表示されたら

定期点検は、500,000コピーごとに実施します。

定期点検アイコン「」が表示され、下記のメッセージが表示されたら、サービス実施店に連絡して定期点検を受けてください。



管理者は、管理者設定でサービス実施店への定期点検依頼の連絡ができます。詳細は、POD 管理者編の p. 5-76 をごらんください。

このとき、サービス実施店は機械の状況を把握していますので、定期点検の依頼を電話で連絡する必要はありません。

保守サービス

コピーチャージシステム

このシステムを契約していただきますと、本機を常に安定した状態でご使用いただくための保守サービス（定期点検、調整、感光体／現像剤交換など）をご提供いたします。

保守サービス提供の対価として、カウンター数値により算出されますコピー料金を申し受けます。

修理の詳しい内容等は、サービス実施店にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

本機の機能を維持するために必要な補修用性能備品の最低保有期間は、機械本体製造打ち切り後7年です。

主な同梱品

同梱現像剤	1
ユーザーズガイド（印刷物）	各1
コピー編	
ネットワークスキャナー編	
POD管理者編	
セキュリティー編	
ユーザーズガイド（CD）	1
クイックガイド	1
QAシート	1
チャージシステムお申込書	1
インストールマニュアル	1
その他	

仕様 第7章

本体およびオプションに仕様について説明します。

仕様	7-2
本体	7-2
ADF	7-3
オプション仕様	7-4
フィニッシャー FS-528	7-4
フィニッシャー FS-611	7-5
パンチキット PK-503	7-6
ポストインサーター PI-506	7-6
大容量給紙ユニット LU-407	7-6
大容量給紙ユニット LU-408	7-7
Z折りユニット ZU-607	7-7
トリマーユニット TU-502	7-8

仕様 第7章

仕様

本体

名称	bizhub PRO 950
形式	コンソールタイプ
複写方式	レーザー静電方式(2ビーム)
原稿台	固定式
感光体	OPC
光源	キセノンランプ
現像方法	乾式2成分反転磁気ブラシ現像
定着方式	ヒートローラー
濃度調整	自動および手動(9段階) 任意濃度2種類
複写倍率	1 : 1 ± 1.0 %以下 拡大 1 : 1.154 (115.4%)、1 : 1.224 (122.4%)、 1 : 1.414 (141.4%)、1 : 2.000 (200.0%) 縮小 1 : 0.866 (86.6%)、1 : 0.816 (81.6%)、 1 : 0.707 (70.7%)、1 : 0.500 (50.0%) (縦横)連動ズーム 0.250 ~ 4.000 (25.0% ~ 400.0 %) (0.1%刻み) (縦横)独立ズーム 0.250 ~ 4.000 (25.0% ~ 400.0 %) (0.1%刻み) 小さめ 1 : 0.930 (93.0%) 任意設定倍率 3
解像度	600 dpi
用紙	トレイ1~3: 40g/m ² ~ 216g/m ² 手差しトレイ: 40g/m ² ~ 244g/m ² トレイの用紙種類を「ラフ紙」に設定すると、いずれのトレイも 50g/m ² ~ 216g/m ² になります。 特殊紙 OHPフィルム・ラベル紙・第2原図・郵政はがき 郵政はがきは手差しトレイ使用時のみコピー可能。
複写速度	95枚/分(A4) 74枚/分(A4) 95枚/分(B5) 83枚/分(B5) 55枚/分(A3) 63枚/分(B4)
連続複写	1 ~ 9999枚 または 1 ~ 9999部
メモリー容量	256MB (RAM) + 30GB (HDD)
原稿種類	シート・ブック類(ADFは除く)
原稿サイズ	最大 303mm × 460mm
複写サイズ	最大 314mm × 460mm 最小 100mm × 148mm 画像欠け幅: 先端、後端 2.0mm ± 2.0mm、 手前・奥側 1.5mm ± 1.5mm

給紙方式	手差しトレイ：150枚収納(80g/m ² 紙) 本体トレイ1、2：ユニバーサルトレイ、550枚収納(64g/m ² 紙) 本体トレイ3：ユニバーサルトレイ、1,100枚収納(64g/m ² 紙)
ウォーム・アップタイム	約5分30秒
ファースト・コピー タイム	約3.1秒(A4)
騒音	本体：79dB(作動時) / 58dB(アイドリング時)
電源	AC200V、15A、50Hz/60Hz共用
消費電力	最大3.0kW以下(含オプション)
質量	約298kg(本体+ADF)
大きさ	997(W) × 780(D) × 1,203(H)mm(本体+ADF) 3,372(W) × 780(D) × 1,203(H)mm (本体+ADF+大容量給紙ユニットLU-407+ フィニッシャーFS-611+マウントキットMK-721+ トリマーユニットTU-502)
機械設置寸法	機械背面から200mm以上、機械両側面から100mm以上を確保

ADF

処理速度	片面：95枚/分(A4) 両面：68枚/分(A4)
原稿種類	普通上質紙 片面、両面、両面1枚送り：50～130g/m ² 紙 片面1枚送り：50～200g/m ² 紙
原稿サイズ	最大：297mmx431.8mm 最小：128mmx139.7mm 自動サイズ選択対応サイズ： A3□、B4□、A4□/□、B5□/□、A5□/□、B6□、 11"x17"□、8.5"x14"□、8.5"x11"□ 同系列、異系列原稿に対応
原稿積載枚数	最大100枚(80g/m ² 紙)
原稿挿入	自動送り
質量	約22kg
大きさ	650(W) × 570(D) × 170(H)mm
電源	本体より供給

この製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

オプション仕様

フィニッシャー FS-528

名称	FS-528
形式	ステープルフィニッシャー Z折りユニット、パンチキット、ポストインサー装着可能
排紙方式	メイントレイ(排紙後処理トレイ) サブトレイ(排紙後非処理トレイ)
機能	ストレート排紙：処理なしでメイントレイまたはサブトレイに出力 オフセット排紙：部ごと(ソート) / 原稿ごと(グループ)に約30mmシフトしてメイントレイに出力 ステープル排紙：ステープル処理後にメイントレイに出力 平とじ1カ所 前平行 / 奥斜め45度** 平とじ2カ所 センター162mmピッチ
用紙種類	サブトレイ：40g/m ² ~ 300g/m ² メイントレイ：50g/m ² ~ 300g/m ² 平とじステープル 60g/m ² ~ 244g/m ² 特殊紙(第2原図、OHPフィルム、郵政はがき)
用紙サイズ	p.3-9をごらんください。
ステープル枚数	100枚(60g/m ² ~ 80g/m ²)(但し、A3 □、11"x17"□は除く) 50枚(81g/m ² ~ 105g/m ²)
ステープルカートリッジ	5,000針
大きさ	410(W)* × 656(D) × 990(H)mm
質量	約59kg
電源	本体より供給

* : メイントレイを含めると幅688mm(拡張トレイ収納時) / 825mm(拡張トレイ引き出し時)になります。
** : 用紙のサイズによって角度が異なることがあります。

フィニッシャー FS-611

名称	FS-611
形式	ステープル、折り機能フィニッシャー Z 折りユニット、パンチキット、ポストインサー ^タ ー、 トリマーユニット装着可能
排紙方式	メイントレイ(排紙後処理トレイ) サブトレイ(排紙後非処理トレイ) 折り／とじトレイ(排紙後処理トレイ)
機能	ストレート排紙：処理なしでメイントレイに出力 オフセット排紙：部ごと(ソート)／原稿ごと(グループ)に 約30mmシフトしてメイントレイに出力 サブトレイ排紙：処理なしでサブトレイに出力 ステープル排紙：ステープル処理後にメイントレイに出力 平とじ1カ所 前平行／奥斜め45度** 平とじ2カ所 センター128mmピッチ 中とじ排紙：用紙中央に2カ所ステープル後2つ折りにして 折り／とじトレイに出力 中折り排紙：2つ折りにして折り／とじトレイに出力 3つ折り排紙：3枚までの重ね3つ折りにして折り／とじ トレイに出力 処理能力については第3章をごらんください。
用紙種類	サブトレイ：40g/m ² ～300g/m ² メイントレイ：50g/m ² ～300g/m ² 平とじステープル 50g/m ² ～105g/m ² 折り／とじトレイ：中とじ62g/m ² ～105g/m ² 重ね中折り62g/m ² ～105g/m ² 重ね3つ折り62g/m ² ～80g/m ² (1～3枚) 81g/m ² ～105g/m ² (1枚) 特殊紙(第2原図、OHPフィルム、郵政はがき)
用紙サイズ	p.3-10～p.3-11をごらんください。
ステープル枚数	50枚(80g/m ²)または厚み5.5mm以下
ステープルカートリッジ	5,000針
大きさ	大きさ410(W)*×656(D)×990(H)mm
質量	約68kg
電源	本体より供給

* : メイントレイを含めると幅675mm(拡張トレイ収納時) / 791mm(拡張トレイ引き出し時)になります。
** : 用紙のサイズによって角度が異なることがあります。

パンチキットPK-503

名称	PK-503
機能	ファイリング用パンチ穴
穴数	2穴
穴径	6.5 mm ± 0.5 mm
穴ピッチ	80 mm ± 0.5 mm
用紙種類	60 g/m ² ~ 128 g/m ² *
大きさ	130 (W) × 470 (D) × 115 (H) mm
質量	約3 kg
電源	フィニッシャーより供給

* : 170g/m² 紙は、紙の種類によってうまくパンチされないことがあります。

ポストインサーター PI-506

名称	PI-506
機能	フィニッシャー FS-528 / FS-611 ヘカバー給紙、マニュアル操作によるシート給紙
構成	上下2段給紙トレイ
カバー紙種類	50 g/m ² ~ 200 g/m ² 特殊紙: OHP フィルム、ラベル紙、第2原図
カバー紙サイズ	p. 3-8をごらんください。
スタック容量	200枚 / 厚み30mm 以内
大きさ	511 (W) × 620 (D) × 220 (H) mm
質量	約10.5 kg
電源	フィニッシャーより供給

大容量給紙ユニットLU-407

名称	LU-407
機能	用紙の給紙
収容枚数	5,000枚 (64g/m ² 紙)
用紙サイズ	p. 3-7をごらんください。
用紙種類	40 g/m ² ~ 300 g/m ² 用紙種類を「ラフ紙」に設定すると、50 g/m ² ~ 216 g/m ² になります。
大きさ	430(W) × 639(D) × 690(H)mm
質量	約30 kg
電源	本体より供給

大容量給紙ユニットLU-408

名称	LU-408
機能	用紙の給紙
収容枚数	4,500 枚 (64g/m ² 紙)
用紙サイズ	p. 3-8をごらんください。
用紙種類	40 g/m ² ~ 300 g/m ² 用紙種類を「ラフ紙」に設定すると、50 g/m ² ~ 216 g/m ² になります。
大きさ	670(W) × 639(D) × 695(H)mm
質量	約42 kg
電源	本体より供給

Z折りユニットZU-607

名称	ZU-607
機能	ファイリング用パンチ穴穿孔およびZ折り(二つ折り)
穴数	2穴
穴径	6.5mm ± 0.5mm
穴ピッチ	80mm ± 0.5mm
パンチ出力時の用紙種類	62 g/m ² ~ 91 g/m ² *
パンチ出力時の用紙サイズ	p. 3-11をごらんください。
折り種類	Z折り、8.5"×14"□のみ二つ折り
折り長さ	A3□ : 209mm 以下 B4□ : 181mm 以下 11"×17"□ : 215mm 以下 8.5"×14"□ : 261.6mm 以下
Z折り出力時の用紙種類	60 g/m ² ~ 90 g/m ²
Z折り出力時の用紙サイズ	A3□、B4□、11"×17"□、8.5"×14"□ 上記以外のサイズの用紙はZ折り(2つ折り)せずに出力します。
大きさ	169(W) × 660(D) × 930(H)mm
質量	約38kg
電源	外部コンセントより供給

* : 170g/m² 紙は、紙の種類によってうまくパンチされないことがあります。

トリマーユニット TU-502

名称	TU-501
機能	小冊子の前小口化粧断裁
断裁幅	10mm 以下
断裁制限枚数	中とじ断裁 : 40 枚 ($80\text{g}/\text{m}^2$ 紙 20 枚綴じ 2 つ折り、 または $80\text{g}/\text{m}^2$ 紙 19 枚綴じと $200\text{g}/\text{m}^2$ 表紙 1 枚) 中折り断裁 : 6 枚 ($80\text{g}/\text{m}^2$ 3 枚綴じ 2 つ折り)
用紙サイズ	p. 3-12 をごらんください。
用紙種類	$60\text{ g}/\text{m}^2 \sim 105\text{ g}/\text{m}^2$ 表紙として $200\text{g}/\text{m}^2$ 紙を 1 枚付けて断裁可。
大きさ	1,144(W) × 610(D) × 562(H)mm
質量	約 68 kg
電源	外部コンセントより供給

PS 拡張キット PS-504

マウントキット MK-721

ステープルキット SK-701

ステープルキット MS-5C

トナーリサイクルカットキット RC-501

これらの製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

コピー操作

8
コピーして
みよう

9
基本設定

10
応用設定

11
出力設定

12
ジョブリスト

13
コピー操作
補助機能

コピーしてみよう

第8章

基本的なコピーのとり方について説明します。

基本的なコピーの流れ	8-2
原稿をセットする	8-6
ADFに原稿をセットする	8-6
原稿ガラスに原稿をセットする	8-9
コピー部数を設定する	8-10
コピー部数を設定する	8-10
設定したコピー部数を変更する	8-11
ウォームアップ中にコピーする	8-12
現在読込中/出力中のジョブを停止する	8-15

基本的な
コピーの流れ

原稿を
セットする

コピー部数を
設定する

ウォームアップ
中にコピーする

ジョブを
停止する

コピーしてみよう

基本的なコピーの流れ

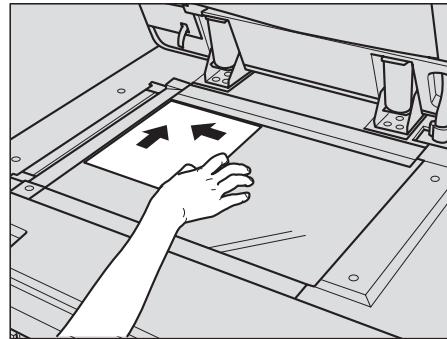
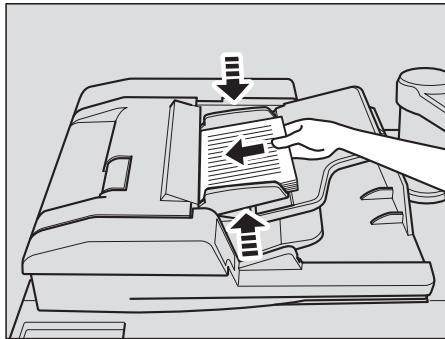
コピーをとるときの基本的な操作手順を説明します。



以下に説明する操作手順は基本的なもので、設定したコピー条件全ての操作に共通するものではありません。それぞれの操作手順に従ってください。

手順

1. 原稿をセットします。



原稿セットの p. 8-6 「原稿をセットする」をごらんください。

2. コピー画面を表示させます。

初期設定では最初、機械状態画面が表示されています。機械状態画面の [コピー] タブを押して、コピー画面を表示させます。



3. コピー条件を設定します。

コピー画面から設定できるコピー条件は下記の通りです。

- 〔原稿設定〕: p. 9-2をごらんください。
- 〔連続読み込み〕: p. 9-16をごらんください。
- 〔画質設定〕: p. 9-19をごらんください。
- 〔倍率設定〕: p. 9-24をごらんください。
- 〔応用設定〕: p. 10-2をごらんください。
- 〔出力設定〕: p. 11-2をごらんください。
- 「片面/両面」: p. 9-28をごらんください。
- 〔用紙設定〕: p. 9-41をごらんください。
- 〔自動画像回転禁止〕: p. 9-39をごらんください。

4. テンキーでコピー部数を設定します。



操作パネルのテンキーでコピー部数を入力します。設定部数はタッチパネルに表示されます。コピー部数の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

5. 操作パネルの【スタート】を押します。



原稿読み込みが開始されると、コピー画面にポップアップ画面が表示されます。

基本的な
コピーの流れ
原稿を
セットする
コピー部数を
設定する
ウォームアップ
中にコピーする
ジョブを
停止する

第8章
コピーしてみよう

基本的なコピーの流れ(つづき)

初期設定で機械状態画面 / ジョブリスト画面表示が設定されている場合 :



初期設定でコピー画面表示が設定されている場合 :

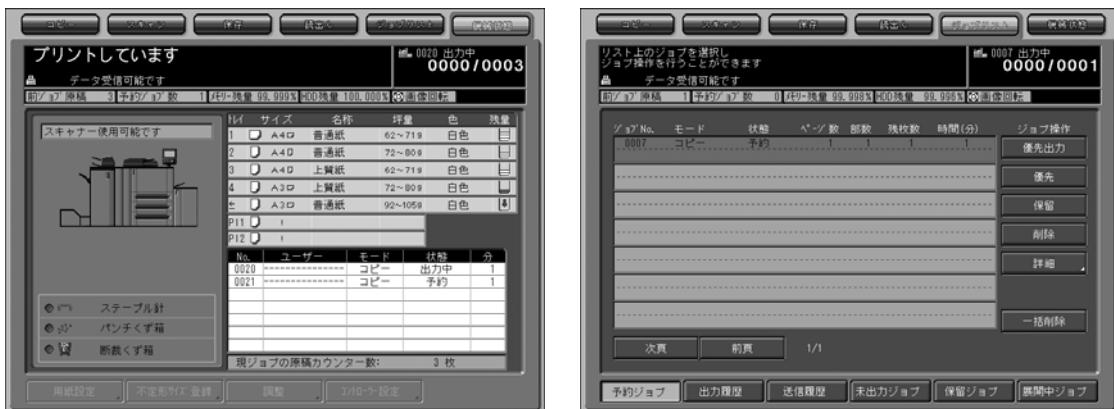


〔はい〕または〔閉じる〕を押すと、コピー画面にもどり、引き続きコピー予約ができます。詳細は、p. 9-53「コピー予約」をごらんください。

 詳しく説明します

- 電源投入時に表示される画面を機械状態画面(初期設定)、コピー画面、ジョブリストの3つから選択できます。選択された画面によってポップアップ画面の表示内容が変わります。詳細は、POD管理者編のp. 5-19をごらんください。
ジョブリスト画面では、出力の順番を変更したり、ジョブを削除したりできます。詳細は、p. 12-2をごらんください。
- 濃度が高い(濃い)原稿を20枚、30枚と連続でプリントすると、コピー画像が安定しなくなることがあります。コピー画像を安定化させるため、複写速度を自動的におとす高カバレッジ制御を使用することができます。詳細は、POD管理者編のp. 5-28をごらんください。

[いいえ]を押すと、機械状態画面またはジョブリスト画面にもどります。



ジョブリストに現在進行中のジョブが表示され、右上には設定部数と出力した部数が表示されます。

基本的な
コピーの流れ原稿を
セットするコピー部数を
設定するウォームアップ
中にコピーするジョブを
停止する

コピーしてみよう 第8章

原稿をセットする

コピーするときは、原稿をADFまたは原稿ガラスにセットします。

ADFに原稿をセットする

ADFはセットした原稿を自動的に1枚ずつスキャンします。



ADFにセットできる原稿サイズについては、p. 3-15をごらんください。

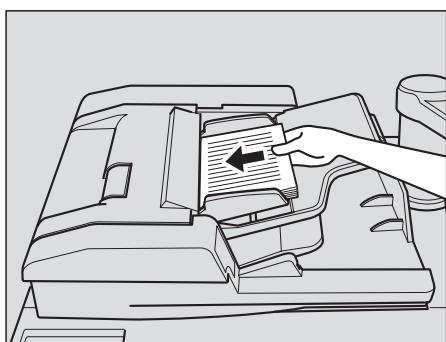
通常モードのセット手順

1 原稿を1ページ目から順に揃えます。

2 コピーする面（両面原稿の場合は1ページ目）を上にしてセットします。

基本設定画面に表示されている原稿セット方向アイコンに合わせて原稿をセットします。

一度に100枚の原稿をセットできます。



3 原稿ガイド板を原稿に沿わせます。



• 原稿セット方向を間違えると希望するコピーが得られないことがあります。特に両面コピー、ステープル、中とじ、重ね中折り、小冊子のときは守ってください。詳細は、p. 9-2をごらんください。

• クリップ止めやステープルされている原稿は絶対にセットしないでください。原稿が汚れたり、破れたりすることがあります。詳細は、p. 3-14をごらんください。

• セットする原稿は100枚以内に、また原稿ガイド板に表示されている高さ制限ラインを超えて原稿をセットしないでください。紙づまりを起こし、原稿が汚れたり、破れたりすることがあります。



ADFを使用するときは、途中でADFを開け閉めしないでください。設定したコピー条件が変わることがあります。



• 両面コピーをとるときは、コピーのとじ方向設定をご確認ください。詳細は、p. 11-2をごらんください。

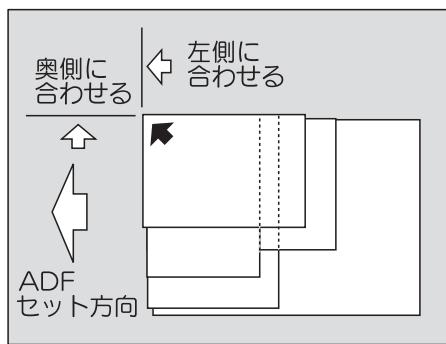
• 両面原稿をコピーするときは、原稿のとじ方向をご確認ください。詳細は、p. 9-4をごらんください。

混載原稿モードのセット手順

サイズが異なる原稿を ADF にセットして、自動的に 1 枚ずつスキャンします。

1 原稿を 1 ページ目から順に揃えます。

サイズの違う原稿は、ADF に対して左側と奥側を揃えます。



参考

- 混載原稿の設定方法の詳細は、p. 9-6 をご覧ください。
- ADF に混載できる原稿サイズに関しては別に説明しています。詳細は、p. 3-15 をご覧ください。

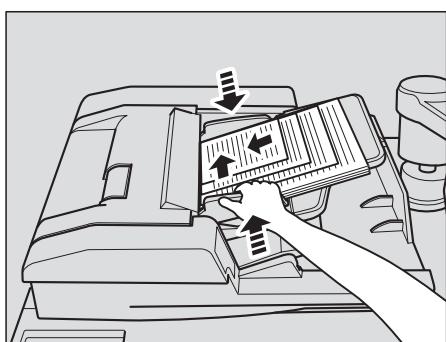
必ず守ってください

- クリップ止めやステープルされている原稿は絶対にセットしないでください。原稿が汚れたり、破れたりすることがあります。詳細は、p. 3-14 をご覧ください。
- セットする原稿は 100 枚以内に、また原稿ガイド板に表示されている高さ制限ラインを超えて原稿をセットしないでください。紙づまりを起こし、原稿が汚れたり、破れたりすることがあります。

2 コピーする面（両面原稿の場合は 1 ページ目）を上にしてセットします。

サイズの違う原稿はすべて左側と奥側を ADF に突き当てるでセットします。
一度に 100 枚の原稿をセットできます。

3 原稿ガイド板を原稿に沿わせます。



必ず守ってください

- ADF を使用するときは、途中で ADF を開け閉めしないでください。設定したコピー条件が変わることがあります。

基本的な
コピーの流れ

原稿を
セットする

コピー部数を
設定する

ウォームアップ
中にコピーする

ジョブを
停止する

コピーしてみよう

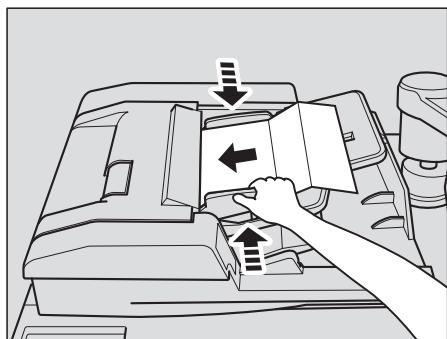
Z折れ原稿モードのセット手順

サイズ検知がうまく作動しないZ折れ原稿をADFにセットして、確実に原稿サイズを検知し、自動的に1枚ずつスキャンします。

1 原稿を1ページ目から順に揃えます。

2 コピーする面（両面原稿の場合は1ページ目）を上にしてセットします。
一度に100枚の原稿をセットできます。

3 原稿ガイド板を原稿に沿わせます。



- Z折れ原稿の設定方法の詳細は、p. 9-8をごらんください。
- Z折れ原稿サイズに関しては別に説明しています。詳細は、p. 3-16をごらんください。



- クリップ止めやステープルされている原稿は絶対にセットしないでください。原稿が汚れたり、破れたりすることがあります。詳細は、p. 3-14をごらんください。
- セットする原稿は100枚以内に、また原稿ガイド板に表示されている高さ制限ラインを超えて原稿をセットしないでください。紙づまりを起こし、原稿が汚れたり、破れたりすることがあります。



ADFを使用するときは、途中でADFを開け閉めしないでください。設定したコピー条件が変わることがあります。

原稿ガラスに原稿をセットする

ADFにセットできない原稿は、原稿ガラスにセットしてコピーします。

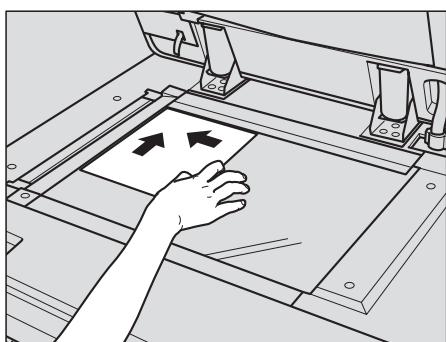


ADFにセットできない原稿については別に説明しています。詳細は、p. 3-14をごらんください。

1 ADFを開きます。

2 コピーする面を下に向け、左奥側につきあわせてセットします。

基本設定画面に表示されている原稿セット方向アイコンに合わせて原稿をセットします。



原稿セット方向を間違えると希望するコピーが得られないことがあります。特に両面コピー、ステープル、中とじ、重ね中折り、小冊子のときは守ってください。詳細は、p. 9-2をごらんください。



応用設定のブック連写、イメージリピートの画像サイズ自動検出モード、センタリングを設定しているときは、ADFを閉じずに原稿をスキャンします。

3 ADFを閉じます。

基本的な
コピーの流れ

原稿を
セットする

コピー部数を
設定する

ウォームアップ
中にコピーする

ジョブを
停止する

第8章
コピーしてみよう

コピー部数を設定する

コピー部数の設定および変更の手順について説明します。

コピー部数を設定する

初期設定は、ソート出力します。設定する出力の数値は、原稿のコピー部数になります。



オプション構成や初期設定の変更によって出力モードは異なります。

- 1 操作パネルのテンキーを押してコピー部数を入力します。



タッチパネルに入力した部数が表示されます。

設定したコピー部数を変更する

設定した部数を変更するときは、下記の手順に従って変更します。

- 操作パネルの【C】を押します。
タッチパネルの部数表示が「0001」にもどります。

基本的な
コピーの流れ原稿を
セットするコピー部数を
設定するウォームアップ
中にコピーするジョブを
停止する第8章
コピーしてみよう

- 操作パネルのテンキーを押して、新たなコピー部数を入力します。
タッチパネルに入力した部数が表示されます。

ウォームアップ中にコピーする

電源をオンにして出力できるまでのウォームアップ中に、コピー条件を設定し、原稿をスキャンして、コピー可能になったときに自動的に出力することができます。この機能を使用できないように設定できます。サービス実施店にお問い合わせください。

1 電源スイッチをオンにします。

主電源スイッチと副電源スイッチを操作して電源を入れます。



電源の入れ方については、p. 2-20「電源を入れる／切る」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、「コピー予約できます」というメッセージを確認します。

ウェイクアップ画面につづき、ウォームアップ表示されている機械状態画面が表示されます。機械状態画面の〔コピー〕タブを押してコピー画面を表示させ、「コピー予約できます」というメッセージが表示されているのを確認します。



3 原稿をセットします。



原稿のセット方法の詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

4 コピー条件/コピー部数を設定します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

5 操作パネルの【スタート】を押します。

原稿読み込みが開始されると、コピー画面にポップアップ画面が表示されます。

初期設定で機械状態画面/ジョブリスト画面表示が設定されている場合：



初期設定でコピー画面表示が設定されている場合：



電源投入時に表示される画面を機械状態画面(初期設定)、コピー画面、ジョブリスト画面の3つから選択できます。選択された画面によってポップアップ画面の表示内容が変わります。

- 基本的なコピーの流れ
- 原稿をセットする
- コピー部数を設定する
- ウォームアップ中にコピーする
- ジョブを停止する

コピーしてみよう

ウォームアップ中にコピーする(つづき)

[はい] または [閉じる] を押すと、コピー画面にもどり、引き続きコピー予約ができます。詳細は、p. 9-53をごらんください。

[いいえ] を押すと、機械状態画面またはジョブリスト画面にもどります。



ジョブリストに現在進行中のジョブが表示され、右上には設定部数と出力した部数が表示されます。

現在読込中/出力中のジョブを停止する

現在進行中のジョブの原稿読み込み、出力、またはその両方を停止したいときに行います。



ここで停止できるのは進行中のジョブです。コピー予約して待機状態にあるジョブを停止する場合は、ジョブリスト画面を表示させて行います。詳細は、p. 12-3をごらんください。

1 ジョブ進行中に、操作パネルの【ストップ】を押します。

進行中のジョブの動作が一時停止し、ポップアップ画面が表示されます。

2 ポップアップ画面の任意のボタンを押します。

進行中のジョブによって、下記のポップ画面が表示されます。

原稿を読み込みながら出力していた場合：

このジョブを中止するときは〔中止〕を押します。引き続きジョブを続けるときは〔継続〕を押します。



詳しく説明します

コピー予約の原稿スキャンを開始した直後に表示されるポップアップ画面を表示させたまでは、【ストップ】を押してもジョブを停止できません。p. 8-4の手順に従ってポップアップ画面のボタンを押し、そのポップアップ画面を消してください。

詳しく説明します

このとき、原稿読み込み、出力のどちらかだけを中止することはできません。中止すると、途中まで読み込まれたデータは消去されます。

基本的な
コピーの流れ

原稿を
セットする

コピー部数を
設定する

ウォームアップ
中にコピーする

ジョブを
停止する

コピーヒ
第8章
してみよ

現在読込中/出力中のジョブを停止する(つづき)

連続読み込みモードなどで原稿を読み込み中の場合 :

このジョブを中止するときは〔中止〕を押します。引き
続きジョブを続けるときは〔継続〕を押します。



中止すると、途中まで読み込まれたデータはすべて消去されます。



一括出力中の場合 :

このジョブを中止するときは〔中止〕を押します。引き
続きジョブを続けるときは〔継続〕を押します。



中止すると、読み込まれたデータはすべて消去されます。



プログラムジョブを選択して、出力中の場合 :

このジョブを中止するときは〔中止〕を押します。引き
続きジョブを続けるときは〔継続〕を押します。



中止すると、読み込まれたデータはすべて消去されます。



出力中にコピー予約の原稿スキャン中の場合：
コピー予約の原稿読み込みを中止するか、出力中のジョブを中止するか、あるいはその両方を中止するか選択します。

- (1) 出力中にコピー予約の原稿読み込みを開始します。コピー予約のポップアップ画面が表示されます。
- (2) [いいえ] を押して、機械状態画面にもどします。



詳しく説明します

中止されたジョブの読み込みデータはすべて消去されます。

- (3) 操作パネルの【ストップ】を押します。原稿読み込みを中止し、下記のポップアップ画面が表示されます。

- (4) どのジョブを中止するか選択します。
[読み込み] を押すと、コピー予約の原稿読み込みを中止し、引き続き出力を行います。
[出力] を押すと、出力を中止し、引き続き原稿読み込みを行います。
[読み込み/出力] を押すと、読み込み、出力を両方を中止します。
[継続] を押すと、両方のジョブを再開します。



詳しく説明します

コピー画面の表示が初期設定になっている場合は、[閉じる]を押します。[機械状態]タブを押して機械状態画面を表示させます。

基本的な
コピーの流れ

原稿を
セットする

コピー部数を
設定する

ウォームアップ
中にコピーする

ジョブを
停止する

コピ
ーしてみ
よう

基本設定

第9章

基本的なコピーの取り方について説明します。

原稿設定	9-2
原稿セット方向	9-2
両面原稿のとじ方向を設定する : 両面とじ方向	9-4
サイズの異なる原稿をコピーする : 混載原稿	9-6
Z折れ原稿をコピーする : Z折れ原稿	9-8
ADFに原稿を1枚セットしてコピーする : 1枚送り	9-9
不定形サイズの原稿をコピーする : 不定形サイズ	9-12
インデックス原稿をコピーする : インデックス紙サイズ	9-14
連続読み込みモード	9-16
画質設定	9-19
コピー濃度と下地を調整する : 濃度・下地調整	9-19
原稿画質に合わせてコピーする : 原稿画質	9-22
倍率設定	9-24
等倍でコピーする	9-24
倍率を変更してコピーする	9-25
自動的に倍率を選択させる : 自動倍率	9-27
片面/両面設定	9-28
ADFを使って両面コピーをとる	9-28
原稿ガラスを使って両面コピーをとる	9-31
両面原稿から片面コピーをとる	9-34
用紙設定	9-36
自動的に用紙サイズを選択させる : 自動用紙	9-37
自動画像回転をオフ / オンする	9-39
トレイに設定されていない用紙設定でコピーする : 用紙設定	9-41
コピー予約	9-53
併用できないコピー条件	9-55

原稿設定
連続読み込みモード
画質設定
倍率設定
片面/両面設定
用紙設定
コピー予約
併用できないコピー条件

基 第
本 第
設 定
9 章

原稿設定

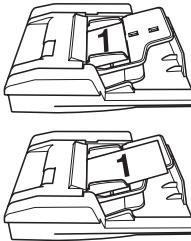
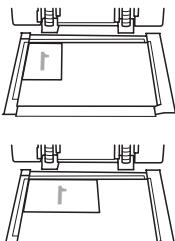
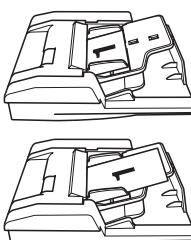
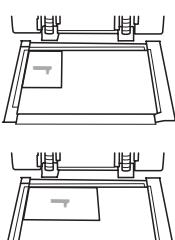
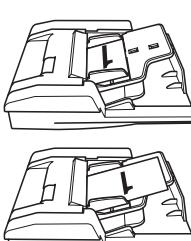
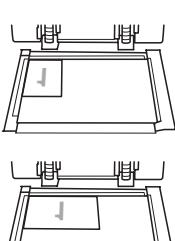
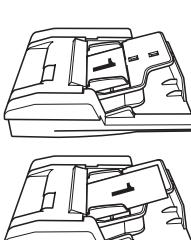
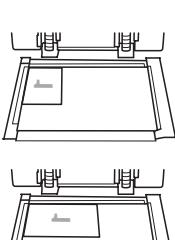
コピーをとる原稿の種類やセット方向を設定する方法を説明します。

原稿セット方向を設定する：原稿セット方向

ADFや原稿ガラスにセットする原稿の天地方向を設定します。

以下の設定を行う場合、ADFや原稿ガラスにセットする原稿の天地方向を設定しないと、希望通りのコピーができないことがあります。

- 両面原稿のコピー
- 両面コピー
- 集約
- 小冊子
- ブック連写
- ステープルなど

ADFにセット	原稿ガラスにセット	選択ボタン	説明
		 A 上向き	原稿の天部(上側)を奥側にしてセットしたとき、選択します。出荷時設定では、これが選択されています。
		 A 左向き	原稿の天部(上側)を ADF の左側にして ADF に原稿をセットしたとき、選択します。 原稿の天部(上側)を原稿ガラスの右側にして原稿ガラスに原稿をセットしたとき、選択します。
		 A 下向き	原稿の天部(上側)を手前側にセットしたとき、選択します。
		 A 右向き	原稿の天部(上側)を ADF の右側にして ADF に原稿をセットしたとき、選択します。 原稿の天部(上側)を原稿ガラスの左側にして原稿ガラスに原稿をセットしたとき、選択します。

1 原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[原稿設定] を押します。
原稿設定画面が表示されます。

3 任意の原稿セット方向ボタンを押して反転させます。



4 [OK] を押します。
コピー画面にもどります。



[標準復帰] を押すと、原稿設定は初期設定状態にもどります。
[キャンセル] を押すと、設定前の状態にもどります。

原稿設定

連続読み込みモード

画質設定

倍率設定

片面/両面設定

用紙設定

コピー予約

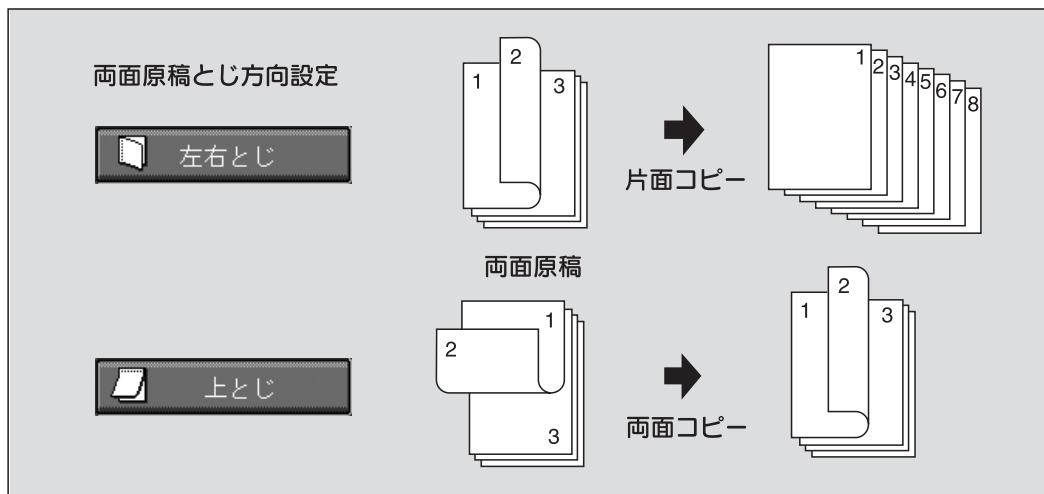
併用できない
コピー条件第9章
基本設定

両面原稿のとじ方向を設定する：両面とじ方向

両面原稿を片面や両面コピーするとき、初期設定では原稿の天地と同じコピーになります。両面原稿が上とじ（オモテ面とウラ面の天地が逆）で、片面/両面コピーを左右とじ（オモテ面とウラ面の天地を同じ）にしたいときは、設定します。



両面原稿が左右とじ（オモテ面とウラ面の天地が同じ）で両面コピーを上とじ（オモテ面とウラ面の天地を逆）にしたいときは、両面コピーのとじ方向の設定をします。詳細は、p. 11-2をごらんください。



- 上とじが機能するのは、両面設定で両面->両面、両面->片面を選択したときだけです。
- 機械がリセットされると、両面とじ方向は「左右とじ」にもどります。
- 両面とじ方向と出力設定のとじ方向を自動的に合わせるように設定されています。詳細はPOD管理者編のp. 5-43をごらんください。

1 原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[原稿設定]を押します。
原稿設定画面が表示されます。

3 「両面とじ方向」の〔上とじ〕を押して反転させます。



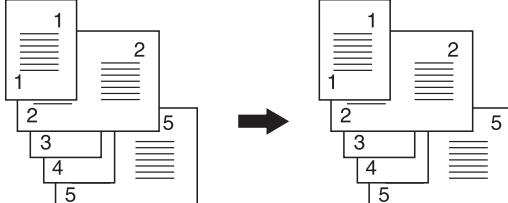
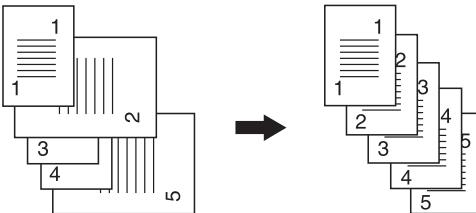
4 [OK] を押します。
コピー画面にもどります。

詳しく説明します

〔標準復帰〕を押すと、原稿設定は初期設定状態にもどります。
〔キャンセル〕を押すと、設定前の状態にもどります。

サイズの異なる原稿をコピーする：混載原稿

サイズの違う原稿を ADF にセットし、自動紙サイズ選択機能または自動倍率選択機能と併用してコピーします。

選択項目	説明
自動用紙選択	原稿と同じサイズの用紙にコピー 
自動倍率選択	原稿ごとに適正倍率を自動設定し、全て同じサイズの用紙にコピー 



- 原稿は ADF にセットします。
- 混載できる原稿サイズの組合せは、ADF ガイド板の開き幅で変わります。詳細は、p. 3-15 をご覧ください。
- 原稿は 100 枚以上セットしないでください。原稿詰まりや原稿破損の原因になります。また、機械故障の原因になります。原稿が 100 枚を超える場合は、原稿を分割して読み込みます。詳細は、p. 9-16 「連続読み込みモード」をごらんください。
- 原稿を原稿ガラスにセットしたときは、連続読み込みモードを使用します。詳細は、p. 9-16 「連続読み込みモード」をごらんください。
- 混載機能を設定すると、自動用紙選択が自動的に機能します。自動倍率選択を使って同じサイズの用紙にコピーしたい場合は、自動倍率選択を設定します。

- 1** 原稿をセットします。
サイズの違う原稿は ADF に対して左側と奥側を揃えて
セットします。
- 2** コピー画面を表示させ、[原稿設定] を押します。
原稿設定画面が表示されます。
- 3** [混載原稿] を押して反転させます。



- 4** [OK] を押します。
コピー画面にもどります。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

原稿設定

連続読み込みモード

画質設定

倍率設定

片面/両面設定

用紙設定

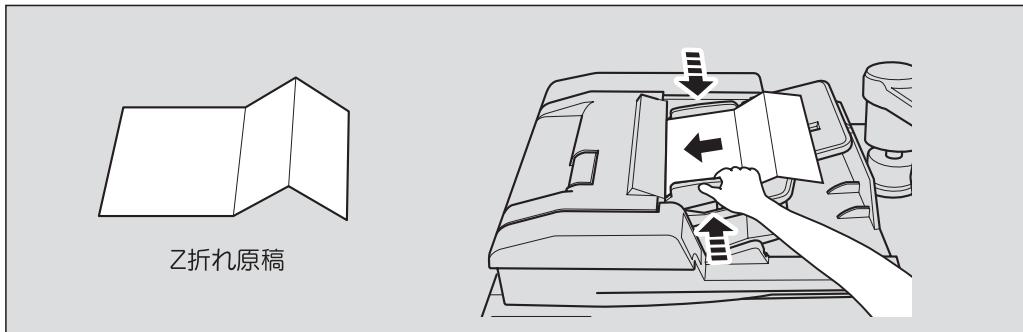
コピー予約

併用できない
コピー条件
基 第 9 章
本 設 定


[標準復帰] を押すと、原稿設定
は初期設定状態にもどります。
[キャンセル] を押すと、設定前の
状態にもどります。

Z折れ原稿をコピーする：Z折れ原稿

Z折れ原稿をADFにセットすると、原稿の浮きによりADFのサイズ検知センサーがうまく機能しないことがあります。このモードを設定すると、原稿をスキャンしながら原稿サイズを確実に検知します。



- 原稿はADFにセットします。
- 原稿サイズの検知にスキャン動作が加わるため、通常よりコピーに時間がかかります。

1 ADFに原稿をセットします。

Z折れ原稿とそのほかの原稿と一緒にセットしても問題ありません。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[原稿設定]を押します。

原稿設定画面が表示されます。

3 [Z折れ原稿]を押して反転させます。



[標準復帰]を押すと、原稿設定は初期設定状態にもどります。
[キャンセル]を押すと、設定前の状態にもどります。

4 [OK]を押します。

コピー画面にもどります。

ADFに原稿を1枚セットしてコピーする：1枚送り

ADFを使用して通常モードでは給紙できない厚紙原稿やトラブルを起こす可能性のある貼り合わせの原稿を1枚ADFにセットしてコピーします。

1枚送りは ADFに原稿をセットしてから操作パネルの【スタート】を押してコピーします。



ADFに原稿をセットすると[スタート]を押さなくても自動的に原稿を給送してスキャンするようにできます。
詳細は、POD管理者編のp.5-75をごらんください



- 原稿は ADFに1枚セットします。
- 【スタート】を押して原稿を給送する場合と、ADFにセットしたと同時に給送する場合とでは手順が異なります。この設定をするのは管理者です。管理者にご確認ください。

操作パネルの【スタート】を押して給送する手順

1 コピー画面を表示させ、[原稿設定]を押します。
原稿設定画面が表示されます。

2 [1枚送り]を押して反転させます。



3 [OK]を押します。
コピー画面にもどります。



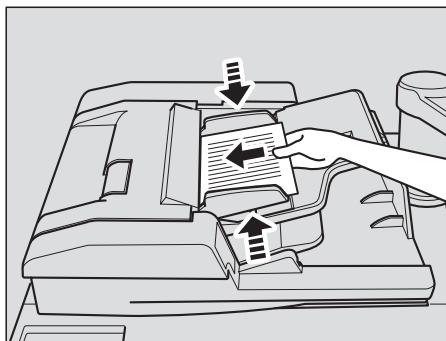
[標準復帰]を押すと、原稿設定は初期設定状態にもどります。
[キャンセル]を押すと、設定前の状態にもどります。

原稿設定
連続読み込みモード
画質設定
倍率設定
片面/両面設定
用紙設定
コピー予約
併用できないコピー条件

第9章
基本設定

4 ADFに原稿を1枚セットします。

原稿を1枚、コピーする面を上にしてセットします。原稿ガイド板を原稿に沿わせます。



原稿が複数枚ある場合でも原稿は1枚セットして【スタート】を押す操作を繰り返してください。
〔1枚送り〕を設定してADFに複数枚の原稿をセットすると、重送などのトラブルの原因になります。

5 そのほかのコピー条件を設定して、【スタート】を押します。

原稿が給送され、スキャンして出力します。

自動的に原稿を給送する手順

1 コピー画面を表示させ、〔原稿設定〕を押します。

原稿設定画面が表示されます。

2 〔1枚送り〕を押して反転させます。



3 [OK]を押します。

コピー画面にもどります。〔連続読み込み〕を押します。

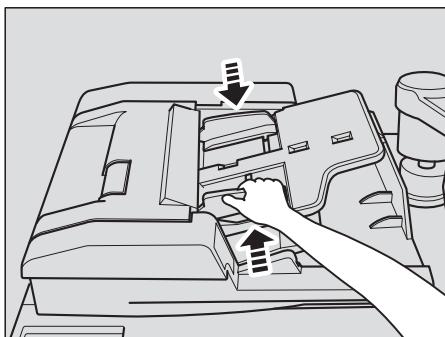


〔標準復帰〕を押すと、原稿設定は初期設定状態にもどります。
〔キャンセル〕を押すと、設定前の状態にもどります。

4 そのほかのコピー条件を設定します。

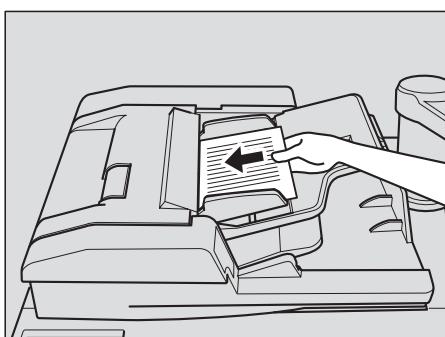
5 ADFのガイド板を調整します。

原稿をセットしないで原稿ガイド板を原稿に合わせて調整します。



6 ADFに原稿を1枚セットします。

原稿を1枚、コピーする面を上にしてセットします。



自動的に給送され、スキャンします。

複数枚の原稿があるときは1枚ずつセットしてスキャンさせます。

7 ポップアップ画面の【読み込み完了】を押し、【スタート】を押します。

スキャンされた原稿のコピーが出力されます。

必ず守ってください

原稿が複数枚ある場合でも原稿は1枚セットしてください。〔1枚送り〕を設定してADFに複数枚の原稿をセットすると、重送などのトラブルの原因になります。

原稿設定

連続読み込みモード

画質設定

倍率設定

片面/両面設定

用紙設定

コピー予約

併用できない
コピー条件

基 第
本 設 定
9 章

不定形サイズの原稿をコピーする：不定形サイズ

通常、ADFや原稿ガラスにセットされた原稿は、セット時にサイズを検知して定形サイズとして原稿サイズを振り分け、定形サイズの範囲をスキャンしてコピーします（定形サイズモード）。

不定形サイズモードを使用すると、セットした原稿サイズに関係なく設定した定形サイズの範囲内をスキャンしてコピーします。

スキャンする原稿サイズは、定形サイズ、または全面から選択します。

定形サイズ：A3□、B4□、A4□/□、B5□/□、A5□/□、B6□、11" × 17"□、
8.5" × 14"□、8.5" × 11"□/□、5.5" × 8.5"□/□

全面： 定形サイズモードでスキャンすると白紙でコピーされるような小さい原稿を確実にスキャンしコピーします。

1 原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[原稿設定]を押します。
原稿設定画面が表示されます。

3 「不定形サイズ」を押します。



不定形サイズ設定画面が表示されます。

4 読込む原稿サイズを指定します。

サイズボタンから選択：

任意の定形サイズボタンを押して反転させます。原稿がどんなサイズでも指定した定形サイズの範囲をスキャンします。



[全面]を選択：

白紙でコピーされる小さい原稿をコピーするときは、[全面]を押して選択します。



5 [OK]を押します。

原稿設定画面にもどります。

6 [OK]を押します。

コピー画面にもどります。

 詳しく説明します

[標準復帰]を押すと、原稿設定は初期設定状態にもどります。
 [キャンセル]を押すと、設定前の状態にもどります。

インデックス原稿をコピーする：インデックス紙サイズ

通常、ADFや原稿ガラスにセットされた原稿は、セット時にサイズを検知して定形サイズとして原稿サイズを振り分け、定形サイズの範囲をスキャンしてコピーします（定形サイズモード）。

インデックス紙を給紙トレイにセットして、インデックス紙モードを使用すると、定形 + インデックス部分の範囲をスキャンし、インデックス部分も含めてコピーします。

また、右部にインデックス用の印刷がされている定形原稿をインデックス紙モードでコピーすると、自動的に右側に12.5mmシフトさせ、インデックス部分にコピーします（インデックス紙プリント自動シフト）。



- インデックス紙を給紙トレイにセットする方法は、p. 4-13「インデックス紙をトレイにセットする」をごらんください。
- インデックス紙プリント自動シフト機能を使用するしないは、設定メニュー画面で行います。詳細は、POD管理者編のp.5-28をごらんください。



- 用紙設定で用紙側のインデックス紙は定形 / 不定形の設定やインデックス部分の幅も任意に設定できますが、原稿側のコピーできるサイズは定形でインデックス部分の幅は、最大12.5mmです。
- インデックス紙を給紙トレイにセットしてコピーしたとき、不要インデックス紙排紙機能が働きます。詳細は、POD管理者編のp.5-28をごらんください。

1 原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[原稿設定] を押します。 原稿設定画面が表示されます。

3 [インデックス紙サイズ] を押します。



インデックス紙サイズ設定画面が表示されます。

4 任意のサイズボタンを押して〔OK〕を押します。



原稿設定画面にもどります。

5 〔OK〕を押します。
コピー画面にもどります。

詳しく述べ
説明します

〔標準復帰〕を押すと、原稿設定は初期設定状態にもどります。
〔キャンセル〕を押すと、設定前の状態にもどります。

原稿設定

連続読み込みモード

画質設定

倍率設定

片面/両面設定

用紙設定

コピー予約

併用できない
コピー条件

基 第
本 設 定
9 章

連続読み込みモード

大量にある原稿をいくつかに分けて読みませることができます。

ADFに一度にセットできる原稿枚数は100枚までですが、連続読み込みモードを使用することにより、100枚を超える原稿を1つのジョブとして扱うことができます。

また、原稿ガラスで読みませた複数枚の原稿を1つのジョブとして扱ったり、ADFのジョブと原稿ガラスのジョブを組み合わせて1つのジョブとして扱うこともできます。

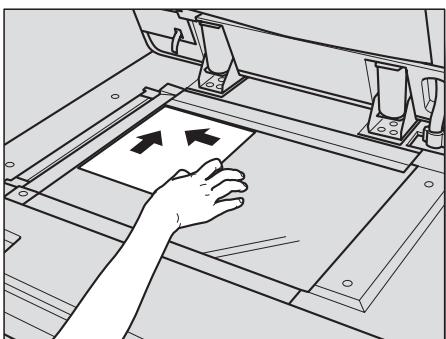


- 連続読み込みモードに設定しても、ADFにセットできる原稿枚数は変わりません。原稿は100枚または、積載制限マーク()を超えてセットしないでください。原稿詰まりや原稿破損の原因になります。
- 以下の機能は連続読み込みモードが前提です。
原稿ガラスを使用して両面コピー
差込ページ
ブック連写
プログラムジョブ
登録オーバーレイの画像登録

1

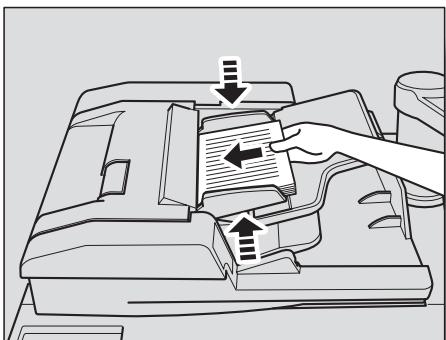
原稿をセットします。

原稿ガラスを使用する場合、最初のページからコピーする面を下にしてセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

ADFを使用する場合、ページ順にそろえた原稿の1ページ目を上にしてセットします。



2 コピー画面を表示させて、任意のコピー条件を設定します。

3 [連続読み込み] を押して反転させます。



原稿設定
連続読み込みモード
画質設定
倍率設定
片面/両面設定
用紙設定
コピー予約

併用できない
コピー条件
第9章
基本設定

4 操作パネルの【スタート】を押します。



読み込み設定を変更する場合は、
[設定変更] を押します。

読み込みが開始されます。

5 次の原稿をセットし、操作パネルの【スタート】を押します。



読み込んだ画像データを削除したいときは、操作パネルの【ストップ】を押します。詳細は、p. 8-15をごらんください。



コピー画面メッセージ表示部下のメモリー残量表示で、連続読み込み中のメモリー残量を確認できます。

全ての原稿を読み込むまで手順4～5の操作を繰り返します。

6 全ての原稿をスキャンした後、【読み込み完了】を押します。



7 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。



出力を停止したいときは、操作パネルの【ストップ】を押します。詳細は、p. 8-15をごらんください。

一括出力されます。

コピー画像の濃度を調整します。また、原稿の画質を設定してコピー画質を調整します。

コピー濃度と下地を調整する：濃度・下地調整

初期設定では自動濃度が設定されていて、原稿スキャン時に原稿の濃度レベルを検知し、自動的に適正濃度を選択してコピーします。

濃度調整：自動濃度で選択される濃度よりも濃くまたはうすくコピーします。

下地調整：新聞紙や再生紙など下地の白色度の低い原稿をコピーするときは、下地調整をします。

ここでは、濃度調整と下地調整の方法を説明します。

原稿設定

連続読み込みモード

画質設定

倍率設定

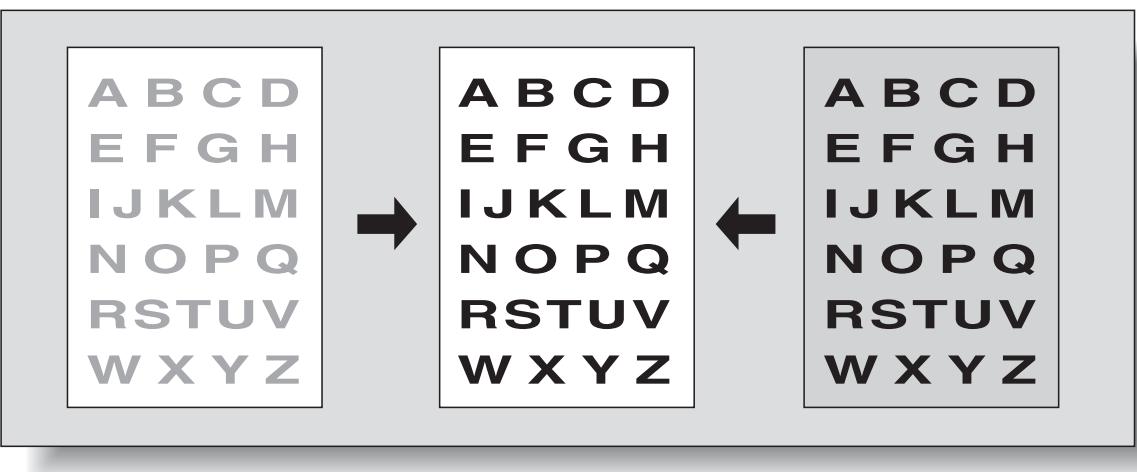
片面/両面設定

用紙設定

コピー予約

併用できない
コピー条件

第9章
基本設定



- 登録濃度：下記の濃度調整の一番濃いレベルとふつうレベルの間を16段階に、ふつうレベルと一番うすいレベルの間を16段階にそれぞれ分割し、そのうちの1つの濃度レベルを登録して呼び出すことができます。
- 登録は2つでき、設定メニュー画面で行います。詳細は、POD管理者編のp. 5-31をごらんください。
- 登録濃度の呼び出しは下記手順をごらんください。
- 原稿画質の濃度シフト：下記の濃度調整で9つの濃度レベルからコピー濃度を選択できますが、その濃度レベルを濃い方に3段階、うすい方に3段階シフトすることができます。この濃度シフトは原稿画質の4つのモードに対してそれぞれ個別に機能します。この設定は設定メニュー画面で行います。詳細は、POD管理者編のp. 5-30をごらんください。
- 画像濃度選択：通常の濃度調整では調整できる濃度の最大 / 最小値は変更されませんが、設定メニュー画面でその幅を変更することができます。例えば、喪中はがきや本の印刷など全体的に画像を薄くしたいとき、画質を落とさずコピーすることができます。詳細は、POD管理者編のp. 5-33をごらんください。なお、この設定は原稿画質の濃度シフトにも有効になります。

1 原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、コピー画像を濃くしたいときは〔こく〕、うすくしたいときは〔うすく〕を押します。



初期設定されている濃度レベルの中間の濃度にする場合は〔ふつう〕を押します。

自動濃度を使用するときは、〔自動濃度〕を押します。

3 下地調整をします。

(1) コピー画面の〔画質設定〕を押します。



(2)「下地調整」表示下の〔うすく〕〔ふつう〕〔こく〕を押して「- 4」～「+ 4」の任意の表示を選択します。

(3)〔OK〕を押します。

4 登録濃度を呼び出します。

(1) コピー画面の〔画質〕を押します。



詳しく説明します

〔標準復帰〕を押すと、画質は初期設定状態にもどります。
〔キャンセル〕を押すと、設定前の状態にもどります。

(2) 「登録濃度」表示下の〔登録 1〕または〔登録 2〕を押して登録濃度を呼び出します。

(3) [OK] を押します。

原稿設定

連続読み込みモード

画質設定

倍率設定

片面/両面設定

用紙設定

コピー予約

併用できない
コピー条件

第9章
基本設定

原稿画質に合わせてコピーする：原稿画質

原稿の画質に合わせて下記モードを選択し、よりよいコピー画質に調整します。

文字／写真：1枚の原稿にある文字と写真の両方を適切な画質でコピーします。

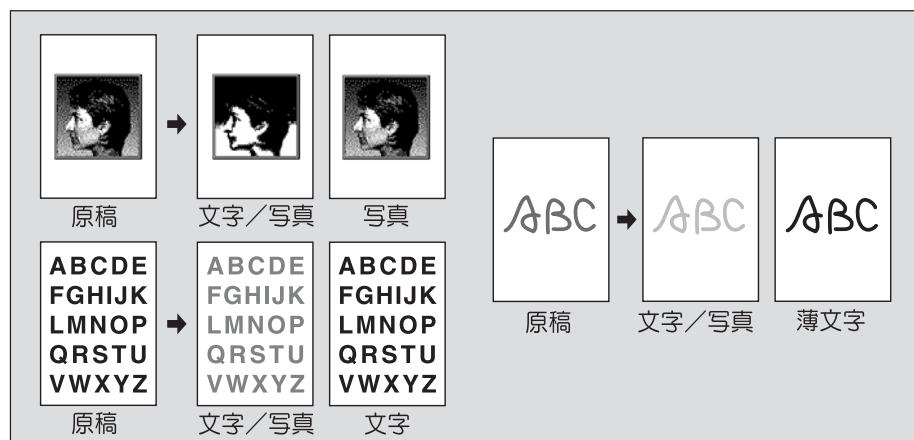
薄文字：鉛筆で書かれたようなコントラストのない原稿を、コントラストを付けてはっきりしたコピーにします。

写真：中間濃度の階調性を向上させて、文字／写真モードでは再現できないハーフトーンの原稿に近いコピーにします。

文字：文字の再現性を重視し、コントラスト強調したコピーにします。



原稿画質の濃度シフト：前項の濃度調整で9つの濃度レベルからコピー濃度を選択できますが、その濃度レベルを濃い方に3段階、うすい方に3段階シフトすることができます。この濃度シフトはこの4つのモードに対してそれぞれ個別に機能します。この設定は設定メニュー画面で行います。詳細は、POD管理者編のp. 5-30をごらんください



1 原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[画質設定] を押します。



3 「画質」表示下の任意のモードキーを押して選択します。



〔標準復帰〕を押すと、画質は初期設定状態にもどります。

〔キャンセル〕を押すと、設定前の状態にもどります。

4 [OK] を押します。

原稿設定

連続読み込み
モード

画質設定

倍率設定

片面/両面
設定

用紙設定

コピー予約

併用できない
コピー条件

第9章
基本設定

倍率設定

倍率設定初期状態では、倍率は「1.000」(等倍)に設定されています。
ここでは、倍率の変更のしかたを説明します。

等倍でコピーする
原稿と同じ大きさのコピーをします。

**1 ADF を確実に閉じて、操作パネルの【リセット】
を押します。**

初期状態では「1.000」[等倍]が自動選択されています。



2 希望するコピー条件を設定します。

用紙サイズを指定すると、[自動倍率] が自動的に選択されます。このとき、必ず等倍でコピーしたいときは、[等倍] を押して選択します。

詳しく説明します

初期設定を変更していくと、[自動倍率] または等倍以外の倍率が自動設定されることがあります。設定メニュー画面で初期設定を変更することができます。詳細は、POD 管理者編の p. 5-39 をご覧ください。

倍率を変更してコピーする

倍率変更には、下記の4つの方法があります。

- ズーム(タテ/ヨコ比固定): 0.250 ~ 4.000 の倍率を0.001(0.1%)刻みで設定します。
- ズーム(タテ/ヨコ独立): 0.250 ~ 4.000 の倍率を0.001(0.1%)刻みでタテ/ヨコ別々に設定します。
- 固定倍率: 使用頻度の高い8種類の倍率(0.500、0.707、0.816、0.866、1.154、1.224、1.414、2.000)をワンタッチで選択します。
- 登録倍率: あらかじめ登録しておいた3種類の倍率をワンタッチで選択します。



固定倍率、登録倍率の設定は、設定メニュー画面で行います。詳細は、POD管理者編のp. 5-34をごらんください。

1 コピー画面を表示させ、[倍率設定]を押します。

2 任意の倍率を設定します。

ズーム(タテ/ヨコ比固定)を設定する場合:



- (1)「ズーム」表示下、左上のボタンを押して選択します。
- (2)「ズーム」表示下のテンキーを押して倍率を入力します。倍率は画面に表示されます。

ズーム(タテ/ヨコ独立)を設定する場合:



- 入力を間違えたときは引き続き正しい数値を入力します。
- [I]を押して0.001(0.1%)ずつ倍率を変更することができます。

原稿設定
連続読み込みモード
画質設定
倍率設定
片面/両面設定
用紙設定
コピー予約
併用できないコピー条件

第9章
基本設定

- (1)「ズーム」表示下、左中央のタテ変倍ボタンを押して選択します。
- (2)「ズーム」表示下のテンキーを押してタテ倍率を入力します。倍率は画面に表示されます。
- (3)「ズーム」表示下、左下のヨコ変倍ボタンを押して選択します。
- (4)「ズーム」表示下のテンキーを押してヨコ倍率を入力します。倍率は画面に表示されます。

 詳しく説明します

- 入力を間違えたときは引き続き正しい数値を入力します。
- []を押して0.001(0.1%)ずつ倍率を変更することができます。

固定倍率を設定する場合：



「拡大」「縮小」表示下の任意の固定倍率ボタンを押して選択します。

登録倍率を設定する場合：



「登録倍率」表示下の任意のボタンを押して選択します。

3 [OK] を押します。

 詳しく説明します

[キャンセル] を押すと、設定前の状態にもどります。

自動的に倍率を選択させる：自動倍率

用紙設定で〔定形サイズ〕や〔インデックス紙サイズ〕が設定されているトレイを選択すると、原稿サイズに合わせて適正倍率を自動的に選択してコピーします。



用紙設定の詳細は、p. 9-41をごらんください。



- ・自動用紙と自動倍率の併用はできません。自動画像回転機能との併用は可能です。
- ・用紙設定によってサイズを〔不定形サイズ〕に設定したトレイは自動倍率の対象トレイにはなりません。

1 原稿をセットします。
機械が原稿サイズを検知します。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 [用紙設定] 下のトレイボタンを押して、用紙サイズを選択します。
[倍率設定] 下の〔自動倍率〕が反転し、自動選択された固定倍率が表示されます。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。



原稿設定
連続読み込みモード
画質設定
倍率設定
片面/両面設定
用紙設定
コピー予約
併用できないコピー条件

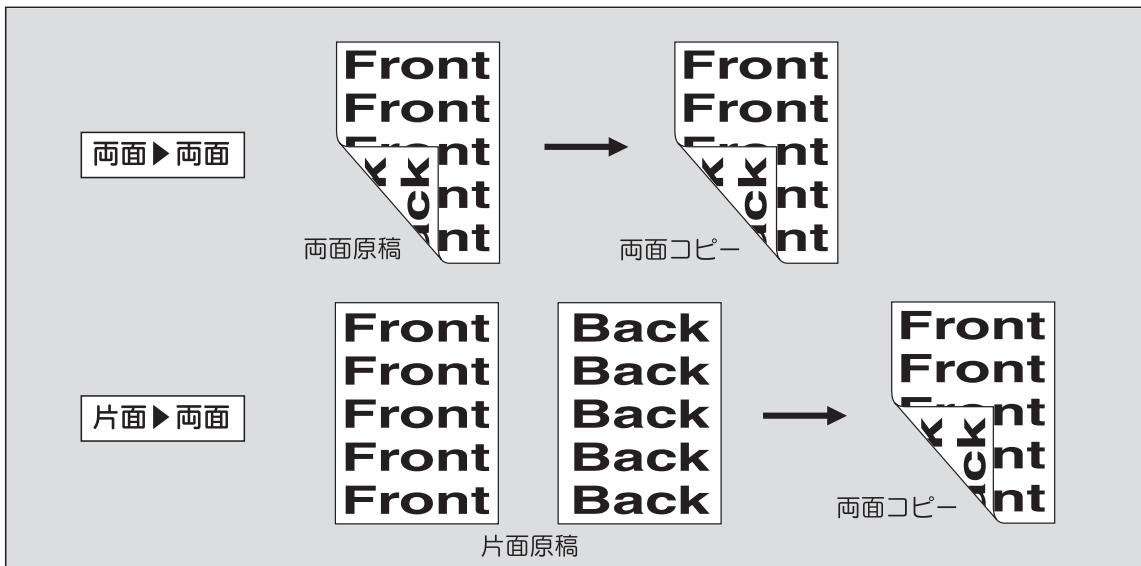
第9章
基本設定

片面/両面設定

初期状態では片面コピー（片面->片面）が自動選択されています。ここでは、ADFまたは原稿ガラスに原稿をセットして両面コピーをとる方法を説明します。また、両面原稿を片面コピーする方法を説明します。

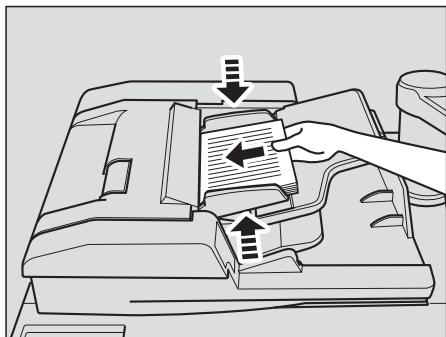
ADFを使って両面コピーをとる

ADFを使用して片面原稿や両面原稿を両面コピーする手順を説明します。



- ADFにセットした原稿の方向に合わせて原稿セット方向を選択します。
- 両面コピーを上とじ（オモテ面とウラ面の天地が逆）にすることができます。
- 上とじ（オモテ面とウラ面の天地が逆）の両面原稿を左右とじ（オモテ面とウラ面の天地が同じ）の両面コピーにすることができます。
- 原稿のとじ方向に合わせて出力設定の両面とじ方向が自動的に設定されるようになっています。詳細はPOD管理者編のp. 5-43をごらんください。

1 ADFに原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、〔片面->両面〕または〔両面->両面〕を押して反転させます。



3 両面コピー関連のコピー条件を設定します。

原稿セット方向と原稿のとじ方向の選択：

- (1) コピー画面の〔原稿設定〕を押して原稿設定画面を表示させます。
- (2) セットした原稿の方向に合わせて「原稿セット方向」表示下の原稿セット方向ボタンを押して反転させます。
- (3) 両面原稿が上とじ（オモテ面とウラ面の天地が逆）で左右とじ（オモテ面とウラ面の天地が同じ）両面コピーをとるときは、「両面とじ方向」表示下の〔上とじ〕を押して反転させます。
- (4) [OK] を押します。



- 原稿セット方向の設定の詳細は、p. 9-2 「原稿設定」をごらんください。
- 両面原稿とじ方向の設定の詳細は、p. 9-4をごらんください。

原稿設定

連続読み込みモード

画質設定

倍率設定

片面/両面設定

用紙設定

コピー予約

併用できないコピー条件

基 第
本 設 定
9 章

両面コピーのとじ方向の選択 :

- (1) コピー画面の〔出力設定〕を押して出力設定画面を表示させます。
- (2) 「両面とじ方向」表示下の任意のとじ方向ボタンを押して反転させます。
- (3) 上とじ(オモテ面とウラ面の天地が逆)の両面コピーをとるときは、「両面とじ方向」表示下の〔上とじ〕を押して反転させます。
- (4) [OK] を押します。



両面コピーとじ方向の設定の詳細は、p. 11-2をごらんください。



原稿ガラスを使って両面コピーをとる

原稿ガラスに原稿をセットして両面コピーをとる手順を説明します。

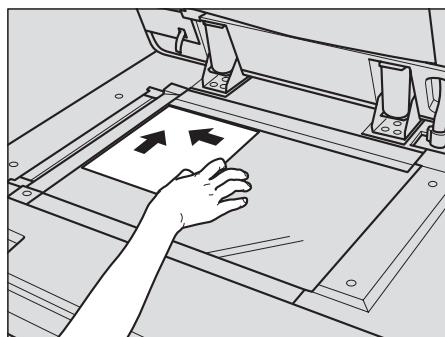


- ・連続読み込みモードを使用します。
- ・原稿ガラスにセットした原稿の方向に合わせて原稿セット方向を選択します。
- ・両面コピーを上とじ（オモテ面とウラ面の天地が逆）にすることができます。
- ・原稿のとじ方向に合わせて出力設定の両面とじ方向が自動的に設定されるようになっています。詳細はPOD管理者編のp. 5-43をごらんください。

1

原稿ガラスに原稿をセットします。

ADFを開きます。原稿は最初のページから順にコピーする面を下にしてセットします。ADFを閉じます。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。



ページ連写、原稿外消去、イメージリピートの自動画像サイズ自動検出、センタリングの機能を使用するときは、ADFを閉じないでください。

2

コピー画面の〔片面→両面〕を押して反転させます。

〔連続読み込み〕が自動的に反転します。



操作パネルの【リセット】を押さないでください。原稿ガラスにセットした原稿をスキャンできなくなります。

原稿設定
連続読み込みモード
画質設定
倍率設定
片面/両面設定
用紙設定
コピー予約
併用できないコピー条件

第9章
基本設定

3 両面コピー関連のコピー条件を設定します。

原稿セット方向の選択 :

- (1) コピー画面の【原稿設定】を押して原稿設定画面を表示させます。
- (2) セットした原稿の方向に合わせて「原稿セット方向」表示下の原稿セット方向ボタンを押して反転させます。
- (3) [OK] を押します。



原稿セット方向の設定の詳細は、p. 9-2「原稿設定」をごらんください。

両面コピーのとじ方向の選択 :

- (1) コピー画面の【出力設定】を押して出力設定画面を表示させます。
- (2) 「両面とじ方向」表示下の任意のとじ方向ボタンを押して反転させます。
- (3) 上とじ（オモテ面とウラ面の天地が逆）の両面コピーをとるときは、「両面とじ方向」表示下の「上とじ」を押して選択します。
- (4) [OK] を押します。



両面コピーとじ方向の設定の詳細は、p. 11-2をごらんください。

4 必要に応じてそのほかのコピー条件を設定します。

5 操作パネルの【スタート】を押します。 オモテ面になる原稿がスキャンされます。

- 6** ウラ面になる原稿を原稿ガラスにセットし、操作パネルの【スタート】を押します。



読み込み設定を変更する場合は、
〔設定変更〕を押します。

- 7** 全ての原稿をスキャンした後、〔読み完了〕を押します。



読み込みを停止したいときは、操作パネルの【ストップ】を押します。
読み込まれたデータは消去されます。詳細は、p. 8-15をごらんください。



- 8** 操作パネルの【スタート】を押します。



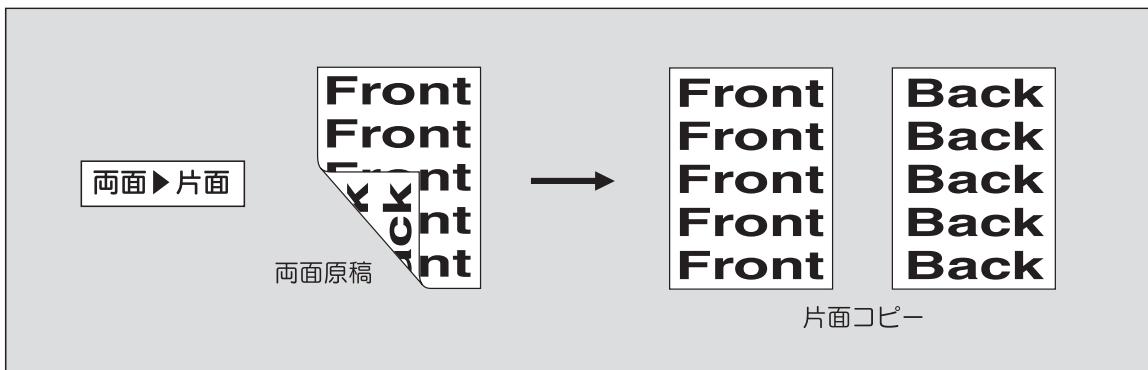
出力を停止したいときは、操作パネルの【ストップ】を押します。
詳細は、p. 8-15をごらんください。



両面コピーを一括出力します。

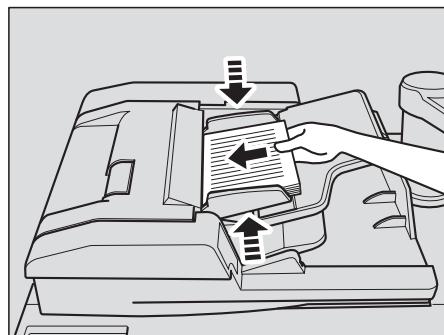
原稿設定
連続読み込みモード
画質設定
倍率設定
片面/両面設定
用紙設定
コピー予約
併用できないコピー条件
第9章 基本設定

両面原稿から片面コピーをとる
ADFを使用して両面原稿を片面コピーする手順を説明します。



- ADFにセットした原稿の方向に合わせて原稿セット方向を選択します。
- 上とじ(オモテ面とウラ面の天地が逆)の両面原稿を左右とじ(オモテ面とウラ面の天地が同じ)の片面コピーにすることができます。

1 ADFに原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、〔両面->片面〕を押して反転させます。



3 両面原稿関連のコピー条件を設定します。

原稿セット方向と原稿のとじ方向の選択：

- (1) コピー画面の〔原稿設定〕を押して原稿設定画面を表示させます。
- (2) セットした原稿の方向に合わせて「原稿セット方向」表示下の原稿セット方向ボタンを押して反転させます。
- (3) 両面原稿が上とじ（オモテ面とウラ面の天地が逆）で左右とじ（オモテ面とウラ面の天地が同じ）両面コピーをとるときは、「両面とじ方向」表示下の〔上とじ〕を押して反転させます。
- (4) [OK] を押します。



- 原稿セット方向の設定の詳細は、p. 9-2「原稿設定」をごらんください。
- 両面原稿とじ方向の設定の詳細は、p. 9-4をごらんください。

原稿設定

連続読み込みモード

画質設定

倍率設定

片面/両面設定

用紙設定

コピー予約

併用できないコピー条件

用紙設定

各トレイにはあらかじめ、サイズおよび各種の用紙条件が設定されています。用紙条件には下記のものがあります。

- 用紙種類
- 用紙名称
- 坪量
- 表裏調整
- パンチ穴のあり/なし
- 色紙の白以外/白

サイズ：

各トレイに定形サイズを機械が検知するように設定したり、特定の用紙サイズ(不定形、ワイド紙、インデックス紙)を設定することができます。

定形サイズ、インデックス紙サイズが設定されたトレイは、自動用紙機能、自動倍率機能、自動画像回転機能の対象トレイになります。

ワイド紙が設定されているトレイは、自動倍率機能、自動画像回転機能の対象トレイになります。

不定形サイズに設定されたトレイは、いずれも対象トレイになりません。

用紙条件：

コピー画面または機械状態画面の〔用紙設定〕を押して、一時的に任意のトレイの用紙条件を変更したり、用紙条件を登録したり、登録されている用紙条件を呼び出すことができます。

ここでは、自動用紙機能、自動画像回転機能、および各トレイに設定したサイズと用紙条件の変更/登録、登録した用紙条件の呼び出し方法を説明します。



登録された用紙条件の削除は機械状態画面で行います。また用紙条件を複数登録する場合は、機械状態画面で行うと効率よく登録できます。詳細はPOD管理者編のp. 2-5をごらんください。

自動的に用紙サイズを選択させる：自動用紙

原稿サイズを検知し、原稿サイズと同じサイズの用紙がセットされているトレイから（等倍）、または設定されている倍率に対応したサイズの用紙がセットされているトレイから（変倍）用紙を給送してコピーします。



- ADF や原稿ガラスにセットして検知される原稿サイズには制限があります。詳細は、p. 3-14「原稿について」をごらんください。
- ADF や原稿ガラスにセットして検知される原稿サイズを変更することができます。詳細は、POD 管理者編の p. 5-59をごらんください。
- 任意のトレイを自動用紙によって選択できなくしたり、自動用紙によって選択される用紙条件を設定することができます。詳細は、POD 管理者編の p. 5-27をごらんください。
- ADF あるいは原稿ガラスに原稿をセットしたとき、自動用紙を機能させるか、させないかの設定ができます。詳細は、POD 管理者編の p. 5-43をごらんください。

原稿設定
連続読み込みモード
画質設定
倍率設定
片面/両面設定
用紙設定
コピー予約
併用できないコピー条件

第9章
基本設定



- 自動用紙と自動倍率の併用はできません。自動画像回転機能との併用は可能です。
- サイズ設定を不定形サイズに設定されたトレイは自動用紙の対象トレイにはなりません。

1 ADFを確実に閉じて操作パネルの【リセット】を押します。

初期状態では【自動用紙】が自動選択されています。



2 原稿をセットします。

自動的に選択されたトレイボタンが反転します。自動的に選択された用紙サイズがどのトレイにもない場合は、メッセージが表示されます。メッセージに表示されたサイズの用紙をトレイにセットしてください。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。



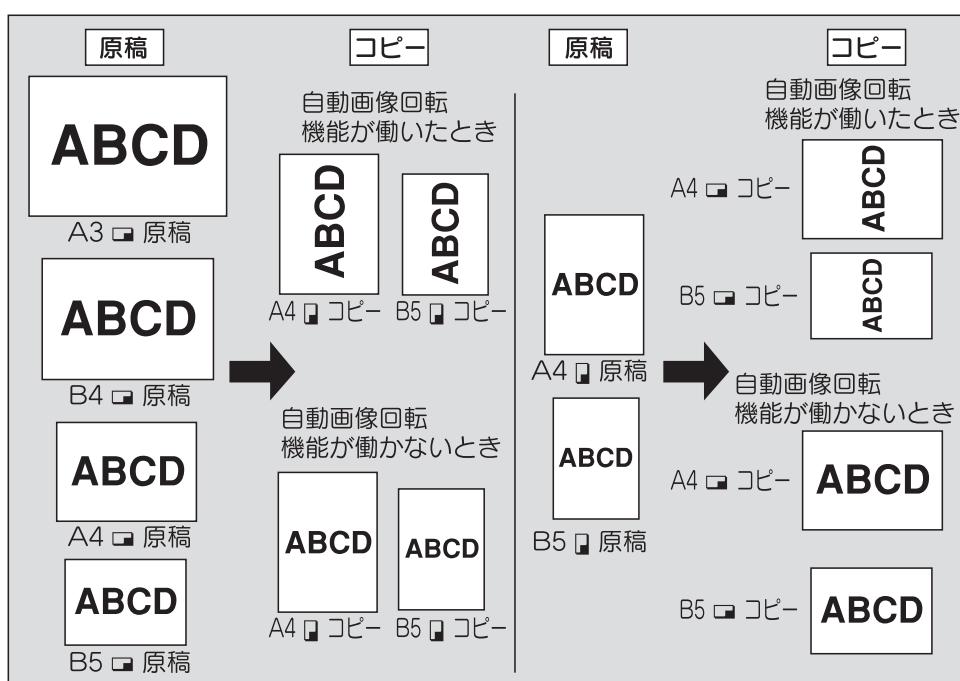
自動選択した用紙サイズがトレイにあっても、トレイの用紙条件によって自動用紙の対象トレイに設定されていないことがあります。

自動画像回転をオフ / オンする

機械が A4 □ を自動選択してもトレイに A4 □ の用紙しかセットされていない場合、A4 □ の用紙にコピーするように画像を 90° 回転させます。タテ送り方向 □ にしかセットできない原稿 (A3、B4 など) をヨコ送り方向 □ にセットされた用紙に縮小コピーします。



自動画像回転機能が機能するタイミングを変更することができます。詳細は、POD 管理者編の p. 5-69 をごらんください。



原稿設定
連続読み込みモード
画質設定
倍率設定
片面/両面設定
用紙設定
コピー予約
併用できないコピー条件



- A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□の用紙に対して機能します。
- 対応している原稿サイズは、A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、B6 □です。

初期設定では、自動画像回転機能はオンになっています。下記の手順で自動画像回転機能をオフ/オンします。

- 1 コピー画面を表示させ、〔自動画像回転禁止〕を押して反転させます。

自動画像回転機能がオフになります。



- 2 〔自動画像回転禁止〕を押して選択を解除します。

自動画像回転機能がオンになります。



原稿設定
連続読み込みモード
画質設定
倍率設定
片面/両面設定
用紙設定
コピー予約
併用できないコピー条件

第9章
基本設定

トレイに設定されていない用紙設定でコピーする：用紙設定

各トレイにはあらかじめ、サイズ、用紙条件が設定されています。

設定外の用紙にコピーするときは、下記の手順に従ってその用紙をセットするトレイの用紙設定を変更し、用紙をセットします。



用紙種類を変更（例えば普通紙上質紙）してジョブを開始したとき、定着ユニットの温度を上げたり、下げたりするためコピー可能になるのに時間がかかることがあります。

- 1 コピー画面を表示させ、[用紙設定] 表示下のトレイキーで各トレイに設定されている用紙設定を確認します。

トレイボタンにはサイズ、坪量、用紙種類／用紙名称そして用紙残量が表示されています。



- 2 用紙設定を変更するトレイに用紙をセットします。



変更したトレイの用紙設定は、そのジョブが終わっても変更されません。

3 [用紙設定] を押します。



用紙設定ポップアップ画面が表示されます。

機械状態画面の〔用紙設定〕を押し、〔トレイ設定〕を押すと、トレイ設定ポップアップ画面が表示されます。



用紙条件を複数登録したり、登録された用紙条件を削除する場合は、POD管理者編の第2章 用紙設定をごらんください。



用紙設定ポップアップ画面とトレイ設定ポップアップ画面で設定できる内容は同じです。

- 4** 用紙設定を変更するトレイを選択します。
用紙設定ポップアップ画面の任意のトレイボタンを押して選択します。



- 5** サイズの設定を一時的に変更します。
下記の4つの項目から選択してサイズの設定を変更します。
定形サイズ
不定形サイズ
ワイド紙
インデックス紙

原稿設定
連続読み込みモード
画質設定
倍率設定
片面/両面設定
用紙設定
コピー予約
併用できない
コピー条件

第9章
基本設定

定形のサイズに変更 :

- (1) [サイズ設定] を押して、[定形サイズ] を押して反転させます。
トレイにセットした定形サイズを自動的に検知します。
- (2) 異なるサイズを定形サイズとして機械に認識させることができます。
[検知サイズ設定] を押して検知サイズ画面を表示させ、任意のサイズボタンを押して検知サイズを切替えます。
- (3) [OK] を押します。



不定形の任意のサイズに変更 :

- (1) [サイズ設定] を押して、[不定形サイズ] を押します。
- (2) 用紙のタテ / ヨコのサイズ数値を表示しているキーを押して選択し、テンキーまたは[]([])を押して任意のサイズを入力します。
このとき入力できるのは、タテ182mm以上～最大324mm、ヨコ140mm以上～最大460mmです。
- (3) [先端合わせ]、[後端合わせ] または [中央合わせ] を押して、画像を先端、後端または中央基準で転写するかを設定します。
- (4) あらかじめ登録していた不定形サイズを呼び出すときは [サイズ読み出し] を押します。
[]([])を押して任意のNo.ボタンを押し、[OK] を押します。
- (5) サイズ設定画面の [OK] を押します。



詳しく説明します

不定形サイズの最小サイズを変更することができます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。



トレイによって、入力できるサイズは異なります。



不定形サイズは、機械状態画面の [不定形サイズ登録] を押して設定します。詳細は、POD管理者編の p. 2-23をごらんください。

ワイド紙の任意のサイズに変更 :

- (1) [サイズ設定] を押して、[ワイド紙] を押します。
- (2) 任意のワイド紙のサイズボタンを押して選択します。
- (3) [先端合わせ] 、[後端合わせ] または [中央合わせ] を押して、画像を先端、後端または中央基準で転写するかを設定します。
- (4) ワイド紙のサイズを任意に設定する場合は、[サイズ入力] を押してサイズ入力画面を表示させます。
- (5) 用紙のタテサイズの数値を表示しているキーを押して選択し、テンキーまたは [] [] を押して任意のサイズを入力します。このとき入力できるのは、(2) 項で選択したワイド紙の定形タテ寸法以上～最大324mmです。
- (6) 用紙のヨコサイズの数値を表示しているキーを押して選択し、テンキーまたは [] [] を押して任意のサイズを入力します。このとき入力できるのは、(2) 項で選択したワイド紙の定形ヨコ寸法以上～最大460mmです。
- (7) サイズ選択画面にもどるときは、[サイズ選択] を押します。
- (8) サイズ設定画面の [OK] を押します。



ワイド紙を設定するときは必ず
ワイド紙のサイズ入力を行って
ください。初期設定のサイズはワ
イド紙の寸法になっていません。



トレイによって、入力できるサイ
ズは異なります。



原稿設定

連続読み込みモード

画質設定

倍率設定

片面/両面設定

用紙設定

コピー予約

併用できない
コピー条件

インデックス紙サイズに変更 :

- (1) [サイズ設定] を押して、[インデックス紙] を押します。
- (2) 任意のインデックス紙の定形サイズボタンを押して選択します。
- (3) インデックス紙のサイズを任意に設定する場合は、[不定形サイズ] を押してサイズ入力画面を表示させます。
- (4) 用紙のタテ / ヨコ / インデックス幅のサイズ数値を表示しているボタンを押して選択し、テンキーまたは[]([])を押して任意のサイズを入力します。
- (5) [インデックス数入力] を押してインデックス数入力画面を表示させ、テンキーまたは[]([])を押してインデックス数を入力します。1 ~ 15まで設定できます。[OK] を押します。
- (6) サイズ設定画面の [OK] を押します。



6 用紙条件の設定を変更します。

用紙条件の変更は、登録されている用紙条件を選択する方法と、新規に設定する方法があります。

用紙条件の選択：

- (1) [用紙条件選択] を押します。
- (2) 用紙条件選択画面の [次頁] または [前頁] を押し
て登録されている用紙条件のリストから一時変更
する用紙条件ボタンを押して選択します。
- (3) [OK] を押します。



原稿設定

連続読み込みモード

画質設定

倍率設定

片面/両面設定

用紙設定

コピー予約

併用できない
コピー条件

基 第
本 設 定
9 章

用紙設定(つづき)

用紙条件の設定 :

(1) [設定変更] を押します。



トレイに設定した新規の用紙条件は、そのトレイに新たな用紙条件を設定するとなくなります。今後も使用する用紙条件は、設定登録してください。詳細は、p. 9-51をごらんください。

(2) [用紙種類] を押します。

任意のボタンを押して用紙種類を選択します。
[OK] を押します。



用紙種類の仕様は POD 管理者編で説明しています。詳細は、POD 管理者編の p. 2-3 をごらんください。



- (3) [坪量] を押します。
任意のボタンを押して坪量を選択します。
[OK] を押します。



- (4) [色紙] を押します。
任意のキーを押して色紙名を選択します。
[OK] を押します。



- (5) [パンチ穴] を押します。
パンチ穴付きの用紙をセットする場合は [パンチ穴あり]、セットしない場合は [パンチ穴なし] を押して選択します。
[OK] を押します。



原稿設定

連続読み込みモード

画質設定

倍率設定

片面/両面設定

用紙設定

コピー予約

併用できない
コピー条件

基本設定

(6) [表裏調整] を押します。

[オモテ][ウラ]を押して調整するプリント面、[タテ倍][ヨコ倍][上下][左右]を押して調整項目、[+ -]を押して調整値の+ - を選択します。

テンキーまたは[]([])を押して任意の数値を入力します。

[OK]を押します。



チャート調整は、機械状態画面の用紙設定でなければ調整できません。POD管理者編のp. 2-19をごらんください。

(7) [OK]を押します。

用紙条件の登録：

トレイに新規に設定した用紙条件は、そのトレイに新たな用紙条件を設定するとなくなります。

今後も使用する用紙条件は登録してください。
 (1) [設定登録] を押して、用紙条件登録画面を表示させます。



(2) [次頁]、[前頁] を押して、登録されている用紙名称リストから登録する用紙名称ボタンを押します。用紙名称入力画面が表示されます。



詳しく説明します

このとき、用紙名称ボタンにすでに用紙名称が表示されているボタンを選択すると、その登録に上書きされ、登録されていた用紙条件はなくなります。

(3) 名前を入力して [OK] を押します。



(4) [OK] を押します。

原稿設定

連続読み込みモード

画質設定

倍率設定

片面/両面設定

用紙設定

コピー予約

併用できない
コピー条件

基 第
本 設 定
9 章

7 用紙予約設定ポップアップ画面の〔閉じる〕を押します。

用紙設定が変更したトレイに新たに設定した用紙条件が表示されます。



コピー予約

コピージョブの場合、原稿スキャン中に次のジョブのコピー条件の設定ができます。また、原稿スキャンが終わり、プリント中に次のジョブの原稿スキャンが可能になります。この作業をコピー予約といいます。

コピー予約されたジョブは、その前のジョブの出力が完了すると、引き続き出力します。

設定メニュー画面の「デフォルト画面設定」で選択されているデフォルト画面によって操作方法が違います。



コピー予約の機能を使用できないように設定できます。サービス実施店にお問い合わせください。



コピー予約は100ジョブまで設定できます。

1 コピー画面を表示させます。

デフォルト画面が機械状態画面の場合：
原稿スキャンを開始すると、コピー画面上に下記ポップアップ画面が表示されます。
コピー予約をするため〔はい〕を押します。



〔いいえ〕を押すと、「プリントしています」というメッセージが表示されている機械状態画面が表示されます。このとき〔コピー〕タブを押すと、コピー画面が表示されコピー予約ができます。



- デフォルト画面がジョブリスト画面の場合も同様のポップアップ画面が表示されます。コピー予約をするための操作方法は同じです。
- デフォルト画面の設定は、設定メニュー画面で行います。詳しくは、POD管理者編のp. 5-19をごらんください。

原稿設定

連続読み込みモード

画質設定

倍率設定

片面/両面設定

用紙設定

コピー予約

併用できない
コピー条件

第9章
基本設定

デフォルト画面がコピー画面の場合：
原稿スキャンを開始すると、コピー画面上に下記のポップアップ画面が表示されます。コピー予約をするため【閉じる】を押します。



2 表示されているコピー画面でコピー予約し、原稿をセットして操作パネルの【スタート】を押します。

手順**1**と**2**の操作を繰り返します。コピー予約は100ジョブまで設定できます。予約したジョブを確認/操作するときは、【ジョブリスト】タブを押してジョブリスト画面を表示させます。



- コピー画面に「コピー予約できます」と表示されているとき、操作パネルの【スタート】を押さなくても、ADFに原稿をセットすると自動的に原稿スキャンを開始するように設定することができます。詳しくは、POD管理者編の p. 5-71をごらんください。

- 原稿ガラスでスキャン・プリント中に、違う原稿を原稿ガラスにセットし同じコピー条件でスキャンできるように設定ができます。



ジョブリストの詳細は、p. 12-2をごらんください。



予約ジョブ時のトラブルに関しては、p. 5-53をごらんください。

3 コピー予約したジョブのプリントを自動的に開始します。

併用できないコピー条件

機能組み合せ表

			原稿設定											
			原稿セット方向		両面とじ方向		特殊原稿		原稿サイズ					
原稿設定	原稿セット方向	上向き									不定形 サイズ			
		左向き									定形サイズ			
		下向き									全面以外			
		右向き									全面			
	両面とじ方向	左右とじ									*1 *1 *1			
		上とじ									*1 *1 *1			
		普通原稿												
		混載原稿												
	特殊原稿	Z折れ												
		1枚送り												
		定形サイズ												
		不定形 サイズ	全面以外								*1 *1			
		インデックス紙	全面								*1 *1			
	連続読み込みモード													

*1:網掛けで選択不可

原稿設定

連続読み込みモード

画質設定

倍率設定

片面/両面設定

用紙設定

コピー予約

併用できない
コピー条件

併用できないコピー条件(つづき)

機能組み合せ表		画質設定			倍率設定		
		画質	下地調整	登録濃度	手動設定	拡大	縮小
		文字・写真 薄文字 写真 文字	文字 うすく ふつう こく	登録1 登録2	運動ズーム 縦 横	4種 4種 3種	登録倍率
原稿設定	原稿セット方向	上向き					
		左向き					
		下向き					
		右向き					
	両面とじ方向	左右とじ					
		上とじ					
	特殊原稿	普通原稿					
		混載原稿					
		Z折れ					
		1枚送り					
	原稿サイズ	定形サイズ					
		不定形サイズ	全面以外				*1
			全面				
		インデックス紙					*1
		連続読み込みモード					

*1:網掛けで選択不可

機能組み合せ表		両面設定		用紙設定	
		両面	片面	片面	片面
		トレイ1	トレイ2	トレイ3	トレイ4
原稿設定	原稿セット方向	上向き			
		左向き			
		下向き			
		右向き			
	両面とじ方向	左右とじ			
		上とじ			
	特殊原稿	普通原稿			
		混載原稿			
		Z折れ			
		1枚送り			
	原稿サイズ	定形サイズ			
		不定形サイズ	全面以外		*1 *1
			全面		
		インデックス紙	*2 *2		*1
		連続読み込みモード			

*1:網掛けで選択不可

*2:「この機能の組み合わせは出来ません」でスタート禁止

機能組み合せ表			応用設定																				
			ページ編集																				
			インターフェート			オモテ表紙			ウラ表紙			挿入紙			集約		小冊子						
			トレイの選択	本体トレイ	PTトレイ	トレイの選択	本体トレイ	PTトレイ	トレイの選択	本体トレイ	PTトレイ	トレイの選択	本体トレイ	PTトレイ	ヨコ順	タテ順	小冊子	無線どじ					
原稿設定	原稿セット方向	上向き													2in1	4in1	8in1	4in1	8in1	全体	小冊子	無線どじ	
		左向き																					
		下向き																					
		右向き																					
	両面とじ方向	左右とじ																					
		上とじ																					
		普通原稿																					
	特殊原稿	混載原稿	*3 *3	*3 *3	*4 *4	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1								
		Z折れ																					
		1枚送り	*3 *3	*3 *3	*4 *4	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1							
		定形サイズ																					
	原稿サイズ	不定形サイズ	全面以外																				
		全面																					
		インデックス紙	*3 *3	*3 *3	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1							
	原稿読み込みモード																						

*1:網掛けで選択不可

*3:表紙釦押下でPT設定画面に遷移、本体トレイ用紙設定釦は網掛けとして、本体トレイ設定は不可

*4:挿入紙設定画面で、本体トレイ選択釦全て網掛けで選択不可

原稿設定

連続読み込みモード

画質設定

倍率設定

片面/両面設定

用紙設定

コピー予約

併用できない
コピー条件

機能組み合せ表			応用設定																
			ページ編集																
			イメージリピート			OHP合紙			差込ページ			ページ連写			画像応用				
			プログラムジョブ	原稿外消去	ネガボジ反转	全體	画像サイズ手動入力	画像サイズ自動検出	定形リピート	2リピート	4リピート	8リピート	2リピート右反转	2リピート左反转	桿折目消し	センタリング	全面画像		
原稿設定	原稿セット方向	上向き																	
		左向き		*5															
		下向き		*5															
		右向き		*5															
	両面とじ方向	左右とじ																	
		上とじ																	
		普通原稿																	
	特殊原稿	混載原稿	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1				
		Z折れ																	
		1枚送り	*1			*1			*1 *1										
		定形サイズ																	
	原稿サイズ	不定形サイズ	全面以外																
		全面																	
		インデックス紙	*1 *1	*1 *1															
	連続読み込みモード																		

*1:網掛けで選択不可

*5:"ブック連写では原稿セット方向を上向きに設定して下さい"msg.排他。

第9章
基本設定

併用できないコピー条件(つづき)

機能組み合せ表			応用設定									
			画像応用									
			とじしろ	スタンプ/オーバーレイ								
原稿設定	原稿セット 方向	全体	シフト 縮小シフト	全体	定型スタンプ ナシ/有り	ページ	日付/時刻	ウォーターマーク	ウォーターマークナンバリング	オーバーレイ	登録オーバーレイ	登録オーバーレイ(登録) 任意スタンプ
原稿設定	上向き											
	左向き											
	下向き											
	右向き											
	両面とじ 方向	左右とじ										
		上とじ										
	普通原稿											
	混載原稿		*1						*1	*2		
	Z折れ											*2
	1枚送り								*1	*2		
原稿サイズ	定形サイズ											
	不定形 サイズ	全面	*1 *1 *1									
		インデックス紙										*2
	連続読み込みモード											

*1:網掛けで選択不可

*2:先選択応用機能解除して網掛け

		出力設定（後処理が一つでも装着されている状態）																	
原稿設定	機能組み合せ表	両面 とじ 方向	排紙面	排紙順	出力トレイ	後処理													
		左右とじ 上とじ	上とじ	フェイスタップ	フェイスタウン	正順排紙	逆順排紙	メイントレイ	サブトレイ	仕分けソート	仕分けグループ	ソート	クループ	ステープル	中とじ	重ね3つ折り内印字	パンチ	Z折り	タンドム
原稿設定	原稿 セット方向	上向き																	
		左向き																	
		下向き																	
		右向き																	
	両面とじ方向	左右とじ																	
		上とじ																	
	特殊原稿	普通原稿																	
		混載原稿																	
		Z折れ														*1	*1	*1	*2
		1枚送り														*1	*1		
	原稿サイズ	定形サイズ																	
		不定形サイズ	全面以外																
			全面																
		インデックス紙																	
連続読み込みモード																			

*1:網掛けで選択不可

*2:混載自動用紙モードは、メッセージ表示でスタート不可

		出力設定（後処理が一つも装着されていない状態）																		
原稿設定	機能組み合せ表	両面 とじ 方向	排紙面	排紙順	後処理															
		左右とじ 上とじ	上とじ	フェイスタップ	フェイスタウン	正順排紙	逆順排紙	仕分けソート	仕分けグループ	ソート	クループ	タンドム	HDD保存	ソート	クループ	中とじ	重ね3つ折り内印字	パンチ	Z折り	タンドム
原稿設定	原稿 セット方向	上向き																		
		左向き																		
		下向き																		
		右向き																		
	両面とじ方向	左右とじ																		
		上とじ																		
	特殊原稿	普通原稿																		
		混載原稿																		
		Z折れ																		
		1枚送り														*1	*1		*1	
	原稿サイズ	定形サイズ																		
		不定形サイズ	全面以外																	
			全面																	
		インデックス紙																		
連続読み込みモード																				

*1:網掛けで選択不可

併用できないコピー条件(つづき)

機能組み合せ表			原稿設定										連続読み込みモード	
			原稿セット 方向		両面 とじ 方向		特殊原稿		原稿サイズ					
画質設定	画質	上向き	左向き	下向き	右向き	左右とじ	上とじ	ノーマル	混載原稿	折れ	1枚送り	定形サイズ	不定形サイズ	
		文字・写真										全面以外	全面	
		薄文字												
		写真												
	下地調整	文字												
		うすく												
		ふつう												
	登録濃度	こく												
		登録1												
		登録2												
倍率設定	手動設定	うすく												
		ふつう												
		こく												
		自動												
		運動ズーム												
	手動設定	縦												
		横												
		テンキー、 / キー												
	拡大	4種												
		縮小												
		登録倍率												
片面/両面	自動倍率	等倍												
		小さめ												
		自動倍率										*2	*2	
		両面 両面												*3
		両面 片面												*3
	用紙設定	片面 両面				*1 *1								
		片面 片面				*1 *1								
		トレイ1												
		トレイ2												
		トレイ3												
		トレイ4												
		手差し												
		自動用紙										*2	*2	
		自動画像回転禁止												

*1: 設定可能だが機能しない(但し、片面 両面モードの場合、出力とじ方向合わせがONの場合は、出力側のとじ方向も連動する)

*2: 自動用紙/自動倍率解除(解除後網掛け)

*3: 「この機能の組み合わせはできません」でスタート禁止

原稿設定
連続読み込みモード
画質設定
倍率設定
片面/両面設定
用紙設定
コピー予約
併用できないコピー条件

第9章
基本設定

機能組み合せ表		画質設定						倍率設定					
		画質		下地調整		登録濃度		手動設定		拡縮大小		登録倍率	
		文字・写真	薄文字	写真	文字	うすく	ふつう	こく	登録1	登録2	4種	3種	等倍
画質設定	画質	文字・写真	薄文字	写真	文字	うすく	ふつう	こく	登録1	登録2	4種	3種	等倍
下地調整	うすく	*1							*1	*1			
	ふつう												
	こく												
登録濃度	登録1					*3	*3	*3					
	登録2					*3	*3	*3					
	うすく												
自動	自動ズーム												
倍率設定	手動設定	運動ズーム	縦	横	テンキー、/キー	4種	4種	4種	4種	4種	3種	等倍	等倍
片面/両面	拡大												
	縮小												
	登録倍率												
	等倍												
用紙設定	小さめ												
	自動倍率												
	片面	両面	両面	片面	片面	トレイ1	トレイ2	トレイ3	トレイ4	手差し	自動用紙	自動画像回転禁止	
	両面	片面	片面	片面	片面								

*1: 鈍押下時、下地調整のレベルは普通「0」に強制変更

*3: 鈍押下で無反応

*4: 下地調整範囲は「0 ~ +4」となる

併用できないコピー条件(つづき)

機能組み合せ表			両面設定		用紙設定								
画質設定	画質	文字・写真 薄文字 写真 文字 うすく ふつう こく 登録濃度 うすく ふつう こく 自動	両面	片面	両面	片面	トレイ1	トレイ2	トレイ3	トレイ4	手差し	自動用紙	自動画像回転禁止
			両面	片面	両面	片面	トレイ1	トレイ2	トレイ3	トレイ4	手差し	自動用紙	自動画像回転禁止
倍率設定	手動設定	運動ズーム											
		縦											
倍率設定	手動設定	横											
		テンキー、/キー											
用紙設定	用紙	拡大	4種										
		縮小	4種										
用紙設定	用紙	登録倍率	3種										
		等倍											
用紙設定	用紙	小さめ											
		自動倍率											
片面/ 両面	用紙	両面 両面				*							
		両面 片面				*							
		片面 両面				*							
		片面 片面											
用紙設定	用紙	トレイ1											
		トレイ2											
		トレイ3											
		トレイ4											
		手差し											
		自動用紙											
		自動画像回転禁止											

*2:後選択が鉗ではなく、ADF OPENでADFモードから原稿ガラススキャンモード移行時は片面 片面となる

原稿設定
連続読み込みモード
画質設定
倍率設定
片面/両面設定
用紙設定
コピー予約
併用できない
コピー条件

第9章 基本設定

機能組み合せ表		応用設定																
		ページ編集																
		インターフェース						集約			小冊子		OHP合紙	差込ページ	ページ連写	プログラムジョブ	原稿外消去	ネガボジ反转
		オモテ表紙	裏表紙	挿入紙	オモテ表紙	裏表紙	挿入紙	ヨコ順	タテ順	ヨコ順	小冊子	無線ヒジ						
		P1トレイ	P1トレイ	P1トレイ	本体トレイ	本体トレイ	本体トレイ	2 in 1	4 in 1	8 in 1	4 in 1	8 in 1						
画質設定	画質	文字・写真																
		薄文字																
		写真																
		文字																
	下地調整	うすく																
		ふつう																
	登録濃度	こく																
		登録1																
	登録2	うすく																
	登録1	ふつう																
	登録2	こく																
	自動	自動																
倍率設定	手動設定	運動ズーム																
		縦																
		横																
		テンキー、/キー																
	拡大	4種																
		縮小																
	登録倍率	4種																
	等倍	等倍																
	小さめ	小さめ																
	自動倍率	*21		*21		*21		*21							*21	*15		
片面/両面	両面	両面	*3		*3		*3								*8	*12	*10	
	両面	片面	*20		*20		*20		*5							*12	*9	
	片面	両面	*1		*1		*1									*7	*12	*10
	片面	片面	*1*20		*1*20		*1*20		*4						*6	*6	*12	*9
用紙設定	トレイ1																	
	トレイ2																	
	トレイ3																	
	トレイ4																	
	手差し																	
	自動用紙	*13		*13		*13		*13	*13	*13	*13	*13	*13	*13	*13	*13	*13	
	自動画像回転禁止																	

*1:原稿ガラススキャンモード時はADFを自動選択。ADF OPEN時は「ADFを閉めて下さい」となる

*3:印刷+片面は「両面 両面（片面 両面）モードではインターフェース片面印刷挿入できません」でスタート禁止

*4:片面 両面モードへ変更（原稿ガラススキャンモード時はADFを自動選択。ADF OPEN時は「ADFを閉めて下さい」となる）

*5:両面 両面モードへ変更

*6:片面 両面モードへ変更（原稿ガラススキャンモード時はメモリー モードを自動選択。）

*7:片面 片面モードへ変更

*8:両面 片面モードへ変更

*9:原稿ガラススキャン片面 片面モードへ変更（ADF閉時は「ADFを開けて下さい」表示でスタート禁止）

*10:原稿ガラススキャン片面 両面モード+メモリー モードへ強制変更（ADF閉時は「ADFを開けて下さい」表示でスタート禁止）

*12:ADFモードで表紙+見開きまたは表紙+裏表紙+見開き選択時は「表紙は原稿ガラススキャンで読み込んで下さい」でスタート禁止（ADF OPENでスタート許可）

*13:自動用紙解除（解除後釦網掛け）して自動倍率となる（選択トレイは自動用紙解除時のトレイ選択仕様による。）

倍率は自動倍率仕様による）章分けはコピー挿入選択時のみ

*15:自動用紙/自動倍率解除（解除後釦網掛け）され、倍率は保持される。

*20:印刷+両面は「片面出力モードではインターフェース両面挿入はできません」でスタート禁止

*21:自動用紙を網掛け。章分けはコピー挿入選択時のみ

併用できないコピー条件(つづき)

機能組み合せ表		応用設定													
		画像応用													
		イメージリピート							スタンプ/オーバーレイ						
		定形リピート							全面画像						
画質設定	画質	画像サイズ手動入力	画像サイズ自動検出	2リピート	4リピート	8リピート	2リピート右反転	2リピート左反転	枠/折目消し	センタリング	シフト	縮小シフト	定形スタンプ	ナンバリング	ページ
		文字・写真													
		薄文字													
		写真													
	下地調整	文字													
		うすく													
		ふつう													
		こく													
	登録濃度	登録1													
		登録2													
		うすく													
		ふつう													
	自動	こく													
		自動													
	倍率設定	運動ズーム									*16				*18
		手動	縦								*16				*18
			横								*16				*18
		テンキー、/キー									*16				*18
両面設定	拡大縮小	拡大	4種								*16				*18
		縮小	4種								*16				*18
		登録倍率	3種								*16				*18
		等倍									*16				
	自動倍率	小さめ									*2				*18
		自動倍率	*15 *15 *21 *21 *21 *21 *21												*18
		両面	両面	*9							*11				
		両面	片面	*9							*11				
		片面	両面	*9							*11				
		片面	片面	*9							*11				
用紙設定	トレイ	トレイ1													*18
		トレイ2													*18
		トレイ3													*18
		トレイ4													*18
	手差し	手差し													*18
		自動用紙	*13 *13 *13 *13 *13 *13 *13								*11				*19
		自動画像回転禁止													*18

*2:網掛けで選択不可

*9:原稿ガラススキャン片面 片面モードへ変更（ADF閉時は「ADFを開けて下さい」表示でスタート禁止）

*11:原稿外消去が自動選択されるため、原稿外消去の動作に従う

*13:自動用紙解除（解除後鈿網掛け）して自動倍率となる。（選択トレイは自動用紙解除時のトレイ選択仕様による。）

倍率は自動倍率仕様による。）章分けはコピー挿入選択時のみ。

*15:自動用紙/自動倍率解除（解除後鈿網掛け）され、倍率は保持される。

*16:自動倍率選択し、自動倍率以外の倍率選択鈿全て網掛け

*17:原稿ガラススキャン片面 片面モードへ変更

*18:自動用紙等倍に変更

*19:自動用紙解除

*21:自動用紙を網掛け。章分けはコピー挿入選択時のみ

			出力設定 (後処理が一つでも装着されている状態)																	
			両面 とじ 方向	排紙面	排紙順	出力 トレー	後処理													
機能組み合せ表	左右とじ	上とじ	フェイスタップ	フェイスタウン	正順非紙	逆順非紙	メイントレイ	サブトレイ	仕分けソート	ソート	グルーブ	ステープル	中とじ	重ね中折り	重ね3つ折り内印字	重ね3つ折り外印字	パンチ	Z折り	タンデム	HDD保存
	画質	薄文字																		
	薄文字																			
	写真																			
	文字																			
	下地調整	うすく																		
	うすく																			
	ふつう																			
	こく																			
	登録濃度	登録1																		
	登録2	登録1																		
倍率設定	うすく	うすく																		
	ふつう	ふつう																		
	こく	こく																		
	自動	自動																		
	手動設定	運動ズーム																		
	縦																			
	横																			
	テンキー、 / キー																			
	拡大	4種																		
	縮小	4種																		
片面/両面	登録倍率	3種																		
	等倍	等倍																		
	小さめ	小さめ																		
	自動倍率	自動倍率																		
	両面	両面	両面	両面	両面	両面	両面	両面	両面	両面	両面	両面	両面	両面	両面	両面	両面	両面	両面	両面
	片面	片面	片面	片面	片面	片面	片面	片面	片面	片面	片面	片面	片面	片面	片面	片面	片面	片面	片面	片面
	両面	*1																		
	片面																			
用紙設定	トレイ1																			
	トレイ2																			
	トレイ3																			
	トレイ4																			
	手差し																			
	自動用紙																			
自動画像回転禁止																				

*1:網掛けで選択不可

*2:選択可能だが作用しない

併用できないコピー条件(つづき)

機能組み合せ表					出力設定（後処理が一つも装着されていない状態）				後処理		HDD保存		ソート		グレーブ	
			両面 とじ 方向	排紙面	排紙順	正順非紙	逆順非紙	仕分けソート	ノード	グルーブ						
画質設定	画質	文字・写真														
		薄文字														
		写真														
		文字														
	下地調整	うすく														
		ふつう														
		こく														
		登録1														
	登録濃度	登録2														
		うすく														
		ふつう														
		こく														
倍率設定	手動設定	自動														
		運動ズーム														
		縦														
		横														
	拡大 / 縮小	テンキー、 / キー														
		拡大														
		縮小														
		登録倍率														
片面 / 両面	自動倍率	等倍														
		小さめ														
		自動倍率														
		両面 両面							*1							
	用紙設定	両面 片面						*2	*2							
		片面 両面								*1						
		片面 片面								*2	*2					
		トレイ1														
片面 / 両面	トレイ2	トレイ2														
		トレイ3														
		トレイ4														
		手差し														
	自動用紙	自動用紙														
		自動画像回転禁止														

*1:網掛けで選択不可

*2:選択可能だが作用しない

応用機能を設定するには

インターフェート

章分け

集約

小冊子

OHP合紙

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折り消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

応用設定 第10章

オーバーレイ

登録オーバーレイ

併用できないコピー条件

応用設定 第10章

応用機能を使ってコピーする方法について説明します。

応用機能を設定するには	10-2
コピー画面〔応用設定〕下の表示	10-3
しおり機能	10-3
表紙・挿入紙をつける：インターフェート	10-4
章の先頭ページを必ずオモテにコピーする：章分け	10-12
複数枚の原稿を1ページにコピーする：集約	10-15
製本仕立てにコピーする：小冊子	10-19
OHPフィルムにコピーする：OHP合紙	10-22
別の原稿を指定したページに差し込む：差込みページ	10-26
見開き原稿を左右1ページずつ分けてコピーする：ブック連写	10-29
複数のジョブを一括出力する：プログラムジョブ	10-33
原稿以外の部分を消去してコピーする：原稿外消去	10-37
白黒を反転させてコピーする：ネガポジ反転	10-39
1枚の用紙に1つの画像を繰り返しコピーする：リピート	10-41
リピート回数を自動的に設定させる	10-41
リピート回数を指定する：定形リピート	10-45
本の周囲・綴じ部分の黒い影を消す：枠/折り目消し	10-48
画像を用紙の中央に配置してコピーする：センタリング	10-52
用紙いっぱいの大きさにコピーする：全面画像	10-54
コピー画像の位置を調整する：とじしろ>シフト	10-56
画像欠けを起こさずにとじしろをつける：とじしろ>縮小シフト	10-61
原稿がない情報を印字してコピーする：スタンプ/オーバーレイ	10-64
定型のスタンプを印字する：定型スタンプ	10-66
管理用ナンバーリングを印字する：ナンバーリング	10-68
ページ数を印字する：ページ	10-70
日付や時刻を印字する：日付/時刻	10-72
定型のウォーターマークを印字する：ウォーターマーク	10-74
ウォーターマークで管理用ナンバーリングを印字する：ナンバーリング	10-76
スタンプモードでの詳細設定	10-78
コピーに文字列、日時、通し番号を印刷する：任意スタンプ	10-83
画像を重ねてコピーする：オーバーレイ	10-87
重ねる画像を登録し、重ねてコピーする：登録オーバーレイ	10-89
オーバーレイ画像登録	10-89
登録オーバーレイ出力	10-91
併用できないコピー条件	10-94

応用機能を設定するには

応用設定をしてコピーするときは、応用設定画面を表示させて、使いたい機能を設定します。

1 機械状態画面の【コピー】タブを押します。

2 コピー画面の【応用設定】を押します。



応用設定画面が表示されます。



任意のボタンを押すと、それぞれの機能を設定する専用画面が表示されます。(プログラムジョブ、原稿外消去、ネガポジ反転、センタリング、全面画像にはありません)複数の応用機能を組み合わせて設定することができますが、併用できない機能のボタンには網がかかり、選択できなくなります。

もとのコピー条件にもどすときは、【キャンセル】を押します。設定した応用機能のコピー条件を残しながら、応用機能をオフにするときは、【全機能OFF】を押します。応用設定を含めたすべてのコピー条件を初期状態にもどすときは操作パネルの【リセット】を押します。

応用機能を設定するには

3 応用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面〔応用設定〕下の表示

応用設定をすると、コピー画面〔応用設定〕下に設定した応用機能項目ボタンが3つまで反転表示されます。応用機能を4つ以上設定した場合は、〔 〕〔 〕を押して表示させます。応用機能項目ボタンを押すと、その設定専用画面または応用設定画面に切り替わります。



設定内容画面から応用設定の設定を変更するとき、即座にその階層画面を表示させることができます。詳細は、p. 13-4をごらんください。

しおり機能

リピートやスタンプの階層画面に〔しおり〕が表示されている画面があります。このボタンを押して反転させると、コピー画面〔応用設定〕下に表示された〔リピート〕や〔スタンプ〕を押すと、即座にその階層画面を表示させることができます。



インターフェース

章分け

集約

小冊子

OHP合紙

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

応用設定

オーバーレイ

登録オーバーレイ

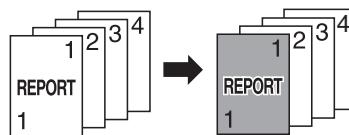
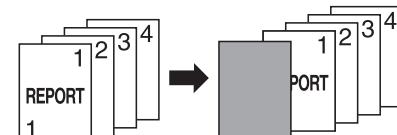
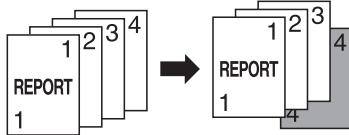
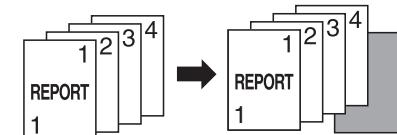
併用できないコピー条件

表紙・挿入紙をつける：インターシート

複数枚の原稿をコピーするとき、コピーに表紙（オモテ、ウラ）や、途中に挿入紙を入れることができます。表紙や挿入紙は、コピーするか白紙かを選択できます。また、表紙や挿入紙は別のトレイから給紙することができます。オプションのフィニッシャー FS-528/FS-611 にオプションのポストインサークル PI-506 を装着していると、ポストインサークルから表紙や挿入紙を給紙することができます。

オモテ/ウラ表紙設定

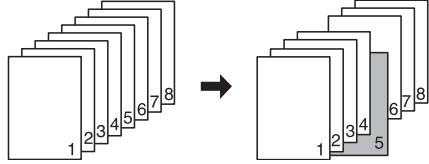
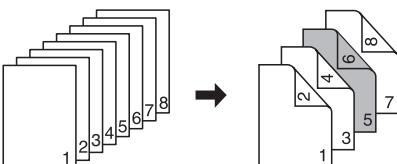
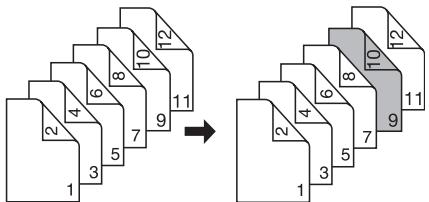
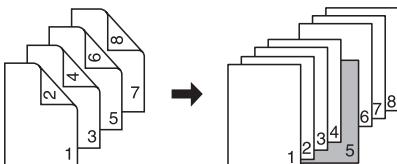
オモテ/ウラ表紙設定には下記の設定があります。オモテ表紙（印刷または白紙）とウラ表紙（印刷または白紙）の設定は併用が可能です。

選択項目	説明
オモテ表紙 + 印刷	原稿の1枚目をオモテ表紙用の用紙にコピーします。両面コピーの場合、原稿の2枚目をオモテ表紙用のウラ面にコピーします。 
オモテ表紙 + 白紙	本文コピーの最初にオモテ表紙用の用紙を白紙で挿入します。両面コピーの場合も同様です。 
ウラ表紙 + 印刷	原稿の最終ページをウラ表紙用の用紙にコピーします。両面コピーの場合、原稿が偶数枚のとき、原稿の最後2ページをウラ表紙用の用紙に両面コピーします。 
ウラ表紙 + 白紙	本文コピーの最後にウラ表紙用の用紙を白紙で挿入します。両面コピーの場合も同様です。 

応用機能を設定するには
インターフェース
章分け
集 約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録 オーバーレイ
併用できない コピー条件

インターフェースの設定をするとき、原稿の片面/両面、コピーの片面/両面によって出力のしかたが違います。

例: [印刷]で挿入ページを [P. 5] にしたとき、

選択項目	説 明
片面->片面	片面原稿の5ページ目を挿入紙に片面コピーし、5枚目に挿入します。 
片面->両面	片面原稿の5ページ目と6ページ目を挿入紙に両面コピーし、3枚目に挿入します。[P. 6]と設定したときも同様に、5ページ目と6ページ目を挿入紙に両面コピーし、3枚目に挿入します。 
両面->両面	両面原稿の9ページ目と10ページ目を挿入紙に両面コピーし、5枚目に挿入します。[P. 6]と設定したときは、両面原稿の11ページ目と12ページ目を挿入紙に両面コピーし、6枚目に挿入します。 
両面->片面	両面原稿の5ページ目を挿入紙に片面コピーし、5枚目に挿入します。 

例:[白紙]で挿入ページを[P. 5]にしたとき、

選択項目	説明
片面->片面	片面原稿の5ページ目を挿入紙に片面コピーした後の6ページ目に白紙を挿入します。
片面->両面	片面原稿の5ページ目と6ページ目を両面コピーした後の4枚目に白紙を挿入します。[P. 6]と設定したときも同じように挿入します。
両面->両面	両面原稿の9ページ目と10ページ目を両面コピーした後の6枚目に白紙を挿入します。[P. 6]と設定した後は、両面原稿の11ページ目と12ページ目をコピーした後の7枚目に白紙を挿入します
両面->片面	両面原稿の5ページ目を挿入紙に片面コピーした後の6ページ目に白紙を挿入します。



- 原稿はADFにセットします。
原稿枚数が100枚を超える場合は、連続読み込み設定をします。詳細は、p. 9-16「連続読み込みモード」をごらんください。
連続読み込みモードを併用すれば、原稿ガラスも使用できます。
- 表紙、挿入紙および原稿本文用の用紙は、別々のトレイにセットできますが、すべて同じサイズである必要があります。(自動倍率選択機能がはたらきます。)
- 表紙は、トレイ1~4または手差しトレイからオモテ表紙1枚、ウラ表紙1枚ずつ給紙できます。また、表紙はポストインサーテーからオモテ表紙、ウラ表紙それぞれ最大20枚まで給紙できます。トレイ1~4/手差しトレイとポストインサーテーの両方から給紙することができます。そのときの給紙される順番は、ポストインサーテーにセットされた表紙が最初(オモテ表紙)と最後(ウラ表紙)になります。
- 挿入紙の挿入ページは、1~9999ページの範囲で最大100カ所まで設定できます。挿入紙の枚数は1カ所につき、
- トレイ1~4または手差しトレイからの給紙の場合は1枚ずつ、ポストインサーテーからの給紙の場合は、1カ所につき最大20枚まで挿入できます。

応用機能を設定するには
インターフェース
章分け
集約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折り消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ／オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

1 原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 トレイに用紙をセットします。

オモテ／ウラ表紙として使用する用紙、挿入紙として使用する用紙、本文コピー用の用紙を任意のトレイにセットします。ポストインサーターを使用するときは、ポストインサーターのトレイに用紙をセットします。ここでセットする用紙は、すべて同じサイズである必要があります。

3 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。

4 応用設定画面の [インターフェース] を押します。



インターフェース設定画面が表示されます。

5 表紙をつけてます。

オモテ表紙をつけるときは〔オモテ表紙〕を押します。

オモテ表紙設定画面が表示されます。

ウラ表紙をつけるときは〔ウラ表紙〕を押します。



ウラ表紙設定画面が表示されます。

- 表紙 印刷 / 白紙の選択

コピー表紙をつけるときは〔表紙あり(印刷)〕を押します。

白紙表紙をつけるときは〔表紙あり(白紙)〕を押します。

- 紙トレイの選択

任意のトレイ用紙のボタンを押して選択します。

- 表紙 片面 / 両面の選択

表紙原稿が1枚片面の場合は〔片面〕、1枚両面の場合は〔両面〕を押します。

- ポストインサー用紙の選択

ポストインサーにセットした用紙を表紙として使用する場合、〔表紙あり〕を押し、ポストインサーの2つの給紙トレイボタンのいずれか1つを押して選択します。

ポストインサーにセットした用紙を表紙として1~20枚つけることができます。〔設定〕を押してテンキーのポップアップ画面を表示させ、テンキーを押して枚数を入力し、〔確定〕を押します。

〔OK〕を押します。

オモテ表紙設定画面 :



左の操作手順は、オモテ表紙、ウラ表紙に対してそれぞれ設定できます。



ポストインサー用紙とトレイ用紙の表紙設定の併用は可能です。このときポストインサーにセットされた用紙は、オモテ表紙が先にウラ表紙は後につけられます。



入力を間違えたときは、ひきつづき正しい数値を入力します。1にもどしたいときは〔クリア〕を押します。

応用機能を設定するには

ウラ表紙設定画面：



インターフェース

章分け

集 約

小冊子

OHP合紙

差込みページ

ブック連写

プログラム

ジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

応用設定

第1章

オーバーレイ

登録
オーバーレイ併用できない
コピー条件

ポストインサー用紙枚数設定画面：



インターフェース

章分け

集 約

小冊子

OHP合紙

差込みページ

ブック連写

プログラム

ジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

応用設定

第1章

オーバーレイ

登録
オーバーレイ併用できない
コピー条件

6 挿入紙をつきます。 〔挿入紙〕を押します。



〔設定01〕では挿入ページを複数設定できますが、挿入紙 印刷／白紙、給紙トレイ、挿入紙 片面／両面の設定は1種しかできません。これらの設定を複数設定したい場合は、〔設定02〕

挿入紙設定画面が表示されます。
左側の〔設定01〕が選択されている挿入紙設定画面が表示されます。

任意の「トレイ用紙」または「ポストインサー用紙」のトレイボタンを押します。

「トレイ用紙」のトレイボタンを選択した場合は、下記の選択をします。



- 挿入紙 印刷 / 白紙の選択

コピー挿入紙をつけるときは〔印刷〕を押します。
白紙挿入紙をつけるときは〔白紙〕を押します。

- 挿入紙 片面 / 両面の選択

挿入紙原稿が1枚片面の場合は〔片面〕、1枚両面の場合は〔両面〕を押します。

挿入ページ/挿入枚数の設定

(1) [設定] を押します。テンキーのポップアップ画面が表示されます。



(2) 挿入ページを設定します。

ポップアップ画面のテンキーを使って、挿入する箇所のページを入力します。

設定ページは「,」で区切れます。

連続ページに挿入紙をいれる場合は、ページ間に「-」を入力します。

「ポストインサー用紙」のトレイボタンを選択した場合は、挿入枚数の設定ができます。

〔枚数〕を押して反転させ、テンキーを押して枚数を入力し、〔確定〕を押します。

(3) 挿入ページ/挿入枚数の設定が完了したら、〔確定〕を押します。

〔設定02〕が選択されます。

必要に応じて〔設定02〕を設定します。

設定が完了したら〔OK〕を押します。

インターフェース設定画面に戻ります。



● 挿入ページの設定方法は、p. 10-4 ~ p. 10-5をごらんください。

● 数値は小さい方から順に入力しなくとも入力後自動的にページ順にソートされます。



例えば、〔設定02〕と〔設定03〕で同じ挿入ページを設定した場合、設定番号の大きい〔設定03〕の設定が優先されます。



設定No.ごとに削除できます。削除したい設定No.ボタンで反転させて〔設定クリア〕を押します。

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集 約

小冊子

OHP合紙

差込みページ

ブック連写

プログラム

ジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

応用設定 第
11 章

オーバーレイ

登録
オーバーレイ併用できない
コピー条件

7 インターシートの情報を確認します。



インターフェース設定画面で設定した情報が表示されます。

[OK] を押します。

もとの設定にもどすときは [キャンセル] を押します。
設定したインターフェースの情報をクリアするときは [全設定クリア] を押します。

設定したインターフェースの情報を残してインターフェース機能をオフにするときは [機能OFF] を押します。



挿入紙の設定が5つ以上の場合
は、右下の〔〕〔〕を押して
表示させます。

8 応用設定画面の [OK] を押します。

コピー画面の [応用設定] の下に [インターフェース] が表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。

9 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

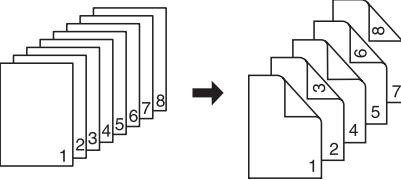
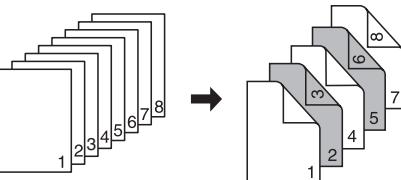
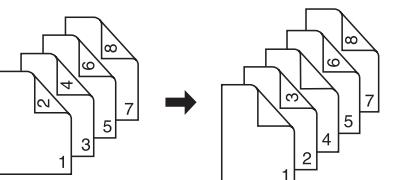
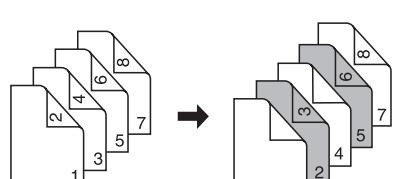


コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

章の先頭ページを必ずオモテにコピーする：章分け

両面コピーをするときに機能します。章の先頭ページが両面コピーのウラ面にくるとき、そのページを次のページに送ることによって、必ずオモテ面になるようにします。
章分けでは、指定したページが両面コピーのウラ面になるとき、指定ページの前に白紙ページが挿入されます。

例：章の先頭ページを〔P. 2〕と〔P. 5〕にしたとき

選択項目	説明
片面->両面	原稿の2ページ目と5ページ目の両面コピーの前に白紙ページを挿入します。 
片面->両面 + [印刷挿入]	原稿の2ページ目と5ページ目の両面コピーの前に白紙ページを挿入し、2、3ページと5、6ページを別の用紙にコピーします。 
両面->両面	原稿のウラ面になっている2ページ目と5ページ目のそれぞれ前に白紙ページを挿入し、オモテ面にします。 
両面->両面 + [印刷挿入]	原稿のウラ面になっている2ページ目と5ページ目のそれぞれ前に白紙ページを挿入し、2、3ページと5、6ページを別の用紙にコピーします。 

- 応用機能を設定するには
- インターフェース
- 章分け**
- 集 約
- 小冊子
- OHP合紙
- 差込みページ
- ブック連写
- プログラムジョブ
- 原稿外消去
- ネガポジ反転
- リピート
- 枠／折り目消し
- センタリング
- 全面画像
- とじしろ>シフト
- とじしろ>縮小シフト
- スタンプ/オーバーレイ
- 任意スタンプ
- 応用設定**
- オーバーレイ
- 登録オーバーレイ
- 併用できないコピー条件



- 原稿はADFにセットします。
原稿枚数が100枚を超える場合は、連続読み込み設定をします。詳細は、p. 9-16「連続読み込みモード」をごらんください。
連続読み込みモードを併用すれば、原稿ガラスも使用できます。
- 章の先頭ページを、最大30箇所まで設定できます。
- オモテ面にしたいページを、ほかのトレイの用紙にコピーするよう設定できます（印刷挿入）
- スタンプ機能を併用すると、各ページのナンバリングに加えて、章ごとの章ナンバーをつけることができます。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。

3 応用設定画面の [章分け] を押します。



4 章の先頭ページを入力します。

操作パネルのテンキーを使って章の先頭ページを入力し、[設定]を押します。入力したページが確定し、次のボタンが反転します。[削除]を押すと、入力した数字は削除されます。この操作を繰り返して、全ての先頭ページを入力します。先頭ページは30箇所まで設定できます。16～30箇所目を設定するときは、[]を押して次の画面を表示させます。[小冊子]を押すと、小冊子画面が表示され、小冊子の設定が同時に設定できます。小冊子画面の[OK]を押すと、章分け画面にもどります。[印刷挿入]を押すと、章分け画面に[挿入紙のトレイ変更]が表示され、選択したトレイにセットされている用紙を使って、章の先頭ページをコピーします。



詳しく述べます

- 入力した数値が原稿ページ数より大きいときは、設定しても無効になります。
- 数値は小さい方から順に入力しなくても入力後自動的にページ順にソートされます。
- 同じページを2度入力することはできません。

5 [OK]を押します。

もとの設定にもどすときは[キャンセル]を押します。設定情報を残して章分け機能をオフにするときは[機能OFF]を押します。

6 応用設定画面の[OK]を押して、コピー画面を表示させます。

コピー画面の[応用設定]の下に、[章分け]が表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。

7 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

参考

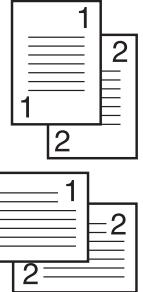
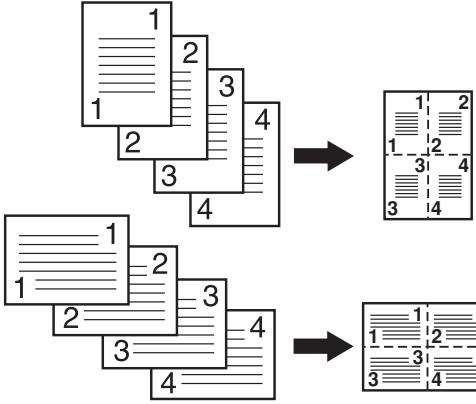
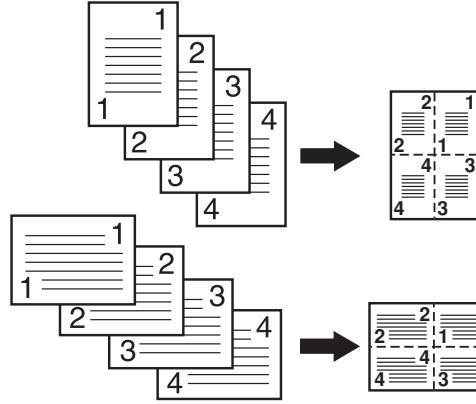
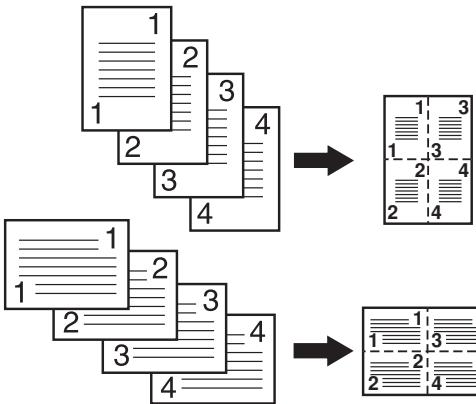
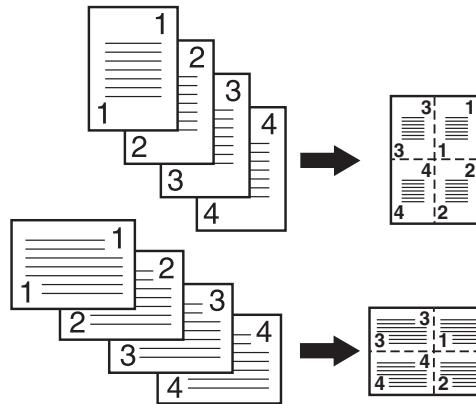
コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

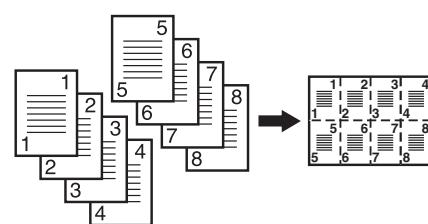
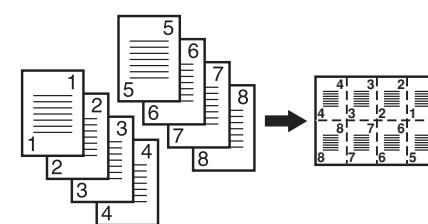
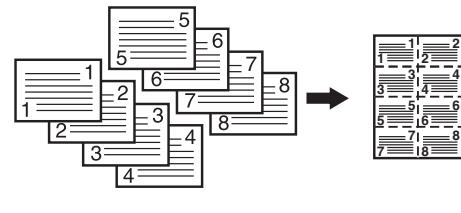
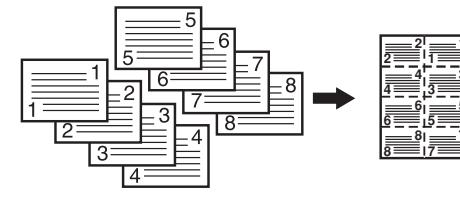
複数枚の原稿を1ページにコピーする：集約

複数枚（2枚、4枚または8枚）の原稿画像を、1ページに集約してコピーします。用紙の使用枚数を節約できます。

集約には、下記の設定があります。原稿の両面とじ方向の設定により、コピー画像の集約開始位置が変わります。

応用機能を設定するには
インターフェース
章分け
集約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

選択項目	説明	
2 in 1	<p>2枚の原稿画像を1枚の用紙にプリントします。</p> <p><左とじ></p>  <p><右とじ></p> 	
4 in 1	<p>4枚の原稿画像を1枚の用紙にプリントします。</p> <p>集約順（ヨコ順/タテ順）を指定できます。</p> <p><ヨコ順、左とじ></p>  <p><ヨコ順、右とじ></p>  <p><タテ順、左とじ></p>  <p><タテ順、右とじ></p> 	

選択項目	説明	
8 in 1	<p>8枚の原稿画像を1枚の用紙にプリントします。 集約順(ヨコ順/タテ順)を指定できます。</p> <p><ヨコ順、左とじ></p>  <p><ヨコ順、右とじ></p>  <p><タテ順、左とじ></p>  <p><タテ順、右とじ></p> 	



- 原稿はADFにセットします。
- 原稿を原稿ガラスにセットしたときは、連続読み込みモードが自動的に機能します。
- 自動倍率選択機能がはたらきます。最初は、トレイ1にセットされている用紙のサイズに合わせて、倍率が自動的に設定されます。(手動で変更できます。)

応用機能を設定するには
インターフェート
章分け
集約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠/折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。

3 応用設定画面の [集約] を押します。



4 任意のモードを設定します。 5つのボタンのいずれか1つを押して選択します。



原稿の向きと集約順序との関係については、p. 10-15 ~ p. 10-16の表をごらんください。



5 [OK] を押します。

もとの設定にもどすときは [キャンセル] を押します。
設定情報を残して集約機能をオフにするときは [機能 OFF] を押します。

- 6 応用設定画面の【OK】を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の【応用設定】の下に、【集約】が表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。また、このとき、自動倍率選択機能が自動的に選択されています。用紙のサイズを変更したいときは、ここで任意のサイズを選択します。

- 7 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

製本仕立てにコピーする：小冊子

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集約

小冊子

OHP合紙

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

オーバーレイ

オーバーレイ

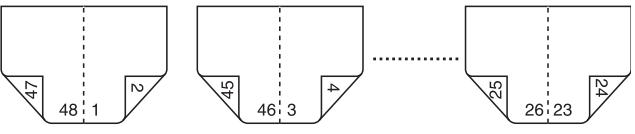
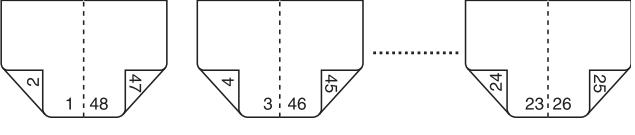
登録オーバーレイ

併用できないコピー条件

応用設定 第
10

複数枚の原稿をコピーするとき、2つ折りにして週刊紙とじの読み取り順になるように両面コピーします。オプションのフィニッシャー FS-611 を装着している場合、用紙を2つ折りにした中折りや、センター2カ所をステープル止めした中とじができます。さらに、オプションのトリマーユニット TU-502 を装着している場合、中折り、中とじの前小口を化粧断裁することができます。

左とじ/右とじの選択ができます。

選択項目	説明
左とじ	左とじの中とじページ立てにコピーされます。 
右とじ	右とじの中とじページ立てにコピーされます。 



- 原稿はADFにセットします。
原稿枚数が100枚を超える場合は、連続読み込み設定をします。詳細は、p. 9-16「連続読み込みモード」をごらんください。
連続読み込みモードを併用すれば、原稿ガラスも使用できます。
- 原稿サイズはA3□、B4□、A4□/□、B5□/□です。
- 原稿枚数は片面 両面コピー時は4の倍数、両面 両面コピー時は2の倍数が基本です。足りない場合は、自動的に白紙画像を末尾に挿入します。
- コピートレイ、カバー紙給紙トレイには、同じサイズの用紙をセットします。
- 左とじ、右とじの設定ができます。
- 自動倍率機能が自動的に設定されます。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 任意のトレイに用紙をセットします。

使用できる用紙サイズは、A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□です。カバー紙モードを選択する場合は、カバー紙給紙トレイとして設定するトレイに、同じサイズのカバー紙をセットします。

3 コピー画面を表示させ、〔応用設定〕を押します。

4 応用設定画面の〔小冊子〕を押します。



5 任意のモードボタンを押して反転させます。



- 〔カバー紙なし〕、〔カバー紙あり(コピー)〕または〔カバー紙あり(白紙)〕を押して選択します。〔カバー紙あり〕を選択したときは〔カバー紙トレイ変更〕を押して、手順2でカバー紙をセットした給紙トレイを選択します。
- 通常、横書き原稿の場合は〔左開き〕、縦書き原稿の場合は〔右開き〕を選択します。

応用機能を設定するには

インターフェート

章分け

集約

小冊子

OHP合紙

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

応用設定 第1章

オーバーレイ

登録オーバーレイ

併用できないコピー条件

6 [OK] を押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残して小冊子機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。

7 縮小シフトを併用するときは、下記の手順で設定します。

- (1) 応用設定画面の〔とじしろ〕を押して、とじしろ画面を表示させます。
- (2) とじしろ画面の〔縮小シフト〕、および〔両面〕を押して反転させます。
- (3) シフト量を設定します。詳しい設定手順は、p. 10-61をごらんください。
- (4) とじしろ画面の〔OK〕を押します。応用設定画面にもどります。

8 応用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔応用設定〕の下に、〔小冊子〕が表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。また、このとき、自動倍率選択機能が自動的に選択されています。用紙のサイズを変更したいときは、ここで任意のサイズを選択します。

9 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。



ページ間隔と外側オフセット
中折り / 中とじの断裁出力をを行う場合、断裁面から画像までの余白が外側と内側で異なることがあります。このような場合は、とじしろのページ間隔とオフセットを併用します。詳しくは、p. 10-59 ~ p. 10-60をごらんください。

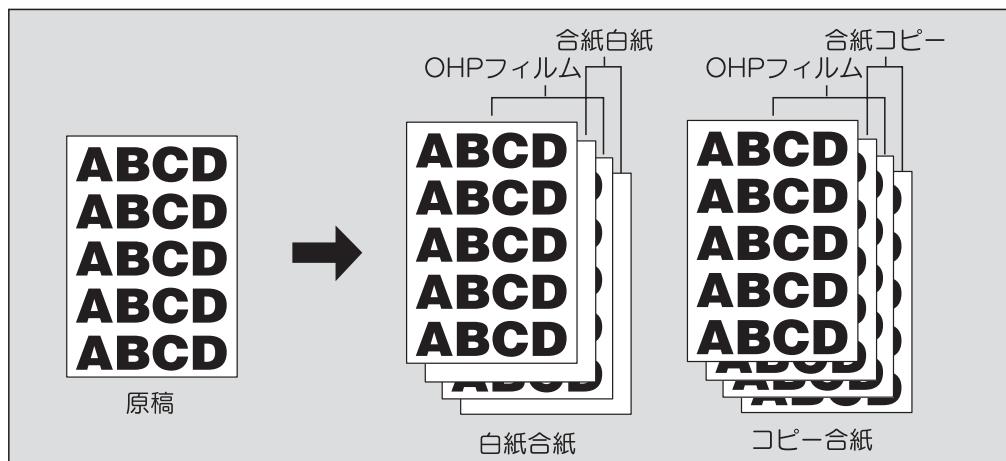
OHPフィルムにコピーする：OHP合紙

OHPフィルムにコピーするとき、この機能を使用します。

また、コピー後の熱でOHPフィルム同士が密着するのを防ぐために、間に用紙（合紙）を挿入します。合紙は白紙のままでも、OHPフィルムと同じ画像をコピーして挿入することもできます。



- OHPフィルムは手差しトレイにセットします。手差しトレイの用紙設定を上質紙、92 ~ 105gに設定します。
- フィニッシャー機能はソート出力以外では出力できません。
- 1度に1枚ずつコピーします。複数枚の設定はできません。
- 自動倍率選択が自動的に設定されます。
- 両面コピーはできません。

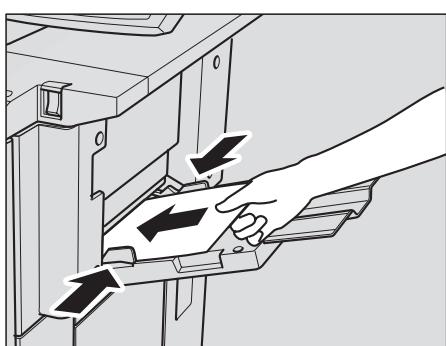


1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 OHPフィルムを手差しトレイにセットします。



- 3** 合紙となる用紙を、手差しトレイ以外の任意のトレイにセットします。
OHPフィルムと同じサイズの用紙をセットします。



OHPフィルムは、手差しトレイ以外のトレイには絶対にセットしないでください。トラブルの原因になります。

- 4** コピー画面を表示させ、[用紙設定]を押します。



用紙設定のポップアップ画面が表示されます。

- 5** 手差しトレイの用紙設定をします。
手差しトレイの[用紙種類]を「上質紙」、[坪量]を「92 ~ 105g/m²」に設定します。



手差しトレイを左記のように設定しないとOHP合紙を設定できません。
OHP合紙の機能をよくお使いになる場合は、この用紙設定を登録しておくことをおすすめします。



用紙設定の詳細は、p. 9-41をごらんください。



- 6** コピー画面の[応用設定]を押します。
応用設定画面が表示されます。

7 応用設定画面の〔OHP合紙〕を押します。



8 [白紙合紙] または [コピー合紙] を選択します。



このとき、自動倍率機能が自動的に設定されています。
変倍でコピーするときは、ここで任意の倍率を選択します。
また、コピー部数は1部に自動設定され、変更はできません。

9 [OK] を押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残してOHP合紙機能をオフにするときは
〔機能OFF〕を押します。

10 応用設定画面の〔OK〕を押します。
コピー画面にもどります。

- 応用機能を設定するには
- インターフォード
- 章分け
- 集 約
- 小冊子
- OHP合紙
- 差込みページ
- ブック連写
- プログラムジョブ
- 原稿外消去
- ネガポジ反転
- リピート
- 枠／折目消し
- センタリング
- 全面画像
- とじしろ>シフト
- とじしろ>縮小シフト
- スタンプ/オーバーレイ
- 任意スタンプ
- 応用設定 第1章**
- オーバーレイ
- 登録オーバーレイ
- 併用できないコピー条件

11 合紙をセットしたトレイボタンを押します。



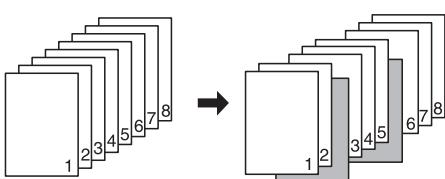
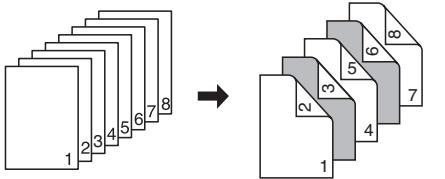
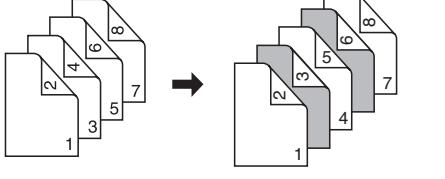
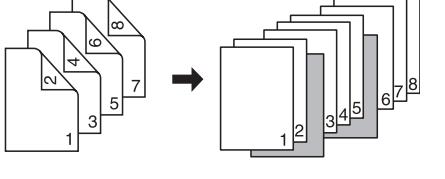
12 操作パネルの【スタート】を押します。

別の原稿を指定したページに差し込む：差込みページ

ADFを使用してスキャンした原稿の任意の箇所に、後から原稿ガラスでスキャンした複数の画像を差し込み、まとめて出力します。

差込みページでは、指定したページの後ろに差込み原稿の画像が挿入されます。

例：差込み箇所のページを〔P. 2〕と〔P. 5〕としたとき

選択項目	説明
片面 -> 片面	2ページ目と5ページ目の片面原稿が片面コピーされた後にそれぞれ1枚ずつ差込み原稿のコピーが挿入されます。 
片面 -> 両面	2ページ目の片面原稿が両面コピーされた後の2枚目のオモテ面、5ページ目の片面原稿が両面コピーされた後の4枚目のオモテ面に差込み原稿のコピーが挿入されます。 
両面 -> 両面	2ページ目の両面原稿が両面コピーされた後の2枚目のオモテ面、5ページ目の両面原稿が両面コピーされた後の4枚目のオモテ面に差込み原稿のコピーが挿入されます。 
両面 -> 片面	2ページ目と5ページ目の両面原稿が片面コピーされた後にそれぞれ1枚ずつ差込み原稿のコピーが挿入されます。 



-
- 最大30箇所まで、画像を差し込むことができます。
 - 連続読み込みモードが自動的に設定されます。
-

応用機能を設定するには
インターフェート
章分け
集 約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

- 1** 差し込まれる側の原稿を ADF にセットします。
1 ページ目から順に揃え、1 ページ目を上に向けてセットします。1 度に 100 枚までセットできます。



原稿枚数が 100 枚を超える場合は、100 枚未満のかたまりに分け、最初のページのかたまりから順にスキャンします。

- 2** コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。

- 3** 応用設定画面の [差込みページ] を押します。



- 4** 差し込む箇所のページ数を入力します。

操作パネルのテンキーを使って、差し込む箇所のページ数を入力します。[設定] を押すと、入力したページ数が確定し、次のボタンが反転します。[削除] を押すと、入力した数字は削除されます。この操作を繰り返して、全てのページ数を入力します。差込みページは 30 箇所まで設定できます。16 ~ 30 箇所目を設定するときは、[] を押して次の画面を表示させます。



入力した数値が原稿のページ数より大きいときは、最後に差し込まれます。数値は、小さい方から順に入力しなくとも、入力後、自動的にページ順にソートされます。同じページ数を 2 度入力すると、その箇所に 2 ページ分差し込まれます。



5 小冊子を併用するときは、下記の手順で設定します。

- (1) 差込みページ画面の【小冊子】を押して、小冊子画面が表示させます。
- (2) 小冊子の設定をします。詳細は、p. 10-19をごらんください。
- (3) 小冊子画面の【OK】を押します。差込みページ画面にもどります。

6 【OK】を押します。

もとの設定にもどすときは【キャンセル】を押します。
設定情報を残して差込みページ機能をオフにするときは【機能OFF】を押します。

7 応用設定画面の【OK】を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の【応用設定】の下に、【差込みページ】が表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。また、【連続読み込み】が自動的に選択されています。

8 必要に応じてその他のコピー条件を設定します。

9 操作パネルの【スタート】を押します。

セットした原稿がスキャンされ、画像データがメモリーに蓄積されます。

10 差し込む側の原稿を、原稿ガラスにセットします。

ADFを開いて、1ページ目を下にしてセットし、ADFを静かに閉じます。



原稿は必ず最初のページから順にセットします。最後のページからセットすると、希望するコピーが得られません。

11 操作パネルの【スタート】を押します。

複数枚の原稿を差し込む場合は、手順**10**と**11**の操作を繰り返し、すべての差込み原稿をスキャンします。

12 コピー画面の【連続読み込み】を押して、選択を解除します。

13 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

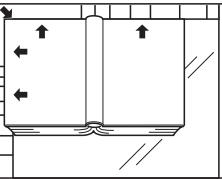
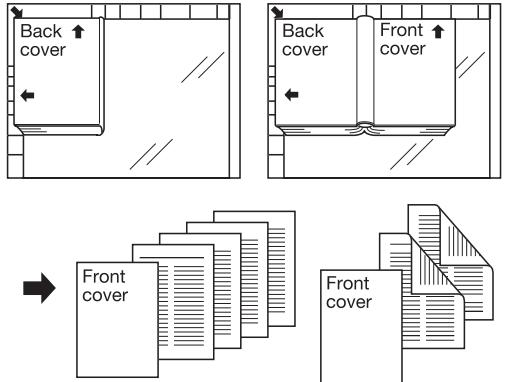
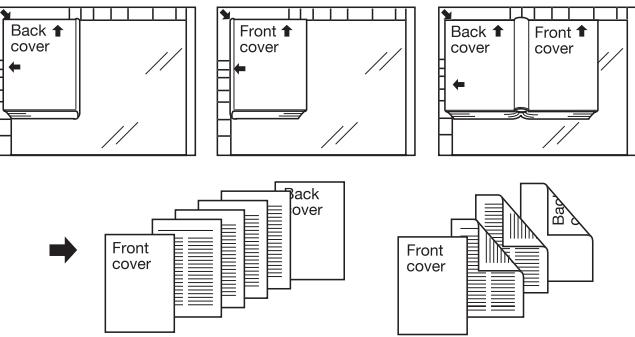
見開き原稿を左右1ページずつ分けてコピーする：ブック連写

本やカタログなどの見開きの原稿を、1度の操作で左右1ページずつ別々にコピーします。片面コピーの場合は2枚分、両面コピーの場合は表裏の1枚分になります。本のオモテ/ウラ表紙をつける場合は、最初にスキャンすることでオモテ/ウラ表紙のみ2分割せずに、すべてをページ順に出力することができます。

原稿の左とじ/右とじを選択してページをそろえることができます。

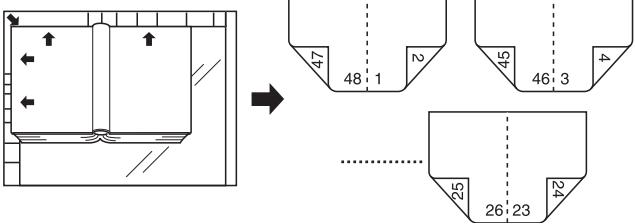
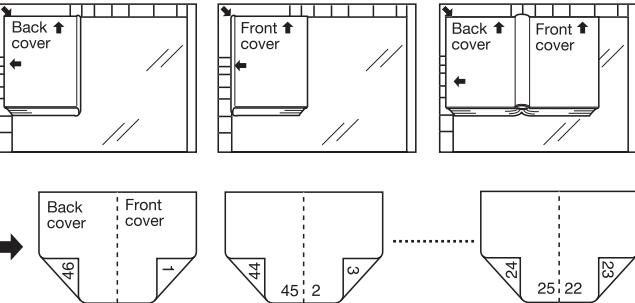
小冊子と併用して、2ページ立ての見開き原稿を中とじ本のページ立てにページ順を変えて出力することができます。

原稿ガラスを使用して左右ページを1ページずつ分割してコピーします。

選択項目	説 明
見開き読み込み	
オモテ表紙 + 見開き読み込み	<p>オモテ表紙、ページ順の分割コピー順に出力されます。 原稿は、オモテ表紙、見開き本文原稿の順に読み込みます。</p> 
オモテ / ウラ表紙 + 見開き読み込み	<p>オモテ表紙、ページ順の分割コピー、ウラ表紙の順に出力されます。 原稿は、オモテ表紙、ウラ表紙、見開き本文原稿の順に読み込みます。</p> 

見開き原稿を左右1ページずつ分けてコピーする: ブック連写(つづき)

小冊子と併用して、見開き2ページの原稿の中とじ本のページ立てにコピーします。

選択項目	説明
見開き読み込み + 小冊子	
オモテ/ウラ表紙 + 見開き読み込み + 小冊子	

ADFにセットできる見開き原稿をADFにセットし、左右ページを1ページずつ分割してコピーします。

選択項目	説明
左とじ	<p>見開き原稿を左、右の順に分割コピーします。</p> 
右とじ	<p>見開き原稿を右、左の順に分割コピーします。</p> 



- 用紙サイズは、A4□、B5□、8.5 " x 11 " □の3種類です。
- 連続読み込みモードが自動的に設定されます。

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集 約

小冊子

OHP合紙

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

応用設定 第1章

オーバーレイ

登録オーバーレイ

併用できないコピー条件

1 原稿をセットします。

原稿ガラスを使用する場合

原稿を最初のページからコピー面を下にしてセットします。ADF/原稿カバーは開けたままにします。

ADFを使用する場合

ページ順に揃えた原稿の1ページ目を上にしてセットします。ADFには、1度に100枚までセットできます。



- 原稿枚数が100枚を超える場合は、100枚未満のかたまりに分け、最初のページのかたまりから順にスキャンします。
- 表紙を読み込むモードを選択した場合の原稿読み順については、p. 10-29をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定]を押します。

3 応用設定画面の[ブック連写]を押します。



4 ブック連写のモードを選択します。

[見開き読み込み]、[オモテ表紙+見開き読み込み]または[オモテ/ウラ表紙+見開き読み込み]のいずれか1つを押して反転させます。

[左とじ]または[右とじ]を押して、とじ方向を選択します。通常、横書き原稿の場合は左とじ、縦書き原稿の場合は右とじを選択します。



5 小冊子を併用して見開き原稿を中とじ本のページ立てにする場合は、下記の手順で設定します。

- (1) ブック連写画面の【小冊子】を押して、小冊子画面が表示されます。
- (2) 小冊子の設定をします。詳細は、p. 11-11をごらんください。
- (3) 小冊子画面の【OK】を押します。ブック連写画面にもどります。

6 【OK】を押します。

もとの設定にもどすときは【キャンセル】を押します。
設定情報を残してブック連写機能をオフにするときは
【機能OFF】を押します。

7 応用設定画面の【OK】を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の【応用設定】下に、【ブック連写】が表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。また、【連続読み込み】が自動的に選択されています。

8 必要に応じてその他のコピー条件を設定します。

選択できる用紙サイズは、A4 □、B5 □、8.5 × 11 □の3種類です。

自動用紙選択機能および自動倍率選択機能は解除され、倍率は【等倍】に設定されています。

見開き読み込みモードで原稿ガラスを使用する場合は、片面->片面または片面->両面コピーモードを選択します。



必ず守ってください
出力設定画面に、とじ方向を設定するボタンがあります。このとき、【上とじ】を選択しないでください。



原稿ガラスを使用する場合、原稿外自動消去とセンタリングが自動的に設定されています。スキャンの操作中、ADFは必ず開けたままにしておいてください。

9 【スタート】を押します。

セットした原稿がスキャンされ、画像データがメモリーに蓄積されます。同様に、全ての原稿をスキャンします。

10 コピー画面の【連続読み込み】を押して、選択を解除します。

11 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。



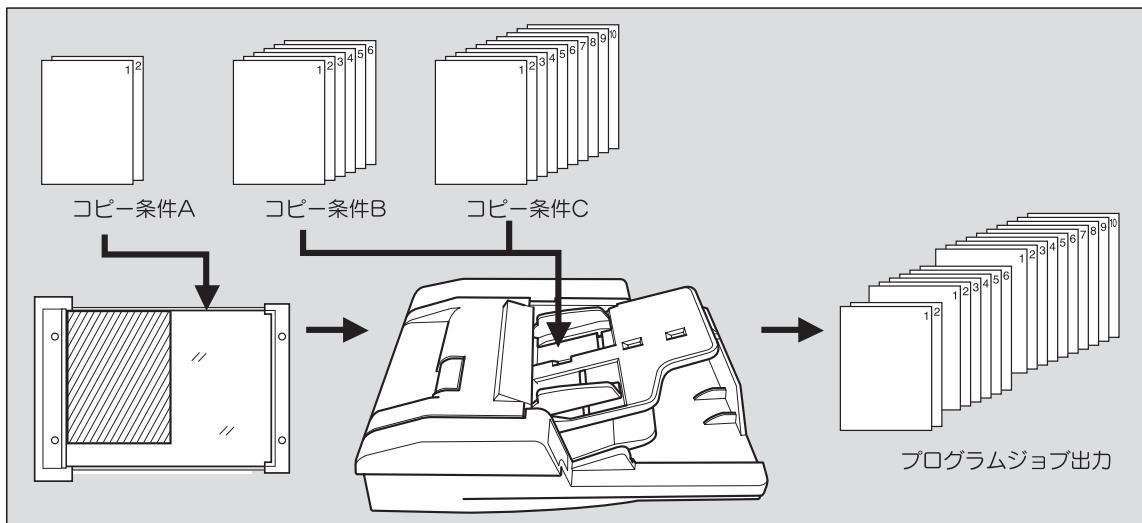
コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

複数のジョブを一括出力する：プログラムジョブ

分割スキャンしたジョブを1つのジョブとして出力します。



- 連続読み込みモードが自動的に設定されます。
- ジョブごとに部数/出力設定の変更はできません。最後の設定がすべてのジョブに適用されます。
- 用紙サイズの設定は、最初のジョブの設定がすべてのジョブに適用されます。
- 1つのジョブとして処理できるジョブは、最大100個までです。
- プログラムジョブを設定メモリーに書き込むことはできません。



1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定]を押します。

応用機能を設定するには
インターフェート
章分け
集約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠/折消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

- 3** 応用設定画面の〔プログラムジョブ〕を押します。
併用できないコピー条件のボタンに網がかかり、選択できなくなります。



- 4** 応用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面を表示させます。

コピー画面の〔応用設定〕下に、〔プログラムジョブ〕が表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。また、〔連続読み込み〕が自動的に選択されています。

- 5** 必要に応じてその他のコピー条件を設定します。
ここで設定した用紙サイズが、以後のジョブの用紙サイズにも適用されます。

- 6** 操作パネルの【スタート】を押して、原稿をスキャンします。

スキャンした画像データを、設定したコピー条件でコピーするジョブとして確定するかどうかを確認するポップアップ画面が表示されます。

応用機能を設定するには
インターフェート
章分け
集 約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

7 [確定] を押します。

スキャンした画像データを削除する場合は、[キャンセル] を押します。



8 手順を繰り返して、すべてのジョブの原稿をスキャンします。

9 全ジョブの原稿スキャンが終わったら、[連続読み込み] を押して、選択を解除します。



- 10** コピー画面の【出力設定】を押して、出力設定画面を表示させ、出力モードを設定します。
ここで設定した出力設定が、全ジョブの出力設定になります。



- 11** コピー部数を操作パネルのテンキーで入力します。
ここで設定したコピー部数が、全ジョブの部数になります。



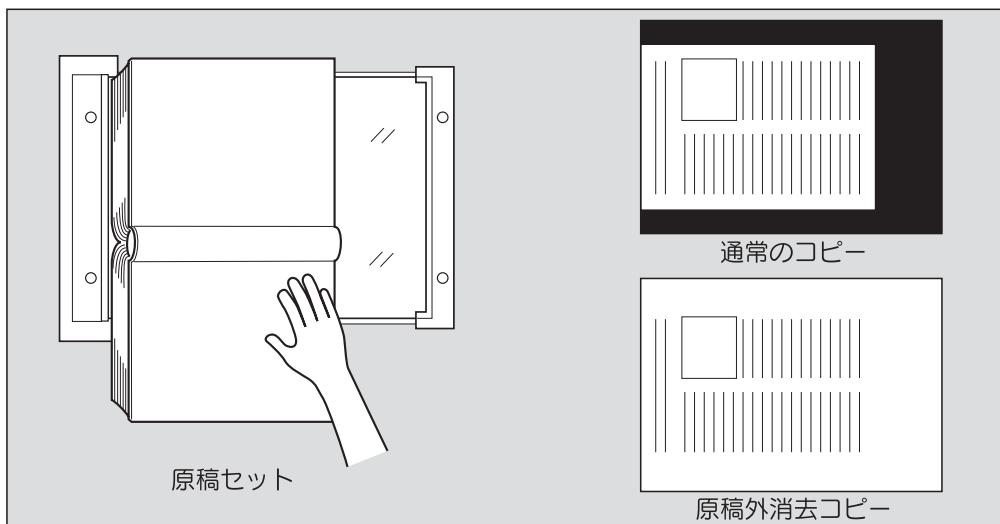
コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

- 12** 操作パネルの【スタート】を押します。
いろいろなコピー条件のコピーをまとめて、一括出力します。

原稿以外の部分を消してコピーする：原稿外消去

応用機能を設定するには
インターフェート
章分け
集 約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

原稿ガラスに置かれた原稿の大きさを検知し、それ以外の部分は消してコピーします。



原則

- 原稿は原稿ガラスにセットします。その際、ADFは必ず開けたままにします。
- 原稿のサイズは、10mm × 10mm以上の大さが必要があります。

1 原稿を原稿ガラスにセットして、ADFを開けたままにします。

必ず守ってください
ADFを開じないでください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定]を押します。

3 応用設定画面の〔原稿外消去〕を押します。

併用できないコピー条件のボタンに網がかかり、選択できなくなります。



原稿の濃度レベルをマニュアル設定して確実に原稿外消去を機能させたいときは、管理者設定で調整します。POD管理者編の p. 5-30をご覧ください。



室内照明の関係で、原稿外消去が正しく機能しないことがあります。このような場合は、機械の設置場所について、サービス実施店にご相談ください。

4 応用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔応用設定〕下に、〔原稿外消去〕が表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して応用設定画面を表示させます。

このとき、自動用紙選択機能および自動倍率選択機能は解除され、倍率は〔等倍〕に設定されています。コピー画面で設定できるコピーモードは、片面->片面と片面->両面です。片面->両面を選択すると、連続読み込みモードが設定されます。

5 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

白黒を反転させてコピーする：ネガポジ反転

応用機能を設定するには

インターフェート

章分け

集 約

小冊子

OHP合紙

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折り消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

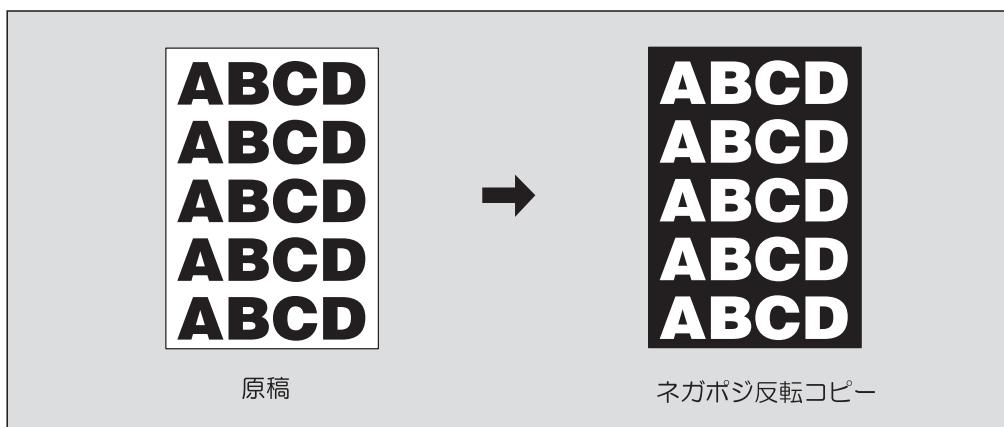
応用設定 第
N 章

オーバーレイ

登録
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

原稿の白い部分を黒く、黒い部分を白く反転させてコピーします。



1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。



新たにコピーするときは、ADFを確実に閉じ、操作パネルの【リセット】を押してから始めます。

3 応用設定画面の [ネガポジ反転] を押します。
併用できないコピー条件のボタンに網がかかり、選択できなくなります。



- 4** 応用設定画面の【OK】を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の【応用設定】下に、【ネガポジ反転】が反転表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して応用設定画面を表示させます。

- 5** コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

1枚の用紙に1つの画像を繰り返しコピーする：リピート

応用機能を設定するには

インターフェート

章分け

集 約

小冊子

OHP合紙

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

応用設定

オーバーレイ

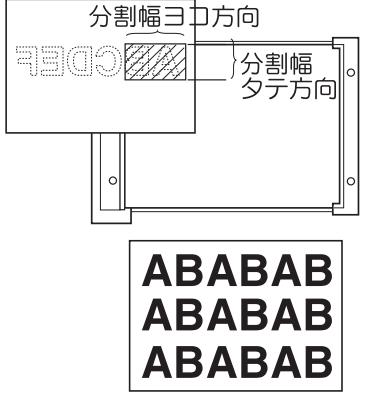
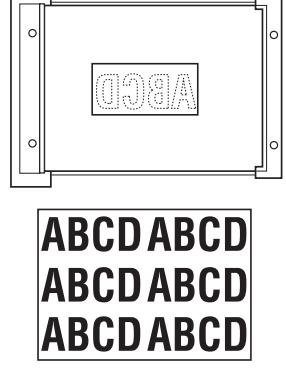
登録
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

リピート回数を自動的に設定させる

画像サイズ手動入力は、原稿ガラスの指定した範囲に置かれた原稿の画像を1回の用紙に繰り返しコピーします。

画像サイズ自動検出は、検知した原稿サイズ（画像および空白）部分を繰り返しコピーします。

選択項目	説 明
画像サイズ手動入力	
画像サイズ自動検出	



- 原稿ガラスを使用します。ADFは使用できません。
- 画像サイズ手動入力は、原稿の全画像ではなく、一部の画像を繰り返しコピーするときに、その画像範囲を指定します。
- 画像サイズ自動検出は、原稿外消去を併用して原稿サイズを検知します。ADFを開けたままにします。

1 原稿ガラスに原稿をセットします。

画像サイズ手動入力を選択する場合は、コピーする面を下に向け、原稿ガラスの左奥側から設定した縦横の分割幅内に画像がおさまるようにセットします。原稿がズれないようADFを静かに閉じます。
画像サイズ自動検出を選択する場合は、ADFを開き、任意の大きさの原稿をコピーする面を下にして、原稿ガラスにセットします。



必ず守ってください
画像サイズ自動検出を選択した場合は、原稿外消去が自動的に選択されています。原稿をスキャンする際、ADFは必ず開けたままにしておいてください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。

3 応用設定画面の [リピート] を押します。



4 画像サイズ手動入力、または画像サイズ自動検出を設定します。

画像サイズ手動入力を選択:[ズーム]を押します。
[] []を押して、ヨコ分割幅とタテ分割幅を設定します。



応用機能を設定するには
インターフェース
章分け
集 約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

画面上のテンキーを使って入力する場合は、〔テンキー入力〕を押して、画像サイズ入力画面を表示させます。〔ヨコ〕または〔タテ〕を押して選択し、画面のテンキーで分割幅を入力します。〔OK〕を押すと数値を確定し、リピート画面にもどります。



画像サイズ自動検出モードを選択:〔自動〕を押して選択します。



5 [OK] を押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。設定情報を残してリピート機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。

6 応用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔応用設定〕下に、〔リピート〕が表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。

このとき、自動用紙選択機能および自動倍率選択機能は解除され、倍率は〔等倍〕に設定されています。コピー画面で設定できるコピーモードは、片面->片面と片面->両面です。片面->両面を選択すると、連続読み込みモードが設定されます。



画像サイズ入力画面左下に〔しおり〕が表示されています。このボタンを押して反転させると、コピー画面〔応用設定〕下に表示された〔リピート〕や〔スタンプ〕を押すと、即座にその階層画面を表示させることができます。また、設定内容画面から応用設定の設定を変更するとき、即座にその階層画面を表示させることができます。



画像サイズ自動検出選択時、室内照明の関係で、リピートが正しく機能しないことがあります。このような場合は、機械の設置場所について、サービス実施店にご相談ください。

7

コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。
出力を開始します。

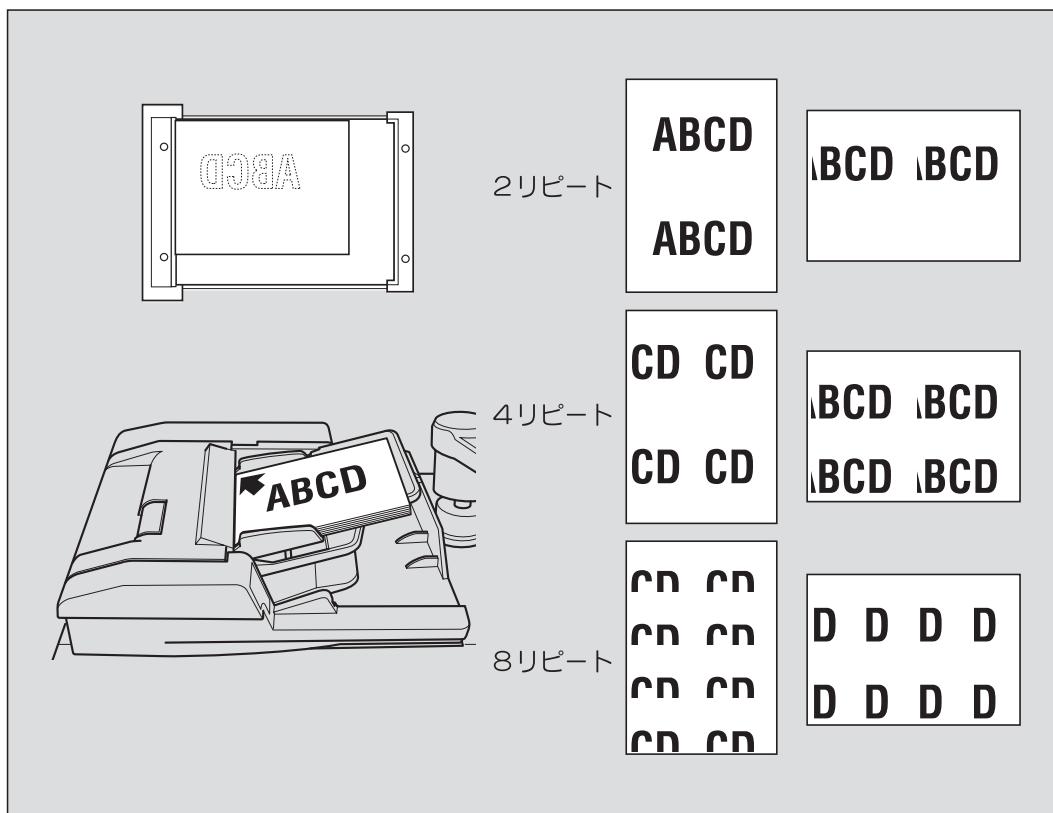


コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

応用機能を設定するには
インターフェース
章分け
集約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

リピート回数を指定する：定形リピート

定形リピートモードは、設定した用紙サイズの分割（1/2、1/4、1/8）範囲の原稿画像を、分割数（2、4、8）回繰り返しコピーします。



倍率は自動倍率が設定されます。倍率を変えることはできますが、その際、自動画像回転機能は使用できません。原稿画像の読み取り範囲は、設定した用紙サイズの分割範囲になります。

1 原稿をセットします。

ADF、原稿ガラスどちらにも原稿をセットできます。原稿の読み取り範囲は、設定する用紙サイズ、用紙の向き、リピート数によって変わります。



原稿の p. 8-6 「原稿をセットする」をごらんください。セットのしかたについては、

2 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。

3 応用設定画面の [リピート] を押します。



4 定形リピートモードを選択します。

[2 リピート][4 リピート] または [8 リピート] を押して反転させます。

2 リピートの場合、通常のほかに 2 つの画像の方向を選択することができます。

[右/下反転] または [左/上反転] を押します。



5 [OK] を押します。

もとの設定にもどすときは [キャンセル] を押します。設定情報を残してリピート機能をオフにするときは [機能 OFF] を押します。

応用機能を設定するには
インターフェート
章分け
集約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

6 応用設定画面の【OK】を押して、コピー画面を表示させます。

コピー画面の【応用設定】下に、【リピート】が表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。

このとき、自動用紙選択機能および自動画像回転機能は解除され、自動倍率機能が選択されています。コピー画面で設定できるコピーモードは、片面->片面と片面->両面です。片面->両面を選択すると、連続読み込みモードが設定されます。

7 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

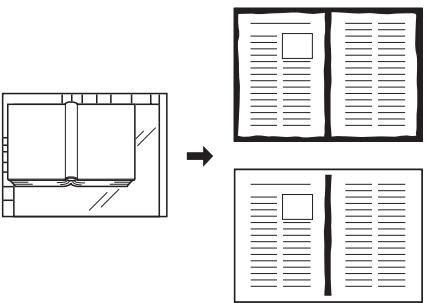
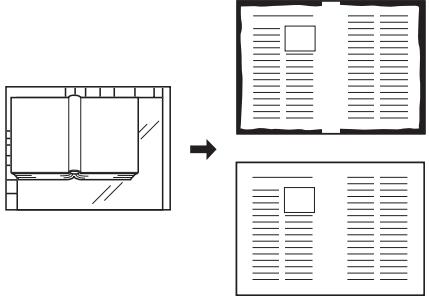
出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

本の周囲・綴じ部分の黒い影を消す：枠/折り目消し

本など、厚みのある原稿を原稿ガラスにセットしてコピーすると、周囲や中央部に黒い影ができることがあります。この機能を設定することで、それらの黒い影を消してコピーし、トナーの消費をおさえることができます。

選択項目	説明
枠消し	コピー画面の周囲4辺の不要部分を消去します。 
折り目消し	コピー画像の中央部にできる黒い影を消去します。 



- 枠消しは1 mm ~ 300 mmの範囲、折り目消しは1 mm ~ 99 mmの範囲を、1 mm単位で設定できます。
- 枠消しおよび折り目消しは、それぞれ単独でも、組み合わせても設定することができます。
- 枠消しには、用紙の上下左右すべて同じ範囲で画像消しをする一括枠消しモードと、各辺で個別に範囲を設定する個別枠消しモードがあります。

応用機能を設定するには
インターフェース
章分け
集約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠/折り目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
オーバーレイ
併用できない
コピー条件

第
章
応用設定

1 原稿をセットします。

ADF、原稿ガラスどちらにも原稿をセットできます。



厚みのある原稿を原稿ガラスにセットするとき、ADFで上から強く押さえないようにしてください。また、ADFを閉じると原稿が曲がる場合は、開けたままにしてください。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、〔応用設定〕を押します。

3 応用設定画面の〔枠/折り目消し〕を押します。



4 枠/折り目消し画面左側の〔一括枠消し〕〔個別枠消し〕または〔折り目消し〕を押して反転させます。

枠消しと折り目消しの併用が可能です。



5 選択したモードの画像消し量を設定します。

[一括枠消し]を設定するには:画面中央図の枠消し量の数値がすべて反転しています。画面上の[]、[]またはテンキーを押して、画像消し量を入力します。



[個別枠消し]を設定するには:画面右側の変更したい辺のボタンを押して反転させると、画面中央図の選択した辺の画像消し量の数値が反転します。画面上の[]、[]またはテンキーを押して、画像消し量を入力します。



[折り目消し]を設定するには:画面中央図の折り目消し量の数値が反転しています。画面上の[]、[]またはテンキーを押して、画像消し量を入力します。



応用機能を設定するには
インターフェート
章分け
集 約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録 オーバーレイ
併用できない コピー条件

6 [OK] を押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残して枠/折り目消し機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。

7 応用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔応用設定〕下に、〔枠/折り目消し〕が表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。

8 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

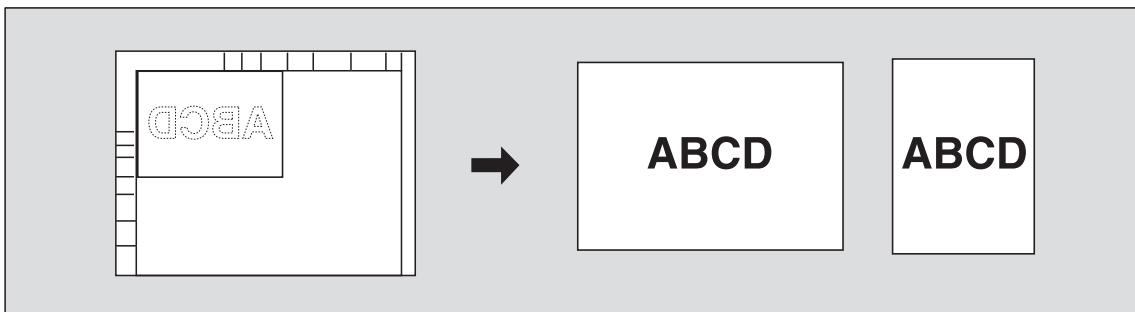
出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

画像を用紙の中央に配置してコピーする：センタリング

原稿の画像を用紙の中央に位置を補正してコピーします。



原稿外消去が自動的に設定されます。ADFを使用する場合はこの機能を解除してください。

- 1 原稿をセットします。
ADF、原稿ガラスどちらにも原稿をセットできます。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

- 2 コピー画面を表示させ、〔応用設定〕を押します。

- 3 応用設定画面の〔センタリング〕を押します。
併用できないコピー条件のボタンに網がかかり、選択できなくなります。
このとき、原稿外自動消去が自動的に設定されます。
ADFを使用するときは、このボタンを押して反転を解除します。
ブック連写と併用すると、ブック連写の原稿が用紙よりも小さい場合、その用紙の中央にコピーされます。



応用機能を設定するには
インターフェート
章分け
集 約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

4 応用設定画面の【OK】を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の【応用設定】下に、【原稿外消去】および【センタリング】が表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。このとき、自動用紙選択機能および自動倍率選択機能は解除され、倍率は【等倍】に設定されています。コピー画面で設定できるコピーモードは、片面->片面と片面->両面です。片面->両面を選択すると、連続読み込みモードが設定されます。

5 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。



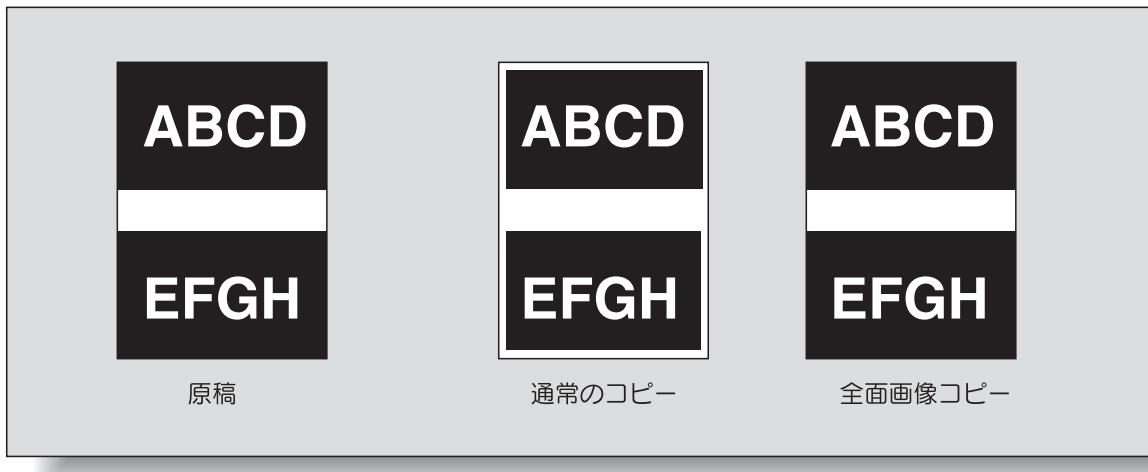
室内照明により、センタリングが正しく機能しないことがあります。このような場合は、機械の設置場所について、サービス実施店にご相談ください。

用紙いっぱいの大きさにコピーする：全面画像

通常は、用紙サイズに対して先端約2mm、後端表面約2mm、後端裏面約2mm、左端／右端に約2mmずつの画像消しを行ってコピーしています。

このモードを使用すると、上記の画像消しを行わずに、用紙ぎりぎりまで画像をコピーします。

ワイド紙にコピーしたり、A4原稿をB4でコピーするなど一回り大きいサイズの用紙全面にコピーするときに使います。



1 原稿をセットします。

ADF、原稿ガラスどちらにも原稿をセットできます。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、〔応用設定〕を押します。 応用設定ポップアップ画面が表示されます。



応用機能を設定するには
インターフォント
章分け
集 約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折り消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

3 応用設定ポップアップ画面の【全面画像】を押します。

併用できないコピー条件のキーに網がかかり、選択できなくなります。



4 応用設定ポップアップ画面の【OK】を押します。

コピー画面にもどります。

任意のコピー条件を設定します。

5 原稿をセットし、コピーします。

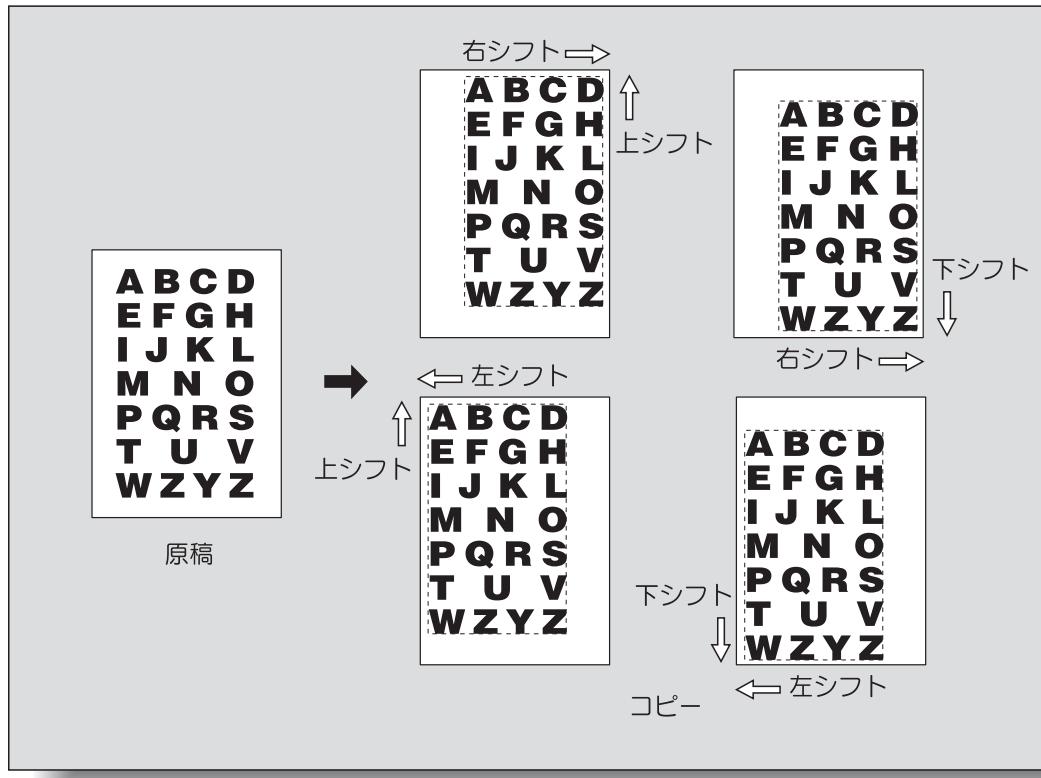
コピー部数を設定し、原稿をセットして【スタート】を押します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

コピー画像の位置を調整する：とじしろ>シフト

スキャンした画像の位置を任意に動かして、コピーにとじしろをつくったり、両面コピー時にオモテ・ウラの画像のズレを調整したりします。1枚の用紙に2画像をコピーする小冊子や定形リピートモードの〔2リピート〕を設定しているとき、2画像の間隔を任意に調整します。とじしろをつくって画像欠けを起こすような原稿の場合は、「画像欠けを起こさずにとじしろをつける」(p. 10-61 ~ p. 10-63)をごらんください。



- 上下方向（上シフト、下シフト）と左右方向（左シフト、右シフト）のシフトができます。
- シフトは0～250 mmの範囲を、1 mm単位で変更可能です。

- 応用機能を設定するには
- インターフォント
- 章分け
- 集約
- 小冊子
- OHP合紙
- 差込みページ
- ブック連写
- プログラムジョブ
- 原稿外消去
- ネガポジ反転
- リピート
- 枠/折り目消し
- センタリング
- 全面画像
- とじしろ>シフト
- とじしろ>縮小シフト
- スタンプ/オーバーレイ
- 任意スタンプ
- 応用設定**
- オーバーレイ
- 登録オーバーレイ
- 併用できないコピー条件

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。

3 応用設定画面の [とじしろ] を押します。



4 [シフト] を押します。



5 画像位置を調整する用紙面を選択します。

[オモテ面]、[ウラ面]または[両面]を押して反転させます。



- 片面コピーのときは、オモテ面の設定のみ有効となります。
- 両面コピーのとき、オモテ面とウラ面のシフト量を同じにする場合は、[両面]を反転させます。

ページ間隔を設定するには:[ページ間隔]を押して反転させます。

外側オフセットを設定するには:[外側オフセット]を押して反転させ、[オモテ面]、[ウラ面]または[両面]を押して反転させます。



- [ページ間隔]を選択するには、あらかじめ小冊子または定形リピートモードの[2リピート]を設定しておく必要があります。
- [外側オフセット]を選択するには、あらかじめ小冊子(無線とじを除く)を設定しておく必要があります。
- ページ間隔と外側オフセットの詳細については、p. 10-59 ~ p. 10-60をごらんください。



- シフト量は、0mm ~ 250mmの範囲を1mm単位で設定できます。設定メニュー画面で、0.1mm単位で設定できるように変更できます。詳しくは、POD管理者編のp. 5-28をごらんください。
- シフト方向は、原稿設定画面で設定する原稿セット方向が基準になります。

6 シフト方向とシフト量を設定します。

上下方向([上]/[下])と左右方向([左]/[右])のシフトができます。任意のシフト方向ボタンを押して反転させ、[↑]、[↓]、またはテンキーを押して、シフト量を設定します。ページ間隔のシフト量を設定する場合は、シフト方向を指定する必要はありません。

7 オモテ面とウラ面のシフト量を別々に設定するときは、手順5、6の操作を繰り返します。

応用機能を設定するには
インターフェート
章分け
集 約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

8 [OK] を押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残してとじしろ機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。

9 応用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔応用設定〕下に、〔とじしろ〕が表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。

10 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。

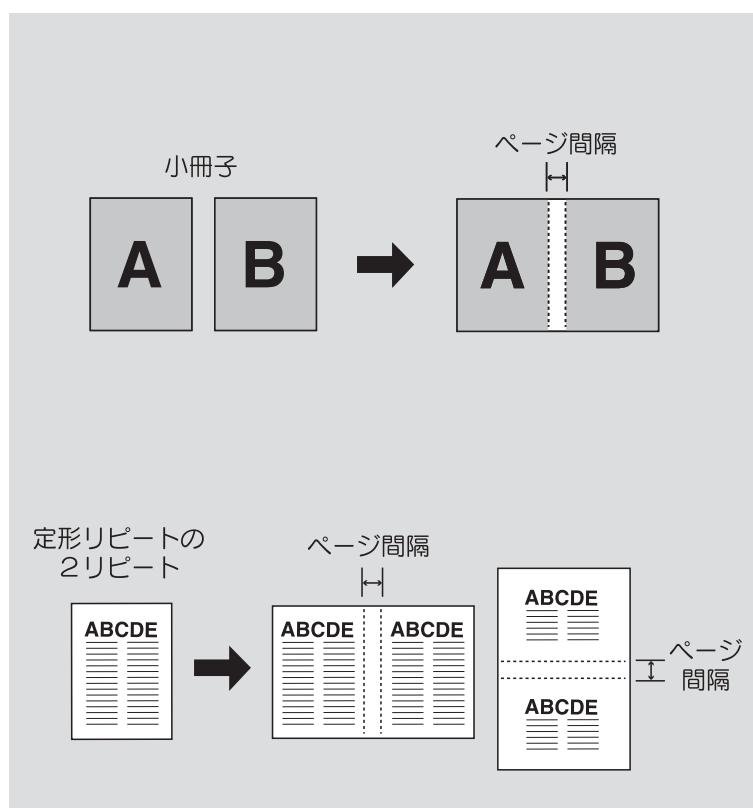


コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。



ページ間隔とは？

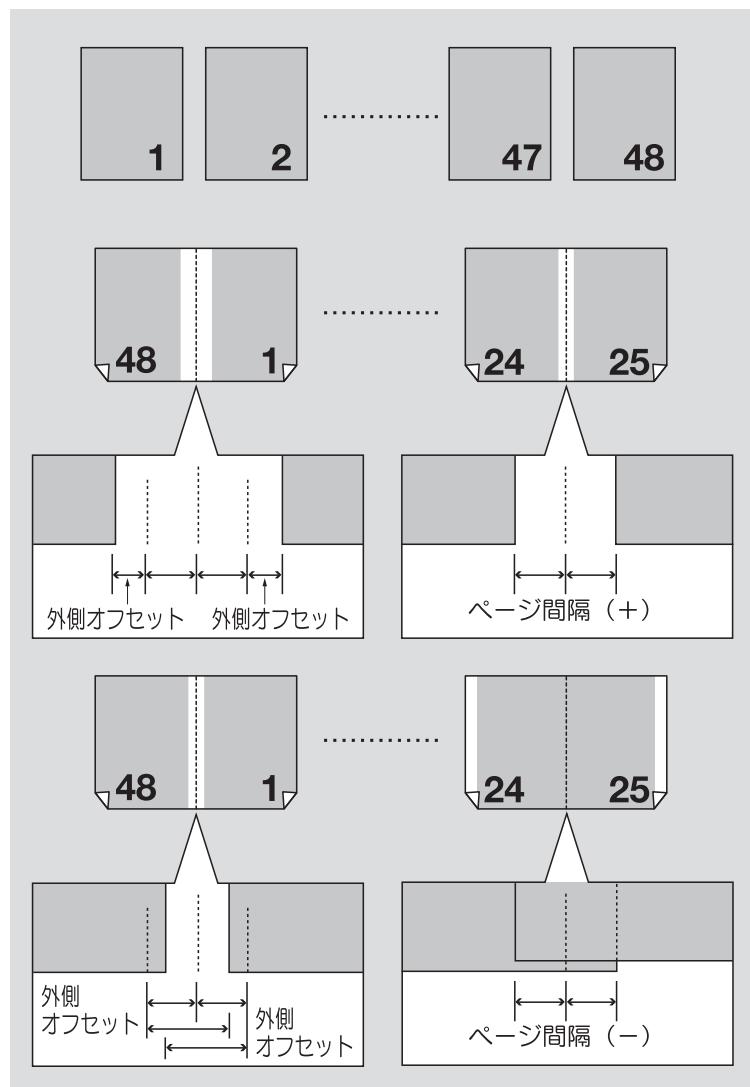
ページ間隔は、小冊子または定形リピートモードの2リピートモードを選択したときに設定可能です。出力紙の中央を基準に、左右のページを設定値分だけシフトします。入力した設定値分はなしてコピーします。





外側オフセットとは?

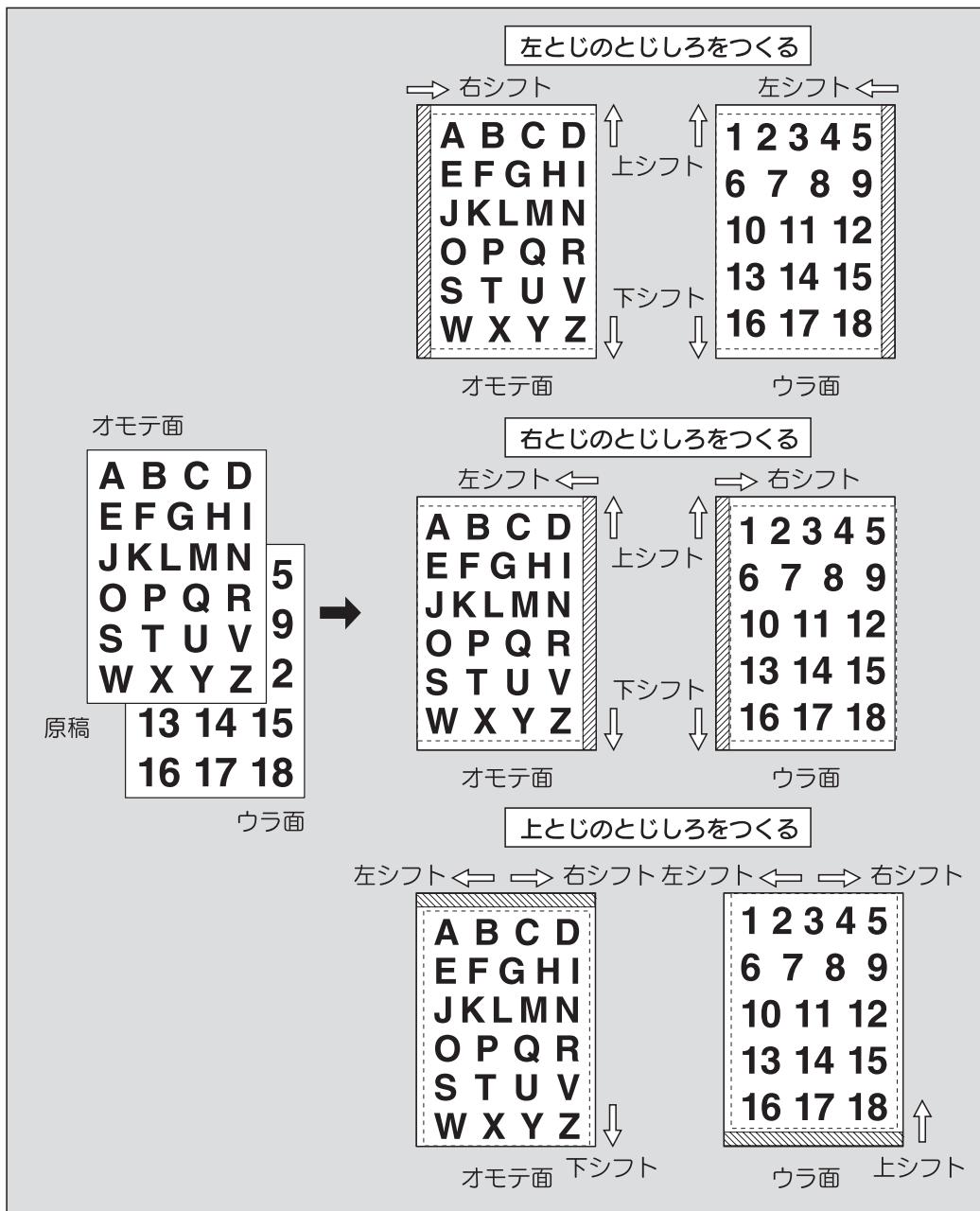
外側オフセットは、無線とじを除く小冊子を選択したときに設定可能です。中折り / 中とじの断裁出力を行う場合、断裁面から画像端までの余白が外側と内側で異なることがあります。このような場合、ページ間隔と併用することで余白を均一にできます。もっとも外側になる画像に対するページ間隔を、もっとも内側になる画像に対する外側オフセット量として入力します。



画像欠けを起こさずにとじしろをつける：とじしろ>縮小シフト

応用機能を設定するには
インターフェース
章分け
集 約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

縮小シフトさせて画像欠けを起こさずにとじしろをつけます。縮小させずにとじしろをつける場合は、p. 10-56 「コピー画像の位置を調整する：とじしろ>シフト」をごらんください。



縮小率はシフト量によって変わります。シフト量は0 ~ 250 mmの範囲を、1 mm単位で変更可能です。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、〔応用設定〕を押します。

3 応用設定画面の〔とじしろ〕を押します。



4 [縮小シフト] を押します。



5 画像位置を調整する用紙面を選択します。

〔オモテ面〕または〔ウラ面〕を押して反転させます。
片面コピーのときは、オモテ面の設定のみ有効となります。

また、縮小率はオモテ面のシフト量で決まります。通常、オモテ面とウラ面のシフト量は同じにします。

応用機能を設定するには
インターフェート
章分け
集 約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

6 シフト方向とシフト量を設定します。

上下方向([上]/[下])と左右方向([左]/[右])のシフトができます。任意のシフト方向ボタンを押して反転させ、[]、またはテンキーを押して、シフト量を設定します。



- シフト量は、0 mm ~ 250 mm の範囲を1mm単位で設定できます。設定メニューで、0.1mm単位で設定できるように変更できます。
- シフト方向は、原稿設定画面で設定する原稿セット方向が基準になります。
- とじ方向(左右とじ、上とじ)によって、とじしろをつくる位置(上/右/左)を決めます。

7 用紙面(オモテ面、ウラ面)のシフト量を別々に設定するときは、手順**5** **6**の操作を繰り返します。

8 [OK]を押します。

もとの設定にもどすときは[キャンセル]を押します。設定情報を残してとじしろ機能をオフにするときは[機能OFF]を押します。

9 応用設定画面の[OK]を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の[応用設定]下に、[とじしろ]が表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。

10 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。

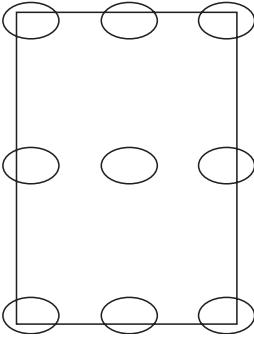
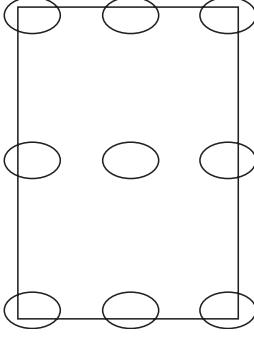
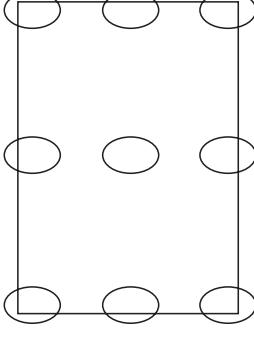
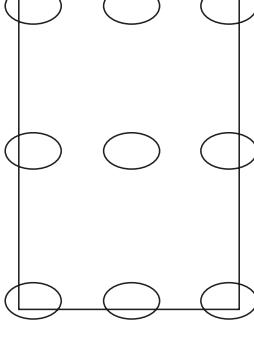


コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

原稿にない情報を印字してコピーする:スタンプ/オーバーレイ

原稿にない定型スタンプ、ナンバリング、ページ、日付/時刻、ウォーターマーク、ウォーターマークナンバリングをコピーに印字します。

スタンプには、下記6つの種類があります。

選択項目	説明
定型スタンプ	<p>至急</p> <p>社外秘</p> <p>重要</p> 
ナンバリング	<p>002 / 005</p> 
ページ	<p>P1</p> <p>1-1</p> <p>1/5</p> 
日付/時刻	<p>'08/5/5 1:23PM</p> 

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集約

小冊子

OHP合紙

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠/折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

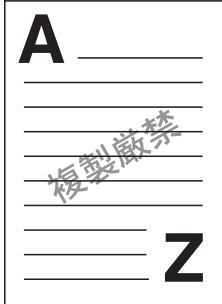
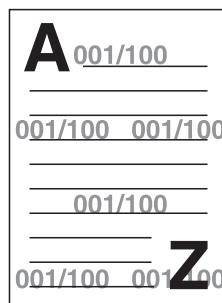
任意スタンプ

応用設定

オーバーレイ

登録オーバーレイ

併用できないコピー条件

選択項目	説明
ウォーターマーク	
ナンバリング	

各設定には、下記のような詳細設定があります。詳細は、p. 10-78をごらんください。

- 印字位置の微調整
- ナンバリング印字モードのスタート番号設定
- ページ印字モードのスタート番号設定
- ページ/日付の文字の変更
- ページの印字ページ

応用設定

定型のスタンプを印字する:定型スタンプ

用紙の指定した位置にスタンプを印字します。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについて
は、p. 8-6「原稿をセットする」
をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定]を押します。 応用設定画面の[スタンプ/オーバーレイ]を押します。



3 [定型スタンプ]を押します。



応用機能を設定するには
インターフェース
章分け
集約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠/折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

4 スタンプの種類、印字位置、文字の大きさ、印字ページを指定します。

12のスタンプ種類ボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。

[印字位置選択]表示下の9つのボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。印字位置の微調整を行う場合は、[位置の微調整]を押します。

[文字サイズ変更]を押して、[大きめ]または[小さめ]を表示させます。

[印字ページ変更]を押して、[表紙のみ]または[全ページ]を表示させます。



印字位置の微調整については、p. 10-78をごらんください。

5 [OK]を2回押します。

もとの設定にもどすときは[キャンセル]を押します。
設定情報を残してスタンプ/オーバーレイ機能をオフにするときは[機能OFF]を押します。

6 応用設定画面の[OK]を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の[応用設定]下に、[スタンプ/オーバーレイ]が表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。

7 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

管理用ナンバリングを印字する：ナンバリング

用紙の指定した位置にナンバリング（通し番号）を印字します。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、〔応用設定〕を押します。

3 応用設定画面の〔スタンプ/オーバーレイ〕を押します。



4 [ナンバリング]を押します。



5 ナンバーリングの種類、印字位置、文字の大きさ、印字ページ、スタート番号を設定します。

4つのナンバーリング種類ボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。

[印字位置選択] 表示下の9つのボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。印字位置の微調整を行う場合は、[位置の微調整]を押します。

[文字サイズ]を押して、[20ポイント]または[36ポイント]を表示させます。

[印字ページ変更]を押して、[表紙のみ]または[全ページ]を表示させます。ナンバーリング開始ページの設定をする場合は、[スタート番号]を押します。



- 印字位置の微調整については、p. 10-78をごらんください。
- ナンバーリングの開始ページ設定については、「ナンバーリング印字モードのスタート番号設定」(p. 10-78)をごらんください。

6 [OK]を2回押します。

もとの設定にもどすときは[キャンセル]を押します。
設定情報を残してスタンプ/オーバーレイ機能をオフにするときは[機能OFF]を押します。

7 応用設定画面の[OK]を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の[応用設定]下に、[スタンプ/オーバーレイ]が表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。

8 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

ページ数を印字する:ページ

用紙の指定した位置にページ番号を印字します。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、〔応用設定〕を押します。

3 応用設定画面の〔スタンプ/オーバーレイ〕を押します。



4 [ページ] を押します。



応用機能を設定するには
インターフェース
章分け
集約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠/折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録
オーバーレイ
併用できない
コピー条件

第
章
応用設定

5 ページ番号の種類、印字位置、印字ページ、文字の大きさと種類、スタート番号を設定します。

5つのページ種類ボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。

〔印字位置選択〕表示下の9つのボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。印字位置の微調整を行う場合は、〔位置の微調整〕を押します。

印字ページの設定やインターフェース(コピー挿入/白紙挿入)のページ印字の設定をする場合は、〔印字ページ変更〕を押します。

文字の大きさや、印字するページの文字種類を変更する場合は、〔文字変更〕を押します。

ページ印字の開始ページ、章ごとのページを設定する場合は、〔スタート番号〕を押します。



- 印字位置の微調整については、p. 10-78をごらんください。
- 〔印字ページ変更〕を押した後の操作については、p. 10-81「ページの印字ページ」をごらんください。
- 〔文字変更〕を押した後の操作については、p. 10-80「ページ/日付の文字変更」をごらんください。
- ページ印字の開始ページ設定については、p. 10-79「ページ印字モードのスタート番号設定」をごらんください。

6 [OK] を2回押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残してスタンプ/オーバーレイ機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。

7 応用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔応用設定〕下に、〔スタンプ/オーバーレイ〕が表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。

8 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

日付や時刻を印字する：日付/時刻

用紙の指定した位置に日付、時刻を印字します。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、〔応用設定〕を押します。

3 応用設定画面の〔スタンプ/オーバーレイ〕を押します。



4 〔日付/時刻〕を押します。



応用機能を設定するには
インターフェース
章分け
集 約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

5 日付および時刻の種類、印字位置、文字の大きさと種類、印字ページを設定します。

5つの日付種類および3つの時刻種類ボタンのうち、それぞれ1つを押して反転させます。

〔印字位置選択〕表示下の9つのボタンのうち、いかか1つを押して反転させます。印字位置の微調整を行う場合は、〔位置の微調整〕を押します。

文字の大きさや、印字するページの文字種類を変更する場合は、〔文字変更〕を押します。

〔印字ページ変更〕を押して、〔表紙のみ〕または〔全ページ〕を表示させます。

機械の日付・時刻を変更する場合は〔日付/時刻変更〕を押します。



- 印字位置の微調整については、p. 10-78をごらんください。
- 〔印字ページ変更〕を押した後の操作については、p. 10-81「ページの印字ページ」をごらんください。
- 〔文字変更〕を押した後の操作については、p. 10-80「ページ/日付の文字変更」をごらんください。
- ページ印字の開始ページ設定については、p. 10-79「ページ印字モードのスタート番号設定」をごらんください。
- 〔日付/時刻変更〕を押した後の操作については、p. 10-82をごらんください。

6 [OK] を2回押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残してスタンプ/オーバーレイ機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。

7 応用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔応用設定〕下に、〔スタンプ/オーバーレイ〕が表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。

8 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

定型のウォーターマークを印字する：ウォーターマーク

コピー画像の中心に淡い文字を印刷します。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについて
は、p. 8-6「原稿をセットする」
をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、〔応用設定〕を押します。

3 応用設定画面の〔スタンプ/オーバーレイ〕を押します。



4 [ウォーターマーク] を押します。



応用機能を設定するには
インターフェース
章分け
集約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠/折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

5 ウォーターマークの種類、文字の濃さを指定します。



印字位置の微調整については、p. 10-78をごらんください。

12のウォーターマーク種類ボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。

「文字の濃さ」表示下の4つのボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。

ウォーターマークはコピーの中央に印刷されますが、位置を調整するときは〔位置の微調整〕を押します

6 [OK] を2回押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残してスタンプ/オーバーレイ機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。

7 応用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔応用設定〕下に、〔スタンプ/オーバーレイ〕が表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。

8 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

ウォーターマークで管理用ナンバリングを印字する：ナンバリング

淡い文字でページ全面にナンバリングを印刷します。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、〔応用設定〕を押します。

3 応用設定画面の〔スタンプ/オーバーレイ〕を押します。



4 「ウォーターマーク」表示下の〔ナンバリング〕を押します。



応用機能を設定するには
インターフェース
章分け
集約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠/折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

5 ウォーターマークナンバリングの種類、文字の大きさ、スタート番号、文字の濃さを指定します。



ナンバリングの開始ページ設定については、p. 10-78「ナンバリング印字モードのスタート番号設定」をごらんください。

4つのナンバリング種類ボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。

〔文字サイズ〕を押して、〔20ポイント〕または〔36ポイント〕を表示させます。

ナンバリング開始ページの設定をする場合は、〔スタート番号〕を押します。

「文字の濃さ」表示下の4つのボタンのうち、いずれか1つを押して反転させます。

6 [OK] を2回押します。

もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残してスタンプ/オーバーレイ機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。

7 応用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の〔応用設定〕下に、〔スタンプ/オーバーレイ〕が表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。

8 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

出力を開始します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

スタンプモードでの詳細設定

印字位置の微調整

定型スタンプ、ナンバリング、ページ、日付設定時に、それぞれの印字位置の微調整ができます。上下方向([上へ]、[下へ])と左右方向([右へ]、[左へ])の2方向で、50 mmまで調整します。



- 1 任意の方向ボタンを押して反転させ、[]([])またはテンキーを押して調整値を入力します。
- 2 [OK]を押して設定を確定し、元の設定画面にもどします。

ナンバリング印字モードのスタート番号設定

ナンバリング印字モード画面の[スタート番号]を押すと、下記の画面が表示され、ナンバリング印字スタート番号を設定することができます。



- 1 []([])またはテンキーで、印字開始ページ(4ヶタまで)を入力します。
- 2 [OK]を押して設定を確定し、元の設定画面にもどします。

応用機能を設定するには
インターフェート
章分け
集 約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
オーバーレイ
登録 オーバーレイ
併用できないコピー条件

ページ印字モードのスタート番号設定

ページ印字モード画面の〔スタート番号〕を押すと、下記の画面が表示され、ページのスタート番号および印字開始ページを設定することができます。応用機能の〔章分け〕を併用したときは、ページのスタート番号および印字開始ページだけではなく、章のスタート番号および印字開始章も設定できます。



- 1 「ページ」表示下の〔スタートナンバ〕を押して選択し、〔 〕〔 〕またはテンキーで章ごとのページスタート番号を（4ケタまで）入力します。
- 2 「ページ」表示下の〔開始ページ〕を押して選択して、印字開始ページを調整します。
- 3 「章」表示下の〔スタートナンバ〕を押して選択し、〔 〕〔 〕またはテンキーで章のスタート番号を（2ケタまで）入力します。
- 4 「章」表示下の〔開始章〕を押して選択して、印字開始章を調整します。
- 5 [OK] を押して設定を確定し、もとの設定画面にもどします。

ページ/日付の文字変更

ページ、日付設定時に、文字サイズと文字種類の設定ができます。



- 1 「文字サイズ」表示下の4つのボタンのうち、1つを押して反転させます。
- 2 「文字種類」表示下の〔ゴシック体〕、または〔明朝体〕のどちらかを押して反転させます。
- 3 [OK] を押して設定を確定し、もとの設定画面にもどします。

応用機能を設定するには
インターフェート
章分け
集 約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠／折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

ページの印字ページ

ページ設定時に、表紙ページへの印字とインターフェートが設定されているときの挿入紙へのページ印字の設定ができます。



- 1 「表紙」表示下の3つのボタンのうち、1つを押して反転させます。
- 2 インターフェートのコピー挿入を設定しているときは、「印刷挿入紙」表示下の3つ、白紙挿入を設定しているときは「白紙挿入紙」表示下の2つのボタンのうち、1つを押して反転させます。
- 3 [OK] を押して設定を確定し、もとの設定画面にもどします。

日付/時刻変更

現在の日時以外の日時を印字させることができます。



- 1** [設定時刻] を押して反転させます。
- 2** [設定] を押して、変更したい「年」「月」「日」「時刻」の部分を反転させます。
- 3** 画面のテンキーで、変更する数字を入力します。
- 4** [OK] を押して設定を確定し、もとの設定画面にもどします。

コピーに文字列、日時、通し番号を印刷する：任意スタンプ

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集約

小冊子

OHP合紙

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

応用設定 第
n 章

オーバーレイ

登録
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

文字列、原稿を読み込む日時、読み込む原稿の通し番号の設定を1セットにして登録しておき、任意に呼び出してコピー画像の指定位置に印刷します。

通し番号の設定はあらかじめ登録した設定以外の設定を一時的に変更することができます。(一時番号設定)

任意スタンプはそのほかのスタンプ機能(定型スタンプ、ウォーターマーク)との併用が可能です。



- 文字列、日時、通し番号の設定を1セットとし、最大40セットまで登録できます。
文字列、日時、通し番号の順番や表示／非表示などの設定は、設定メニュー画面で行います。
- 日時は機械に設定されている日時設定をもとに原稿が読み込まれる日時を印刷します。
- 通し番号は、読み込む原稿ごとにまた読み込む原稿順にカウントして番号を印刷します。ジョブをまたいだり電源をオン／オフしてもカウントを継続します。
任意スタンプの機能を設定していないときや、一時番号設定がされているときはカウントされません。
- 印刷位置は9つから選択できます。また、上下±0～50mm、左右±0～50mmの範囲で印刷位置の微調整ができます。
- 下記の登録・設定は、設定メニュー画面の管理者設定で行います。詳細はPOD管理者編のp.5-60をごらんください。

文字列・日時・通し番号の順番、表示／非表示、印刷組合せ

文字列の入力(半角英数字40文字以内)

日付の印刷形態(5種類のうち1つ選択)

時刻の印刷形態(3種類のうち1つ選択)

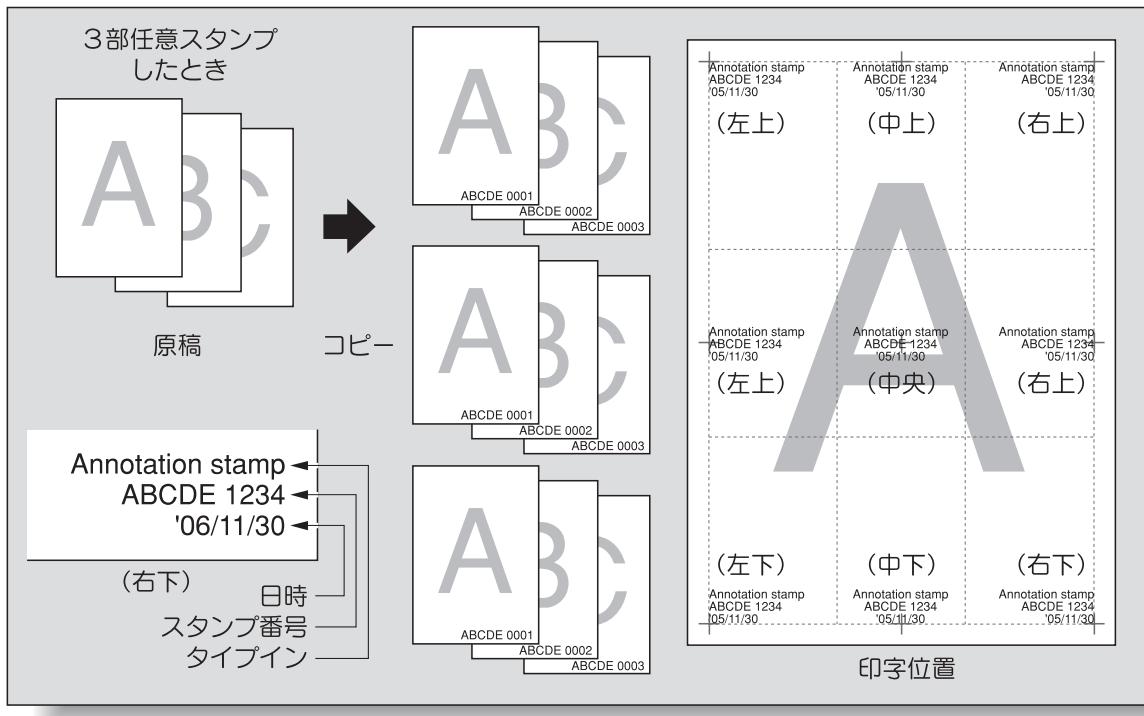
通し番号の前に文字列入力(半角英数字20文字以内)

通し番号の印刷形態(2種類のうち1つ選択)

一時番号の設定(半角英数字12文字以内)

印刷フォント(ゴシック／明朝のうち1つ選択)

印刷サイズ(8/10/12/14ポイントから1つ選択)



1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについて
は、p. 8-6「原稿をセットする」
をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定]を押します。
応用設定ポップアップ画面が表示されます。

3 応用設定ポップアップ画面の〔スタンプ／オーバーレイ〕を押します。



スタンプ／オーバーレイポップアップ画面が表示され
ます。

4 [任意スタンプ]を押します。



任意スタンプ設定ポップアップ画面が表示されます。

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集 約

小冊子

OHP合紙

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

応用設定

オーバーレイ

登録
オーバーレイ併用できない
コピー条件

5 任意の任意スタンプ設定を選択し、印刷位置を設定します。



任意スタンプ設定呼出しボタンは最大40個まで設定されています。



【一時番号解除】が表示されている場合は選択した任意スタンプ設定以外の一時番号設定で印刷されます。



印刷位置の微調整についてはp.10-78をごらんください。

6 一時的に通し番号の設定を変更するときは【一時番号設定】を押します。 一時番号設定画面が表示されます。



5項で選択した任意スタンプ設定で通し番号の設定がされていない場合、【一時番号設定】に網がかかり、一時番号設定はできません。

- (1) 入力ボタンを押して一時番号を設定します。
半角英数字8文字まで入力可能です。
- (2) [OK] を押します。



- 一時番号設定をすると、もとの設定でのカウントはされません。
- 一時番号設定をすると、全ページに同じ一時番号を印刷します。

任意スタンプ設定ポップアップ画面にもどります。

- 7** [OK] を押します。
もとの設定にもどすときは [キャンセル] を押します。
設定した任意スタンプの設定情報を残して任意スタンプ機能をオフにするときは、[機能OFF] を押します。
スタンプ / オーバーレイポップアップ画面にもどります。

- 8** スタンプ / オーバーレイポップアップ画面の [OK] を押します。
応用設定ポップアップ画面にもどります。

- 9** 応用設定ポップアップ画面の [OK] を押します。
コピー画面にもどります。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

- 10** コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

画像を重ねてコピーする：オーバーレイ

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集約

小冊子

OHP合紙

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠／折り消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ／オーバーレイ

任意スタンプ

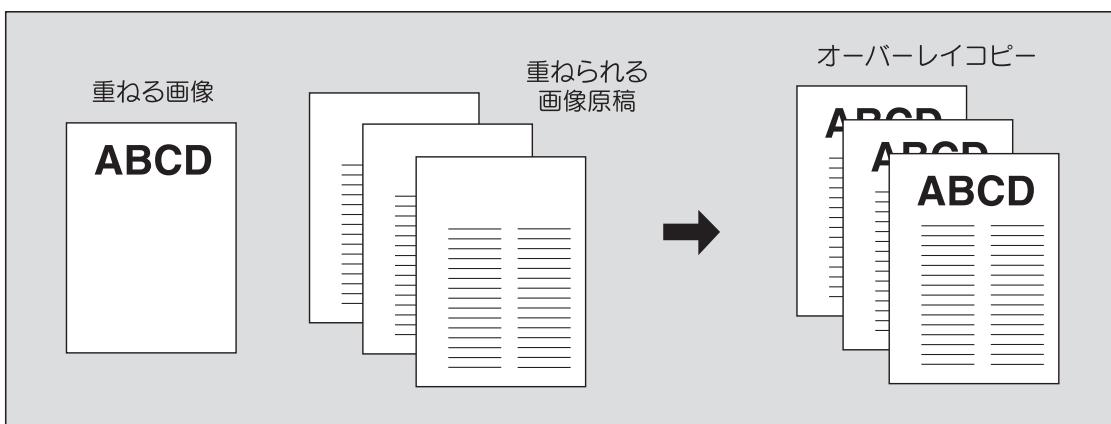
応用設定 第
オーバーレイ

オーバーレイ

登録
オーバーレイ

併用できない
コピー条件

最初にスキャンした1枚の画像を、その後にスキャンした画像に重ねてコピーします。



1 重ねる画像の原稿をセットします。
ADFまたは原稿ガラスに、原稿を1枚セットします。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定]を押します。

3 応用設定画面の[スタンプ/オーバーレイ]を押し
ます。



4 「オーバーレイ」表示下の[オーバーレイ]を押し
ます。

5 [OK]を押します。
もとの設定にもどすときは[キャンセル]を押します。
設定情報を残してスタンプ/オーバーレイ機能をオフに
するときは[機能OFF]を押します。

6 応用設定画面の【OK】を押して、コピー画面にもどします。

コピー画面の【応用設定】下に、【スタンプ/オーバーレイ】が表示されます。

このとき、自動用紙機能および自動倍率機能は自動的に解除され、倍率は【等倍】に設定されます。また、連続読み込みモードが自動的に設定されています。

7 必要に応じてその他のコピー条件を設定します。

8 操作パネルの【スタート】を押します。

セットした原稿がスキャンされ、画像データがメモリーに蓄積されます。

9 ポップアップ画面の【読み完了】を押します。

10 重ねられる画像の原稿をセットします。

ADFまたは原稿ガラスに、原稿をセットします

ADFにセットする原稿枚数が100枚を超える場合は、100枚未満のブロックに分け、最初のページのブロックから順にスキャンします。

11 操作パネルの【スタート】を押します。

原稿ガラスにセットした場合は、手順**10**と**11**の操作を繰り返し、すべての原稿をスキャンします。

12 ポップアップ画面の【読み完了】を押します。

13 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

重ねられた画像のコピーが出力されます。



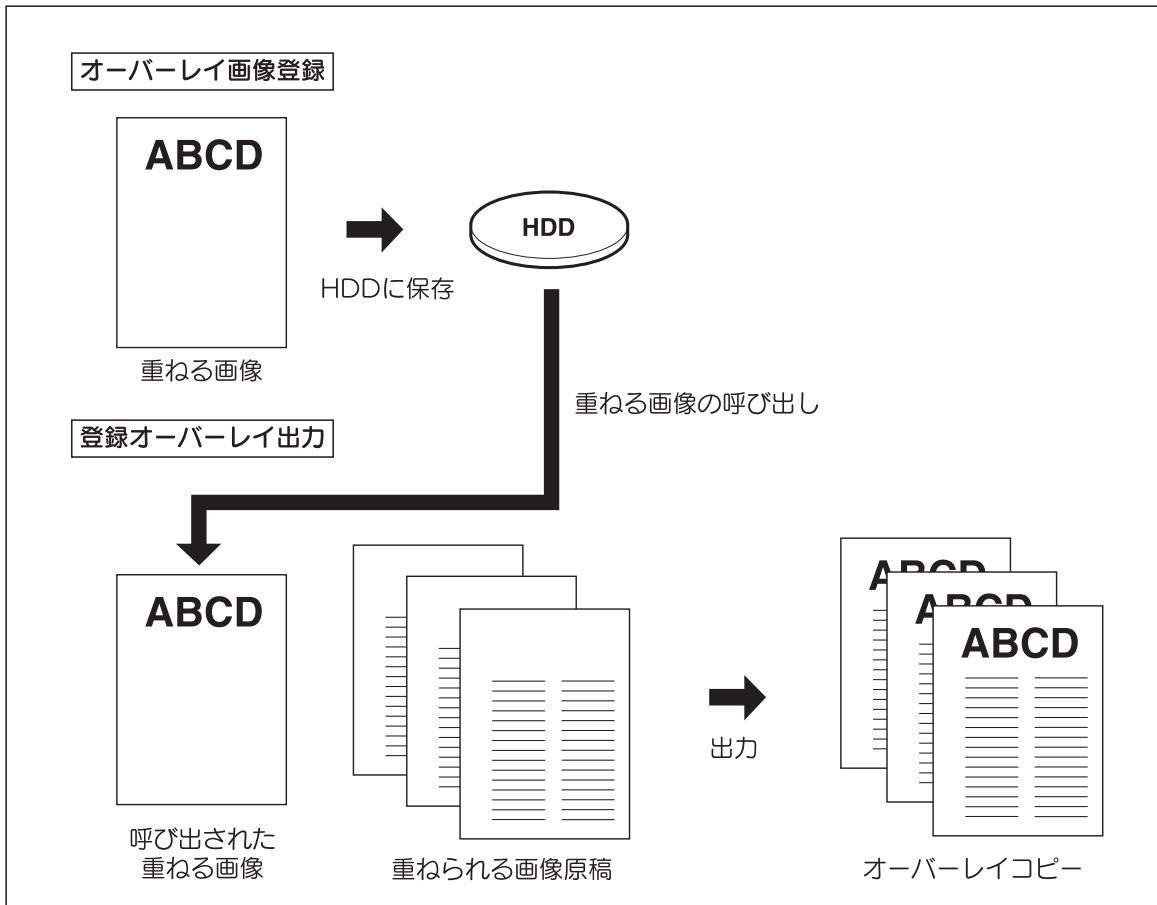
コピー部数の設定の詳細は、p. 8-10「コピー部数を設定する」をごらんください。

重ねる画像を登録し、重ねてコピーする：登録オーバーレイ

重ねる画像をHDDに保存（オーバーレイ画像登録）し、保存した画像を呼び出して重ねてコピー（登録オーバーレイ出力）します。

重ねる画像をHDDに保存する場合は、「オーバーレイ画像登録」をごらんください。

保存した画像を呼び出して重ねて出力する場合は、「登録オーバーレイ出力」をごらんください。



オーバーレイ画像登録

1 重ねる画像の原稿を、原稿ガラスにセットします。

2 コピー画面を表示させ、[応用設定] を押します。

3 応用設定画面の〔スタンプ/オーバーレイ〕を押します。



4 「オーバーレイ」表示下の〔登録オーバーレイ〕を押します。



画像登録/呼び出し画面が表示されます。

5 〔画像登録〕を押します。



応用機能を設定するには
インターフェート
章分け
集 約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガボジ反転
リピート
枠／折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ／オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

6 重ねる画像に名前をつけて登録します。



アルファベットキーを押して、任意の名前を入力します。半角8文字まで入力できます。入力した名前に、日付が自動的に付加されます。

7 [OK] を押します。

重ねる画像をスキャンするためのコピー画面が表示されます。任意のコピー条件を設定します。



[OK] を押したとき、すでに同じ名前で登録されている画像がある場合は、重複確認のポップアップ画面が表示されます。p. 10-93をごらんください。

8 操作パネルの【スタート】を押します。

HDD に保存されると、画像登録 / 呼出し画面にもなります。

登録オーバーレイ出力

1 コピー画面を表紙させ、[応用設定] を押します。

2 応用設定画面の [スタンプ/オーバーレイ] を押します。



3 「オーバーレイ」表示下の〔登録オーバーレイ〕を押します。



画像登録/呼出し画面が表示されます。

4 重ねる画像を呼び出します。



HDDから呼び出したい重ねる画像の登録ボタンを押して反転させ、〔OK〕を押します。Stamp/Overlay画面にもどります。

**5 Stamp/Overlay画面の〔OK〕を押します。
もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
設定情報を残してStamp/Overlay機能をオフにするときは〔機能OFF〕を押します。**

**6 応用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどします。
コピー画面の〔応用設定〕下に、〔Stamp/Overlay〕が反転表示されます。設定を変更する場合は、このボタンを押して専用画面を表示させます。**

7 重ねられる画像の原稿をセットします。

ADFまたは原稿ガラスに、原稿をセットします。
〔連続読み込み〕を選択すると多数枚の原稿を処理できます。



原稿ガラスを使って多数枚原稿をオーバーレイコピーするときは、連続読み込みモードを使用します。また、ADFを使って100枚を超える原稿をオーバーレイコピーするときも連続読み込みモードを使用します。連続読み込みモードの詳細は、p. 9-16「連続読み込みモード」をごらんください。

8 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を押します。

重ねられた画像のコピーが出力されます。



重複確認のポップアップ画面

重ねる画像の名前が重複していると、確認のポップアップ画面が表示されます。



ポップアップ画面に〔OK〕、〔キャンセル〕が表示されているとき、上書きが可能です。〔キャンセル〕を押すと上書きされ、既存の画像はなくなります。別の名前で保存するときは〔OK〕を押します詳細は、p. 9-16「連続読み込みモード」をごらんください。



ポップアップ画面に〔OK〕だけが表示されているときは、画像の上書きはできません。〔OK〕を押して、別の名前をつけ直します。

上記の画面表示は、管理者設定で選択できます。

併用できないコピー条件

			原稿設定								連続読み込みモード		
			原稿セット方向		両面とじ方向		特殊原稿		原稿サイズ				
			上向き	左向き	下向き	右向き	左右とじ	上とじ	/逆	折れ	1枚送り		
機能組み合せ表													
ページ編集	インターシート	オモテ表紙	本体トレイ						*1	*1		*1	
			PIトレイ										
		ウラ表紙	本体トレイ						*1	*1		*1	
			PIトレイ										
	集約	挿入紙	本体トレイ						*1	*1		*1	
			PIトレイ										
		章分け							*1	*1		*1	
		2 in 1							*1	*1		*1 *1	
	小冊子	ヨコ順	4 in 1						*1	*1		*1 *1	
			8 in 1						*1	*1		*1 *1	
		タテ順	4 in 1						*1	*1		*1 *1	
			8 in 1						*1	*1		*1 *1	
応用設定	小冊子		無線とじ						*1	*1		*1 *1	
			OHP合紙						*1			*1	
			差込ページ						*1	*1		*1	
			ページ連写	*3	*3	*3			*1			*1 *1	
			プログラムジョブ						*1				
			原稿外消去						*1	*1		*1	
			ネガポジ反転										
	イメージリピート	画像サイズ手動入力							*1	*1			
		画像サイズ自動検出							*1	*1		*1	
		定形リピート	2リピート						*1	*1			
			4リピート						*1	*1			
			8リピート						*1	*1			
			2リピート右反転						*1	*1			
			2リピート左反転						*1	*1			
画像応用	棒/折目消し												
	センタリング								*1	*1			
	全面画像												
	とじしろ	シフト										*1	
		縮小シフト							*1			*1	
		定型スタンプ											
		ナンパリング											
	スタンプ/オーバーレイ	ページ											
		日付/時刻											
		ウォーターマーク											
		ウォーターマークナンパリング											
		オーバーレイ							*1	*1		*2	
		登録オーバーレイ											
		登録オーバーレイ(登録時)							*1	*1		*1 *1	
	任意スタンプ												

*1:網掛けで選択不可

*2:連続読み込みモードが強制選択されているため、釦押下で「オーバーレイ画像と通常画像の2枚以上の読み込みが必要です」を1SHOT表示し釦押下無効

*3:「ブック連写では原稿セット方向を上向きに設定して下さい」msg。排他。

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集約

小冊子

OHP合紙

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠/折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

心用設定 第1章

オーバーレイ

登録
オーバーレイ併用できない
コピー条件

機能組み合せ表		画質設定						倍率設定										
		画質			下地調整			登録濃度			手動設定			拡大	縮小	部録合率		
		薄文字	薄文字	写真	文字	うすく	ふつう	いく	登録1	登録2	うすく	ふつう	いく					
ペー ジ 編 集	イン タ ー シ ト	オモテ 表紙	本体トレイ															
		PITレлей																
		ウラ 表紙	本体トレイ															
		PITレлей																
		挿入紙	本体トレイ															
	集約	章分け																
		ヨコ順	2 in 1															
			4 in 1															
		タテ順	8 in 1															
			4 in 1															
		8 in 1																
		小冊子																
		無線とじ																
応 用 設 定	OHP合紙																	
	差込ページ																	
	ページ連写																	
	プログラムジョブ																	
	原稿外消去																	
	ネガポジ反転																	
	画像サイズ手動入力																	
	画像サイズ自動検出																	
	イメ ジ リピー ト	定形 リピー ト	2リピート															
			4リピート															
			8リピート															
			2リピート右反転															
			2リピート左反転															
	枠/折目消し																	
	センタリング																	
	全面画像																	
	画 像 応 用	とじしろ	シフト															
			縮小シフト											*1	*1	*1		
			定型スタンプ															
			ナンバーリング															
			ページ															
			日付/時刻															
			ウォーターマーク															
	スタンプ/ オーバーレイ	オーバーレイ	ウォーターマークナンバーリング															
			オーバーレイ															
			登録オーバーレイ															
			登録オーバーレイ(登録時)															
			任意スタンプ															

*1:網掛けで選択不可

併用できないコピー条件(つづき)

機能組み合せ表				倍率	小冊子	自動倍率	両面設定		用紙設定				自動画像回転禁止	
ページ編集	応用設定	画像応用	スタンプ/オーバーレイ				片面	片面	片面	片面	トレイ1	トレイ2	トレイ3	トレイ4
			オモテ 表紙	本体トレイ		*5	*4	*4					*1	
			PIトレイ											
			ウラ 表紙	本体トレイ		*5	*4	*4					*1	
			PIトレイ											
			挿入紙	本体トレイ		*5	*4	*4					*1	
			PIトレイ											
			章分け						*1	*1			*2	
			2 in 1										*1	
			ヨコ順	4 in 1									*1	
			8 in 1										*1	
			タテ順	4 in 1									*1	
			8 in 1										*1	
			小冊子						*1	*1			*1	
			無線とじ						*1	*1			*1	
			OHP合紙						*1	*1			*1	
			差込ページ											
			ページ連写			*1	*3	*3	*3	*3			*1 *1	
			プログラムジョブ											
			原稿外消去						*1	*1			*1 *1	
			ネガポジ反転											
			イメージリピート	画像サイズ手動入力		*1	*1	*1					*1 *1	
			定形 リピート	画像サイズ自動検出		*1	*1	*1					*1 *1	
			2リピート										*1 *1	
			4リピート										*1 *1	
			8リピート										*1 *1	
			2リピート右反転										*1 *1	
			2リピート左反転										*1 *1	
			枠/折目消し											
			センタリング										*1 *1	
			全面画像											
			とじしろ	シフト										
			縮小シフト			*1	*1	*6					*1	
			スタンプ/オーバーレイ	定型スタンプ										
				ナンパリング										
				ページ										
				日付/時刻										
				ウォーターマーク										
				ウォーターマークナンパリング										
				オーバーレイ										
				登録オーバーレイ										
				登録オーバーレイ(登録時)					*1	*1	*1	*1		
				任意スタンプ										

*1:網掛けで選択不可

*2:追加機能(小冊子、印刷挿入)設定時は網掛けで選択不可

*3:表紙+見開きまたは表紙+裏表紙+見開き選択時はADFモード解除するまで、「表紙は原稿ガラススキャンで読んで下さい」でスタート禁止

*4:印刷+両面の場合「片面出力モードではインターフェース両面挿入はできません」でスタート禁止

*5:印刷+片面の場合「両面出力モードではインターフェース片面挿入はできません」でスタート禁止

*6:自動選択で解除不可

応用機能を設定するには

インターフェース

章分け

集約

小冊子

OHP合紙

差込みページ

ブック連写

プログラムジョブ

原稿外消去

ネガポジ反転

リピート

枠/折目消し

センタリング

全面画像

とじしろ>シフト

とじしろ>縮小シフト

スタンプ/オーバーレイ

任意スタンプ

応用設定 第1章

オーバーレイ

登録オーバーレイ

併用できないコピー条件

機能組み合せ表			応用設定													
						ページ編集			集約			小冊子				
			インターフェース		オモテ表紙	ウラ表紙	挿入紙	ヨコ順	タテ順	ヨコ順	タテ順	小冊子	無線じ	小冊子		
全般	全般	トレイ選択	トレイ選択	トレイ選択	トレイ選択	トレイ選択	トレイ選択	トレイ選択	トレイ選択	トレイ選択	トレイ選択	トレイ選択	トレイ選択	トレイ選択		
ペー ジ 編 集	インター シート	オモテ表紙	トレイ選択													
		本体トレイ														
		PIトレイ														
		ウラ表紙	トレイ選択													
		本体トレイ														
		PIトレイ														
		挿入紙	トレイ選択													
		本体トレイ														
		PIトレイ														
		章分け														
応 用 設 定	1枚集約	全般														
		2 in 1	*3 *3	*3 *3	*1 *1	*1 *1										
		ヨコ順	4 in 1	*3 *3	*3 *3	*1 *1	*1 *1									
			8 in 1	*3 *3	*3 *3	*1 *1	*1 *1									
			4 in 1	*3 *3	*3 *3	*1 *1	*1 *1									
			8 in 1	*3 *3	*3 *3	*1 *1	*1 *1									
		小冊子	全般													
			小冊子	*3 *3	*3 *3	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1			
			無線じ	*3 *3	*3 *3	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1			
			OHP合紙	*1 *1 *1 *1	*1 *1 *1 *1	*1 *1 *1 *1	*1 *1 *1 *1	*1 *1 *1 *1	*1 *1 *1 *1	*1 *1 *1 *1	*1 *1 *1 *1	*1 *1 *1 *1	*1 *1 *1 *1			
画 像 応 用	イメージリピート	差込ページ	*3 *3	*3 *3	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1				
		ページ連写	*3 *3	*3 *3	*1 *1	*1 *1	*4 *4	*1 *1	*1 *1	*1 *1						
		プログラムジョブ	*3 *3	*3 *3	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1						
		原稿外消去	*3 *3	*3 *3	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1						
		ネガポジ反転														
		全般														
		画像サイズ手動入力	*3 *3	*3 *3	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1						
		画像サイズ自動検出	*3 *3	*3 *3	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1						
		全般														
		定形リピート	2リピート													
	4リピート															
	8リピート															
	2リピート右反転															
	2リピート左反転															
枠/折目消し																
センタリング	*3 *3	*3 *3	*1 *1	*1 *1												
全面画像																
とじしろ	全般															
	シフト *8															
	縮小シフト															
スタンプ/オーバーレイ	全般															
	定型スタンプ															
	ナンバーリング															
	ページ															
	日付/時刻															
	ウォーターマーク															
	ウォーターマークナンバーリング															
	オーバーレイ	*3 *3	*3 *3	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1							
	登録オーバーレイ															
	登録オーバーレイ(登録)	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1							
	任意スタンプ															

*1:網掛けで選択不可

*3:表紙釦押下でPI設定画面に遷移、本体トレイ用紙設定釦は網掛けとして、本体トレイ設定は不可

*8:ページ間隔釦は、小冊子・無線綴じ・定形2リピート(左右反転含む)選択時の網掛け解除し設定可能。外側オフセットは小冊子選択時の網掛け解除して設定可能。

併用できないコピー条件(つづき)

機能組み合せ表		応用設定																				
		ページ編集				画像応用												とじしろ				
		イメージリピート		定形リピート		画像サイズ手動入力						画像サイズ自動検出										
		OHP合紙	差込ページ	ページ連写	プログラムジョブ	原稿外消去	ネガポジ反転	全般	全般	全般	全般	2リピート	4リピート	8リピート	2リピート右反転	2リピート左反転	センタリング	折目消し	全面画像	全体	シフト	縮小シフト
ページ編集	インター シート	オモテ 表紙	トレイ選択																			
		本体トレイ	*1 *1 *1 *1 *1															*1				
		PIトレイ	*1																			
		ウラ 表紙	トレイ選択	*1 *1 *1 *1 *1														*1				
		本体トレイ	*1 *1 *1 *1 *1															*1				
		PIトレイ	*1															*1				
		挿入紙	トレイ選択	*1 *1 *1 *1 *1														*1				
		本体トレイ	*1 *1 *1 *1 *1															*1				
		PIトレイ	*1 *1 *1 *1 *1															*1				
		章分け	*1 *1		*1 *1			*1 *1 *1 *1 *1 *1	*1 *1 *1 *1 *1 *1													
応用設定	集約	ヨコ順	2 in 1	*1	*1 *1	*1 *1		*1 *1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1						
			4 in 1	*1	*1 *1	*1 *1		*1 *1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1						
			8 in 1	*1	*1 *1	*1 *1		*1 *1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1						
			タテ順	4 in 1	*1 *1	*1 *1		*1 *1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1						
		小冊子	8 in 1	*1	*1 *1	*1 *1		*1 *1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1						
			全般																			
			小冊子	*1				*1 *1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1						
			無線とじ	*1				*1 *1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1						
	イメージ リピート	定形 リピート	OHP合紙		*1			*1 *1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1						
			差込ページ	*1				*1 *1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1		*1				
			ページ連写		*1				*1 *1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1		*1				
			プログラムジョブ	*1	*1	*1																
			原稿外消去						*1		*1	*1	*1	*1	*1	*1		*1				
			ネガポジ反転							*1		*1	*1	*1	*1	*1		*1				
			全般																			
			画像サイズ手動入力	*1	*1	*1												*1				
			画像サイズ自動検出	*1	*1	*1												*1				
			全般																			
画像応用	とじしろ	2リピート	2リピート	*1	*1	*1												*1				
			4リピート	*1	*1	*1												*1				
			8リピート	*1	*1	*1												*1				
			2リピート右反転	*1	*1													*1				
			2リピート左反転	*1	*1													*1				
			枠/折目消し															*1				
			センタリング		*1													*1				
			全面画像															*1				
			全般																			
			シフト*8															*1				
	スタンプ/ オーバーレイ	オーバーレイ	縮小シフト	*1	*1													*1				
			全般																			
			定型スタンプ																			
			ナンバーリング																			
			ページ																			
			日付/時刻																			
			ウォーターマーク																			
			ウォーターマークナンバーリング																			
			オーバーレイ	*1	*1	*1												*1				
			登録オーバーレイ																			
			登録オーバーレイ(登録)	*1	*1	*1												*1				
			任意スタンプ	*1	*10																	

*1:網掛けで選択不可

*6:先選択時、自動選択される

*7:自動選択で解除不可

*10:ページ連写裏表紙選択鈕は網掛けで選択不可。一時番号選択時は一時番号のみ強制解除。

応用機能を設定するには
インターフェース
章分け
集約
小冊子
OHP合紙
差込みページ
ブック連写
プログラムジョブ
原稿外消去
ネガポジ反転
リピート
枠/折目消し
センタリング
全面画像
とじしろ>シフト
とじしろ>縮小シフト
スタンプ/オーバーレイ
任意スタンプ
応用設定 第1章
オーバーレイ
登録オーバーレイ
併用できないコピー条件

機能組み合せ表		応用設定									
		画像応用									
		スタンプ/オーバーレイ									
ページ編集	応用設定	全体	全體	定型スタンプ	ナンパリング	ページ	日付/時刻	ウォーターマーク	ウォーターマークナンパリング	オーバーレイ	登録オーバーレイ(登録)
		オモテ 表紙	トレイ選択								
		本体トレイ						*1	*2		
		PIトレイ								*2	
		ウラ 表紙	トレイ選択								*2
		本体トレイ						*1	*2		
		PIトレイ								*2	
		挿入紙	トレイ選択					*1	*2		
		本体トレイ						*1	*2		
		PIトレイ						*1	*2		
		章分け									*2
画像応用	スタンプ/オーバーレイ	全体									
		ヨコ順	2 in 1					*1	*2		
		4 in 1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1		
		8 in 1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1		
		タテ順	4 in 1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1		
		8 in 1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1		
		小冊子	全体								
		小冊子									*2
		無線とじ									*2
		OHP合紙						*1	*2		
		差込ページ						*1	*2	*1	
応用設定	スタンプ/オーバーレイ	ページ連写						*1	*2	*9	
		プログラムジョブ									
		原稿外消去									*2
		ネガポジ反転	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1		
		全体									
		画像サイズ手動入力	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1		
		画像サイズ自動検出	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1		
		定形リピート	全体								
		2リピート									
		4リピート	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1		
		8リピート	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1		
画像応用	スタンプ/オーバーレイ	2リピート右反転									
		2リピート左反転									
		枠/折目消し									
		センタリング									
		全面画像									
		とじしろ	全体								
		シフト *8									
		縮小シフト									
		全体									
		定型スタンプ									
		ナンパリング									
		ページ									
		日付/時刻									
		ウォーターマーク	*5								
		ウォーターマークナンパリング		*5							
		オーバーレイ	*5 *5								
		登録オーバーレイ	*5 *5								
		登録オーバーレイ(登録)	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1	*1 *1		
		任意スタンプ									

*1:網掛けで選択不可

*2:先選択応用機能解除して網掛け

*5:後選択優先で先選択解除

*8:ページ間隔印は、小冊子・無線とじ・定形2リピート(左右反転含む)選択時のみ網掛け解除し設定可能。外側オフセットは小冊子選択時のみ網掛け解除して設定可能。

*9:ページ連写裏表紙選択時は任意スタンプ網掛けで選択不可。一時番号は網掛けで選択不可。

			出力設定(後処理が一つでも装着されている状態)							
			両面 とじ 方向	排紙 面	排紙 順	出力 トレイ	後処理			
			全體	左右とじ 上とじ	フェイスクロップ フェイスクロップ 正順非紙 逆順非紙	メイントレイ サブトレイ	仕分けソート 仕分けグレーブ ソート	グレーブ ステープル	中とじ 重ね中折り 重ね3つ折り内印字 重ね3つ折り外印字 パンチ	
機能組み合せ表										
ペー ジ 編 集	インター シート	オモテ 表紙	本体トレイ					*1	*1	
		PIトレイ								*1
		ウラ 表紙	本体トレイ			*1		*1	*1	
		PIトレイ				*1			*4	*4
		挿入紙	本体トレイ			*1		*1	*4	*4
	集約	PIトレイ				*1		*1		
		章分け			*1					
		2 in 1						*1	*1	
		ヨコ順	4 in 1					*1	*1	
		8 in 1						*1	*1	
応 用 設 定	小冊子	タテ順	4 in 1					*1	*1	
		8 in 1						*1	*1	
		小冊子		*1						*1
		無線とじ		*1						*1
		OHP合紙			*1	*1	*1	*1	*1	*1
	プログラムジョブ	差込ページ								
		ページ連写								
		原稿外消去								
		ネガポジ反転								
		全体								
画像 応 用	イメージリピート	画像サイズ手動入力								*1
		画像サイズ自動検出								*1
		2リピート								*1
		4リピート								*1
		8リピート								*1
	定形 リピート	2リピート右反転								*1
		2リピート左反転								*1
		枠/折目消し								
		センタリング								
		全面画像								
スタンプ/ オーバーレイ	とじしろ	シフト								
		縮小シフト								
		定型スタンプ								
		ナンバーリング								
		ページ								
	スタンプ/ オーバーレイ	日付/時刻								
		ウォーターマーク								
		ウォーターマークナンバーリング								
		オーバーレイ								
		登録オーバーレイ								
10-100	登録オーバーレイ(登録)	*1								*1
		任意スタンプ								*1

*1:網掛けで選択不可

*3:網掛けで選択不可。但し小冊子(除く無線とじ)との組み合わせでは網掛け解除。

*4:メッセージ表示でスタート禁止

応用設計 第10章

*1・網掛けで選択不可

一・組み合わせ無し

出力設定

第1章

コピーされた用紙の後処理をするオプション類の操作方法を説明します。

両面コピーのとじ方向を設定する	11-2	両面コピーの とじ方向
フィニッシャーで用紙を仕分ける：ソート・グループ・ステープル	11-4	ソート・グループ ステープル
メイントレイへのソート/グループ/仕分けソート/仕分けグループ出力	11-6	中折り/ 中とじ/断裁
メイントレイへのステープル出力	11-7	3つ折り
サブトレイへのソート/グループ出力	11-9	Z折り
2つ折り小冊子をつくる：中折り / 中とじ / 断裁	11-11	パンチ
用紙に3つ折りをつける：3つ折り	11-13	ポスト インサー
用紙にZ折りをつける：Z折り	11-15	手動でフィニッ シャーを使う
用紙にパンチ穴をあける：パンチ	11-17	タンデム出力
カバー紙をつけて出力する：ポストインサー	11-20	併用できな いコピー条件
手動でフィニッシャーを使う	11-22	出力設定
2台の機械で同時に同じ出力をする：タンデム出力	11-25	第1章
タンデム接続 / 出力の中止	11-28	
タンデム接続 / 出力中のトラブルの処置	11-29	
併用できないコピー条件	11-30	

両面コピーのとじ方向を設定する

両面コピー（片面 両面 / 両面 両面）を設定したとき、コピーのとじ方向を選択します。

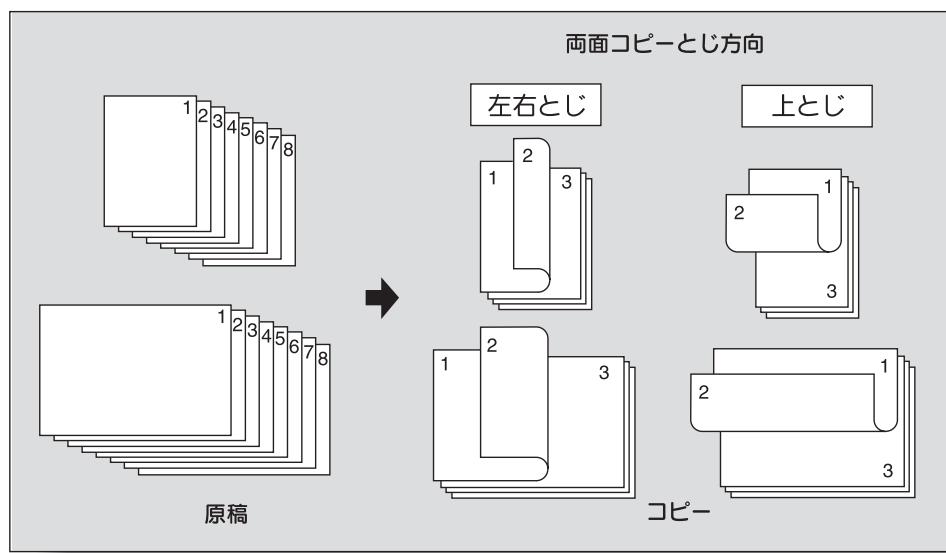
片面原稿または両面原稿が左右とじ（オモテ面とウラ面の天地が同じ）で、両面コピーを上とじ（オモテ面とウラ面の天地が逆）にしたいときに設定します。



両面原稿が上とじ（オモテ面とウラ面の天地が逆）で、両面コピーを左右とじ（オモテ面とウラ面の天地が同じ）にしたいときは、両面原稿のとじ方向の設定をします。詳細は、p. 9-4をごらんください。



- 両面コピーの上とじが機能するのは両面コピーを選択したときだけです。
- 機械がリセットされると、左右とじにもどります。



- 1** コピー画面を表示させ、[出力設定]を押します。
出力設定画面が表示されます。



- 2** 両面とじ方向の〔上とじ〕を押して選択します。



- 3** [OK]を押します。

両面コピーの
とじ方向ソート・グループ
ステープル中折り/
中とじ/断裁

3つ折り

2折り

パンチ

ポスト
インサー手動でフィニッ
シャーを使う

タンデム出力

併用できない
コピー条件

出力設定

フィニッシャーで用紙を仕分ける：ソート・グループ・ステープル

フィニッシャー FS-528/FS-611 にはメイントレイとサブトレイがあります。
ここではフィニッシャーの基本的な下記の機能とその設定方法について説明します。



- フィニッシャー FS-611 は、用紙を中折り、中とじにして出力することができます。詳細は、p. 11-11をごらんください。
- フィニッシャー FS-611 にトリマーユニット TU-502 が装着されていると、断裁して出力することができます。詳細は、p. 11-11をごらんください。
- フィニッシャー FS-611 は、用紙を 3 折りにして印刷面を内側 / 外側に指定して出力することができます。詳細は、p. 11-13をごらんください。
- フィニッシャー FS-528/FS-611 に Z 折りユニット ZU-607 が装着されていると、Z 折りおよびパンチ穴をあけて出力することができます。詳細は、p. 11-17をごらんください。
- フィニッシャー FS-528/FS-611 にパンチキット PK-503 が装着されていると、パンチ穴をあけて出力することができます。
詳細は、p. 11-17をごらんください。
- フィニッシャー FS-528/FS-611 にポストインサークター PI-506 が装着されていると、カバー紙を出力紙に挿入することができます。詳細は、p. 11-20をごらんください。また、マニュアルでフィニッシャーを操作することができます。詳細は、p. 11-22をごらんください。

メイントレイ出力

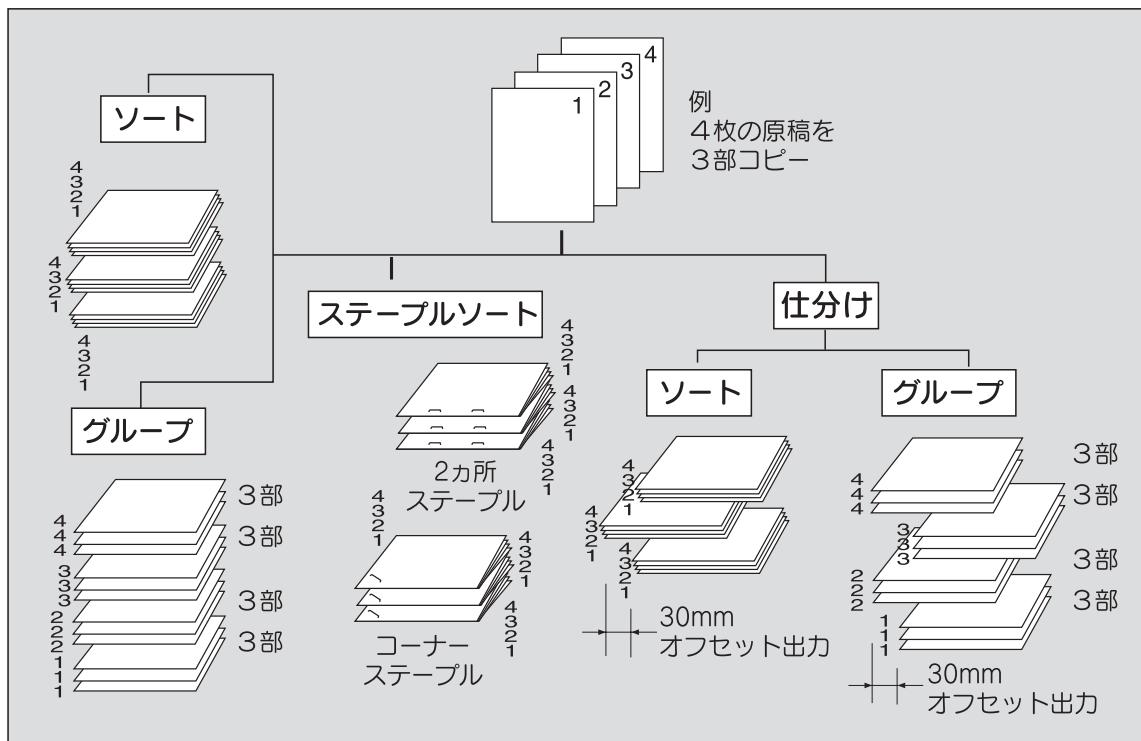
ソート： 原稿と同じページ揃えのコピーを設定部数分出力します。

グループ： 原稿 1 枚に設定部数分のコピーをします。

ステープル： ソート / グループ出力された用紙に平とじコーナ（1 カ所）/ 2 点（2 カ所）ステープルします。

仕分けソート： メイントレイ上に 1 部ごとに約 30mm ずらしてソート出力します。

仕分けグループ： メイントレイ上に 1 部ごとに約 30mm ずらしてグループ出力します。
(仕分けソート / 仕分けグループとステープルの併用はできません。)



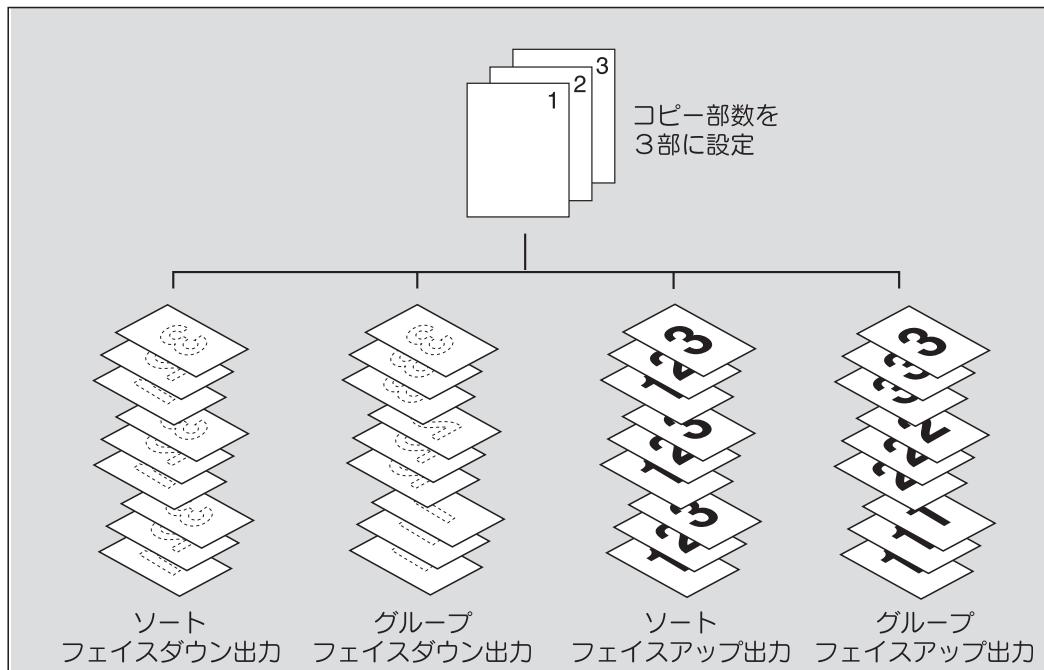
サブトレイ出力

ソート： 原稿と同じページ揃えのコピーを設定部数分出力します。仕分けソート出力はできません。

グループ： 原稿1枚に設定部数分のコピーをします。仕分けグループ出力はできません。



両面とじ方向、排紙面、排紙順の設定は有効になります。



- 初期状態ではフィニッシャーはメイントレイにソート出力します。また、サブトレイや折り／とじトレイ（フィニッシャー FS-611 のみ）に出力が限定されるコピー条件を設定すると、自動的に設定されます。
- フィニッシャーの仕様は別に説明しています。詳細は、p. 3-2「用紙について」をごらんください。



A3□、11" x 17"□などの大きなサイズの用紙がメイントレイにて大きくカールして出力される場合は、以下の設定をします。
(フィニッシャー FS-611 のみ)

1. フィニッシャーFS-611の背面から排紙ガイドを取り出し、メイントレイに取り付けます。
2. コピー完了後、排紙ガイドを取り外し、フィニッシャー背面のホルダーに収納します。

両面コピーの
とじ方向

ソート・グループ
ステープル

中折り/
中とじ/断裁

3つ折り

2折り

パンチ

ポスト
インシーター

手動でフィニッ
シャーを使う

タンデム出力

併用できない
コピー条件

出力設定

メイントレイへのソート/グループ/仕分けソート/仕分けグループ出力

フィニッシャー FS-528/FS-611 が装着されている機械は、そのほかのオプションが装着されていてもメイントレイへのソート出力が初期設定になっています。

下記の手順に従って出力モードを選択してください。



設定メニュー画面で出力設定の初期設定を変更できます。詳細は、POD 管理者編の p. 5-41 をご覧ください。

1 原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6 「原稿をセットする」をご覧ください。

2 コピー画面を表示させて、[出力設定]を押します。
出力設定画面が表示されます。

3 出力モードを選択します。

ソートを選択する場合は、[ソート]を押して反転させます。

グループを選択する場合は、[グループ]を押して反転させます。

仕分けソートを選択する場合は、[仕分けソート]を押して反転させます。

仕分けグループを選択する場合は、[仕分けグループ]を押して反転させます。

必要に応じて排紙面（[フェイスダウン]/[フェイスアップ]）、排紙順（[順方向]/[逆方向]）のボタンを押して反転させます。



排紙順を [逆方向] に設定すると
排紙面は [フェイスアップ] に限定されます。



4 出力設定画面の [OK] を押します。

コピー画面には設定された出力設定アイコンが表示されます。



必ず守ってください
フィニッシャーのメイントレイには、積載枚数に制限があります。故障の原因になりますので、制限枚数を超えないようご注意ください。

メイントレイへのステープル出力

用紙に平とじステープルをします。下記の手順に従って、ステープル位置と左上/右上に1カ所、左/上/右に2カ所の選択をします。

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、コピー編の p. 8-6 「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[ステープル]を押します。

メイントレイにステープル出力されます。出力設定アイコンにはステープル位置が表示されます。



ステープルの種類と位置を変更したいときは下記の手順に進みます。

3 [出力設定] を押します。

出力設定画面が表示されます。

両面コピーの
とじ方向

ソート・グループ
ステープル

中折り/
中とじ/断裁

3つ折り

2折り

パンチ

ポスト
インサー

手動でフィニッ
シャーを使う

タンデム出力

併用できない
コピー条件

出力設定

11

4 [ステープル] を押します。



ステープル選択画面が表示されます。

5 任意のステープル位置ボタンを押して選択します。



メイントレイは用紙が積載するにつれ徐々に下降します。メイントレイの下に物を置いているとぶつかるなどして故障の原因になります。絶対に物を置かないでください。

6 [OK] を押します。

[キャンセル] を押すと、元の設定にもどります。[機能 OFF] を押すと、ステープル出力をオフにします。
出力設定画面にもどります。

7 出力設定画面の [OK] を押します。

コピー画面には設定された出力設定アイコンが表示されます。



フィニッシャーには、積載枚数に制限があります。故障の原因になりますので、制限枚数を超えないようにしてください。

サブトレイへのソート/グループ出力

フィニッシャー FS-528/FS-611が装着されている機械は、メイントレイへのソート出力が初期設定になっています。下記の手順に従って、排紙トレイを変更し、出力モードを選択してください。

- 1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、コピー編の p. 8-6 「原稿をセットする」をごらんください。

- 2 コピー画面を表示させ、〔出力設定〕を押します。
出力設定画面が表示されます。

- 3 [サブトレイ] を押します。



両面コピーの とじ方向
ソート・グループ ・ステープル
中折り/ 中とじ/断裁
3つ折り
2折り
パンチ
ポスト インサー
手動でフィニッ シャーを使う
タンデム出力
併用できない コピー条件

第11章
出力設定

4 出力モードを選択します。

ソート出力を選択する場合は、[ソート]を押して反転させます。

グループ出力を選択する場合は、[グループ]を押して反転させます。

必要に応じて排紙面（[フェイスダウン]/[フェイスアップ]）、排紙順（[順方向]/[逆方向]）のボタンを押して反転させます。



排紙順を[逆方向]に設定すると
排紙面は[フェイスアップ]に限
定されます。



5 出力設定画面の[OK]を押します。

コピー画面には設定された出力設定アイコンが表示さ
れます。



フィニッシャーのサブトレイに
は、積載枚数に制限があります。
故障の原因になりますので、制限
枚数を超えないようご注意ください。

2つ折り小冊子をつくる：中折り / 中とじ / 断裁

フィニッシャー FS-611 を装着していると、応用設定の小冊子と併用して、用紙を2つ折りにしたり、2つ折りにしてセンター2カ所にステープル止めをした中とじ本を作ることができます。

フィニッシャー FS-611 にトリマーユニット TU-502 を装着していると、重ね中折り / 中とじされた用紙の前小口を化粧断裁することができます。



- 用紙サイズ：A3 □、B4 □、A4 □、11"x17"□、8.5"x14"□、8.5"x11"□
- 用紙坪量：62 ~ 105g/m² (216g/m²枚まで挿入可)
- 最大折り / 断裁枚数：
重ね中折り：3枚 (80g/m²紙)
中とじ：20枚 / 19枚 (表紙に厚紙を1枚使用したとき)
重ね中折り断裁：3枚
中とじ断裁：16枚
5枚 (表紙に厚紙を1枚使用したとき)
- 積載制限枚数：
フィニッシャー折り / とじトレイ：約100枚
中折り：3枚とじで約33部 (99枚、396ページ)
中とじ：5枚とじで約20部 (100枚、400ページ)
トリマーユニットトレイ：約512枚
2~5枚とじで約100部 (最大500枚)
6~10枚とじで約50部 (最大500枚)
11枚~16枚とじで約32部 (最大512枚)
17枚~20枚とじで約25部 (最大500枚)
- 原稿はADFにセットします

両面コピーの
とじ方向

ソート・グループ
ステープル

中折り/
中とじ/断裁

3つ折り

2折り

パンチ

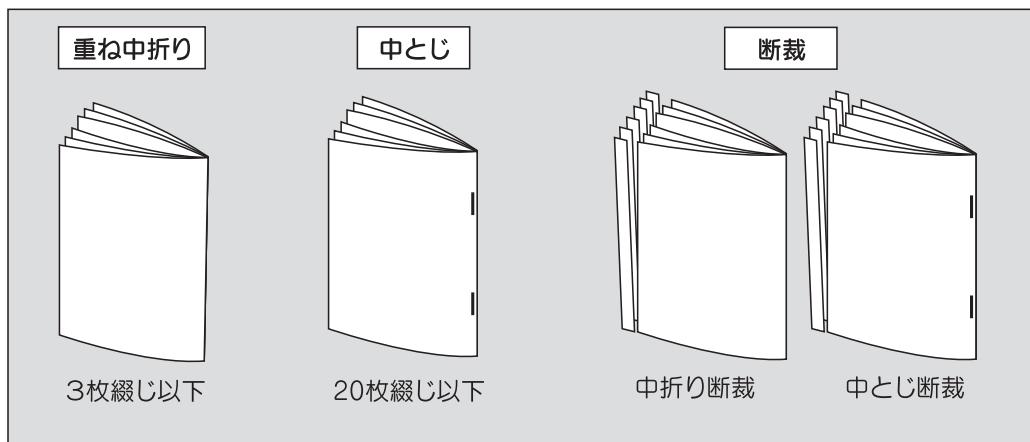
ポスト
インサー

手動でフィニッ
シャーを使う

タンデム出力

併用できない
コピー条件

出力設定
第11章



1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、[出力設定]を押します。
出力設定画面が表示されます。

3 [重ね中折り] または [中とじ] を押します。



断裁の有無を選択する画面が表示されます。

4 [断裁する] または [断裁しない] を押して、断裁の有無を選択します。



5 [OK] を押します。

[キャンセル] を押すと、もとの設定にもどります。[機能OFF] を押すと、断裁出力をオフにします。
出力設定画面にもどります。

6 出力設定画面の [OK] を押します。

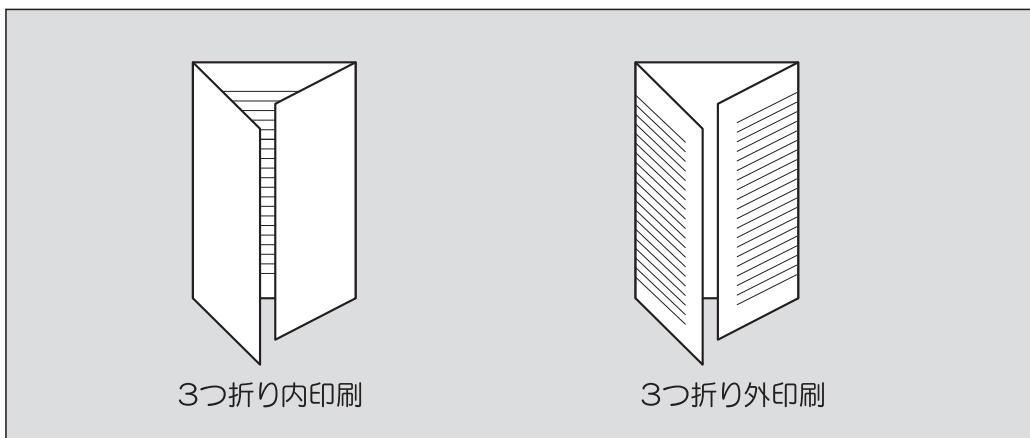
コピー画面には設定された出力設定アイコンが表示されます。応用設定の小冊子が自動的に選択されます。

用紙に3つ折りをつける：3つ折り

フィニッシャー FS-611は、A4 □ または8.5"x11"□の用紙にコピーし、3つ折りにして出力することができます。このとき、コピーする面を折りの内側にするか外側にするか設定できます。



- 重ね折り枚数：最大3枚
- 用紙サイズ：A4 □、8.5"x11" □
- 用紙坪量：62g/m² ~ 105g/m²
- 印刷面：内側、外側
- 排紙トレイ：折り / とじトレイ
- 内印刷を選択すると排紙面はフェイスアップ、排紙順は逆方向に自動設定されます。
- 外印刷を選択すると排紙面はフェイスダウン、排紙順は順方向に自動設定されます。



1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、〔出力設定〕を押します。
出力設定画面が表示されます。

3 〔重ね3つ折り〕を押して選択します。



印刷面を選択する画面が表示されます。
〔外印刷〕または〔内印刷〕押します。



4 [OK]を押します。
〔キャンセル〕を押すと、もとの設定にもどります。〔機能OFF〕を押すと、設定を記憶して出力設定画面にもどります。

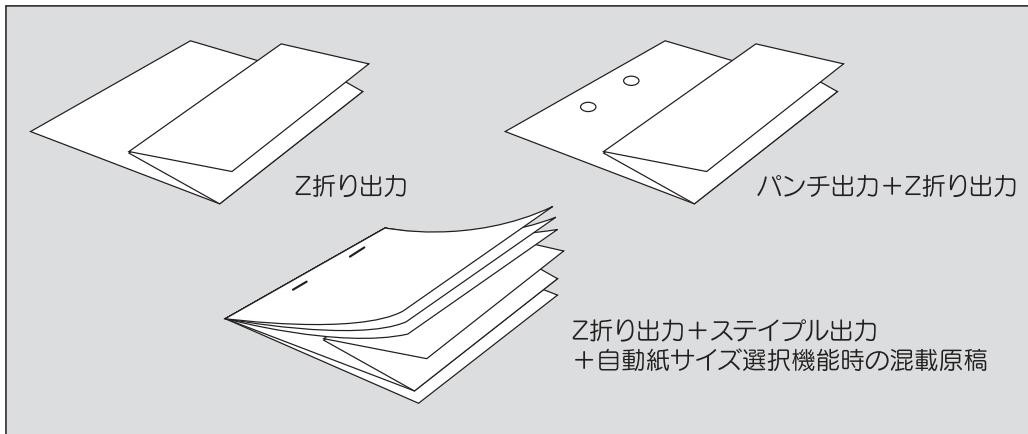
5 出力設定画面の〔OK〕を押します。
コピー画面には、設定された出力設定アイコンが表示されます。

用紙にZ折りをつける：Z折り

フィニッシャー FS-528/FS-611 にZ折りユニットZU-607 を装着していると、A3□、B4□ サイズの用紙をZ 折りにして出力することができます。
Z 折りとパンチ / ステープルの併用が可能です。



- Z折り枚数：1枚
- 用紙サイズ：A3 □、B4 □、11"×17"□、8.5"×14"□
- 用紙坪量：62g/m² ~ 91g/m²
- 折り種類：Z折り、8.5"×14"□のみ2つ折り
- 折り長さ：A3 □：209mm 以下
B4 □：181mm 以下
11"×17"□：215mm 以下
8.5"×14"□：241.7mm 以下
- A3 □とA4 □用紙で可能なZ折りを含んだステープル製本は、B4 □とB5 □用紙ではできません。
- 混載原稿とZ折りを併用する場合、異形列の原稿ではうまくZ折りできないことがあります。
- 普通紙でも用紙の種類によっては折りズレを起こすことがあります。
- 定形サイズ以外の用紙サイズ（検知サイズ設定、不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙）を設定したトレイから給紙できません。



両面コピーの
どじ方向

ソート・グループ
ステープル

中折り/
中どじ/断裁

3つ折り

Z折り

パンチ

ポスト
インサー

手動でフィニッ
シャーを使う

タンデム出力

併用できな
いコピー条件

出力設定
第11章

1 原稿をセットします。



原稿のセットのしかたについては、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させ、〔出力設定〕を押します。

3 [Z折り]を押して選択します。



4 [OK]を押します。

[キャンセル]を押すと、もとの設定にもどります。[標準復帰]を押すと、初期状態にもどります。

5 出力設定画面の[OK]を押します。

コピー画面には、設定された出力設定アイコンが表示されます。

用紙にパンチ穴をあける：パンチ

フィニッシャーFS-528/FS-611にZ折りユニットZU-607、またはパンチキットPK-503を装着していると、ファイリング用の穴を開くことができます。
パンチとZ折り/ステープルの併用が可能です。



OHPフィルム、ラベル紙、第2原図などの特殊紙は、パンチできません。
特殊紙にパンチすると、機械故障の原因になります。



- パンチ穴数：2穴
- パンチ穴径： $6.5\text{mm} \pm 0.5\text{mm}$
- パンチ穴ピッチ： $80\text{mm} \pm 0.5\text{mm}$
- 用紙サイズ：A3～A5
- 用紙坪量：Z折りユニットZU-607： $61\text{g}/\text{m}^2 \sim 170\text{g}/\text{m}^2$
パンチキットPK-503： $61\text{g}/\text{m}^2 \sim 90\text{g}/\text{m}^2$
*: $170\text{g}/\text{m}^2$ 紙は、種類によってうまくパンチされないことがあります。
- 用紙をセットしているトレイの側面ガイド（手差しトレイの場合はガイド板）と用紙の間に隙間をつくりないよう、突き当ててセットします。正しくセットしないと、パンチ穴の位置ズレを起こします。
- パンチモード動作中に自動トレイ切換機能が働くと、パンチ穴がずれことがあります。
- 定形サイズ以外の用紙（検知サイズ設定、不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙）にパンチできません。

両面コピーの
どじ方向

ソート・グループ
ステープル

中折り/
中とじ/断裁

3つ折り

Z折り

パンチ

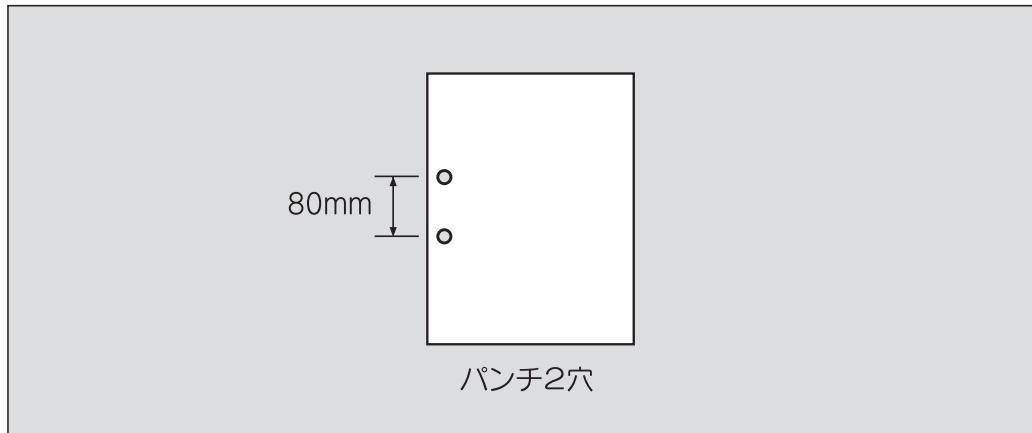
ポスト
インサーター

手動でフィニッ
シャーを使う

タンデム出力

併用できな
いコピー条件

出力設定
11章



用紙にパンチ穴をあける:パンチ(つづき)

1 原稿をセットします。

2 コピー画面を表示させ、[パンチ穴]を押します。
出力設定アイコンにはパンチの種類とパンチ位置が表示されます。



パンチの種類と位置を変更したいときは下記の手順に進みます。

3 [出力設定]を押します。
出力設定画面が表示されます。

4 [パンチ穴]を押します。



パンチ選択画面が表示されます。

5 任意のボタンを押して、パンチの種類と位置を選択します。



6 [OK] を押します。

[キャンセル] を押すと、もとの設定にもどります。[機能OFF] を押すと、パンチ出力をオフにします。出力設定画面にもどります。

7 出力設定画面の [OK] を押します。

コピー画面には設定された出力設定アイコンが表示されます。

必ず守ってください

メイントレイは用紙が積載するにつれ徐々に下降します。メイントレイの下に物を置いているとぶつかるなどして故障の原因になります。絶対に物を置かないでください。

両面コピーの
とじ方向

ソート・グループ
ステーブル

中折り/
中とじ/断裁

3つ折り

2折り

パンチ

ポスト
インサー

手動でフィニッ
ジャーを使う

タンデム出力

併用できない
コピー条件

出力設定
第11章

カバー紙をつけて出力する：ポストインサー

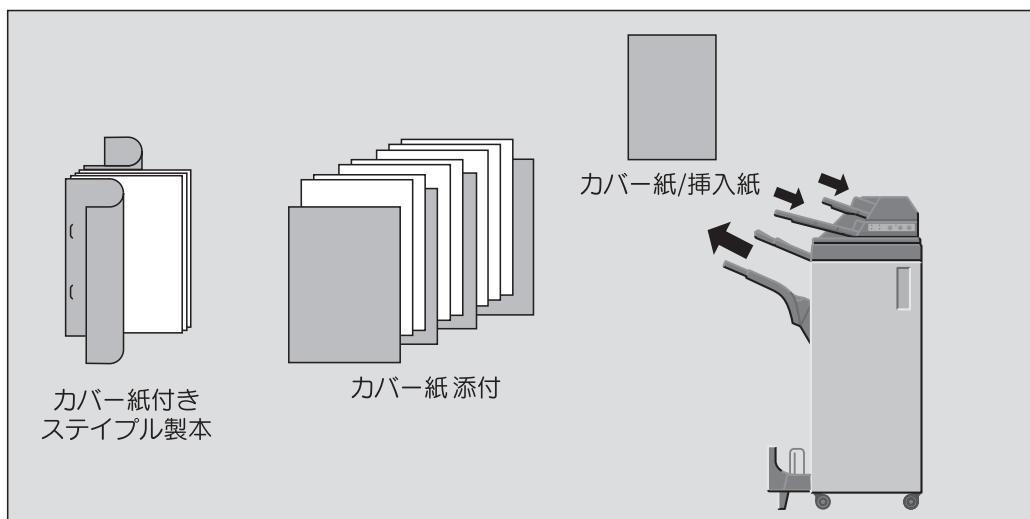
フィニッシャー FS-528/FS-611 にポストインサー PI-506 を装着していると、コピーした用紙にカバー紙をつけて出力できます。

インターフードの機能を使って、ポストインサーの上段 / 下段トレイにセットしたカバー紙をオモテ表紙 / ウラ表紙 / 挿入紙（中扉）として出力紙に添付します。表紙や中扉をつけてステープル製本ができます。

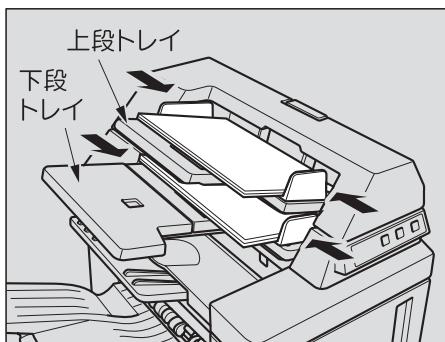
小冊子の「カバー紙あり（白紙）」と中折り / 中とじ / 断裁出力を併用して、カバー紙で表紙をくるんだ製本出力ができます。



- 給紙可能サイズ：上段トレイ A4 □/□、B5 □/□、A5 □、8.5"x11"□/□、5.5"x8.5"□
下段トレイ A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □、11"x17"□、
8.5"x14"□、8.5"x11"□/□、5.5"x8.5"□
- トレイ容量：200枚（80g/m²紙）または30mm以内（上段 / 下段トレイとも）
- 原稿はADFにセットします。
- コピーされる用紙サイズとカバー紙のサイズは同じになります。
- 挿入紙は1～999の範囲でオモテ表紙 / ウラ表紙を含めて最大30枚まで設定できます。
- ポストインサーにセットした用紙にコピーすることはできません。



- 1** ポストインサーの上段/下段トレイにカバー紙をセットします。



- 2** インターシートまたは小冊子の機能を使ってカバー紙をつきます。

両面コピーの
どじ方向ソート・グループ
ステーブル中折り/
中とじ/断裁

3つ折り

Z折り

パンチ

ポスト
インサー手動でフィニッ
シャーを使う

タンデム出力

併用できない
コピー条件
出力設定
11
章

手動でフィニッシャーを使う

フィニッシャー FS-528/FS-611 にポストインサー^トター PI-506 が装着されているとき、ポストインサー^トターの操作パネルを使って手動でフィニッシャーを操作することができます。

ポストインサー^トターの下段トレイに用紙をセットします。上段トレイは使用できません。

オプション構成によって下記の出力をします。

フィニッシャー FS-528/FS-611 + ポストインサー^トター PI-506

- コーナー(1カ所)/2カ所ステープル

フィニッシャー FS-611 + ポストインサー^トター PI-506

- コーナー(1カ所)/2カ所ステープル
- 中とじ
- 3つ折り

フィニッシャー FS-528 + ポストインサー^トター PI-506 + パンチキット PK-503

- コーナー(1カ所)/2カ所ステープル
- パンチ穴

フィニッシャー FS-611 + ポストインサー^トター PI-506 + パンチキット PK-503

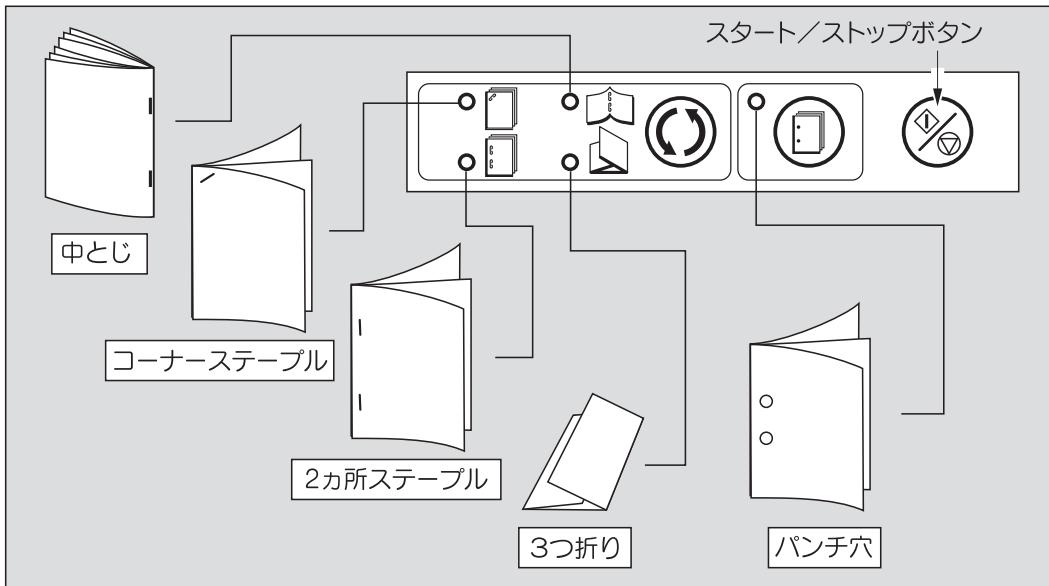
- コーナー(1カ所)/2カ所ステープル
- 中とじ
- 3つ折り
- パンチ穴

Z折りユニット ZU-607 を装着していても、パンチキット PK-503 を装着していなければ、手動でパンチ穴はあけられません。



- 給紙トレイとして使用できるのは下段トレイのみです。上段トレイは使用できません。
- コーナー(1カ所)/2カ所ステープル
用紙: A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □、11"x17"□、8.5"x14"□、8.5"x11"□/□
(50 ~ 200g/m²紙)
- セット枚数: FS-528 50枚以下(A3 □、11"x17"□)、100枚以下(B4 □ ~ 8.5"x11"□)
FS-611 50枚以下
排紙トレイ: メイントレイ
- パンチ穴
用紙: A3 □ ~ A5 □ (50 ~ 170g/m²紙^{*1})
セット枚数: 200枚 (200g/m²紙) または30mm以内
排紙トレイ: メイントレイ
- 中とじ
用紙: A3 □、B4 □、A4 □、11"x17"□、8.5"x14"□/□ (60 ~ 200g/m²紙)
セット枚数: 20枚以下 (80g/m²紙)
19枚以下 (80g/m²紙)(表紙に厚紙を使用したとき)
排紙トレイ: 折り/とじトレイ
- 3つ折り
用紙: A4 □、8.5"x11"□ (60 ~ 80g/m²紙)
セット枚数: 3枚以下
排紙トレイ: 折り/とじトレイ

^{*1}: 170g/m²紙は用紙の種類によってうまくパンチされないことがあります。

両面コピーの
とじ方向ソート・グループ
ステープル中折り/
中とじ/断裁

3つ折り

Z折り

パンチ

ポスト
インサー手動でフィニッ
シャーを使う

タンデム出力

併用できな
いコピー条件

1 ポストインサーの下段トレイに用紙をセットします。

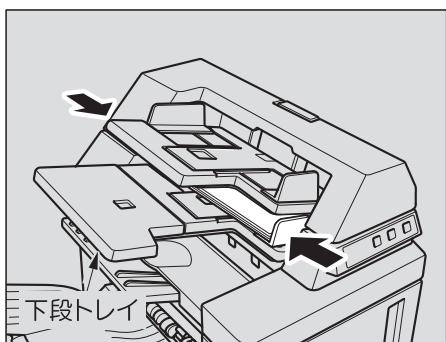
- コーナー（1カ所）/2カ所ステープルの場合：
オモテ面を上にし、ステープルされる側を左にしてセットします。
パンチ穴の場合：
オモテ面を上にし、パンチ穴が開けられる側を左にしてセットします。
中とじの場合：
とじられてオモテ側に出てくる面を上にしてセットします。
3つ折りの場合：
3つ折りになって外側になる面を上にしてセットします。



使うフィニッシャーの機能によって、セットする用紙のサイズ、セット枚数が違います。p. 11-22の原則をごらんください。



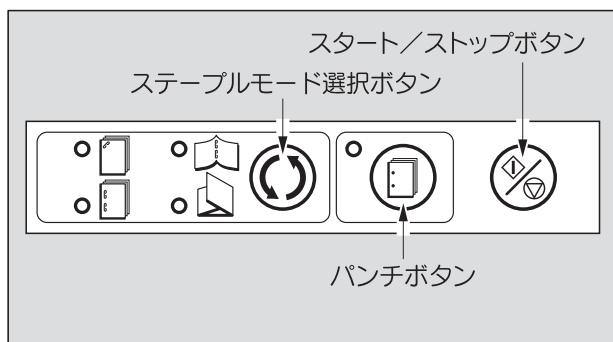
OHP フィルム、ラベル紙、第 2 原図などの特殊紙はパンチできません。特殊紙にパンチするとパンチキットの故障の原因になります



ガイド板を用紙に沿わせます。

出力設定
11
章

2 ステープルモード選択ボタンとパンチボタンを押して、任意のモードを選択します。



コーナー（1カ所）/2カ所ステープル、中とじ、3つ折りを設定するときは、ステープルモード選択ボタンを押して、ランプを点灯させます。

パンチ穴を設定するときは、パンチボタンを押してランプを点灯させます。



パンチ穴は、コーナー（1カ所）/2カ所ステープルと併用できます。併用するときは、ステープルモード選択ボタンを押して、ランプを点灯させます。併用しないときは、パンチのランプ以外をすべて消灯させます。

3 スタート/ストップボタンを押します。



出力中に出力を停止するときは、ポストインサーター操作パネルのスタート/ストップボタンを押します。

2台の機械で同時に同じ出力をする：タンデム出力

1台（マスター機）で設定したコピー条件の複数部数出力を、2台の機械（マスター機と相手機）で分けて同時に出力することができます。大量の出力を行う場合、出力時間を短縮できます。

タンデム出力する場合、2台の機械を下記の方法のいずれかで接続する必要があります。

(1) クロスケーブルで2台を直接接続する

このとき、ネットワーク関連の機能は使用できません。

(2) HUBを介在してストレートケーブルで接続する

クロスケーブル／ストレートケーブルとも、カテゴリー5以上のものを使用します。

タンデム出力には、サービスマンによる設定が必要です。サービス実施店にお申し出ください。



- マスター機と相手機のオプション構成が違うと、タンデム出力はできません。
- 出力設定トップアップ画面の〔タンデム〕を押した機械がマスター機になり、2台の機械はタンデム接続の状態になります。
- タンデム接続状態でのコピー条件の設定、原稿のスキャン、出力の指示はマスター機側で行います。
- パワーセーブは機能します。詳しくは、p. 11-27の詳細3をごらんください。
- オートリセットは機能します。初期状態では、マスター機でオートリセットが働くと、タンデム接続は解除されます。
管理者設定によるコピー初期設定で、タンデムモードを選択するように設定できます。ただし、この設定は、マスター機になる機械のみに設定してください。2台とも設定するとタンデム接続できなくなります。
- ユーザー認証または部門管理が設定されている場合、2台の機械の認証設定および部門管理設定を同じ設定にする必要があります。このとき、マスター機にのみユーザー／部門パスワードを入力することで両方とも使用可能になります。相手機へのパスワード入力は必要ありません。認証設定および部門管理設定の詳細は、POD管理者編をごらんください。
- タンデム出力中にマスター機／相手機のどちらかにトラブルが発生したとき、トラブルを起こしていない方の機械で残りの出力を行ったり、一方の出力が早く終了したときに出力の再割振りを行う割振りリカバリー機能が働きます。設定メニュー画面の管理者設定で本機能のオン／オフが選択できます。詳しくは、POD管理者編の第7章 ユーザー認証／部門管理をごらんください。
- 画像出力保存した画像データをタンデム出力できます。
- セキュリティー強化モードが設定されているときは、タンデム出力はできません。

両面コピーの どじ方向
ソート・グループ ステーブル
中折り/ 中とじ/断裁
3つ折り
2折り
パンチ
ポスト インシーター
手動でフィニッ ジャーを使う
タンデム出力
併用できない コピー条件

出力設定
11 章

1 タンデム接続している2台の機械の電源をONにし、コピー画面を表示させます。

2台ともコピー画面が表示され、コピー可能状態にあることを確認します。

- 2** タンデム接続している1台をマスタ機にします。
マスタ機にする機械のコピー画面の〔出力設定〕を押し
て、出力設定のポップアップ画面を表示させます。



タンデム接続中でも、相手機は通
常のコピーが可能です。

- 〔タンデム〕を押して反転させ、〔OK〕を押します。
マスター機のコピー画面に、マスターアイコンが表示さ
れます。



1台の機械に対して複数のト
レイを使用するコピー条件でコ
ピーする場合は、マスター機／相
手機のトレイサイズを合わせて
ください。

- 3** マスター機側で任意のコピー条件を設定します。

- 4** マスター機側でコピー部数を設定します。
100部と設定すると、マスター機側で50部、相手機側
で50部出力されます。

- 5** マスター機に原稿をセットします。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-
10「コピー部数を設定する」をご
らんください。



- コピー部数を2部以上設定し
ないと、タンデム出力はできま
せん。
- 奇数のコピー部数を設定した
ときは、マスター機側に1部多く
出力されます。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原
稿をセットする」をごらんください。

6 マスター機の【スタート】を押します。

相手機の基本画面のメッセージ表示部にサブアイコンが表示され、タンデム出力を開始します。



フィニッシャー、トリマーユニットには積載制限枚数があります。故障の原因になりますので、積載枚数を超えないようにしてください。

出力が完了すると、タンデム接続は自動的に解除され、マスター機のマスターアイコン、および相手機のサブアイコンは消えます。



詳細1：タンデム出力マルチジョブ

タンデム出力中に、コピー予約機能で次コピーを設定すると、タンデム出力が可能です。コピー予約は、現コピーを含めて100まで設定可能です。

詳細2：タンデム出力と割込コピー

割込みモードは、割込ボタンを押した機械にのみ有効となります。割込モードになった機械のタンデム出力は割込コピーが終了するまで中断されます。

詳細3：タンデム接続とパワーセーブ機能

- 相手機がオートローパワー状態のときタンデム接続すると、相手機はオートローパワーから自動復帰します。
- 相手機がオートシャットオフ状態のとき、タンデム接続はできません。パワーセーブボタンを押してオートシャットオフを解除してください。
- タンデム接続中に、相手機がオートローパワー状態になると、タンデム出力時にオートローパワーから自動復帰します。
- タンデム接続中に、相手機がオートシャットオフ状態になると、タンデム接続は解除されます。
- タンデム接続中に、マスター機がオートローパワー / オートシャットオフになると、タンデム接続は解除されます。マスター機のボタンを押して、オートシャットオフを解除し、最初から設定をしなおしてください。

詳細4：タンデム接続時のトラブル

相手機が下記の状態のとき、「お待ちください 相手機の予約ができません」「相手機がエラーです」「相手機をチェックしてください」などのメッセージが表示され、タンデム接続できません。

相手機がオートシャットオフ状態になっていると、タンデム接続できません。

相手機のパワーセーブボタンを押して、オートシャットオフを解除します。

タンデム接続中に、相手機がオートシャットオフになると、タンデム接続は解除されます。相手機のパワーセーブボタンを押して、オートシャットオフを解除し、最初から設定をしなおしてください。

タンデム接続中に、相手機に紙づまりや紙切れなどのトラブルが発生し、コピーできない状態になると、接続はそのままされていますが、出力はできません。相手機のトラブル処置をして、コピー可能な状態にもどしてください。

タンデム接続中に、相手機にタンデムモード以外のジョブが100予約されていると、タンデム出力できません。予約ジョブが相手機で処理されるまでお待ちください。

両面コピーの
とじ方向

ソート・グループ
ステープル

中折り/
中とじ/断裁

3つ折り

2折り

パンチ

ポスト
インサー

手動でフィニッ
シャーを使う

タンデム出力

併用できない
コピー条件

出力設定

タンデム接続 / 出力の中止

マスター / 相手機のタンデム出力を中断するには :

- 1 マスター機の操作パネルの【ストップ】を押します。

原稿スキャン / タンデム出力は一時停止し、マスター機の液晶画面に、確認のためのポップアップ画面が表示されます。この時点では、タンデム接続は解除されていません。



- 2 [中止] を押します。

スキャンした画面データは完全に消去され、タンデム接続および出力は解除されます。

[継続] を押すと、原稿スキャン / タンデム出力は継続されます。

相手機のみタンデム出力を中断するには :

- 1 相手機の操作パネルの【ストップ】を押します。

相手機のタンデム出力は一時停止し、相手機の液晶画面に、確認のためのポップアップ画面が表示されます。この時点では、タンデム接続は解除されていません。



相手機の一時停止が長く続いていると、割振りリカバリー機能が働き、相手機の出力分けマスター機から出力されます。

- 2 [中止] を押します。

タンデム接続および相手機の出力は解除されます。

[継続] を押すと、中断されていた相手機のタンデム出力は継続されます。

タンデム接続 / 出力中のトラブルの処置

割振りリカバリー機能について :

出力を終了した機械が、相手機の状態を検知し、残り部数を再び割り振り、出力します。

また、タンデム出力中に、どちらかの機械にトラブルが発生したとき、トラブルを起こしていない方の機械が、トラブルのあった方の機械の状態を検知し、割り当てられた出力完了後に、引き続き残りの出力を行う機能です。

どちらかの機械が出力を終えたとき :

相手機の状態を検知し、割振りリカバリー機能によって、残り部数の 1/2 を自動的に出力します。

どちらかの機械に用紙切れ、紙づまり、SC コード (E、F コード) のトラブルが発生したとき :

割振りリカバリー機能によって、出力可能な機械から残りの出力を自動的に行います。

SC コード (E、F コード) が表示された場合は、タンデム出力完了後、それぞれの処置を行ってください。

どちらかの機械がメモリーオーバーフローになったとき :

マスター機がメモリーオーバーフローした場合

原稿スキャンは停止し、タンデム出力はマスター機 / 相手機とも停止します。

この時点では、タンデム接続は解除されていません。単体でメモリーオーバーフローしたときと同じ処置をしてください。(p. 5-52 参照)

相手機がメモリーオーバーフローした場合

予約コピーの処理が進んでメモリーが空く場合は、空きができる時点でタンデム出力を再開します。

空きができるまでは、割振りリカバリー機能が働いてマスター機側で出力されます。

時間の経過によってメモリーに空きができる状態でない場合は、相手機のタンデム出力は解除されます。

残りの出力は、割振りリカバリー機能によりマスター機側で行われます。

どちらかの機械の電源を OFF にしたとき :

どちらの電源を OFF にしても、タンデム接続 / 出力は自動的に解除されます。初めから設定をやり直してください

両面コピーの どじ方向
ソート・グループ ステーブル
中折り/ 中とじ/断裁
3つ折り
2折り
パンチ
ポスト インサーター
手動でフィニッ シャーを使う
タンデム出力
併用できない コピー条件

併用できないコピー条件

機能組み合せ表			原稿設定																
			原稿セット方向		両面 とじ 方向	特殊原稿		原稿サイズ		不定 形 サイズ	インデックス紙 ド								
出力設定 (後処理が一つ でも装着されて いる状態)	後処理	両面とじ方向	上向き		左向き	下向き	右向き	じ	上とじ	ノーマル	混載原稿	Z折れ	1枚送り	定形サイズ	全面以外	全面			
		フェイスアップ		左向き		下向き		右向き		じ		上とじ		ノーマル		混載原稿			
		フェイスタップ		左向き		下向き		右向き		じ		上とじ		ノーマル		混載原稿			
		正順排紙		左向き		下向き		右向き		じ		上とじ		ノーマル		混載原稿			
		逆順排紙		左向き		下向き		右向き		じ		上とじ		ノーマル		混載原稿			
		メイントレイ		左向き		下向き		右向き		じ		上とじ		ノーマル		混載原稿			
		サブトレイ		左向き		下向き		右向き		じ		上とじ		ノーマル		混載原稿			
		仕分けソート		左向き		下向き		右向き		じ		上とじ		ノーマル		混載原稿			
		仕分けグループ		左向き		下向き		右向き		じ		上とじ		ノーマル		混載原稿			
		ソート		左向き		下向き		右向き		じ		上とじ		ノーマル		混載原稿			
		グループ		左向き		下向き		右向き		じ		上とじ		ノーマル		混載原稿			
		ステーブル		左向き		下向き		右向き		じ		上とじ		ノーマル		混載原稿			
		中とじ		左向き		下向き		右向き		じ		上とじ		ノーマル		混載原稿			
		重ね中折り		左向き		下向き		右向き		じ		上とじ		ノーマル		混載原稿			
		重ね3つ折り(内印字)		左向き		下向き		右向き		じ		上とじ		ノーマル		混載原稿			
		重ね3つ折り(外印字)		左向き		下向き		右向き		じ		上とじ		ノーマル		混載原稿			
		パンチ		左向き		下向き		右向き		じ		上とじ		ノーマル		混載原稿			
		Z折り		左向き		下向き		右向き		じ		上とじ		ノーマル		混載原稿			
		タンデム		左向き		下向き		右向き		じ		上とじ		ノーマル		混載原稿			
		HDD保存		左向き		下向き		右向き		じ		上とじ		ノーマル		混載原稿			
		パンチ		左向き		下向き		右向き		じ		上とじ		ノーマル		混載原稿			
出力設定 (後処理が一つ も装着されてい ない状態)	後処理	両面とじ方向	左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		左向き		
		フェイスアップ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		左向き	
		フェイスタップ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		左向き	
		正順排紙		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		左向き	
		逆順排紙		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		左向き	
		仕分けソート		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		左向き	
		仕分けグループ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		左向き	
		ソート		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		左向き	
出力設定 (後処理が一つ も装着されてい ない状態)	後処理	グループ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		左向き	
		タンデム		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		左向き	
		HDD保存		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		左向き	
		ソート		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		左向き	
		グループ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		左向き	
		パンチ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		左向き	
		Z折り		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		左向き	
		タンデム		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		上とじ		左向き		左向き	

*1:中とじ/重ね3つ折り解除してオフセット無しソートに変更。中とじ/重ね3つ折り/重ね3つ折りは網掛け。

*2:グループ解除しオフセット無しソートに変更、仕分けグループ、グループは網掛け

*3:混載自動用紙モードは、メッセージ表示でスタート不可

機能組み合せ表			画質設定						倍率設定					
			画質		下地調整		登録濃度		手動設定		拡大		縮小	
			文字	写真	文字	写真	文字	写真	登録1	登録2	手動	4種	4種	3種
出力設定 (後処理が一つでも装着されている状態)	両面とじ方向	左右とじ												
		上とじ												
	排紙面	フェイスアップ												
		フェイスタウン												
	排紙順	正順排紙												
		逆順排紙												
	排紙トレイ	メイントレイ												
		サブトレイ												
	後処理	仕分けソート												
		仕分けグループ												
		ソート												
		グループ												
		ステーブル												
		中とじ												
		重ね中折り												
		重ね3つ折り(内印字)												
		重ね3つ折り(外印字)												
		パンチ												
		Z折り												
		タンデム												
		HDD保存												
		ステーブル												
		パンチ												
出力設定 (後処理が一つも装着されていない状態)	両面とじ方向	左右とじ												
		上とじ												
	排紙面	フェイスアップ												
		フェイスタウン												
	排紙順	正順排紙												
		逆順排紙												
	後処理	仕分けソート												
		仕分けグループ												
		ソート												
		グループ												
		タンデム												
		HDD保存												
		ソート												
		グループ												

両面コピーの
とじ方向ソート・グループ
ステーブル中折り/
中とじ/断裁

3つ折り

Z折り

パンチ

ポスト
インサー手動でフニッ
シャーを使う

タンデム出力

併用できな
いコピー条件

併用できないコピー条件(つづき)

								両面設定		用紙設定	
								等倍	小倍	自動倍率	
		両面	片面	両面	片面	両面	片面	片面	片面	片面	トレイ1
出力設定 (後処理が一つでも装着されている状態)	両面とじ方向	左右とじ				*2	*2				
		上とじ				*2	*2				
	排紙面	フェイスアップ			*1	*1					
		フェイスダウン									
	排紙順	正順排紙									
		逆順排紙									
	排紙トレイ	メイントレイ									
		サブトレイ									
	後処理	仕分けソート									
		仕分けグルーブ									
		ソート									
		グルーブ									
		ステープル									
		中とじ									
		重ね中折り									
		重ね3つ折り(内印字)									
		重ね3つ折り(外印字)									
		パンチ									
		Z折り									
		タンデム									
出力設定 (後処理が一つも装着されていない状態)	HDD保存										
	後処理	ステープル									
		パンチ									
		左右とじ				*2	*2				
		上とじ				*2	*2				
		フェイスアップ			*1	*1					
		フェイスダウン									
		正順排紙									
		逆順排紙									
		仕分けソート									

*1:フェイスダウンに変更し、フェイスアップは網掛け

*2:組み合わせ可能だがとじ方向としては作用しない

機能組み合せ表		応用設定									
		ページ編集									
		インターフェース			集約				小冊子		
		オモテ 表紙	ウラ 表紙	挿入 紙	ヨコ順		タテ 順		小冊子		無線じ
出力設定 (後処理が一つでも装着されている状態)	両面どじ 方向	本体 レイ	本体 レイ	本体 レイ	本体 レイ	本体 レイ	本体 レイ	算分け	2 in 1	4 in 1	8 in 1
	上とじ										
	排紙面	フェイスアップ									
		フェイスクロス									
	排紙順	正順排紙									
		逆順排紙	*6	*6	*6						
	排紙トレ イ	メイントレイ									
		サブトレイ									
	後処理	仕分けソート									
		仕分けグループ	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1
		ソート									
		グループ	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1	*1
		ステーブル									*6
		中とじ			*11						
		重ね中折り			*11						
		重ね3つ折り(内印字)	*6	*6	*6						
		重ね3つ折り(外印字)			*11						
		パンチ									*6
		Z折り									
		タンデム									
		HDD保存									
		ステーブル									*6
		パンチ									*6
出力設定 (後処理が一つも装着されていない状態)	両面どじ 方向	左右とじ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		上とじ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	排紙面	フェイスアップ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		フェイスクロス	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	排紙順	正順排紙	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		逆順排紙									
	後処理	仕分けソート	*9	- *9	- *9	- *9	- *13	*9	*9	*9	*9
		仕分けグループ	*9	- *9	- *9	- *9	- *13	*9	*9	*9	*9
		ソート	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		グループ	*9	- *9	- *9	- *9	- *9	*9	*9	*9	*9
		タンデム									
		HDD保存									
		ソート									
		グループ	*9	- *9	- *9	- *9	- *9	*9	*9	*9	*9

*1:仕分けグループ、グループ オフセット無しソートに変更し、仕分けグループ、グループ網掛け
*9:オフセット無しソートへ変更し、仕分けソート・仕分けグループ・グループ、ステーブル/中と
[]/重ね中折[]/重ね3つ折[]/パンチ/フ 折[]網掛け

- *11:メッセージ表示でスタート不可
- *13:オフセット無しソートへ変更し、仕分けソート・仕分けグループは網掛け

*15:グループへ変
組み会わせ舞!

第十一章

併用できないコピー条件(つづき)

機能組み合せ表		応用設定															
		ページ編集								画像応用							
		イメージリピート				定形リピート				手動入力				自動検出			
OHP合紙	差込ページ	ページ連写	プログラムジョブ	原稿外消去	ネガポジ反転	全体	画像サイズ手動入力	画像サイズ自動検出	トーリピート								
両面とじ方向	左右とじ																
	上とじ																
排紙面	フェイスアップ																
	フェイスクダウ																
排紙順	正順排紙																
	逆順排紙 *6			*6													
排紙トレイ	メイントレイ																
	サブトレイ																
出力設定 (後処理が一つでも装着されている状態)	仕分けソート *9																
	仕分けグループ *9 *1		*1														
	ソート																
	グループ *9 *1		*1														
	ステープル *2								*16	*16	*16	*16	*16	*16	*1	*1	
	中とじ *6		*5	*7	*5												
	重ね中折り *6		*5	*7	*5												
	重ね3つ折り(内印字) *6		*5	*6	*5												
	重ね3つ折り(外印字) *6		*5	*7	*5												
	パンチ *6																
	Z折り *4																
	タンデム *6																
	HDD保存																
	ステープル *2																
	パンチ *6																
出力設定 (後処理が一つも装着されていない状態)	左右とじ																
	上とじ																
	排紙面	フェイスアップ															
		フェイスクダウ															
	排紙順	正順排紙															
		逆順排紙 *6															
	仕分けソート *9 *9 *14 *9																
	仕分けグループ *9 *9 *14 *9																
	ソート																
	グループ *9 *9		*9														

*1:仕分けグループ、グループ オフセット無しソートに変更し、仕分けグループ、グループ網掛け

*2:ステープル解除し、ステープル釦網掛け、仕分けソートに変更。仕分けグループ・仕分けソート・ソート・グループ、ステープル/中とじ/重ね中折り/重ね3つ折り/パンチ/Z折り網掛け

*4:Z折り解除し、ソートに変更。仕分けソート・仕分けグループ・グループ、ステープル/中とじ/重ね中折り/重ね3つ折り/パンチ/Z折り網掛け

*5:中とじ/重ね中折り/重ね3つ折り解除し全て網掛け、オフセット無しソートモード選択

*6:網掛けで選択不可

*7:中とじ/重ね中折り/重ね3つ折り解除し全て網掛け+仕分けグループ、グループ網掛け、オフセット無しソートモード選択

*9:オフセット無しソートへ変更し、仕分けソート・仕分けグループ・グループ、ステープル/中とじ/重ね中折り/重ね3つ折り/パンチ/Z折り網掛け

*13:オフセット無しソートへ変更し、仕分けソート・仕分けグループは網掛け

*14:オフセット無しグループへ変更し、仕分けソート・仕分けグループ・ソートは網掛け。オフセット無しグループ禁止の場合は、オフセット無しソートへ変更し網掛け

*15:グループへ変更し、仕分けソート・仕分けグループは網掛け

*16 DipSW28-7(リピート+ステープル禁止/許可切り替え)が0(禁止)の場合は網かけで選択不可

			応用設定					
			画像応用					
			とじ しろ	スタンプ/オーバーレイ				
機能組み合せ表								
出力設定 (後処理が一つでも装着されている状態)	両面とじ 方向	左右とじ 上とじ						
	排紙面	フェイスアップ フェイスクロウ						
	排紙順	正順排紙 逆順排紙						
	排紙トレイ	メイントレイ サブトレイ						
	後処理	仕分けソート 仕分けグループ ソート グループ ステーブル 中とじ 重ね中折り 重ね3つ折り(内印字) 重ね3つ折り(外印字) パンチ Z折り タンデム	棹折り消し センタリング 全面画像 シフト 縮小シフト ト 定型スタンプ ナノバーリング ページ 日付/時刻					
出力設定 (後処理が一つも装着されていない状態)	両面とじ 方向	左右とじ 上とじ						
	排紙面	フェイスアップ フェイスクロウ						
	排紙順	正順排紙 逆順排紙						
	後処理	仕分けソート 仕分けグループ ソート グループ タンデム					*13	*8
		HDD保存						
		ステーブル						
		パンチ						

*6:網掛けで選択不可

*8:オフセット無しソートに変更、パンチ/ステーブル解除、全ての折解除し、出力設定鈎網掛け

*15:グループへ変更し、仕分けソート・仕分けグループは網掛け

両面コピーの
とじ方向ソート・グループ
ステーブル中折り/
中とじ/断裁

3つ折り

Z折り

パンチ

ポスト
インサーター手動でフィニッ
シャーを使う

タンデム出力

併用できな
い
コピー条件出力設定
第11章

併用できないコピー条件(つづき)

機能組み合せ表		出力設定											
		両面とじ 方向		排紙面		排紙順		排紙トレイ		後処理			
		左右 とじ	上とじ	フェイスアップ	フェイスタップ	正順排紙	逆順排紙	emainトレイ	サブトレイ	トート	仕分けグループ	ソート	グループ
出力設定	両面とじ方向	左右とじ	*11										*12
	上とじ	*11											*12
	排紙面				*11								x *5*11
	フェイスタップ												
	フェイスタップ												
	排紙順												
	正順排紙												
	逆順排紙				x *11							x x	
	排紙トレイ												*1*11
	メイントレイ												
後処理	サブトレイ												*2*11 *1*11
	仕分けソート												
	仕分けグループ												
	ソート												
	グループ												
	ステーブル	*12	*12	x		x		x	*11	*11			*11
	中とじ			x		x	x	x	*11	*11			
	重ね中折り			x		x	x	x	*11	*11			
	重ね3つ折り内印字			x x		x	x	x	*11	*11			
	重ね3つ折り外印字			x		x	x	x	*11	*11			
	パンチ	*12	*12	x		x		x					*12 *11
	Z折り			x		x		x					*11
	タンデム									x	x		

*1 排紙トレイは折り排紙トレイとなり、メイン、サブともに選択なしで網掛けとなる。

*2 排紙トレイはメイントレイに強制変更。

*3 ソート、グループともに仕分けなしとなる。

*4 仕分けソート選択時、ソートに変更しステーブル選択

仕分けグループ選択時、グループに変更しステーブル選択

*5 フェイスタップに変更

*6 フェイスアップに変更

*11 選択されたら先選択を強制解除し後選択を優先する

*12 とじ方向の不一致(ステーブル位置/パンチ位置/両面とじ方向)はメッセージ排他を実施する

x 網掛けで選択不可(強制解除含む)

機能組み合せ表		出力設定					
		後処理					
		重ね中折り	重ね3つ折り内印字	重ね3つ折り外印字	パンチ	Z折り	タンデム
出力設定	両面とじ方向	左右とじ			*12		
		上とじ			*12		
	排紙面	フェイスアップ	*5*11		*5*11	X	*5*11
		フェイスダウン		*6*11			
	排紙順	正順排紙		*7*11			
		逆順排紙	X		X	X	
	排紙トレイ	メイントレイ	*1*11	*1*11	*1*11		
		サブトレイ	*1*11	*1*11	*1*11	*2*11	*2*11
		仕分けソート	*11	*11	*11		
		仕分けグループ	*11	*11	*11		X
		ソート					
		グループ	*11	*11	*11		X
		ステーブル	*11	*11	*11	*12	
		中とじ	*11	*11	*11	*9*11	*11
後処理	重ね中折り		*11	*11	*11	*9*11	*11
	重ね3つ折り内印		*11		*11	X	*11
	重ね3つ折り外印		*11	*11		X	*11
		パンチ	*11	*11	*11		
		Z折り	*11	*11	*11		
		タンデム					

*1 排紙トレイは折り排紙トレイとなり、メイン、サブともに選択なしで網掛けとなる。

*2 排紙トレイはメイントレイに強制変更。

*5 フェイスダウンに変更

*6 フェイスアップに変更

*9 メイントレイ+ソート選択

*11 選択されたら先選択を強制解除し後選択を優先する

*12 とじ方向の不一致（ステーブル位置/パンチ位置/両面とじ方向）はメッセージ排他を実施する

X 網掛けで選択不可（強制解除含む）

両面コピーの
とじ方向

ソート・グループ
ステーブル

中折り/
中とじ/断裁

3つ折り

Z折り

パンチ

ポスト
インシーター

手動でフニッ
シャーを使う

タンデム出力

併用できな
い
コピー条件

出力設
定
第
11
章

ジョブリスト

第12章

過去、現在、予約のジョブの状態を確認、操作する方法を説明します。

ジョブリスト画面の概要	12-2
ジョブリスト画面の操作	12-3
予約ジョブを確認／操作する	12-3
出力履歴を確認する	12-4
送信履歴を確認する	12-5
未出力ジョブを確認する	12-6
保留ジョブを確認／操作する	12-7
展開中ジョブを操作する	12-9

ジョブリスト
画面の概要

ジョブリスト
画面の操作

ジョブリスト
画面の操作

ジョブリスト画面の概要

ジョブリスト画面を表示させて、下記の項目を確認／操作で
きます。

- 予約ジョブ
- 出力履歴
- 送信履歴
- 未出力ジョブ
- 保留ジョブ（保留ジョブがある場合、〔保留ジョブ〕の
文字が赤くなります。）
- 展開中ジョブ



ここで確認／操作できるジョブ
は、コピーのほかに、プリント、
スキャナー関連のジョブも含ま
れます。

ジョブリスト画面の表示は、下記の手順に従ってください。

- 1 画面の〔ジョブリスト〕タブを押します。
ジョブリスト画面が表示されます。



- 2 ジョブ画面下の任意のボタンを押します。
各画面の詳細や操作方法はそれぞれの画面説明ページ
をごらんください。
- 3 ジョブリストモードから出るときはそのほかのタ
ブを押します。

ジョブリスト画面の操作

ジョブリスト画面のジョブの確認および操作方法について説明します。

予約ジョブを確認 / 操作する

全予約ジョブの状態をリスト表示します。

リストには下記の情報が表記されています。

- ジョブNo. : コピー・ジョブ / プリントジョブの共通連番
- モード : コピー / プリントなど (2つのモードの区別)
- 状 態 : 出力中 / 予約など (ジョブの現在の状態)
- ページ数 : ページ数を最大 5 ケタ表示
- 部 数 : 部数を最大 4 ケタ表示
- 残枚数 : ページ数 × 部数 = 出力残枚数を最大 4 ケタ表示
- 時間 (分): 各ジョブの出力に要する時間 (分)

各予約ジョブの設定内容の確認と、優先出力 / 優先 / 保留 / 削除 / 詳細 / 一括削除の操作ができます。

下記の手順に従ってください。

- 1** 画面の [ジョブリスト] タブを押し、[予約ジョブ] を押します。



画面上で予約ジョブの状態を確認します。

予約ジョブが 8 つ以上設定されている場合は [次頁] を押して表示させます。

- 2** 操作したい予約ジョブボタンを押して選択し、ジョブ操作ボタンを押します。

先に出力したいジョブを指定する :

次に出力したいジョブボタンを押して選択し、[優先出力] を押します。現在出力中のジョブボタンの下に移動します。

ジョブの出力順を変更する :

順番を先にしたいジョブボタンを押して選択し、[優先] を押します。キーを押すごとに選択したジョブボタンが上にスライドしていきます。



出力中のジョブボタンに対しては機能しません。



入れ替えできない場合は、「このジョブは入れ替えできません」と表示されます。

ジョブリスト
画面の概要

ジョブリスト
画面の操作

ジョブリスト
操作手順

予約ジョブを保留にする：

保留にしたいジョブボタンを押して選択し、[保留]を押します。出力されずにジョブとしては保存されている状態になります。

予約ジョブを削除する：

削除したいジョブボタンを押して選択し、[削除]を押します。全ての予約ジョブを削除する場合は[一括削除]を押します。削除確認のポップアップ画面が表示されます。[はい]を押します。

予約ジョブの設定内容を確認する：

設定内容を確認したいジョブボタンを押して選択し、[詳細]を押します。設定内容画面が表示されます。内容確認後、[閉じる]を押します。



このとき、ジョブリスト画面の[保留ジョブ]の文字が赤くなります。このボタンを押して保留ジョブを出力できます。詳細は、p. 12-7をごらんください。



削除したジョブのデータはすべて消去されます。

出力履歴を確認する

出力履歴をリスト表示します。

リストには下記の情報が表記されています。

- ジョブNo.: コピージョブ / プリントジョブの共通連番
- モード: コピー / プリントなど(2つのモードの区別)
- ページ数: ページ数を最大5ヶタ表示
- 部 数: 部数を最大4ヶタ表示
- 結 果: 完了 / キャンセルなど
- 時 刻: 出力をした時間

出力した各ジョブの設定内容を確認できます。

下記の手順に従ってください。

- 1 画面の[ジョブリスト]タブを押し、[出力履歴]を押します。



画面上で出力したジョブの状態を確認します。

出力したジョブが8つ以上ある場合は[次頁]を押して表示させます。

- 2** 確認したいジョブボタンを押して選択し、[詳細]を押します。
設定内容画面が表示されます。内容確認後、[閉じる]を押します。

送信履歴を確認する

送信履歴をリスト表示します。

リストには下記の情報が表記されています。

- ジョブNo. : コピージョブ / プリントジョブの共通連番
- モード : E-Mail / FTP / SMB / HDDなど(4つのモードの区別)
- 送信先 : 送信した宛先 (24文字)
- 結果 : 完了 / キャンセル / エラー内容
- 時刻 : 送信した時間

送信した各ジョブの設定内容を確認できます。

下記の手順に従ってください。

- 1** 画面の [ジョブリスト] タブを押し、[送信履歴]を押します。



画面上で送信したジョブの状態を確認します。
送信したジョブが 8 つ以上ある場合は [次頁] を押して表示させます。

- 2** 確認したいジョブボタンを押して選択し、[詳細]を押します。
設定内容画面が表示されます。内容確認後、[閉じる]を押します。

ジョブリスト
画面の概要

ジョブリスト
画面の操作

第2章
ジョブリスト

未出力ジョブを確認する

未出力ジョブをリスト表示します。

リストには下記の情報が表記されています。

- ジョブNo. : コピージョブ / プリントジョブの共通連番
- 未出力要因 : メモリーオーバーフロー / キャンセルなど
(出力できなかった要因)

各未出力ジョブの設定内容を確認できます。

下記の手順に従ってください。

- 1 画面の〔ジョブリスト〕タブを押し、〔未出力ジョブ〕を押します。



画面上で未出力ジョブの状態を確認します。

未出力ジョブが8つ以上ある場合は〔次頁〕を押して表示させます。

- 2 確認したいジョブボタンを押して選択し、〔詳細〕を押します。

設定内容画面が表示されます。内容確認後、〔閉じる〕を押します。

保留ジョブを確認 / 操作する

全保留ジョブの状態をリスト表示します。

リストには下記の情報が表記されています。

- ジョブNo. : コピージョブ / プリントジョブの共通連番
 - モード : コピー / プリントなど(2つのモードの区別)
 - 状態 : 出力保留中
 - ページ数 : ページ数を最大5ヶタ表示
 - 部数 : 部数を最大4ヶタ表示
 - 残枚数 : ページ数 × 部数 = 出力残枚数を最大4ヶタ表示
 - 時間(分) : 各ジョブの出力に要する時間(分)

各保留ジョブの設定内容の確認と、保留解除 / 保留一括解除の操作ができます

下記の手順に従ってください。

1 画面の[ジョブリスト]タブを押し、[保留ジョブ]を押します

保留ジョブがある場合、[保留ジョブ] の文字が赤くなっています



画面上で保留ジョブの状態を確認します。
保留ジョブが8つ以上設定されている場合は〔次頁〕を押して表示させます。

ジョブリスト
画面の概要

ジョブリスト
画面の操作

2 操作したい保留ジョブボタンを押して選択し、
ジョブ操作キーを押します。

保留ジョブを出力する：

保留を解除して出力したいジョブボタンを押して選択し、〔保留解除〕を押します。現在のジョブ順で出力されます。

保留ジョブを一括解除する：

〔保留一括解除〕を押します。

保留ジョブの設定内容を確認する：

設定内容を確認したい保留ジョブボタンを押して選択し、〔詳細〕を押します。設定内容画面が表示されます。内容確認後、〔閉じる〕を押します。



出力順を確認する場合は、〔予約ジョブ〕を押してリストを表示させて確認してください。



保留ジョブのデータはすべて消去されます。

展開中ジョブを操作する

展開中ジョブをリスト表示します。

リストには下記の情報が表記されています。

- ジョブNo. : コピージョブ / プリントジョブの共通連番
- 状 態 : RIP待ち / 受信中 (現在プリントジョブを行っている項目)

展開中ジョブの優先出力 / 優先 / 削除の操作ができます。

下記の手順に従ってください。

- 1** 画面の〔ジョブリスト〕タブを押し、〔展開中ジョブ〕を押します。



画面上で展開中ジョブの状態を確認します。

展開中ジョブが8つ以上設定されている場合は〔次頁〕を押して表示させます。

- 2** 操作したい展開中ジョブボタンを押して選択し、ジョブ操作キーを押します。

先に出力したいジョブを指定する :

次に出力したいジョブボタンを押して選択し、〔優先出力〕を押します。現在出力中のジョブボタンの下に移動します。

ジョブの出力順を変更する :

順番を先にしたいジョブボタンを押して選択し、〔優先〕を押します。キーを押すごとに選択したジョブボタンが上にスライドしていきます。

展開中ジョブを削除する :

削除したいジョブボタンを押して選択し、〔削除〕を押します。削除確認のポップアップ画面が表示されます。〔はい〕を押します。



出力中のジョブボタンに対しては機能しません。



入れ替えできない場合は、「このジョブは入れ替えできません」と表示されます。



選択したジョブのデータはすべて消去されます。

ジョブリスト
画面の概要

ジョブリスト
画面の操作

第2章
ジョブリスト

コピー操作補助機能

第13章

コピーするときに手助けになる機能について説明します。

1部出力して設定条件を確認する：確認コピー	13-2
コピーする前に設定内容を確認する：設定内容	13-4
割り込んでコピーする：割込み	13-7
設定を登録し、呼び出す：プログラム	13-9
設定を登録する	13-9
設定を呼び出す	13-11
ワンタッチでコピー条件を呼び出す：ファンクションキー	13-13
最後に出力したコピー条件でコピーする	13-15
操作方法解説の画面を表示させる：ヘルプ	13-16
ヘルプ画面を表示させる	13-17
キーやボタンの応答時間を調整する：キー応答	13-18
ブラウザで本機を操作・監視する	13-19
ブラウザで本機を操作する：リモートパネル	13-20
ブラウザで本機の状態を監視する：リモートモニター	13-21
ブラウザで本機の状態を監視する：マルチモニター	13-22

確認コピー
設定内容
割込み
プログラム
ファンクションキー
最後のコピー条件でコピー
ヘルプ
キー応答
ブラウザで操作・監視

第13章
コピー操作補助機能

1 部出力して設定条件を確認する：確認コピー

複数部数のコピーを出力するとき、1部だけ出力して仕上がりを確認します。大量コピーの失敗を未然に防ぎます。



確認コピーは、最初に原稿をスキャンし、1部だけ出力します。原稿が100枚以上ある場合や原稿ガラスで原稿をスキャンする場合は、最初に連続読み込みモードを使用して全原稿をスキャンします。

1 原稿をセットし、コピー画面を表示させて任意のコピー条件を設定します。

[連続読み込み]が設定されているときは、手順**2**に進む前に、操作パネルの【スタート】を押して全原稿をスキャンし、[読み込み完了]を押します。

2 操作パネルの【確認コピー】を押します。

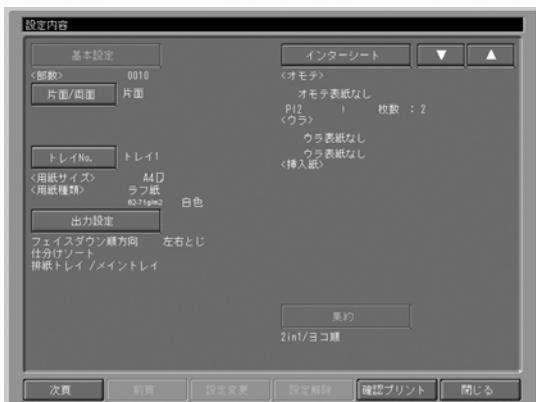
原稿をスキャンし、1部出力します。
連続読み込みモードでスキャンしていると、すぐに1部出力します。
設定内容画面が表示されます。



確認コピーしたジョブを出力しない場合は【ストップ】を押し、画面の【中止】を押します。画像データは消去されます。

3 設定内容を確認します。

応用設定の設定によっては、[次頁][前頁]が表示されます。押して内容を確認します。



変更がない場合は、手順**5**に進みます。

4 必要に応じてコピー条件を変更します。

変更可能なコピー条件のボタンは縁取りされていて、押して〔設定変更〕を押すと、それぞれの階層画面が表示されます。



コピー条件を変更したあとに、再度確認コピーをして変更結果を確認することができます。

〔確認プリント〕を押します。1部出力して再度、設定内容画面が表示されます。

5 [閉じる] を押します。

コピー画面にもどります。

6 操作パネルの【スタート】を押します。

設定部数の一括出力を始めます。

- 確認コピー**
- 設定内容
- 割込み
- プログラム
- ファンクションキー
- 最後のコピー条件でコピー
- ヘルプ
- キー応答
- プラウザで操作・監視

コピーする前に設定内容を確認する：設定内容

原稿をスキャンする前に設定確認画面を表示させて設定したコピー条件を確認し、必要に応じて変更します。また、変更の過程で原稿をスキャンし、確認コピーを出力して仕上がりを確認することができます。

これにより、大量コピーの失敗を未然に防ぎます。



- ここでの設定内容の確認は、原稿をスキャンする前の確認/変更なので、設定確認画面でトレイ設定を除く全ての設定内容を変更することができます。
- 原稿をセットしたり、〔連続読み込み〕で原稿をスキャンすると、確認コピーで確認することができます。

1 コピー画面を表示させて任意のコピー条件を設定します。

2 操作パネルの【設定内容】を押します。
設定内容画面が表示されます。



3 設定内容を確認します。
応用設定の設定によっては、〔次頁〕〔前頁〕が表示されます。押して内容を確認します。



変更がない場合は、手順**6**に進みます。

4 必要に応じてコピー条件を変更します。

変更したい設定ボタン（[基本設定]、[出力設定]、[原稿設定]、[画質設定]、応用設定の項目ボタン）を押して、[設定変更]を押します。

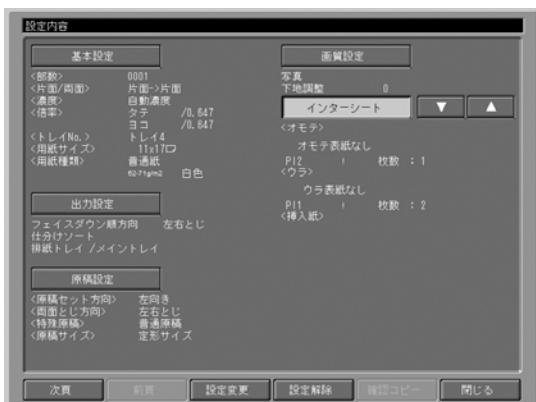
表示された各画面で任意に設定を変更し、操作パネルの【設定内容】を押して設定内容画面にもどります。



応用設定：

設定されている機能がボタン表示されています。ボタンを押して[設定変更]を押すと、その階層画面に切り替わります。

機能表示ボタンを押して反転させ、[設定解除]を押すと設定が解除されます。



階層画面のない応用設定は、プログラムジョブ、原稿外消去、ネガポジ反転、センタリング、全面画像、オーバーレイです。

これらの機能は、機能表示ボタンを押しても[設定変更]のボタンは表示されず、[設定解除]ボタンのみ機能します。



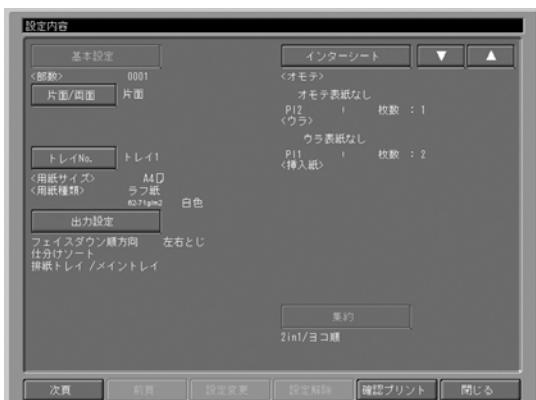
そのままコピーを開始する場合は、手順6に進みます。

確認コピー
設定内容
割込み
プログラム
ファンクションキー
最後のコピー条件でコピー
ヘルプ
キー応答
プラウザで操作・監視

5 原稿をセットし、確認コピーを出力します。

原稿をセットし、【確認コピー】または操作パネルの【確認コピー】を押します。

【連続読み込み】が設定されているときは、操作パネルの【スタート】を押して全原稿をスキャンし、【読み完了】を押してから【確認コピー】/【確認コピー】を押します。



詳しく説明します

確認コピーを中断したい場合は、【ストップ】を押します。スキャンした原稿の画像データは消去されません。

詳しく説明します

変更したい設定が変更できない場合は、【ストップ】を押します。画像データは削除されます。【リセット】を押して設定を最初から始めてください。



設定内容画面が表示されます。

ここでさらにコピー条件を変更する場合は、確認コピーの手順4に進みます。p. 13-4をごらんください。

6 必要に応じて設定部数を変更します。

7 原稿をセットして【スタート】を押します。

確認コピーをしている場合は、改めて原稿をスキャンする必要はありません。
一括出力を始めます。

割り込んでコピーする：割込み

機械が動作中に一時的に違う設定でコピーを使用するのを割込みといいます。操作パネルの【割込み】を押すと、動作中の機械が割込み可能なタイミングになったときに動作を一時的に停止し、異なる設定のコピーができます。割込み終了後は、割込み前の状態で動作を再開します。



- 下記の条件のときは【割込み】を押しても割込みモードになりません。
一括出力または原稿スキャンしていないとき
登録オーバーレイモードのとき
サービスコール中／紙づまりなどトラブルの発生中
割込みモードでコピー中
- 割込みモードでのコピー予約は使用できません。
- 割込みモード中は、オートローパワー／オートシャットオフは機能しません。

1 操作パネルの【割込み】を押します。



確認コピー

設定内容

割込み

プログラム

ファンクションキー

最後のコピー条件でコピー

ヘルプ

キー応答

プラウザで操作・監視

第3章
コピー操作補助機能

割込み可能になるまで割込みランプが点滅し、割込みが可能になると点灯に変わります。

割込みモードのコピー画面が表示されます。



2 任意のコピー条件を設定します。

コピー予約以外のコピー条件の設定が可能です。

3 原稿をセットし、【スタート】を押します。
割込みコピーを出力します。

4 割込みコピーが完了したら、【割込み】を押します。
割込みランプが消灯し、機械状態画面が表示され、機械
は割込み前の設定にもどります。

5 【スタート】を押します。
割込み前の動作を再開します。

設定を登録し、呼び出す：プログラム

使用頻度の高い設定を登録します。登録された設定は、簡単な操作で呼び出すことができます。

設定を登録する

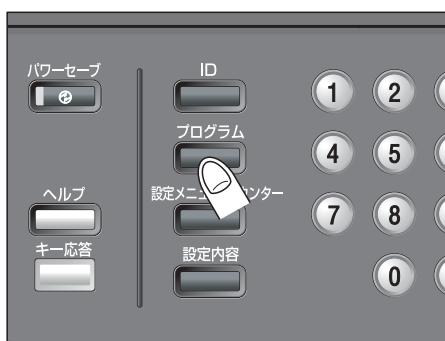
コピー条件の設定を登録する方法を説明します。



- 登録できる設定は、基本設定、原稿設定、画質設定、応用設定、出力設定、コピー部数です。
- 登録した設定には、ジョブNo. (01 ~ 30) が割り当てられ名前をつけます。(必ず名前をつける必要があります。)
- 30まで登録できます。

1 コピー画面を表示させ、任意のコピー条件を設定します。

2 【プログラム】を押します。



登録したコピー条件をファンクションキーに設定することができます。

確認コピー
設定内容
割込み
プログラム
ファンクションキー
最後のコピー条件でコピー
ヘルプ
キー応答
プラウザで操作・監視

第3章
コピー操作補助機能

設定メモリー画面が表示されます。

3 [登録]を押します。



設定内容画面が表示されます。

4 登録する設定内容を確認し、[OK] を押します。



詳しく説明します

設定内容に間違いがあった場合は、設定内容画面の [キャンセル] を押します。コピー画面にもどりますので、正しいコピー条件を設定し直してください。

設定メモリー画面にもどります。

5 任意のジョブボタンを押して、[OK] を押します。



01 ~ 18までのジョブボタンが表示されています。
[次頁] を押すと 19 ~ 30までのジョブボタンが表示されます。

ロックマーク [?] と名前のないボタンは未登録です。
登録可能です。

名前が表示されているボタンは登録済みですが、ロックマーク [?] がなければ上書きできます。

ロックマーク [?]のあるボタンへの登録はできません。

[OK] を押すと、文字入力画面が表示されます。

6 ジョブ名を入力して、[OK] を押します。



名前は半角16文字、全角8文字まで入力できます。
[OK] を押すと、設定メモリー画面にもどります。ジョブボタンには、入力した名前が表示されます。

- 文字入力に関しては、「付録：文字の入力のしかた」で説明しています。
- 必ず名前をつける必要はありません。名前をつけずに [OK] を押すと、ジョブボタンに「*」(アスタリスク)が16文字分表示されます。

7 設定メモリー画面の [OK] を押します。

設定を呼び出す

登録した設定を呼び出す方法を説明します。



設定メモリー画面を表示させるときは、コピー画面を表示させてから【プログラム】を押します。機械状態画面等が表示されているときは、設定メモリー画面は表示されません。

1 コピー画面を表示させて、操作パネルの【プログラム】を押します。



設定メモリー画面が表示されます。

2 呼び出すジョブボタンを押します。



01～18までのジョブボタンが表示されています。
〔次頁〕を押すと19～30までのジョブボタンが表示されます。

3 〔ジョブチェック〕を押します。
設定内容画面が表示されます。



設定内容を確認します。

4 設定内容画面の〔OK〕を押します。
登録されていたコピー条件が呼び出され、コピー画面が表示されます。

5 原稿をセットし、【スタート】を押します。

ワンタッチでコピー条件を呼び出す：ファンクションキー

あらかじめ登録したプログラムのうち5つまでをファンクションキーに割り当てることができます。

ここでは、ファンクションキーのワンタッチで任意のコピー条件設定（設定メモリー）を呼び出してコピーする方法を説明します。



- プログラムの設定登録のしかたの詳細は、p. 13-9をごらんください。
- ファンクションキーへの割り当ては、設定メニュー画面で行います。詳細は、POD 管理者編の p. 5-23をごらんください。



- ファンクションキーに割り当てるコピー条件は、プログラムに登録したコピー条件のみです。
- ファンクションキーとして、割り当てる個数は最大5個です。
- ファンクションキーに割り当てるプログラムのワンタッチ呼び出しは、コピー画面を表示させたときのみ可能で、それ以外のモード（スキャン、保存、読み出し、ジョブリスト、機械状態）での使用はできません。
- ファンクションキーに割り当てるコピー条件と併用できないコピー条件を設定すると、そのファンクションキーは網掛けされ機能しなくなります。
- ファンクションキーに割り当てるプログラムを削除すると、ファンクションキーも機能しなくなります。

1 原稿をセットします。



原稿セットの詳細は、p. 8-6「原稿をセットする」をごらんください。

2 コピー画面を表示させます。

初期設定では、最初機械状態画面が表示されています。
機械状態画面の〔コピー〕タブを押して、コピー画面を表示させます。



確認コピー
設定内容
割込み
プログラム
ファンクションキー
最後のコピー条件でコピー
ヘルプ
キー応答
プラウザで操作・監視

- 3 任意のファンクションキーを押します。
ファンクションキーに割り当てられた設定メモリーの
コピー条件が設定されます。



- 4 コピー部数を設定し、操作パネルの【スタート】を
押します。



コピー部数の設定の詳細は、p. 8-
10「コピー部数を設定する」をご
らんください。

最後に出力したコピー条件でコピーする

最後に出力したコピー条件で、もう一度コピーする方法を説明します。



- 呼び出せるコピー条件は、最後に出力したジョブの1件だけです。未出力ジョブ、予約ジョブのコピー条件は、最後に出力したジョブでも呼び出しできません。
- 電源をオフにしても最後に出力したコピー条件は呼び出せます。

1 操作パネルの【プログラム】を押します。
読み出し画面が表示されます。

2 【前ジョブ読み出し】を押します。



【ジョブチェック】が表示されます。

3 【ジョブチェック】を押して、設定内容を確認します。

設定内容画面が表示されます。
最後に出力したコピー条件が表示されています。

4 設定内容画面の【OK】を押します。
最後に出力したコピー条件が呼び出され、コピー画面が表示されます。

5 原稿をセットし、【スタート】を押します。

操作方法解説の画面を表示させる：ヘルプ

コピーのとり方、トナー、用紙などの補給方法、操作パネルやタッチパネルのボタンの操作方法などについて、タッチパネル上に表示させて確認することができます。

ヘルプ画面は下記の構成で説明しています。

- | | |
|---------------|--|
| 01 コピー | : コピー画面に表示されているボタンの機能や操作方法について説明しています。 |
| 02 スキャナー | : スキャン画面に表示されているボタンの機能や操作方法について説明しています。 |
| 03 保 存 | : 保存画面に表示されているボタンの機能や操作方法について説明しています。 |
| 04 読出し | : 読出し画面に表示されているボタンの機能や操作方法について説明します。 |
| 05 ジョブリスト | : ジョブリスト画面に表示されているボタンの機能や操作方法について説明します。 |
| 06 機械状態 | : 機械状態画面に表示されているボタンの機能や操作方法について説明します。 |
| 07 ハードキー | : 操作パネルボタンの機能や操作方法について説明します。 |
| 08 部品/消耗品交換手順 | : トナー、針、用紙補給やパンチくず処理の方法について説明しています。 |
| 09 坪量換算表 | : 用紙の坪量 (g/m ²) をポンド (lb) やキログラム (kg) に換算しています。 |

01 ~ 08 の項目はヘルプ画面のトップメニューに表示されます。

01 ~ 06 の各画面ボタンの説明は、その画面が表示されている状態で操作パネルの【ヘルプ】を押したときに表示されます。

07、08、09 の説明は、各画面ボタンの説明画面にある〔トップメニュー〕を押してトップメニューを表示させ、その項目ボタンを押して表示させます。

ヘルプ画面を表示させる

機械状態画面が表示されているときに【ヘルプ】を押した場合:



コピー画面が表示されているときに【ヘルプ】を押した場合:



ヘルプ画面のトップメニュー:

各画面のヘルプ画面にある〔トップメニュー〕を押すと表示されます。



確認コピー
設定内容
割込み
プログラム
ファンクションキー
最後のコピー条件でコピー
ヘルプ
キー応答
プラウザで操作・監視

第3章
コピー操作補助機能

キー やボタンの応答時間を調整する：キー応答

タッチパネルのボタンを押してから機械が反応するまでの時間をあらかじめ設定しています。操作パネルの【キー応答】を押すと、タッチパネルのボタンを一定時間押し続けなければ機械が反応しなくなります。

手の不自由な方が押したいボタンの周りにあるボタンに触ってうまく操作できないときにご利用ください。



キー応答の時間設定は、設定メニュー画面で行います。詳細は、POD 管理者編の p. 5-21 をご覧ください。



設定時間は、通常 / 0.5秒 / 1秒 / 2秒 / 3秒のいずれかが設定されています。

1 操作パネルの【キー応答】を押します。



【キー応答】のグリーンのランプが点灯し、タッチパネルのボタンが設定されている応答時間で反応するようになります。



キー応答の設定時間が【通常】に設定されていると、【キー応答】のランプが点灯していても通常に操作できます。

2 オフにするときは【キー応答】を1秒以上押します。

【キー応答】のランプが消え、通常のボタン操作にもどります。

ブラウザで本機を操作・監視する

ネットワークで本機とPCが繋がっているとき、ブラウザを使ってPCから本機を操作することができます。また、ブラウザで機械の状態を監視することもできます。PCのキーボードやマウスを使って効率よく操作したいときにご利用ください。

リモートパネルの機能

- タッチパネルの画面をブラウザに表示し、マウスを使って操作できます。
- 本機の操作パネルのボタンをブラウザに表示し、マウスを使って操作できます。
- キーボードを使ってパスワード等の入力ができます。
- リモートパネル上での操作手順を記録して再生できます。
- 本機のタッチパネルおよび操作パネルでの操作を禁止することができます。(リモートパネルのみ操作可能)

リモートモニターの機能

- ブラウザの自動リロードを使って、本機のタッチパネルの画面、ジョブの状況、本機の状態を監視することができます。
- リモートパネルを別ウインドウで表示します。

マルチモニターの機能

- 1つのブラウザ上に最大10台の機械のリモートモニターを並べて表示し、監視することができます。
- リモートモニターとリモートパネルを同じブラウザ上に表示します。

以下の機能はありません。

- 補助システムなどによる画面の読み上げ
- 電源スイッチの管理(主電源/副電源、パワーセーブ、 wi-クリータイマー)
- 紙づまり、カウンター表示などを同時に表示すること



- 本体のセキュリティ強化モードをオフに設定します。
- PCと本体は、ネットワークで繋がれTCP/IPで通信できる環境にします。
- 本体のIPアドレスを設定します。
- PCからWeb Utilities設定を使って本体にリモートパネルを使用するPCのIPアドレスを設定します。
- PCには下記のブラウザのいずれか1つが必要です。それ以外に必要なハードやアプリケーションはありません。
 - Microsoft Internet Explorer 6.02以上
 - Netscape Navigator 7.1以上
 - FireFox 1.0以上
- ブラウザの設定でJavaScriptを有効にします。
リモートパネルを使用時、紙づまりなどのポップアップ画面表示は、自動的に更新されません。長時間リモートパネルを使用していないときは、画面右上の「リロード」をクリックしてください。最新状態が表示されます。



- 本体のIPアドレスの設定はPOD管理者編で説明しています。詳細は、POD管理者編のp.8-2をごらんください。
- リモートパネルを利用できるPCは、そのIPアドレスを本体に設定する必要があります。リモートパネルの設定は、Web Utilities設定で行います。詳細は、POD管理者編のp.10-11をごらんください。
- マルチモニターを利用する場合、監視する機械すべてのIPアドレスを登録する必要があります。登録は、Web Utilities設定で行います。詳細は、POD管理者編のp.10-11をごらんください。

確認コピー
設定内容
割込み
プログラム
ファンクションキー
最後のコピー条件でコピー
ヘルプ
キー応答
ブラウザで操作・監視

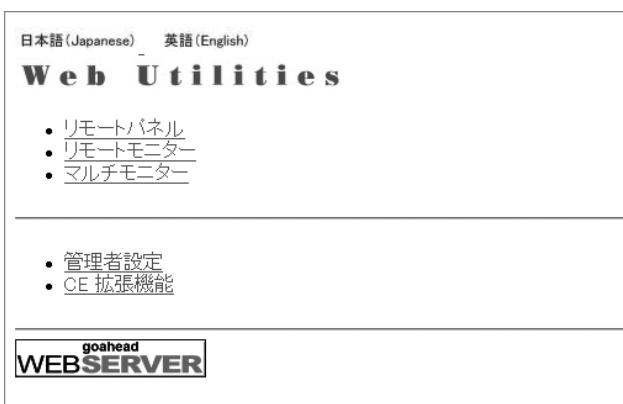
コピー操作補助機能
B 第3章

ブラウザで本機を操作する：リモートパネル

- 1 PC のブラウザを立ち上げ、URL に本体のIP アドレスを入力します。

Web Utilities 画面が表示されます。

- 2 Web Utilities 画面の「リモートパネル」をクリックします。



現在本機に表示されているタッチパネルの画面および操作パネルがブラウザに表示されます。

- 3 マウスとキーボードを使って、本機の操作パネルと同じように操作します。



リモートパネル上での操作手順を記録して再生できます。

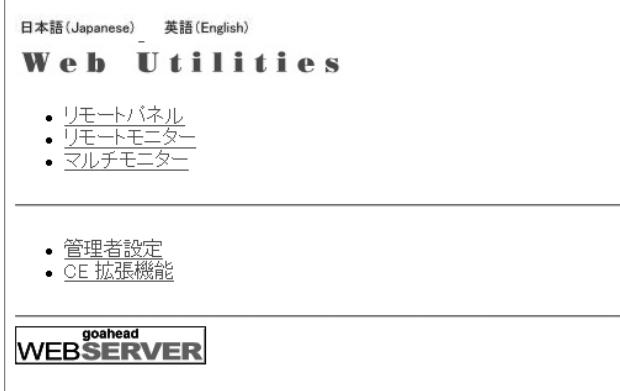
[操作記録On] をクリックし、操作を行ってください。操作手順を保存する場合は、「本体に保存」の数字ボタンをクリックします。

記録した操作手順を呼び出す場合は、「本体から読み込み」の数字ボタンをクリックします。

操作手順を再生する場合は、[実行] をクリックします。[本体パネルをロック] をクリックすると、操作部ロック機能が働きます。本機のタッチパネルおよび操作パネルでの操作ができません。リモートパネルのみ操作可能となります。

ブラウザで本機の状態を監視する：リモートモニター

- 1** PC のブラウザを立ち上げ、URL に本体のIP アドレスを入力します。
Web Utilities 画面が表示されます。
- 2** Web Utilities 画面の「リモートモニター」をクリックします。



本機の状態、タッチパネルの画面、ジョブの状況が表示されます。



リモートモニターに表示されているタッチパネルの画面をクリックすると、リモートパネルを別ウインドウで表示し、PC から操作できます。



- 本機の状態により、リモートモニターの背景色が異なります。
緑色：アイドリング中、ウォームアップ中、補正中
青色：動作中
黄色：JAM 中
赤色：SC 中
- 操作部ロック機能が働いている場合、リモートモニターにはタッチパネルのロック画面が表示されます。ロック画面をクリックすると、リモートパネルでの操作が可能となります。
- リモートパネルの詳細は、p. 13-20をごらんください。

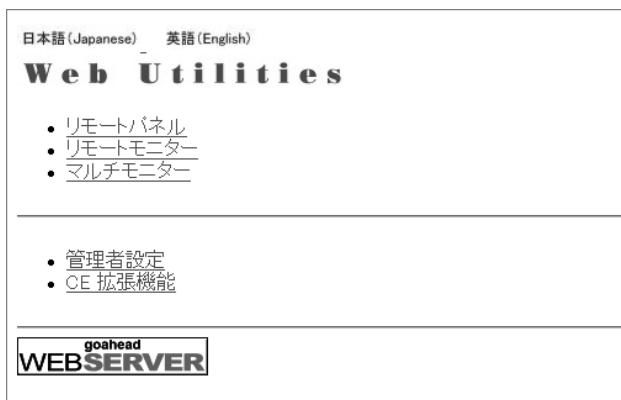
確認コピー
設定内容
割込み
プログラム
ファンクションキー
最後のコピー条件でコピー
ヘルプ
キー応答
ブラウザで操作・監視

ブラウザで本機の状態を監視する：マルチモニター

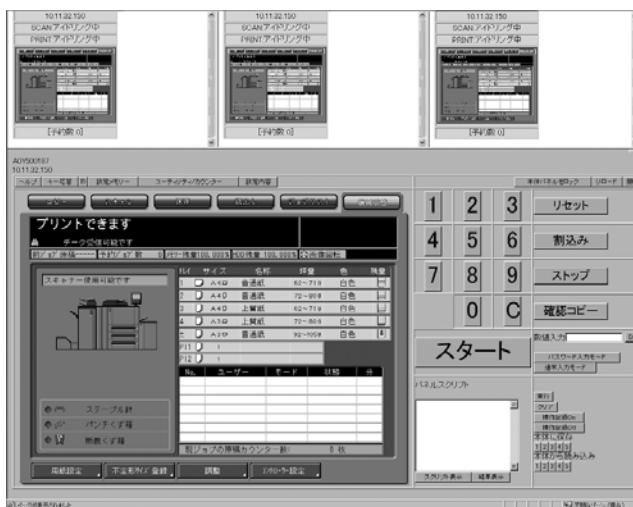
- 1 PCのブラウザを立ち上げ、URLに本体のIPアドレスを入力します。

Web Utilities 画面が表示されます。

- 2 Web Utilities 画面の「マルチモニター」をクリックします。



最大10台の機械の状態、タッチパネルの画面、ジョブの状況が並べて表示されます。また、同じブラウザ上にリモートパネルが表示されます。



表示されているリモートモニターのタッチパネルの画面をクリックすると、その機械のリモートパネルに切り替わり、PCから操作できます。

詳しく説明します

- 本機の状態により、リモートモニターの背景色が異なります。
 - 緑色：アイドリング中、ウォームアップ中、補正中
 - 青色：動作中
 - 黄色：JAM中
 - 赤色：SC中
- 操作部ロック機能が働いている場合、リモートモニターにはタッチパネルのロック画面が表示されます。ロック画面をクリックすると、リモートパネルでの操作が可能となります。
- リモートパネルの詳細は、p. 13-20をごらんください。

付録：文字入力のしかた

文字入力のしかた

文字を入力できる項目のキーに軽く触れると文字入力画面が開きます。

文字入力画面には、英記号、かな漢字、カタカナの3種類の画面があります。どの文字入力画面が表示されるかは、その項目に入力できる文字種によります。



それぞれの文字入力画面については次のページを参照してください。

- ・「文字入力画面（英記号）」(p. 付録-2)
- ・「文字入力画面（かな漢字）」(p. 付録-3)
- ・「文字入力画面（カタカナ）」(p. 付録-4)

文字入力画面のキーについて

英記号、かな漢字、カタカナの文字入力画面に共通のキーについて説明します。



英記号

文字入力画面（英記号）に切り替わります。

かな漢字

文字入力画面（かな漢字）に切り替わります。

カタカナ

文字入力画面（カタカナ）に切り替わります。



カーソル位置が移動します。

削除

カーソルのひとつ前の文字を削除します。

OK

入力した文字を確定し、文字入力画面が閉じます。

キャンセル

入力した文字を解除し、文字入力画面が閉じます。

文字入力について

文字入力画面が表示されてからの基本的な文字入力手順について説明します。

1 該当の文字、記号のキーを押して、文字を入力します。

- 英記号は、**Shift**キーで大文字、小文字を切り替えます。
- かな漢字は、**変換** / **無変換**でひらがな、漢字の入力を切り替えます。
- カタカナは、**全角** / **半角**で全角カタカナ、半角カタカナを切り替えます。

2 **OK**を押します。

文字入力画面が閉じます。入力した文字が、項目の文字欄に表示されます。

文字入力画面（英記号）

アルファベット、記号を入力できます。コンピューターのキーボードの配列と同じ文字の並びです。



Shift

大文字、小文字を切り替えます。

文字入力画面（かな漢字）

ひらがな、漢字を入力できます。入力した文字は、[変換]または[無変換]で確定されるまで反転表示されます。



変換

漢字変換画面が表示されます。

無変換

ひらがなのまま入力した文字を確定します。

漢字変換画面について

変換候補から、該当の漢字を選択して、[OK]を押します。変換候補が6以上ある場合は、漢字変換画面を切り替えて全ての候補が表示できます。

先頭

複数ページの変換候補があった場合、先頭ページの変換候補に切り替わります。

前候補

複数ページの変換候補があった場合、前のページの変換候補に切り替わります。

次候補

複数ページの変換候補があった場合、次のページの変換候補に切り替わります。

最後

複数ページの変換候補があった場合、最後ページの変換候補に切り替わります。



文字入力画面（カタカナ）

カタカナを入力できます。**全角** / **半角**で全角カタカナ、半角カタカナを切り替えます。



全角

文字入力画面が半角カタカナの場合、表示されます。全角カタカナの文字入力画面に切り替えます。

半角

文字入力画面が全角カタカナの場合、表示されます。半角カタカナの文字入力画面に切り替えます。

索引

索引

アルファベット

- ADF 2-3、3-15、8-6
OHP 合紙 10-22
Z 折り 11-15
Z 折りユニット 2-17、4-31
Z 折れ原稿 3-16、8-8、9-8

数字・記号

- 1 枚送り 3-16、9-9
2 in 1 10-15
3 つ折り 11-13
4 in 1 10-15
8 in 1 10-16

あ行

- アース接続 1-5
安全にご使用いただくために 1-2
イラスト説明 5-6
インターフェース 10-4
インデックス紙 4-13
インデックス紙サイズ 9-14
Wi-Fi クリータイマー 2-28
ウェイクアップ画面 2-21
ウォーターマーク 10-74
ウォームアップ 2-21、8-12
エコマーク ii
応用設定 10-2
オートシャットオフ 2-26
オートリセット 2-23
オートローパワー 2-25
オーバーレイ 10-87
オゾン放出 1-8
オプション構成 2-5
オプション仕様 7-4

か行

- 確認コピー 13-2
各部の名称とはたらき 2-2
重ね 3 つ折り 11-14
画質設定 9-19
画像サイズ自動検出 10-41
画像サイズ手動入力 10-41
片面コピー 9-34
片面 / 両面設定 9-28
紙づまり 5-4
簡単なトラブルの処置 5-56
キー応答 13-18
機械状態画面 2-10
〔機械状態〕タブ 5-48
基本的なコピー 8-2
給紙ローラー 4-3
グループ 11-6、11-9
警告 1-2
原稿外消去 10-37

- 原稿画質 9-22
原稿ガラス 3-14、8-9、9-31
原稿設定 9-2
原稿セット方向 9-2
原稿について 3-14
原稿をセット 8-6
限定使用 5-3
国際エネルギー省エネルギー省 i
固定倍率 9-25
コピー画面 2-8
コピー禁止事項 xv
コピー部数 8-10
コピー枚数カウント 6-3
コピー予約 9-53
混載原稿 3-15、8-7、9-6
コントローラーを認識できません 5-55

さ行

- サービスコール 5-2
差込みページ 10-26
しおり機能 10-3
時間外使用パスワード 2-28
下地調整 9-19
自動画像回転 9-39
自動トレイ切換機能 3-13
自動倍率 9-27
自動用紙 9-37
シフト 10-56
ジャム位置表示 5-7
集約 10-15
縮小シフト 10-61
主電源スイッチ 2-20
手動でフィニッシャー 11-22
仕様 7-2
使用環境 1-13
小冊子 10-19
章分け 10-12
ジョブリスト画面 12-2
仕分けグループ 11-6
仕分けソート 11-6
ズーム 9-25
スタンプ / オーバーレイ 10-64
スタンプモード 10-78
ステープル 11-7
ステープル針 4-22
清掃 6-2
設置スペース 1-11
設置電源 1-13
設定内容 13-4
センタリング 10-52
全面画像 10-54
操作パネル 2-6
【C】 8-11
【ID】 2-31
【確認コピー】 13-2
【キー応答】 13-18

【スタート】	8-3
【ストップ】	8-15
【設定内容】	13-4
【設定メニュー / カウンター】	6-3
【パワーセーブ】	2-27, 2-28
【プログラム】	13-9, 13-11, 13-15
【ヘルプ】	13-16
【リセット】	2-23
【割込み】	13-7
ソート	11-6, 11-9
外側オフセット	10-60

た行

大容量給紙ユニット	2-12, 4-6, 4-15
断裁	11-11
断裁くず	4-33
タンデム出力	11-25
注意	1-2
注意表記・注意ラベル	1-9
定期点検	6-5
定型スタンプ	10-66
定形リピート	10-45
データランプ	2-7
手差しトレイ	4-5, 4-17, 10-22
テンキー	8-10
電源コード	1-3
電源プラグ	1-4
電源を入れ直して下さい	5-54
電源を入れる	2-20
電源を切る	2-22
電波障害	1-8
等倍	9-24
登録オーバーレイ	10-89
登録倍率	9-25
とじしろ	10-56, 10-61
トナーボトル	1-13, 4-18
トナーユニット	4-19
トナーを補給	4-18
トリマーユニット	2-18
トレイ 1	2-3
トレイ 2	2-3
トレイ 3	2-3

な行

中とじ	11-12
ナンバリング	10-68, 10-76
任意スタンプ	10-83
ネガポジ反転	10-39
濃度調整	9-19

は行

倍率設定	9-24
パスワード	2-31
パワーセーブ	2-24
パンチ	11-17

パンチキット	4-29
パンチくず	4-29, 4-31
日付 / 時刻	10-72
ファンクションキー	13-13
フィニッシャー	2-13, 11-4
副電源スイッチ	2-20
ブック連写	10-29
不定形サイズ	9-12
部門認証	2-30
部門パスワード	2-31
部門名	2-31
プログラム	13-9
プログラムジョブ	10-33
ページ	10-70
ページ間隔	10-59
ヘルプ	13-16
保守サービス	6-6
ポストインサー	2-16, 11-20
本体外部	2-2
本体トレイ	4-3, 4-13
本体内部	2-4

ま行

マニュアル体系	xiii
マルチモニター	13-22
メイントレイ	1-14
メモリー オーバーフロー	5-52
文字入力のしかた	付録 -1

や行

ユーザー認証	2-30
ユーザー名	2-31
用紙	3-13
用紙設定	9-36, 9-41
用紙なし停止	5-49
用紙について	3-2
用紙不一致停止	5-51
用紙を補給	4-3, 4-5, 4-6

ら行

リピート	10-41
リモートパネル	13-20
リモートモニター	13-21
両面コピー	9-28, 9-31
両面コピーのとじ方向	11-2
両面とじ方向	9-4
レーザー	1-8
連続読み込み	9-16

わ行

枠 / 折り目消し	10-48
割込み	13-7

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》	
販売店名	<hr/>
電話番号	<hr/>
担当部門	<hr/>
担当者	<hr/>

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》	
TEL	<hr/>

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル:0120-805039 (受付時間:土、日、祝日を除く9:00~12:00 / 13:00~17:00)



KONICA MINOLTA

国内総販売元

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元

コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright

A0Y5955611

2009 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC.

Printed in China

2009. 8